

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習 I B-網本
講義名(英字)	Foundational Seminar I
担当教員	網本 尚子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。
【到達目標】	大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	1年生は全員履修。																																										
【教育方法】	基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。																																										
【指定教科書・参考資料等】	参考書：山野弘樹『独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」』（講談社現代新書、2022年） 戸田山和久『最新版 論文の教室』（NHKブックス、2022年）																																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力																				
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○																																				
協働力	○	主張力	○	創造力																																							
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="3">授業態度（講義における積極的な発言など）</td><td>60%</td><td colspan="4" rowspan="3">評価項目に基づいて総合的に判断する。</td></tr><tr><td colspan="3">レポートなどの講義での課題</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。				レポートなどの講義での課題			40%	合計			100%									
評価項目と割合				評価方法																																							
授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。																																							
レポートなどの講義での課題			40%																																								
合計			100%																																								
【その他の注意事項】	①学生要覧に準拠し、単位修得に必要な授業への出席率は3分の2以上を前提とする。 ②初回の講義は新入生オリエンテーション期間中に行う。																																										
【授業計画】	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td></tr><tr><td>No1</td><td>大学での学びとは？</td><td>入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加</td></tr><tr><td>No2</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける①</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No3</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける②</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No4</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける③</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No5</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける④</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No6</td><td>レポートを書く①</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No7</td><td>レポートを書く②</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No8</td><td>レポートを書く③</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No9</td><td>レポートを書く④</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容	No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加	No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます			
週	テーマ	学習内容																																									
No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加																																									
No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									

	No10	レポートを書く⑤	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます
	No11	プレゼンテーションをする①	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No12	プレゼンテーションをする②	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No13	プレゼンテーションをする③	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No14	総括	今までの授業についての総括

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習 I S-浮谷(再履修)
講義名(英字)	Foundational Seminar I
担当教員	浮谷 秀一
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。 この科目は、再履修者対象なので、必要に応じて履修者個人個人にあった指導をしていくことがある。
【到達目標】	大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。

	適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。						
【履修条件・受講推奨者】	2年生以上の再履修者対象						
【教育方法】	基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。 履修者個人個人に合わせた指導をすることがある。						
【指定教科書・参考資料等】	特に指定しないが、必要に応じて指示する。						
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力		主張力	○	創造力		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法		
	授業態度(講義におけるプレゼンなどの課題遂行状況)			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。		
	授業進行に合わせて提示するレポートなど			40%			
	合計			100%			
【その他の注意事項】	出席率は3分の2以上を前提とする。						
【授業計画】	週	テーマ		学習内容			
	No1	大学での学びとは？		履修者個人個人に合わせた指導をする。			
	No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①		履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます			
	No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②		履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます			
	No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③		履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます			
	No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④		履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます			
	No6	レポートを書く①		履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます			
	No7	レポートを書く②		履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます			
				履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。			

No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます
No9	レポートを書く④	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます
No10	レポートを書く⑤	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます
No11	プレゼンテーションをする①	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
No12	プレゼンテーションをする②	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
No13	プレゼンテーションをする③	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
No14	総括	今までの授業についての総括

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習 I B-小川
講義名(英字)	Foundational Seminar I
担当教員	小川 達也
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。
【到達目標】	大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	1年生は全員履修。																																										
【教育方法】	基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。																																										
【指定教科書・参考資料等】	参考書：山野弘樹『独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」』（講談社現代新書、2022年） 戸田山和久『最新版 論文の教室』（NHKブックス、2022年）																																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力																				
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○																																				
協働力	○	主張力	○	創造力																																							
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="3">授業態度（講義における積極的な発言など）</td><td>60%</td><td colspan="4" rowspan="3">評価項目に基づいて総合的に判断する。</td></tr><tr><td colspan="3">レポートなどの講義での課題</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。				レポートなどの講義での課題			40%	合計			100%									
評価項目と割合				評価方法																																							
授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。																																							
レポートなどの講義での課題			40%																																								
合計			100%																																								
【その他の注意事項】	①学生要覧に準拠し、単位修得に必要な授業への出席率は3分の2以上を前提とする。 ②初回の講義は新入生オリエンテーション期間中に行う。																																										
【授業計画】	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td></tr><tr><td>No1</td><td>大学での学びとは？</td><td>入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加</td></tr><tr><td>No2</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける①</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No3</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける②</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No4</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける③</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No5</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける④</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No6</td><td>レポートを書く①</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No7</td><td>レポートを書く②</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No8</td><td>レポートを書く③</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No9</td><td>レポートを書く④</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容	No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加	No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます			
週	テーマ	学習内容																																									
No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加																																									
No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									

	No10	レポートを書く⑤	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます
	No11	プレゼンテーションをする①	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No12	プレゼンテーションをする②	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No13	プレゼンテーションをする③	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No14	総括	今までの授業についての総括

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習 I B-木村
講義名(英字)	Foundational Seminar I
担当教員	木村 直樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。
【到達目標】	大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	1年生は全員履修。																																										
【教育方法】	基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。																																										
【指定教科書・参考資料等】	参考書：山野弘樹『独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」』（講談社現代新書、2022年） 戸田山和久『最新版 論文の教室』（NHKブックス、2022年）																																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力																				
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○																																				
協働力	○	主張力	○	創造力																																							
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="3">授業態度（講義における積極的な発言など）</td><td>60%</td><td colspan="4" rowspan="3">評価項目に基づいて総合的に判断する。</td></tr><tr><td colspan="3">レポートなどの講義での課題</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。				レポートなどの講義での課題			40%	合計			100%									
評価項目と割合				評価方法																																							
授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。																																							
レポートなどの講義での課題			40%																																								
合計			100%																																								
【その他の注意事項】	①学生要覧に準拠し、単位修得に必要な授業への出席率は3分の2以上を前提とする。 ②初回の講義は新入生オリエンテーション期間中に行う。																																										
【授業計画】	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td></tr><tr><td>No1</td><td>大学での学びとは？</td><td>入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加</td></tr><tr><td>No2</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける①</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No3</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける②</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No4</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける③</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No5</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける④</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No6</td><td>レポートを書く①</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No7</td><td>レポートを書く②</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No8</td><td>レポートを書く③</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No9</td><td>レポートを書く④</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容	No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加	No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます			
週	テーマ	学習内容																																									
No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加																																									
No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									

	No10	レポートを書く⑤	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます
	No11	プレゼンテーションをする①	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No12	プレゼンテーションをする②	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No13	プレゼンテーションをする③	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No14	総括	今までの授業についての総括

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習 I B-塩谷
講義名(英字)	Foundational Seminar I
担当教員	塩谷 由美子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。
【到達目標】	大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	1年生は全員履修。																																										
【教育方法】	基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。																																										
【指定教科書・参考資料等】	参考書：山野弘樹『独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」』（講談社現代新書、2022年） 戸田山和久『最新版 論文の教室』（NHKブックス、2022年）																																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力																				
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○																																				
協働力	○	主張力	○	創造力																																							
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="3">授業態度（講義における積極的な発言など）</td><td>60%</td><td colspan="4" rowspan="3">評価項目に基づいて総合的に判断する。</td></tr><tr><td colspan="3">レポートなどの講義での課題</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。				レポートなどの講義での課題			40%	合計			100%									
評価項目と割合				評価方法																																							
授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。																																							
レポートなどの講義での課題			40%																																								
合計			100%																																								
【その他の注意事項】	①学生要覧に準拠し、単位修得に必要な授業への出席率は3分の2以上を前提とする。 ②初回の講義は新入生オリエンテーション期間中に行う。																																										
【授業計画】	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td></tr><tr><td>No1</td><td>大学での学びとは？</td><td>入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加</td></tr><tr><td>No2</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける①</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No3</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける②</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No4</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける③</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No5</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける④</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No6</td><td>レポートを書く①</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No7</td><td>レポートを書く②</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No8</td><td>レポートを書く③</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No9</td><td>レポートを書く④</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容	No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加	No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます			
週	テーマ	学習内容																																									
No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加																																									
No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									

	No10	レポートを書く⑤	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます
	No11	プレゼンテーションをする①	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No12	プレゼンテーションをする②	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No13	プレゼンテーションをする③	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No14	総括	今までの授業についての総括

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習 I B-清水(良)
講義名(英字)	Foundational Seminar I
担当教員	清水 良樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。
【到達目標】	大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	1年生は全員履修。																																										
【教育方法】	基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。																																										
【指定教科書・参考資料等】	参考書：山野弘樹『独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」』（講談社現代新書、2022年） 戸田山和久『最新版 論文の教室』（NHKブックス、2022年）																																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力																				
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○																																				
協働力	○	主張力	○	創造力																																							
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="3">授業態度（講義における積極的な発言など）</td><td>60%</td><td colspan="4" rowspan="3">評価項目に基づいて総合的に判断する。</td></tr><tr><td colspan="3">レポートなどの講義での課題</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。				レポートなどの講義での課題			40%	合計			100%									
評価項目と割合				評価方法																																							
授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。																																							
レポートなどの講義での課題			40%																																								
合計			100%																																								
【その他の注意事項】	①学生要覧に準拠し、単位修得に必要な授業への出席率は3分の2以上を前提とする。 ②初回の講義は新入生オリエンテーション期間中に行う。																																										
【授業計画】	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td></tr><tr><td>No1</td><td>大学での学びとは？</td><td>入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加</td></tr><tr><td>No2</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける①</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No3</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける②</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No4</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける③</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No5</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける④</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No6</td><td>レポートを書く①</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No7</td><td>レポートを書く②</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No8</td><td>レポートを書く③</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No9</td><td>レポートを書く④</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容	No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加	No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます			
週	テーマ	学習内容																																									
No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加																																									
No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									

	No10	レポートを書く⑤	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます
	No11	プレゼンテーションをする①	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No12	プレゼンテーションをする②	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No13	プレゼンテーションをする③	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No14	総括	今までの授業についての総括

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習 I B-賽音
講義名(英字)	Foundational Seminar I
担当教員	賽音吉雅
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。
【到達目標】	大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	1年生は全員履修。																																										
【教育方法】	基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。																																										
【指定教科書・参考資料等】	参考書：山野弘樹『独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」』（講談社現代新書、2022年） 戸田山和久『最新版 論文の教室』（NHKブックス、2022年）																																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力																				
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○																																				
協働力	○	主張力	○	創造力																																							
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="4">授業態度（講義における積極的な発言など）</td><td>60%</td><td colspan="4" rowspan="3">評価項目に基づいて総合的に判断する。</td></tr><tr><td colspan="4">レポートなどの講義での課題</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				授業態度（講義における積極的な発言など）				60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。				レポートなどの講義での課題				40%	合計				100%						
評価項目と割合				評価方法																																							
授業態度（講義における積極的な発言など）				60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。																																						
レポートなどの講義での課題				40%																																							
合計				100%																																							
【その他の注意事項】	①学生要覧に準拠し、単位修得に必要な授業への出席率は3分の2以上を前提とする。 ②初回の講義は新入生オリエンテーション期間中に行う。																																										
【授業計画】	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td></tr><tr><td>No1</td><td>大学での学びとは？</td><td>入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加</td></tr><tr><td>No2</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける①</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No3</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける②</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No4</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける③</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No5</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける④</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No6</td><td>レポートを書く①</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No7</td><td>レポートを書く②</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No8</td><td>レポートを書く③</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No9</td><td>レポートを書く④</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容	No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加	No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます			
週	テーマ	学習内容																																									
No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加																																									
No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									

	No10	レポートを書く⑤	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます
	No11	プレゼンテーションをする①	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No12	プレゼンテーションをする②	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No13	プレゼンテーションをする③	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No14	総括	今までの授業についての総括

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習 I B-高田
講義名(英字)	Foundational Seminar I
担当教員	高田 真也
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。
【到達目標】	大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	1年生は全員履修。																																										
【教育方法】	基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。																																										
【指定教科書・参考資料等】	参考書：山野弘樹『独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」』（講談社現代新書、2022年） 戸田山和久『最新版 論文の教室』（NHKブックス、2022年）																																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力																				
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○																																				
協働力	○	主張力	○	創造力																																							
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="3">授業態度（講義における積極的な発言など）</td><td>60%</td><td colspan="4" rowspan="3">評価項目に基づいて総合的に判断する。</td></tr><tr><td colspan="3">レポートなどの講義での課題</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。				レポートなどの講義での課題			40%	合計			100%									
評価項目と割合				評価方法																																							
授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。																																							
レポートなどの講義での課題			40%																																								
合計			100%																																								
【その他の注意事項】	①学生要覧に準拠し、単位修得に必要な授業への出席率は3分の2以上を前提とする。 ②初回の講義は新入生オリエンテーション期間中に行う。																																										
【授業計画】	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td></tr><tr><td>No1</td><td>大学での学びとは？</td><td>入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加</td></tr><tr><td>No2</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける①</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No3</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける②</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No4</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける③</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No5</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける④</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No6</td><td>レポートを書く①</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No7</td><td>レポートを書く②</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No8</td><td>レポートを書く③</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No9</td><td>レポートを書く④</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容	No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加	No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます			
週	テーマ	学習内容																																									
No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加																																									
No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									

	No10	レポートを書く⑤	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます
	No11	プレゼンテーションをする①	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No12	プレゼンテーションをする②	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No13	プレゼンテーションをする③	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No14	総括	今までの授業についての総括

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習 I B-長岐
講義名(英字)	Foundational Seminar I
担当教員	長岐 郁也
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。
【到達目標】	大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	1年生は全員履修。																																										
【教育方法】	基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。																																										
【指定教科書・参考資料等】	参考書：山野弘樹『独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」』（講談社現代新書、2022年） 戸田山和久『最新版 論文の教室』（NHKブックス、2022年）																																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力																				
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○																																				
協働力	○	主張力	○	創造力																																							
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="6">評価方法</td></tr><tr><td colspan="4">授業態度（講義における積極的な発言など）</td><td colspan="2">60%</td><td colspan="4" rowspan="3">評価項目に基づいて総合的に判断する。</td></tr><tr><td colspan="4">レポートなどの講義での課題</td><td colspan="2">40%</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td colspan="2">100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法						授業態度（講義における積極的な発言など）				60%		評価項目に基づいて総合的に判断する。				レポートなどの講義での課題				40%		合計				100%		
評価項目と割合				評価方法																																							
授業態度（講義における積極的な発言など）				60%		評価項目に基づいて総合的に判断する。																																					
レポートなどの講義での課題				40%																																							
合計				100%																																							
【その他の注意事項】	①学生要覧に準拠し、単位修得に必要な授業への出席率は3分の2以上を前提とする。 ②初回の講義は新入生オリエンテーション期間中に行う。																																										
【授業計画】	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td></tr><tr><td>No1</td><td>大学での学びとは？</td><td>入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加</td></tr><tr><td>No2</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける①</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No3</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける②</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No4</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける③</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No5</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける④</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No6</td><td>レポートを書く①</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No7</td><td>レポートを書く②</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No8</td><td>レポートを書く③</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No9</td><td>レポートを書く④</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容	No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加	No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます			
週	テーマ	学習内容																																									
No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加																																									
No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									

	No10	レポートを書く⑤	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます
	No11	プレゼンテーションをする①	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No12	プレゼンテーションをする②	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No13	プレゼンテーションをする③	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No14	総括	今までの授業についての総括

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習 I B-難波
講義名(英字)	Foundational Seminar I
担当教員	難波 俊樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	「基礎演習 I」では、大学での生活・学習に対してきめ細かい指導を行うことで、各自が入学の目的・意義を明確にし、入学から卒業まで一貫した学習ができるよう教育の方向付けを行う。授業では、大学で学ぶ意義、受講の方法、文献の読み方、基礎的な言語表現、レポートの作成方法・発表・討議できる表現方法などの育成を指導する。
【到達目標】	大学で主体的に学ぶことの大切さを理解し、自己理解を深め、将来へ向けての目標設定ができるようになる。 適切な引用文献の書き方を含め、適正にレポートを作成できるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	1年生は全員履修。																																										
【教育方法】	基本的に各演習単位で、担当教員が設定した内容に従って進める。レポートやレジュメなどの作成も適宜添削し、確実にレポートを作成できるように指導する。																																										
【指定教科書・参考資料等】	参考書：山野弘樹『独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」』（講談社現代新書、2022年） 戸田山和久『最新版 論文の教室』（NHKブックス、2022年）																																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力																				
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○																																				
協働力	○	主張力	○	創造力																																							
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="3">授業態度（講義における積極的な発言など）</td><td>60%</td><td colspan="4" rowspan="3">評価項目に基づいて総合的に判断する。</td></tr><tr><td colspan="3">レポートなどの講義での課題</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。				レポートなどの講義での課題			40%	合計			100%									
評価項目と割合				評価方法																																							
授業態度（講義における積極的な発言など）			60%	評価項目に基づいて総合的に判断する。																																							
レポートなどの講義での課題			40%																																								
合計			100%																																								
【その他の注意事項】	①学生要覧に準拠し、単位修得に必要な授業への出席率は3分の2以上を前提とする。 ②初回の講義は新入生オリエンテーション期間中に行う。																																										
【授業計画】	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td></tr><tr><td>No1</td><td>大学での学びとは？</td><td>入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加</td></tr><tr><td>No2</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける①</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No3</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける②</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No4</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける③</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No5</td><td>大学での学び方、考える力を身に付ける④</td><td>・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます</td></tr><tr><td>No6</td><td>レポートを書く①</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No7</td><td>レポートを書く②</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No8</td><td>レポートを書く③</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td>No9</td><td>レポートを書く④</td><td>・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容	No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加	No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます	No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます	No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます			
週	テーマ	学習内容																																									
No1	大学での学びとは？	入学式翌日のクラス別オリエンテーションへの参加																																									
No2	大学での学び方、考える力を身に付ける①	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No3	大学での学び方、考える力を身に付ける②	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No4	大学での学び方、考える力を身に付ける③	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No5	大学での学び方、考える力を身に付ける④	・成果の出る学び方(学習方法)について学びます ・適切な思考法として、論理の基礎を学びます ・意見を述べる際の議論の組み立て方について学びます ・意見を整理する方法について学びます																																									
No6	レポートを書く①	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No7	レポートを書く②	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No8	レポートを書く③	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									
No9	レポートを書く④	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます																																									

	No10	レポートを書く⑤	・レポートの作成の基本である文章執筆について学びます ・レポート作成の基本技術、アウトライン作成を学びます ・参考文献リストと文献の活用方法について学びます ・計画的な執筆について学びます ・効率的なレポートの書き方について学びます
	No11	プレゼンテーションをする①	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No12	プレゼンテーションをする②	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No13	プレゼンテーションをする③	・プレゼンテーションとは何か、について学びます ・自分の意見を伝える技術について学びます ・プレゼンテーション資料の作成方法について学びます ・プレゼンテーションを体験する
	No14	総括	今までの授業についての総括

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英会話 I BE-A
講義名(英字)	English Conversation I
担当教員	Janet.Johnson
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	The course is designed to reinforce listening and speaking skills. Conversations, practiced with a partner, will reflect daily life events. Practice will include learning new vocabulary. Asking and answering questions, will be used for speaking as well as listening improvement.
【到達目標】	◇授業で扱う内容の予習と復習はしっかり行ってください。また、リスニング力アップのため練習をしてください。宿題はきちんと済ませ、単語の暗記もすること。ペアでの会話練習は積極的に参加すること。 The target of the course is to improve vocabulary, speaking skills and listening ability. The study and use of English should enable students to have more cross cultural understanding.

【履修条件・受講推奨者】	Attendance and active participation are required. Completion of assignments and a passing grade on exams is also required. Students are expected to cooperate with each other by practicing together. ◇授業で行う活動に積極的に参加すること(とくに会話練習)。会話練習やその他授業で行う活動についていけるよう、出席は必須です。						
【教育方法】	The methods used will be explanation, comprehension check, verbal questions, written exercises and confirmation of answers, checking pronunciation, review and testing.						
【指定教科書・参考資料等】	Side by Side Extra. Book and eText 1. International edition. Steven J. Molinsky and Bill Bliss Pearson Education Inc.						
【実務IQ修得目標】							
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法			
	Attendance		20%				
	Active participation in conversation and listening exercises.		20%				
	Exams and assignments		60%				
	合計		100%				
【その他の注意事項】	Students should refrain from using smartphones during class. The textbook is necessary for conversation practice and exercises and should always be brought to class. Misc. prints will be distributed for additional practice. These should be brought to class.						
	週	テーマ	学習内容				
	No1	Class Intro.	Explanation of class procedures. Self introductions or giving some personal information.				
		Unit 1 Text: To Be	Text: Personal Information. Meeting People. Conversation practice.				
		予習内容(時間)					分
		復習内容(時間)	Students should review all material after every class and practice as much as possible.			60	分
	No2	Text Unit 2	Classroom Objects. Rooms in the Home. Cities and Nationalities. Places around Town. .To Be + Location. Subject Pronouns				
		予習内容(時間)	Students should review previous lesson before class			60	分
		復習内容(時間)	Review Lesson 2 content and practice.			60	分
	No3	Continue Unit 2	Continue Unit 2. Give additional exercises. Conversations and listen exercises.				
		Begin Unit 3	Begin Present Continuous tense. Everyday Activities.				
		予習内容(時間)	Review and do exercises if assigned.			60	分
		復習内容(時間)	Review material before next class.			60	分
	No4	Continue Unit 3	Continue present continuous tense. Everyday activities. Give additional supplementary exercises.				
		予習内容(時間)	Review and practice			60	分
		復習内容(時間)	Review before next class			60	分
	No5	Unit 4	To be: short answers and possessive adjectives. Everyday activities. Conversation practice and listening exercises.				
		予習内容(時間)	Review and practice. Do assignments.			60	分
		復習内容(時間)	Review before next class			60	分

【授業計画】

No6	Unit 4 cont.	Finish Unit 4		
	Review 1-4	Review Units 1-4 for Midterm Exam		
	予習内容(時間)	Review and practice	60	分
	復習内容(時間)	Review before next class	60	分
No7	Midterm Exam	iMidterm Exam : Includes both written and listening sections.		
	予習内容(時間)	Review test questions	60	分
	復習内容(時間)	Review units 1-4 and exercises	60	分
No8	Unit 5	Yes/No questions, short answers, adjectives. possessive nouns. Describing people and things and weather.		
	予習内容(時間)	Review content of lesson and exercises.	60	分
	復習内容(時間)	Review and prepare for next class	60	分
No9	Continue Unit 5	Review Unit 5		
	Begin Unit 6	Review present continuous tense. Review prepositions of location. Talk about Family members. Describe activities and events.		
	予習内容(時間)	Review and practice	60	分
	復習内容(時間)	Review before class	60	分
No10	Continue Unit 6	Prepositions.. There is/there are.		
	Begin Unit 7	Places around town. Locating places. Describing neighborhoods. Describing apartments.		
	予習内容(時間)	Review and practice	60	分
	復習内容(時間)	Review before next class.	60	分
No11	Continue Unit 7	Continue Unit 7. Do supplementary materials and exercises.		
	予習内容(時間)	Review and practice	60	分
	復習内容(時間)	Review for next class	60	分
No12	Unit 8	Singular/plural. Adjectives. This/that/these/those. Conversation practice. Listening exercises.		
	予習内容(時間)	Review and practice	60	分
	復習内容(時間)	Prep	60	分
No13	Continue Unit 8	Finish text material. Do exercises. Review assignments. Listening practice.		
	Review U. 5-8	Review Units 5-8 for final exam.		
	予習内容(時間)	Review	90	分
	復習内容(時間)	Prep	60	分
No14	Final Exam	Final exam on Units 5-8		
	予習内容(時間)	Review Units 5-8	90	分
	復習内容(時間)	Review test.	60	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英会話 I BE-D
講義名(英字)	English Conversation I
担当教員	菅原 千津
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	英会話を上達させるためには、英文法や語彙のインプット学習だけでなく会話練習などのアウトプット学習が必須である。本講義では基礎的な英語フレーズを用いたスピーキング・リスニング練習に重点をおき、「英語を話せる自信をつけること」を目標とする。そのため、ペアワークなどの会話練習には積極的に参加をすること。さらに、テキスト付属のオンライン学習プログラム「English Central」では単語学習や発音トレーニングを各自で行うことができるので大いに活用してほしい。
【到達目標】	語彙力をつけ、日常生活で使われる英語表現を読んで理解できるようになる。 日常生活で使われる英語表現を聞いて理解できるようになる。 日常生活で使われる英語表現を適切に発話できるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	とくになし。																																																																																																																																							
【教育方法】	ペアワーク、グループワーク、スピーチなどの活動を通して、英語コミュニケーション能力を向上させる。 教科書のオンライン発話プログラムを使用し、各自でスピーキング能力を向上させる。																																																																																																																																							
【指定教科書・参考資料等】	James Bury /Anthony Sellick / 堀内 香織（共著）『Complete Communication Book 1 -Basicコミュニケーションのための実践演習 Book1《初級編》』成美堂 2022																																																																																																																																							
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td></td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力		突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																																																																																
自制力		思考力		突破力		忍耐力																																																																																																																																		
協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																																																																																																			
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="3">授業への積極的な参加</td><td>40</td><td colspan="4" rowspan="4">評価項目を計100%で評価する。授業への出席は3分の2以上を前提とする。</td></tr><tr><td colspan="3">確認テスト</td><td>30</td></tr><tr><td colspan="3">課題・スピーキングテスト・オンライン学習プログラム”English Central”の学習状況</td><td>30</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				授業への積極的な参加			40	評価項目を計100%で評価する。授業への出席は3分の2以上を前提とする。				確認テスト			30	課題・スピーキングテスト・オンライン学習プログラム”English Central”の学習状況			30	合計			100%																																																																																																		
評価項目と割合				評価方法																																																																																																																																				
授業への積極的な参加			40	評価項目を計100%で評価する。授業への出席は3分の2以上を前提とする。																																																																																																																																				
確認テスト			30																																																																																																																																					
課題・スピーキングテスト・オンライン学習プログラム”English Central”の学習状況			30																																																																																																																																					
合計			100%																																																																																																																																					
【その他の注意事項】	初回に本講義についての詳細や注意事項を説明するので、しっかりと理解して講義に参加すること。																																																																																																																																							
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="4">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>初回ガイダンス</td><td colspan="4">講義内容・評価方法・テキスト補助教材の使い方についての説明</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">テキストを準備し、シラバスとテキストの概要を把握しておくこと。</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">初回授業の内容を理解しておくこと。</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>Unit 1 Personal Information</td><td colspan="4">自己紹介などの語彙・表現を学ぶ。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の予習</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の復習</td><td>100</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>Unit 1 Personal Information</td><td colspan="4">自己紹介などの語彙・表現を学ぶ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の予習</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">English Central 課題提出</td><td>100</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>Unit 2 Hobbies and pastimes</td><td colspan="4">趣味について話すときの語彙・表現を学ぶ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の予習</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">学習内容の復習</td><td>100</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>Unit 2 Hobbies and pastimes</td><td colspan="4">趣味について話すときの語彙・表現を学ぶ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の予習</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">English Central 課題提出</td><td>100</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No6</td><td>Unit 3 Location</td><td colspan="4">出身地について話すときの語彙・表現を学ぶ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の予習</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">English Central 課題提出</td><td>100</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="2">No7</td><td>Unit 4 Family members</td><td colspan="4">家族について話すときの語彙・表現を学ぶ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の予習</td><td>30</td><td>分</td></tr></table>										週	テーマ	学習内容				No1	初回ガイダンス	講義内容・評価方法・テキスト補助教材の使い方についての説明				予習内容(時間)	テキストを準備し、シラバスとテキストの概要を把握しておくこと。			30	分	復習内容(時間)	初回授業の内容を理解しておくこと。			30	分	No2	Unit 1 Personal Information	自己紹介などの語彙・表現を学ぶ。				予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分	復習内容(時間)	授業内容の復習			100	分	No3	Unit 1 Personal Information	自己紹介などの語彙・表現を学ぶ				予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分	復習内容(時間)	English Central 課題提出			100	分	No4	Unit 2 Hobbies and pastimes	趣味について話すときの語彙・表現を学ぶ				予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分	復習内容(時間)	学習内容の復習			100	分	No5	Unit 2 Hobbies and pastimes	趣味について話すときの語彙・表現を学ぶ				予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分	復習内容(時間)	English Central 課題提出			100	分	No6	Unit 3 Location	出身地について話すときの語彙・表現を学ぶ				予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分	復習内容(時間)	English Central 課題提出			100	分	No7	Unit 4 Family members	家族について話すときの語彙・表現を学ぶ				予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分
週	テーマ	学習内容																																																																																																																																						
No1	初回ガイダンス	講義内容・評価方法・テキスト補助教材の使い方についての説明																																																																																																																																						
	予習内容(時間)	テキストを準備し、シラバスとテキストの概要を把握しておくこと。			30	分																																																																																																																																		
	復習内容(時間)	初回授業の内容を理解しておくこと。			30	分																																																																																																																																		
No2	Unit 1 Personal Information	自己紹介などの語彙・表現を学ぶ。																																																																																																																																						
	予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分																																																																																																																																		
	復習内容(時間)	授業内容の復習			100	分																																																																																																																																		
No3	Unit 1 Personal Information	自己紹介などの語彙・表現を学ぶ																																																																																																																																						
	予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分																																																																																																																																		
	復習内容(時間)	English Central 課題提出			100	分																																																																																																																																		
No4	Unit 2 Hobbies and pastimes	趣味について話すときの語彙・表現を学ぶ																																																																																																																																						
	予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分																																																																																																																																		
	復習内容(時間)	学習内容の復習			100	分																																																																																																																																		
No5	Unit 2 Hobbies and pastimes	趣味について話すときの語彙・表現を学ぶ																																																																																																																																						
	予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分																																																																																																																																		
	復習内容(時間)	English Central 課題提出			100	分																																																																																																																																		
No6	Unit 3 Location	出身地について話すときの語彙・表現を学ぶ																																																																																																																																						
	予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分																																																																																																																																		
	復習内容(時間)	English Central 課題提出			100	分																																																																																																																																		
No7	Unit 4 Family members	家族について話すときの語彙・表現を学ぶ																																																																																																																																						
	予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分																																																																																																																																		

【授業計画】		復習内容(時間)	English Central 課題提出	100	分
	No8	スピーキングテスト①	Unit 1～4の表現のスピーキングテスト		
		予習内容(時間)	スピーキングテストのための準備	120	分
		復習内容(時間)	テストの復習	40	分
	No9	Unit 5 Places	観光地などについて話すときの語彙・表現を学ぶ		
		予習内容(時間)	授業内容の予習	30	分
		復習内容(時間)	授業内容の復習	100	分
	No10	Unit 5 Places	観光地などについて話すときの語彙・表現を学ぶ		
		予習内容(時間)	授業内容の予習	30	分
		復習内容(時間)	English Central 課題提出	100	分
	No11	Unit 6 Transportation and direction	交通機関や道順などについて話すときの語彙・表現を学ぶ		
		予習内容(時間)	授業内容の予習	30	分
		復習内容(時間)	授業内容の復習	100	分
	No12	Unit 6 Transportation and direction	交通機関や道順などについて話すときの語彙・表現を学ぶ		
		予習内容(時間)	授業内容の予習	30	分
		復習内容(時間)	English Central 課題提出	100	分
	No13	スピーキングテスト②	Unit 5～6の表現のスピーキングテスト		
		予習内容(時間)	スピーキングテストのための準備	120	分
		復習内容(時間)	テストの復習	40	分
	No14	総括	今学期の授業についての総括		
		予習内容(時間)	今学期の振り返り・総復習	40	分
		復習内容(時間)	確認テストのための準備	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英会話 I BE-F
講義名(英字)	English Conversation I
担当教員	J.P.Brent Fialka
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	The course is designed to reinforce listening and speaking skills. Conversations, practiced with a partner, will reflect daily life events. Practice will include learning new vocabulary. Asking and answering questions, will be used for speaking as well as listening improvement.
【到達目標】	◇授業で扱う内容の予習と復習はしっかり行ってください。また、リスニング力アップのため練習をしてください。宿題はきちんと済ませ、単語の暗記もすること。ペアでの会話練習は積極的に参加すること。 The target of the course is to improve vocabulary, speaking skills and listening ability. The study and use of English should enable students to have more cross cultural understanding.

【履修条件・受講推奨者】	Attendance and active participation are required. Completion of assignments and a passing grade on exams is also required. Students are expected to cooperate with each other by practicing together. ◇授業で行う活動に積極的に参加すること(とくに会話練習)。会話練習やその他授業で行う活動についていけるよう、出席は必須です。								
【教育方法】	The methods used will be explanation, comprehension check, verbal questions, written exercises and confirmation of answers, checking pronunciation, review and testing.								
【指定教科書・参考資料等】	Side by Side Extra. Book and eText 1. International edition. Steven J. Molinsky and Bill Bliss Pearson Education Inc.								
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力		突破力		忍耐力		
	協働力	○	主張力	○	創造力	○			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合						評価方法		
	Attendance					20%			
	Active participation in conversation and listening exercises.					20%			
	Exams and assignments					60%			
	合計					100%			
【その他の注意事項】	Students should refrain from using smartphones during class. The textbook is necessary for conversation practice and exercises and should always be brought to class. Misc. prints will be distributed for additional practice. These should be brought to class.								
	週	テーマ	学習内容						
	No1	Class Intro.	Explanation of class procedures. Self introductions or giving some personal information.						
		Unit 1 Text: To Be	Text: Personal Information. Meeting People. Conversation practice.						
		予習内容(時間)						分	
		復習内容(時間)	Students should review all material after every class and practice as much as possible.					60	分
	No2	Text Unit 2	Classroom Objects. Rooms in the Home. Cities and Nationalities. Places around Town. .To Be + Location. Subject Pronouns						
		予習内容(時間)	Students should review previous lesson before class					60	分
		復習内容(時間)	Review Lesson 2 content and practice.					60	分
	No3	Continue Unit 2 Begin Unit 3	Continue Unit 2. Give additional exercises. Conversations and listen exercises. Begin Present Continuous tense. Everyday Activities.						
		予習内容(時間)	Review and do exercises if assigned.					60	分
		復習内容(時間)	Review material before next class.					60	分
	No4	Continue Unit 3	Continue present continuous tense. Everyday activities. Give additional supplementary exercises.						
		予習内容(時間)	Review and practice					60	分
		復習内容(時間)	Review before next class					60	分
	No5	Unit 4	To be: short answers and possessive adjectives. Everyday activities. Conversation practice and listening exercises.						
予習内容(時間)		Review and practice. Do assignments.					60	分	

【授業計画】

		復習内容(時間)	Review before next class	60	分
No6		Unit 4 cont.	Finish Unit 4		
		Review 1-4	Review Units 1-4 for Midterm Exam		
		予習内容(時間)	Review and practice	60	分
		復習内容(時間)	Review before next class	60	分
No7		Midterm Exam	Midterm Exam : Includes both written and listening sections.		
		予習内容(時間)	Review test questions	60	分
		復習内容(時間)	Review units 1-4 and exercises	60	分
No8		Unit 5	Yes/No questions, short answers, adjectives. possessive nouns. Describing people and things and weather.		
		予習内容(時間)	Review content of lesson and exercises.	60	分
		復習内容(時間)	Review and prepare for next class	60	分
No9		Continue Unit 5 Begin Unit 6	Review Unit 5 Review present continuous tense. Review prepositions of location. Talk about Family members. Describe activities and events.		
		予習内容(時間)	Review and practice	60	分
		復習内容(時間)	Review before class	60	分
No10		Continue Unit 6 Begin Unit 7	Prepositions.. There is/there are. Places around town. Locating places. Describing neighborhoods. Describing apartments.		
		予習内容(時間)	Review and practice	60	分
		復習内容(時間)	Review before next class.	60	分
No11		Continue Unit 7	Continue Unit 7. Do supplementary materials and exercises.		
		予習内容(時間)	Review and practice	60	分
		復習内容(時間)	Review for next class	60	分
No12		Unit 8	Singular/plural. Adjectives. This/that/these/those. Conversation practice. Listening exercises.		
		予習内容(時間)	Review and practice	60	分
		復習内容(時間)	Prep	60	分
No13		Continue Unit 8	Finish text material. Do exercises. Review assignments. Listening practice.		
		Review U. 5-8	Review Units 5-8 for final exam.		
		予習内容(時間)	Review	90	分
		復習内容(時間)	Prep	60	分
No14		Final Exam	Final exam on Units 5-8		
		予習内容(時間)	Review Units 5-8	90	分
		復習内容(時間)	Review test.	60	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英会話 I BE-I
講義名(英字)	English Conversation I
担当教員	渡邊 きみ代
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	日常生活におけるコミュニケーションに必要な表現を身に着けることを目標とします。英会話に必要な基礎的な英語力を育てるために語彙、文法、英作文なども学びます。海外の文化、習慣なども知り、楽しんで知識を広げ、役立つ英語を身につけましょう。
【到達目標】	単語、文法の習得 リスニング能力を習得 自然な会話、プレゼンテーションの能力を習得
【履修条件・受	将来役に立つ英語を身につけたいと希望し、積極的に授業に参加すること

【講推奨受者】										
【教育方法】	英会話に必要な基礎的な英語力を鍛え、実用的な英語表現を身につけるためのトレーニングをする									
【指定教科書・参考資料等】	English First (Starter) 著者 Robert Hickling / Misato Usukura 金星堂 副教材としてプリント、CDなどを使用									
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力			
	協働力	○	主張力		創造力	○				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法							
	語彙、文法、表現、知識の習得	30%	語彙、文法、表現、知識については期末試験で評価する。応用力については、中間、期末の2回、また授業内の会話練習などで評価する。授業内の積極性については随時評価する。							
	英語の応用力(プレゼンテーション、会話など)	50%								
	授業内の積極性	20%								
	合計	100%								
【その他の注意事項】	特になし									
	週	テーマ	学習内容							
	No1	Introduction	授業の進め方の説明、語彙をふやすためのクイズ、あいさつのしかた。							
		予習内容(時間)	テキストに目を通す	120	分					
		復習内容(時間)	学習内容を確認	120	分					
	No2	Unit1 It's Nice to Meet You	語彙をふやすためのクイズ、be動詞についての文法を学び、問題を解く。自己紹介文を書く。							
		予習内容(時間)	Unit 1に目を通す	120	分					
		復習内容(時間)	学習内容を確認	120	分					
	No3	Unit1 It's Nice to Meet You	語彙をふやすためのクイズ、be動詞を使った会話のリスニング、be動詞を使った文章を書き、会話をする。							
		予習内容(時間)	Unit 1に目を通す	120	分					
		復習内容(時間)	学習内容内容を確認	120	分					
	No4	Unit 2 Take a Hike	語彙をふやすためのクイズ、に一般動詞についての文法を学び、問題を解く。一般動詞を使った文章を書く。							
		予習内容(時間)	Unit 2に目を通す	120	分					
		復習内容(時間)	授業内容の確認	120	分					
	No5	Unit 2 Take a Hike	語彙をふやすためのクイズ、一般動詞を使った会話のリスニング、一般動詞を使った文章を書き、会話をする。							
		予習内容(時間)	Unit 2に目を通す	120	分					
		復習内容(時間)	授業内容の確認	120	分					
	No6	Unit 3 Don't Wear Your High Heels	語彙をふやすためのクイズ、代名詞についての文法を学び、問題を解く。代名詞を使った文章を書く。							
		予習内容(時間)	Unit 3に目を通す	120	分					
		復習内容(時間)	授業内容の確認	120	分					
	No7	Unit 3 Don't Wear Your High Heels	語彙をふやすためのクイズ、代名詞を使った会話のリスニング、Unit1,Unit2,Unit3で学習したことを使った会話文を作成。ペアワークで練習する。次週会話テスト。							

【授業計画】		予習内容(時間)	Unit 3に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	学習内容を確認	120	分
	No8	英会話テスト	Unit1, Unit2, Unit3で学習したことを応用する会話テスト。		
		予習内容(時間)	会話文を練習する	120	分
		復習内容(時間)	Unit1, Unit2, Unit3で学習したことを確認	120	分
	No9	Unit 4 There's Nothing in My Backpack	語彙をふやすためのクイズ、場所を表す前置詞についての文法を学び、問題を解く。場所を表す前置詞を使った文章を書く。		
		予習内容(時間)	Unit4に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	学習内容を確認	120	分
	No10	Unit 4 There's Nothing in My Backpack	語彙をふやすためのクイズ、場所を表す前置詞を使った会話のリスニング、場所を表す前置詞をつかった会話をペアワークで。		
		予習内容(時間)	Unit 4に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	学習内容を確認	120	分
	No11	Unit5 What a Small World!	語彙をふやすためのクイズ、Yes,Noで答える疑問文についての文法を学び、問題を解く。Yes,Noで答える疑問文を使った文章を書く。		
		予習内容(時間)	Unit5に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	学習内容を確認	120	分
	No12	Unit5 What a Small World!	語彙をふやすためのクイズ、場所を表す前置詞を使った会話のリスニング、場所を表す前置詞をつかった会話をペアワークで練習する。		
		予習内容(時間)	Unit5に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	学習内容を確認	120	分
	No13	総復習	Unit1～5の学習内容(テキスト、プリントなど)を総復習。ペアを作り、Unit4, Unit5で学習したことを応用する会話文を作り、練習する。		
		予習内容(時間)	春学期に学習したことを総復習	120	分
		復習内容(時間)	Unit4, Unit5の学習内容を確認して会話テストに備える	120	分
	No14	英会話テスト	英会話テスト及びUnit1～Unit5, 学習した語、表現、英文などについての総復習。		
		予習内容(時間)	Unit1～Unit5, 学習した語、表現、英文などについての確認	120	分
		復習内容(時間)	総復習して期末試験に備える	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英会話 I S-A
講義名(英字)	English Conversation I
担当教員	木村 直樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	英会話の基本を学ぶこと、そして必要な語彙を習得することを通じて、自信を持って自分を英語で発信できるようになることを目標とします。様々な状況を想定しながらリスニングとスピーキングの練習を重ね、簡潔な英文表現の作り方や目的をばったリスニングのストラテジーを学習します。
【到達目標】	基本的な英語表現を身に付ける。 相手の意図を理解し、簡単な英語表現で応答できるようになる。 会話の鍵となる単語や語句を聞き取り、書いて表現できるようになる。
【履修条件・受】	条件はありません。

【講推奨受者】										
【教育方法】	テキストに沿って英会話表現の意味を理解し、ペアワークやグループワークでその表現を使ってみたり、教員との会話のやり取りを英語で完成させたりすることで、様々な表現を身に付ける。									
【指定教科書・参考資料等】	Herman Bertelen(著) Take It Easy! Second Edition. Cengage Learning									
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力		突破力	○	忍耐力			
	協働力	○	主張力	○	創造力					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法							
	到達度確認評価テスト	70%	達成度確認に加え、授業内の積極性やリスニングの正確性をその都度教員が判定して評価する。							
	授業中の会話ワークでの積極性	15%								
	リスニング課題	15%								
	合計	100%								
【その他の注意事項】	授業の特性上、指定の期日までに教科書を用意できなかった者は、その時点で自動的に達成度評価テストの受験資格を失う。									
【授業計画】	週	テーマ	学習内容							
	No1	初回ガイダンス	講義内容や評価方法の説明、レベルチェック課題							
		予習内容(時間)	自己紹介を英語でできるようにしておく						120	分
		復習内容(時間)	レベルチェック問題の復習						120	分
	No2	Meeting and Greeting	あいさつの仕方を学ぶ							
		予習内容(時間)	様々な文化圏(英語圏)のあいさつのバリエーションをリサーチ						120	分
		復習内容(時間)	あいさつ表現使い分け復習						120	分
	No3	Hesitating	相手の意図がよくわからなかった際の言い回しを学ぶ							
		予習内容(時間)	様々なメディアで「聞き返し」の表現を調べておく						120	分
		復習内容(時間)	聞き返し表現復習						120	分
	No4	Present / Past Tense	時制を使った出来事の描写法を学ぶ							
		予習内容(時間)	現在時制と過去時制の形について事前リサーチ						120	分
		復習内容(時間)	自分が昨日やったことと今日やることを表してみる						120	分
	No5	Frequency / Talk about News	頻度の表し方や“How”を使った表現を学ぶ							
		予習内容(時間)	頻度の語句を洗い出しておく						120	分
		復習内容(時間)	頻度の表現復習						120	分
	No6	Making Plans / Invitation	外出先で人に会った際、相手を何かに誘う表現を学ぶ							
		予習内容(時間)	招待の英語表現を調べておく						120	分
		復習内容(時間)	計画を立てる表現類復習						120	分
No7	Talk about Activities	身の周りのアクティビティーについて説明する表現を学ぶ								
	予習内容(時間)	自分の好きなことについて説明できるようにしておく						120	分	
	復習内容(時間)	アクティビティー表現復習						120	分	
	Likes and Dislikes	英語で好き嫌いを表せるようになる								

	No8	予習内容(時間)	好きなこと、嫌いなことの度合いを表す表現をリストアップ	120	分
		復習内容(時間)	嫌いなことについて表す表現類復習	120	分
	No9	Polite Expressions	丁寧な言い回しで依頼する表現、レストランで注文する際の表現を学ぶ		
		予習内容(時間)	欧米の食文化についてリサーチ	120	分
		復習内容(時間)	レストランでの注文の仕方復習	120	分
	No10	Future Tense	これから先の予定を確認したり、質問したりする		
		予習内容(時間)	助動詞willの使い方について調べておく	120	分
		復習内容(時間)	近い将来のことを表す表現復習	120	分
	No11	Agree or Disagree	賛成・反対の意見を表明できるようになる		
		予習内容(時間)	答えの明確でないトピックについて考えておく	120	分
		復習内容(時間)	自分の立場を明確にする表現復習	120	分
	No12	Asking for Directions	旅行先での道の尋ね方を学ぶ		
		予習内容(時間)	旅行に行ってみたい場所を調べて決めておく	120	分
		復習内容(時間)	迷子になった際の表現復習	120	分
	No13	Ending Conversations	お礼の述べ方、会話の締めくり方を学ぶ		
		予習内容(時間)	母国語で会話を負える際にどうしているかを考えてみる	120	分
		復習内容(時間)	会話を終える表現復習	120	分
	No14	Describing Places	旅先の様子を人に説明できるようになる		
		予習内容(時間)	思い出深い場所の様子を説明できるようにしておく	120	分
		復習内容(時間)	場所の描写説明復習	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英会話 I BE-K
講義名(英字)	English Conversation I
担当教員	木村 直樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この講座では、英語のミステリードラマを見ながら、高校までに習ってきた単語や文法が実際にどのように使われるのかを学びます。これまで何年も英語を勉強してきたにもかかわらず、単語を文法的にどうつなげて、どのように言いたいことを表すのかがよくわからない、という人は、少なからずいると思います。そこで、まずは比較的優しいレベルの英文や構文を使って基礎を復習しながら、主にリスニングとスピーキングの2つの側面に焦点を当てることにします。また、ドラマで実際に登場人物が話すシーンを見ながら、英語圏の日常生活で起こりやすい状況で使える英会話表現を学びます。
【到達目標】	英語コミュニケーションに必要な構文、文法知識を身につける。 会話の流れを聞いて理解し、適切な表現で応答できるようになる。 学んだ表現を応用して会話を組み立てることができるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	特にありません。																									
【教育方法】	リスニングや、スピーキングのロールプレイ、日常会話表現などを、ドラマの動画を見ながら学習します。																									
【指定教科書・参考資料等】	Asari, A., Kanno, S., Kubo, T., & Sato, R. (2021) Olive Green: Learning English through a Mystery Drama. Asahi Press.																									
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力			
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○																			
協働力	○	主張力	○	創造力																						
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法																					
	到達度評価試験		70%		授業中の課題への取り組み、および到達度評価試験																					
	リスニング		15%																							
	適切な英会話表現を作る		15%																							
	合計		100%																							
【その他の注意事項】	授業の特性上、指定期日までにテキストを用意できない学生は、その時点で自動的に達成度評価テストの受験資格を失う。																									
【授業計画】	週	テーマ			学習内容																					
	No1	初回ガイダンス			講義内容や評価方法の説明、レベルチェック問題																					
		予習内容(時間)			高校までの基本的な英会話表現に触れておく				120	分																
		復習内容(時間)			レベルチェック問題の復習				120	分																
	No2	Chapter1: Job Offer			会話で使われるbe動詞																					
		予習内容(時間)			be動詞の変化形について				120	分																
		復習内容(時間)			動画内の新出表現の復習				120	分																
	No3	Chapter1: Job Offer			Yes/Noで答える疑問文とbe動詞の組み合わせ																					
		予習内容(時間)			一般動詞とbe動詞の区別				120	分																
		復習内容(時間)			各種文法問題の復習				120	分																
	No4	Chapter2: The Murrays			指示詞の用法について学ぶ																					
		予習内容(時間)			高校までに習ったthisやthatの使い方				120	分																
		復習内容(時間)			各種文法問題の復習				120	分																
	No5	Chapter2: The Murrays			have gotを使った特殊所有表現																					
		予習内容(時間)			指示詞を使った疑問文の作り方				120	分																
		復習内容(時間)			各種文法問題の復習				120	分																
	No6	Chapter3: Old Berry's Best B&B			一般動詞の現在形の用法																					
		予習内容(時間)			現在形の内容について				120	分																
		復習内容(時間)			各種文法問題の復習				120	分																
	No7	Chapter3: Old Berry's Best B&B			宿泊予約、食事で使う英会話表現																					
予習内容(時間)			「～したい」を表す英語表現について				120	分																		
復習内容(時間)			各種文法問題の復習				120	分																		
	Chapter4: Homemade Soup and Wine			現在形を用いた疑問文とその返答の仕方																						

	No8	予習内容(時間)	3人称単数現在の-sが使われる環境	120	分
		復習内容(時間)	各種文法問題の復習	120	分
	No9	Chapter4: Homemade Soup and Wine	WH語句を使った疑問文の作り方		
		予習内容(時間)	英語で質問をするにはどうすればよいか	120	分
		復習内容(時間)	各種文法問題の復習	120	分
	No10	Chapter5: Jogging	Thereを用いた「存在」を表す表現の作り方		
		予習内容(時間)	英語でthereを使った英文を考える	120	分
		復習内容(時間)	各種文法問題の復習	120	分
	No11	Chapter5: Jogging	Thereを用いた疑問文と、単数主語・複数主語の使い分け、動詞の語形変化		
		予習内容(時間)	複数主語と単数主語に対応するbe動詞の形	120	分
		復習内容(時間)	各種文法問題の復習	120	分
	No12	Chapter6: In the Pub	一般動詞の過去形、英語の過去形が持つイメージの理解		
		予習内容(時間)	規則変化と不規則変化形の違い	120	分
		復習内容(時間)	各種文法問題の復習	120	分
	No13	Chapter6: In the Pub	過去形を用いた疑問文の作り方とその応答の仕方		
		予習内容(時間)	WH代名詞と過去形の組み合わせ方	120	分
		復習内容(時間)	各種文法問題の復習	120	分
	No14	Chapter7: Review1	6章までの内容の確認と総括		
		予習内容(時間)	過去形と現在形をthere構文と組み合わせる	120	分
		復習内容(時間)	6章までの会話表現総復習	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英語 I BE-A
講義名(英字)	English Reading & Writing(Basics) I
担当教員	阿部 牧子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この授業では、350語の題材を、なるべく日本語を介さず読み進める練習をします。わからない単語は文脈からの推測を試みます。それでも意味がわからない場合は、必ず辞書で確認することが大切です。ライティングは、文構造、基本的文法事項を理解し、理解を定着させるための練習問題をくり返します。また、音読にも時間をかけて、正確に読む練習をする予定です。
【到達目標】	350語の読み物の主旨、大意を把握できる 本文で取り上げられたトピックについて意見交換をし、相手の意見を理解できる

	英文の基本的な構造（語順）、品詞、時制などについて理解できる						
【履修条件・受講推奨者】	英語Ⅰは英語初学者向けではありません。基礎力があり、さらに英語力を伸ばしたい学生が履修してください。						
【教育方法】	グループディスカッションを取り入れます。他人の意見を聞くことによって自身の価値観を問い直す機会ととらえてください。						
【指定教科書・参考資料等】	Reading for Speed and Fluency 4 (Second Edition) 著者:Paul Nation, Marcus Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel 出版社:Compass Publishing						
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力		
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合		評価方法				
	筆記試験	30%	提出物については第1回授業で説明します。提出物が100%できていても、筆記試験の素点が30点に満たない場合は単位修得できないことがあります。				
	レポート・提出物	30%					
	授業での発言など授業中の取り組み	40%					
	合計	100%					
【その他の注意事項】	遅刻2回で欠席1回とします。出席回数が10回に満たない場合、評価の対象外になることがありますので注意してください。シラバスの内容・順番は、受講生の習熟度などにより変更することがあります。						
	週	テーマ	学習内容				
	No1	ガイダンス プリント教材	どのように授業を進めていくか説明する 第1回は登録変更ができるので、教科書ではなくプリント教材で授業する				
		予習内容(時間)	英語での自己紹介を考えておいてください			60	分
		復習内容(時間)	プリント教材で理解できなかったところを調べる			60	分
	No2	プリント教材の続き 自己紹介	プリント教材を終える クラス全体に向けて、英語で自己紹介をする				
		予習内容(時間)	プリント教材で訳せないところを調べる			60	分
		復習内容(時間)	プリント教材で理解できなかったところを調べる			60	分
	No3	Chapter 7 Health and Medicine	健康に関する英文を読む 語彙の理解 ペア/グループディスカッション What do you think is the best way to keep fit and healthy?				
		予習内容(時間)	教科書本文の大意を理解する。未知語の意味を調べるなど			60	分
		復習内容(時間)	授業で理解不足だったところを復習する			60	分
	No4	Chapter 7 Health and Medicine	健康に関する英文についてのまとめ				
		予習内容(時間)	同上			65	分
		復習内容(時間)	同上			60	分
	No5	Chapter 7 Health and Medicine	医療に関しての英文を読む 語彙の理解 How are new medicines tested?				
		予習内容(時間)	同上			60	分
		復習内容(時間)	同上			60	分
		Chapter 7 Health and Medicine	医療に関する英文についてのまとめ				

【授業計画】

No6	予習内容(時間)	同上	60	分
	復習内容(時間)	同上	60	分
No7	Chapter 7 Health and Medicine	感染症についての英文を読む 語彙を理解する グループディスカッション How can we fight this common illness? What are some other ways to avoid getting the flu?		
	予習内容(時間)	同上	60	分
	復習内容(時間)	同上	60	分
No8	Chapter 7 Health and Medicine	感染症に関する英文についてのまとめ		
	予習内容(時間)	同上	60	分
	復習内容(時間)	同上	60	分
No9	語彙テスト	前週までの語彙の知識を問う		
	予習内容(時間)	語彙テストの準備をする	60	分
	復習内容(時間)	語彙テストの振り返りをする	60	分
No10	Chapter 6 Business	Saving Moneyを読む 語彙を理解する How can we save money? グループワーク		
	予習内容(時間)	教科書本文の大意を理解する。未知語の意味を調べるなど	60	分
	復習内容(時間)	授業で理解不足だったところを復習する	60	分
No11	Chapter 6 Business	Saving Money まとめ Free marketsを読む 語彙の理解 What are the pros and cons of a free market economy? グループワーク		
	予習内容(時間)	同上	60	分
	復習内容(時間)	同上	60	分
No12	Chapter 6 Business Chapter 1 Nature	Free Markets まとめ Global Warming を読む 語彙の理解 What is causing the earth to get warmer? グループワーク		
	予習内容(時間)	同上	60	分
	復習内容(時間)	同上	60	分
No13	Chapter 1 Nature	Global warming まとめ 今までの授業内容の総復習をする		
	予習内容(時間)	同上	60	分
	復習内容(時間)	同上	60	分
No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する		
	予習内容(時間)	テストの準備をする	60	分
	復習内容(時間)	テストの振り返りをする	60	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	英語Ⅲ BE-A
講義名(英字)	English Reading & Writing (Intermediate) III
担当教員	阿部 牧子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	今年度の英語Ⅲは「英語を書くこと」にもじっくり取り組む予定です。短くても正確な英文を作る練習を積み重ね、最終的にはある程度の長さのパラグラフが書けることを目指します。「英語を読む」教材には英字新聞など時事的なものも取り入れていく予定です。音読も英語Ⅰ・Ⅱに引き続き、繰り返し練習します。
【到達目標】	英文を読むために必要な文法、単語についての知識を習得する なめらかに読む。相手に伝わる英語発音を習得する

	単純な内容であれば、論理的な短い英文で表現できる											
【履修条件・受講推奨者】	英語に対する学習意欲があり、課題(ホームワーク)に取り組むことを優先できる学生 ペア・グループワークに意欲的に取り組める学生											
【教育方法】	グループワークによってコミュニケーション能力を身につけていくようにする											
【指定教科書・参考資料等】	第1回授業で説明します。 参考図書: What's That You Say? 著者: Jono David 出版社: Nan'un-do Impact Issues 2 著者: Richard R. Day, Joseph Shaules, Junko Yamanaka											
【実務IQ修得目標】	自制力			思考力		○	突破力			忍耐力		
	協働力		○	主張力		○	創造力		○			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法							
	筆記試験		30		提出物が100%できていても、筆記試験の素点が30点未満(100点満点中)の場合は単位修得できないことがあります。							
	授業での発言(ペア・グループワークを含む)		40									
	提出物		30									
	合計		100%									
【その他の注意事項】	遅刻2回で欠席1回とします。シラパスの内容は、受講生の習熟度によって変更することがあります。											
	週	テーマ				学習内容						
	No1	The Last Chance for a First Impression 自己紹介				Vocabulary Comprehension Question 自己紹介を英文で作成する						
		予習内容(時間)				自己紹介できるよう準備				60	分	
		復習内容(時間)				授業で学習した内容の復習				60	分	
	No2	自己紹介 The Last Chance for a First Impression				自己紹介文の発表						
		予習内容(時間)				自己紹介発表の準備をする				60	分	
		復習内容(時間)				自己紹介について振り返りをする				60	分	
	No3	The Last Chance for a First Impression				プリント教材(教員が準備する)のQuestionに答えながら、内容を理解する						
		予習内容(時間)				プリント教材を学習する				60	分	
		復習内容(時間)				授業で学習した内容の復習				60	分	
	No4	時事問題を読む(感染症など)				教材は教員が準備します 語彙の意味を確認する 既知語については英文を作る練習						
		予習内容(時間)				未知語の意味を調べる				60	分	
		復習内容(時間)				授業で学習した内容の復習				60	分	
	No5	要約する				教材のreadingを読み、キーワードを見つけてそれを使って英文をつくる練習をする						
		予習内容(時間)				指示されたreadingを読む 未知語を調べる				60	分	
		復習内容(時間)				授業で学習した内容の復習				60	分	

【授業計画】		Discussion	指示された質問に対する自分の考えを英文で表現する。グループでshareする		
	No6	予習内容(時間)	指示された質問について自分の考えをまとめる	60	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習	60	分
	No7	語彙テスト	今までの授業で取り上げた語彙を使った英文を作る 意図した文意が適切に表現できているか確認する		
		予習内容(時間)	語彙テストの準備	60	分
		復習内容(時間)	語彙テストの復習	60	分
	No8	英字新聞を読む	教材は教員が準備します。		
		予習内容(時間)	教材に目を通し、未知語の意味を調べる	60	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習	60	分
	No9	助動詞の使い方について	教員が準備する教材を読む		
		予習内容(時間)	教材に目を通し、未知語の意味を調べる	60	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習	60	分
	No10	Government Control (プリント教材)	プリント教材(教員が準備する)のQuestionに答えながら、内容を理解する		
		予習内容(時間)	プリント教材に目を通し、未知語を調べるなど	60	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習	60	分
	No11	Government Control	ペアでテーマについて考える Ask and answer the questions. グループエクステンジ Ask for their opinions		
		予習内容(時間)	与えられたテーマについて考えをまとめるなど	60	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習	60	分
	No12	Present Your Ideas 発表原稿を書く	インターネット検索や機械翻訳を利用して、ある程度長さのある文章を書く		
		予習内容(時間)	発表原稿の下書きを書く	60	分
		復習内容(時間)	発表原稿を清書する	60	分
	No13	プレゼンテーション	グループあるいはクラス全体に向け、自分の考えを述べる。		
		予習内容(時間)	発表の練習など	60	分
		復習内容(時間)	発表の振り返りなど	30	分
	No14	How to make use of Google翻訳 effectively	機械翻訳を使って演習を行います		
		予習内容(時間)	本試験の準備など	90	分
		復習内容(時間)	本試験の準備	60	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	TOEIC I BE-A
講義名(英字)	TOEIC I
担当教員	伊藤 満里
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この授業は、TOEIC Listening & Reading テストを将来受験したいと考えている学生や、英語によるコミュニケーション力を伸ばしたいと考えている学生を対象とします。 授業では、そのために必要な英語運用能力を伸ばすために、基本的な重要語句の学習と聴き取り、読解や文法の練習問題に取り組みます。
【到達目標】	語彙力を身につけること 基本的な文法事項を学習すること

	読解力を身につけること												
【履修条件・受講推奨者】	演習授業になるので、欠席をしないこと。 指定された演習問題について、語彙の意味を調べることをしながら各自解答を準備すること。												
【教育方法】	出題形式や内容についての理解を深められるよう、TOEIC Test と同形式のテキストを使用する。 授業では解説を行うので、各自提出した解答をもとに、確認、見直しを行なう。分からないことは質問する。 語彙や語法がわからない状態で直観的に解答しても学習効果が低いので、積極的に辞書や文法書などを用い論理的に考えることを推奨する。												
【指定教科書・参考資料等】	Score Booster For The TOEIC L&R Test: Beginner 早川幸治・岸洋一 著 金星堂												
【実務IQ修得目標】	自制力			思考力		○	突破力		○	忍耐力		○	
	協働力			主張力		○	創造力						
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法										
	本試験		50%		4回以上欠席した者は成績評価の対象外とし、遅刻・早退は3回につき欠席1回。テキスト忘れ、辞書忘れ3回につき欠席1回とする。								
	確認テスト・単語テスト		40%										
	授業参加度(発言回数など)		10%										
	合計		100%										
【その他の注意事項】	◇指定されたテキストを初回の授業までに購入すること。 ◇辞書を持参すること(電子辞書可)。 ◇受講生の英語レベルによって、授業計画が一部変更される場合があり、その場合その旨を授業内で提示する。												
	週	テーマ		学習内容									
	No1	オリエンテーション		TOEICテスト概要、テキスト紹介、評価方法、学習方法									
		予習内容(時間)		テキスト購入、授業について質問を考えておく								120	分
		復習内容(時間)		本授業で学びたいこと、半年後の目標をノートにまとめておく。テキストUnit 1の予習								120	分
	No2	Unit 1 Travel		品詞①: 名詞(単数形・複数形)									
		予習内容(時間)		テキストUnit 1の問題を解く、分からない単語は調べる。								120	分
		復習内容(時間)		間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。								120	分
	No3	Unit 1 Travel		リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング									
		予習内容(時間)		Unit1の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。								120	分
		復習内容(時間)		間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。								120	分
	No4	Unit 2 Dining Out		品詞②: 形容詞(名詞修飾、補語) 確認テスト(Unit 1)									
		予習内容(時間)		テキストUnit 2の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。								120	分
		復習内容(時間)		間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。								120	分
	No5	Unit 2 Dining Out		リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング									
		予習内容(時間)		Unit2の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。								120	分
		復習内容(時間)		間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。								120	分
	No6	Unit 3 Shopping		品詞③: 副詞(動詞修飾) 確認テスト(Unit 2)									
		予習内容(時間)		テキストUnit 3の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。								120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No7	Unit 3 Shopping	リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング		
		予習内容(時間)	Unit3の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No8	Unit 4 Entertainment	時制(現在・過去・未来) 確認テスト(Unit 3)		
		予習内容(時間)	テキストUnit 4の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No9	Unit 4 Entertainment	リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング		
		予習内容(時間)	Unit4の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No10	Unit 5 Advertising	3単現のS 確認テスト(Unit 4)		
		予習内容(時間)	テキストUnit 5の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No11	Unit 5 Advertising	リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング		
		予習内容(時間)	Unit5の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No12	Unit 6 Events	能動態・受動態 確認テスト(Unit 5)		
		予習内容(時間)	テキストUnit 6の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No13	Unit 6 Events	リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング 単語テスト(Unit1-6)		
		予習内容(時間)	Unit 1-6の単語を覚え、テキストを総復習する。	120	分
		復習内容(時間)	Unit 1-6の単語の復習とテキストを総復習する。	120	分
	No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する		
		予習内容(時間)	Unit1-6の単語と文法を総復習する。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習する。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	TOEIC I BE-B
講義名(英字)	TOEIC I
担当教員	矢戸 カール
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	This course is an introduction to TOEIC which a popular and most common test used within the business community to measure a person's English skills. The class will mostly focus on listening and learning new vocabularies.
【到達目標】	One of the surest ways to develop a person's listening skill is dictation which is writing down on paper everything that is being played on CD. Also, shadowing which is to read out loud with the speaker on the CD at the same speed and intonation.

	Introduction of new vocabularies which will help increase student's TOEIC scores.							
【履修条件・受講推奨者】	Elective Class							
【教育方法】	One of the effective listening skill is doing dictation drills and it will be used throughout the class.							
【指定教科書・参考資料等】	Longman Preparation Series for the TOEIC Test, Introductory Course 6th Edition, by Lin Lougheed, Pearson Education							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法					
	Midterm and final examination	60	Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance.					
	Active class participation	30						
	Class attendance	10						
	合計	100%						
【その他の注意事項】	None							
	週	テーマ		学習内容				
	No1	Part 1, Photographs		Dictation drills for Photograph Section, Overview				
		予習内容(時間)		Dictation drills			120	分
		復習内容(時間)		Dictation drills			120	分
	No2	Part 1, Photographs and Vocabulary		Dictation drills for Photograph Section, Overview. Vocabulary exercise.				
		予習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
		復習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
	No3	Part 1, Photographs		Dictation drills for Photograph Section, Photos of People				
		予習内容(時間)		Dictation drills			120	分
		復習内容(時間)		Dictation drills			120	分
	No4	Part 1, Photographs and Vocabulary		Dictation drills for Photograph Section, Photos of People. Vocabulary exercise.				
		予習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
		復習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
	No5	Part 1, Photographs		Dictation drills for Photograph Section, Photos of Things.				
		予習内容(時間)		Dictation drills			120	分
		復習内容(時間)		Dictation drills			120	分
	No6	Part 1, Photographs and Vocabulary		Dictation drills for Photograph Section, Strategies. Vocabulary exercise.				
		予習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
		復習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
	No7	Midterm Examination		Midterm Examination Part 1, Photographs				
		予習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
復習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分		

【授業計画】	No8	Part 2, Question-Response and Vocabulary	Dictation drills for Question-Response Section, Identifying Time. Vocabulary exercise.		
		予習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
	No9	Part 2, Question-Response	Dictation drills for Question-Response Section, Identifying People.		
		予習内容(時間)	Dictation drills	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills	120	分
	No10	Part 2, Question-Response and Vocabulary	Dictation drills for Question-Response Section, Identifying an Opinion. Vocabulary exercise.		
		予習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
	No11	Part 2, Question-Response	Dictation drills for Question-Response Section, Identifying a Choice.		
		予習内容(時間)	Dictation drills	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills	120	分
	No12	Part 2, Question-Response and Vocabulary	Dictation drills for Question-Response Section, Identifying a Suggestion. Vocabulary exercise.		
		予習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
	No13	Part 2, Question-Response	Dictation drills for Question-Response Section, Identifying a Reason.		
		予習内容(時間)	Dictation drills	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills	120	分
	No14	Part 2, Question-Response	Dictation drills for Question-Response Section, Identifying a Reason.		
		予習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	フランス語 I BE-A
講義名(英字)	French I
担当教員	野口 恵子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	フランス語に慣れ親しむ。基礎的な語彙、表現、文法を学び、口頭および文章による自己紹介や、簡単な会話を行う。入門期の外国語学習は、耳、口、目、手、そして頭を使う、いわば全身運動である。テキストの本文は、初めてのバリ旅行で直面するであろう場面での会話が中心となっている。まずは、フランス語を繰り返して聞き、口に出して言ってみよう。
【到達目標】	基礎的なフランス語を聞いて理解する能力を身につける。 自己紹介をはじめ、身近な話題について話す能力を身につける。 簡単なフランス語で書かれた文を読んで理解する能力を身につける。 書き取り、短文作成から始め、身近な話題について文章で表現する能力を身につける。

【履修条件・受講推奨者】	とくになし。																																									
【教育方法】	教科書、プリント、板書等で学習項目を確認した上で、教員と受講者、受講者同士のフランス語によりやり取りを行う。適宜、聞き取り、音読等の小テストを実施する。																																									
【指定教科書・参考資料等】	瀬戸秀一・瀬戸和子(著)『街かどのフランス語(三訂版)』朝日出版社、2016年																																									
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力		主張力		創造力																												
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○																																			
協働力		主張力		創造力																																						
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th>評価方法</th></tr><tr><td>本試験(リスニング、および筆記)</td><td>50%</td><td rowspan="4">本試験の点数と、平常点(小テスト、宿題提出、授業への参加度)から判断する。</td></tr><tr><td>ディクテーション、音読テスト、宿題提出、授業への積極的参加</td><td>50%</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>	評価項目と割合		評価方法	本試験(リスニング、および筆記)	50%	本試験の点数と、平常点(小テスト、宿題提出、授業への参加度)から判断する。	ディクテーション、音読テスト、宿題提出、授業への積極的参加	50%			合計	100%																													
評価項目と割合		評価方法																																								
本試験(リスニング、および筆記)	50%	本試験の点数と、平常点(小テスト、宿題提出、授業への参加度)から判断する。																																								
ディクテーション、音読テスト、宿題提出、授業への積極的参加	50%																																									
合計	100%																																									
【その他の注意事項】	毎回出席し、授業に積極的に参加すること。																																									
	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th>学習内容</th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>アルファベ(Alphabet)。発音のポイント(母音字)。日本語になったフランス語。</td><td>アルファベを正しい発音で読む。自分の名前をローマ字で書いたものを、1文字ずつフランス語のアルファベで言ってみる。日本語になったフランス語の元の発音を確認する。「私は～です」とフランス語で名乗る。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの音源にアクセスし、アルファベの発音を確認する。120分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>アルファベの発音、フランス語に特有な音、習った単語の綴り字と発音を復習する。120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>簡単な挨拶の表現。発音のポイント(子音字)。数字。曜日。</td><td>人に会ったときの挨拶、人に何か頼むときの言い方、お礼の言い方、別れるときの挨拶、1から10までの数字と、曜日の言い方を学習する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。120分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>挨拶、数字、曜日を復習する。繰り返し発音を聞いて、すらすら言えるようにする。120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>場所を指す表現と物を指す表現。名詞の性と数。</td><td>Voici ～。(これが～です・ここに～があります。)、Voilà ～。(あれが～です・あそこに～があります。)、C'est ～。(これは・それは・あれは～です。)、名詞に男性名詞と女性名詞の区別があり、単数形と複数形があることを確認する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。120分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>習った文型、習った単語を確認し、発音練習する。120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>不定冠詞。テキスト1課本文前半部分。</td><td>「ある～、1つの～、いくつかの～」を表す不定冠詞 un, une, desを学ぶ。テキスト1課本文の前半部分の意味を理解し、音読の練習をする。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。120分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>不定冠詞の使い方を復習し、テキスト本文前半部分を繰り返し音読する。120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>原形が er で終わる規則動詞。主語となる人称代名詞。定冠詞。テキスト1課本文後半部分。</td><td>動詞 visiter をはじめとする、-er 型規則動詞を学び、Je visite Paris。(私はパリを訪れる。)と言えるようにする。visiter のほか、aimer(愛する・好きだ)、habiter(住む)を学習する。定冠詞を学び、J'aime le café。(私はコーヒーが好きです。)と言えるようにする。テキスト1課本文の後半部分を読む。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。120分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>最もよく使う人称代名詞 je(私は)とtu(あなたは)を完全に覚える。120分</td></tr><tr><td></td><td>不規則動詞 être(～である)の活用</td><td>Je suis japonais。(私は日本人男性です。)、Je suis japonaise。(私は日本人女性です。))などの言い方を学ぶ。自分の国籍や職業などを言い、相手にも尋ねる。</td></tr></table>	週	テーマ	学習内容	No1	アルファベ(Alphabet)。発音のポイント(母音字)。日本語になったフランス語。	アルファベを正しい発音で読む。自分の名前をローマ字で書いたものを、1文字ずつフランス語のアルファベで言ってみる。日本語になったフランス語の元の発音を確認する。「私は～です」とフランス語で名乗る。	予習内容(時間)	テキストの音源にアクセスし、アルファベの発音を確認する。120分	復習内容(時間)	アルファベの発音、フランス語に特有な音、習った単語の綴り字と発音を復習する。120分	No2	簡単な挨拶の表現。発音のポイント(子音字)。数字。曜日。	人に会ったときの挨拶、人に何か頼むときの言い方、お礼の言い方、別れるときの挨拶、1から10までの数字と、曜日の言い方を学習する。	予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。120分	復習内容(時間)	挨拶、数字、曜日を復習する。繰り返し発音を聞いて、すらすら言えるようにする。120分	No3	場所を指す表現と物を指す表現。名詞の性と数。	Voici ～。(これが～です・ここに～があります。)、Voilà ～。(あれが～です・あそこに～があります。)、C'est ～。(これは・それは・あれは～です。)、名詞に男性名詞と女性名詞の区別があり、単数形と複数形があることを確認する。	予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。120分	復習内容(時間)	習った文型、習った単語を確認し、発音練習する。120分	No4	不定冠詞。テキスト1課本文前半部分。	「ある～、1つの～、いくつかの～」を表す不定冠詞 un, une, desを学ぶ。テキスト1課本文の前半部分の意味を理解し、音読の練習をする。	予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。120分	復習内容(時間)	不定冠詞の使い方を復習し、テキスト本文前半部分を繰り返し音読する。120分	No5	原形が er で終わる規則動詞。主語となる人称代名詞。定冠詞。テキスト1課本文後半部分。	動詞 visiter をはじめとする、-er 型規則動詞を学び、Je visite Paris。(私はパリを訪れる。)と言えるようにする。visiter のほか、aimer(愛する・好きだ)、habiter(住む)を学習する。定冠詞を学び、J'aime le café。(私はコーヒーが好きです。)と言えるようにする。テキスト1課本文の後半部分を読む。	予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。120分	復習内容(時間)	最もよく使う人称代名詞 je(私は)とtu(あなたは)を完全に覚える。120分		不規則動詞 être(～である)の活用	Je suis japonais。(私は日本人男性です。)、Je suis japonaise。(私は日本人女性です。))などの言い方を学ぶ。自分の国籍や職業などを言い、相手にも尋ねる。
週	テーマ	学習内容																																								
No1	アルファベ(Alphabet)。発音のポイント(母音字)。日本語になったフランス語。	アルファベを正しい発音で読む。自分の名前をローマ字で書いたものを、1文字ずつフランス語のアルファベで言ってみる。日本語になったフランス語の元の発音を確認する。「私は～です」とフランス語で名乗る。																																								
	予習内容(時間)	テキストの音源にアクセスし、アルファベの発音を確認する。120分																																								
	復習内容(時間)	アルファベの発音、フランス語に特有な音、習った単語の綴り字と発音を復習する。120分																																								
No2	簡単な挨拶の表現。発音のポイント(子音字)。数字。曜日。	人に会ったときの挨拶、人に何か頼むときの言い方、お礼の言い方、別れるときの挨拶、1から10までの数字と、曜日の言い方を学習する。																																								
	予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。120分																																								
	復習内容(時間)	挨拶、数字、曜日を復習する。繰り返し発音を聞いて、すらすら言えるようにする。120分																																								
No3	場所を指す表現と物を指す表現。名詞の性と数。	Voici ～。(これが～です・ここに～があります。)、Voilà ～。(あれが～です・あそこに～があります。)、C'est ～。(これは・それは・あれは～です。)、名詞に男性名詞と女性名詞の区別があり、単数形と複数形があることを確認する。																																								
	予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。120分																																								
	復習内容(時間)	習った文型、習った単語を確認し、発音練習する。120分																																								
No4	不定冠詞。テキスト1課本文前半部分。	「ある～、1つの～、いくつかの～」を表す不定冠詞 un, une, desを学ぶ。テキスト1課本文の前半部分の意味を理解し、音読の練習をする。																																								
	予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。120分																																								
	復習内容(時間)	不定冠詞の使い方を復習し、テキスト本文前半部分を繰り返し音読する。120分																																								
No5	原形が er で終わる規則動詞。主語となる人称代名詞。定冠詞。テキスト1課本文後半部分。	動詞 visiter をはじめとする、-er 型規則動詞を学び、Je visite Paris。(私はパリを訪れる。)と言えるようにする。visiter のほか、aimer(愛する・好きだ)、habiter(住む)を学習する。定冠詞を学び、J'aime le café。(私はコーヒーが好きです。)と言えるようにする。テキスト1課本文の後半部分を読む。																																								
	予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。120分																																								
	復習内容(時間)	最もよく使う人称代名詞 je(私は)とtu(あなたは)を完全に覚える。120分																																								
	不規則動詞 être(～である)の活用	Je suis japonais。(私は日本人男性です。)、Je suis japonaise。(私は日本人女性です。))などの言い方を学ぶ。自分の国籍や職業などを言い、相手にも尋ねる。																																								

【授業計画】	No6	予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。	120	分
		復習内容(時間)	「私は学生です」「あなたはフランス人ですか」などを繰り返し復習する。	120	分
	No7	カフェで注文したり、タクシーで行き先を言ったりする時の表現。依頼の言い方。	カフェで飲み物や食べ物を注文する。Monsieur, Madame, Mademoiselle のいずれかを用いて従業員を呼び、ほしいものを言って、「お願いします」で結ぶ。タクシーで運転手に行き先を告げたり、駅の窓口でチケットを買ったりするときも同じ文型を使うことができる。		
		予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。	120	分
		復習内容(時間)	習った文型を使用して、飲み物や食べ物の名前、行きたい場所の名前を言う練習。	120	分
	No8	所有形容詞。テキスト2課本文(ホテル到着時の会話)	所有形容詞(私の・あなたの・彼の・彼女の、など)を学ぶ。「私のペン・私のカード・私の両親」の「私の」は、フランス語では順に、mon, ma, mes となることに注意する。テキスト2課本文を読む。		
		予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。	120	分
		復習内容(時間)	学習したことを繰り返し声に出して読み、書いてみる。	120	分
	No9	不規則動詞 avoir(持っている)の活用と表現	自分の持っているものを J'ai～ で表現する。「私はペンを1本持っている」「私には兄弟が2人いる」など。また、「私は暑い」「私は寒い」「私は眠い」「私は正しい」なども、J'ai～で表すことを学ぶ。		
		予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。	120	分
		復習内容(時間)	avoir(持っている)を使って表すことのできる様々な表現を復習する。	120	分
	No10	可能かどうか尋ねる表現。テキスト3課本文(ホテルのフロント係との会話)前半。	Est-ce que je peux ～を用いて、自分が～することが可能かどうか尋ねる。「ここで予約できますか」など。テキスト3課本文前半部分を読む。		
		予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。	120	分
		復習内容(時間)	テキストの本文を自分でも繰り返し発音してみる。	120	分
	No11	テキスト3課本文(ホテルのフロント係との会話)後半。人数を尋ねる表現。	人数を尋ねる Vous êtes combien?(あなたたちは何人ですか。)、および、返答 Nous sommes ～。(私たちは～人です。)数字11～20を覚える。		
		予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。	120	分
		復習内容(時間)	テキストの本文を聞き、自分でも繰り返し発音してみる。	120	分
	No12	場所・道を尋ねる表現。否定文。	Est-ce qu'il y a ～? を用いて、「(この近くに)～はありますか」と尋ねる。また、既習の Je suis étudiant.(私は学生です。)を否定する言い方(動詞を ne と pas で挟む)を学ぶ。		
		予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。	120	分
		復習内容(時間)	肯定、否定の言い方をすらすら言えるようにする。	120	分
	No13	不規則動詞 aller(行く)の活用。テキスト4課本文前半部分(銀行への行き方を尋ねる)。	動詞 aller の活用と使い方を学ぶ。4課本文後半部分を読む。		
		予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。	120	分
		復習内容(時間)	aller の活用を覚える。本文を繰り返し音読する。	120	分
	No14	命令の言い方。テキスト4課本文後半部分(銀行で両替する)。	命令形の作り方を学ぶ。命令形を用いて、道順を説明する。「まっすぐ行ってください」「二つ目の通りを左に曲がってください」など。テキスト本文後半部分を読む。		
		予習内容(時間)	学習予定箇所のテキストを見ながら、何度も音声聞く。	120	分
		復習内容(時間)	本文を繰り返し音読する。	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	フランス語 I BE-C
講義名(英字)	French I
担当教員	三富 祐子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	全く初めてフランス語を学ぶ者を対象にゼロから始め、初対面を想定しての自己紹介や好みなどを尋ね合うことができることを目指します。授業では、VTR(インターネットでアクセス可能)で自然な会話に触れ、文法理解と練習問題等を行った後、ペア・グループで実践的な会話の練習をします。各課終了後、ポイントをまとめたプリントを使用し充分復習します。「フランス語Ⅱ」と合わせて履修することで、仏検5級受験に必要な知識を得ることができるようにします。
	1. フランス語を読み、理解し、正しく発音できるようにする：授業中の音読、発話と学期末の口頭試験で評価。 フランス語特有の発音や、綴り字の読み方、イントネーションの付け方等、フランス人に意思が伝わるフランス語であるか否かを評価基準とする。

【到達目標】	2. フランス語を聞き、理解できるようにする：授業中の質問に対する回答と小テスト、学期末の口頭試験で評価。数字（値段・年齢等）の聞き取り、学習した基本的なフランス語を耳で聞いて理解し返答ができるか否かを評価基準とする。 3. 基本的な文法を理解し、語彙を覚える：授業中の設問に対する回答と、学期末の筆記試験で評価。基本的な（仏検5級程度）文法と語彙を理解し暗記できているかを評価基準とする。 4. フランス語でコミュニケーションをとる：授業中のペア練習への参加の積極性、学期末の口頭試験で評価。状況に即し、自然な流れで会話ができているか否かを評価基準とする。																										
【履修条件・受講推奨者】	フランス文化、フランス語など、フランスに興味がある、あるいは新しい言語に対する興味、学習意欲があること。																										
【教育方法】	VTR（インターネットでアクセス可能）で自然な会話に触れ、文法理解と練習問題等を行った後、ペア・グループで実践的な会話の練習をします。																										
【指定教科書・参考資料等】	カフェ・フランセ 著者：Nicolas Gaillard他 出版社：朝日出版社 テキストホームページ https://text.asahiress.com/text-web/france/cafe/francais/index.html																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td></td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力		突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力							
自制力		思考力		突破力		忍耐力	○																				
協働力	○	主張力	○	創造力																							
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="5">評価方法</th></tr><tr><td>筆記試験</td><td>60%</td><td colspan="5" rowspan="4">授業参加度：授業中の講師からの質問への返答、ペア練習の参加度、その他、授業態度全般から評価。 課題：3回程度の各課まとめ練習問題の提出をもって評価。</td></tr><tr><td>口頭試験</td><td>20%</td></tr><tr><td>授業参加度・課題提出</td><td>20</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法					筆記試験	60%	授業参加度：授業中の講師からの質問への返答、ペア練習の参加度、その他、授業態度全般から評価。 課題：3回程度の各課まとめ練習問題の提出をもって評価。					口頭試験	20%	授業参加度・課題提出	20	合計	100%
評価項目と割合		評価方法																									
筆記試験	60%	授業参加度：授業中の講師からの質問への返答、ペア練習の参加度、その他、授業態度全般から評価。 課題：3回程度の各課まとめ練習問題の提出をもって評価。																									
口頭試験	20%																										
授業参加度・課題提出	20																										
合計	100%																										
【その他の注意事項】	8割以上の出席と、口頭試験、筆記試験を受けることを前提とする。 全出席を心がけること。																										
	週	テーマ	学習内容																								
	No1	・授業形態・評価法・到達目標について ・フランスについて Lecon1 ・フランス語の発音 ・挨拶・名前を言う ・敬称	・アルファベ ・フランス語特有の発音 ・綴り字の読み方のきまり ・フランス語10単語を覚える ☆ 挨拶し、名前を言い合う																								
		予習内容(時間)	使用テキストのホームページにアクセスし、音声、映像を確認する。 https://text.asahiress.com/text-web/france/cafe/francais/index.html					120	分																		
		復習内容(時間)	コースパワーの授業資料添付「第1回授業」の見直し 挨拶し、名前を言えるようにする 10単語を覚える					120	分																		
	No2	Lecon 1 国籍・身分・出身を言う	・職業の男性形・女性形 ・不定冠詞 ☆ 国籍・身分・出身を尋ね合う																								
		予習内容(時間)	テキストHPで第1課の映像を見る					120	分																		
		復習内容(時間)	コースパワーの授業資料添付「第2回授業」の見直し 自分の国籍・職業・出身地を書き、言えるようにする					120	分																		
	No3	Lecon 1 ・元気かどうか尋ね合う ・Dialogue Lecon 2 ・住んでいる所を言う	・主語人称代名詞と動詞 etre ・国籍の男性形・女性形 ・数1～10 ・動詞 habiter 住む ・エリズイオン ☆ 住んでいる所を尋ね合う																								
		予習内容(時間)	テキストHPで第2課の映像を見る。					120	分																		

【授業計画】

		復習内容(時間)	コースパワーの授業資料添付「第3回授業」の見直し 1～10までを覚え、書けるようにする	120	分
	No4	Lecon 2 ・職業 ・Dialogue Lecon 3 ・ユーロ	・職業の男性形・女性形 ・不定冠詞 ・自己紹介文 ・リエゾン		
		予習内容(時間)	第2課 P11 I～Ⅲ の文法事項を確認する	120	分
		復習内容(時間)	コースパワーの授業資料添付「第4回授業」の見直し テキストHP音声 Lecon 3 No.31 を聞き、ユーロの発音を練習する	120	分
	No5	Lecon 3 ・カフェで注文する ・数11～20 ・値段を聞き取る	・不定冠詞 ・飲み物の名称 ・課題Ⅰ		
		予習内容(時間)	第3課 P.15 I～Ⅲの文法事項を確認する	120	分
		復習内容(時間)	コースパワーの授業資料添付「第5回授業」の見直し 数を20まで覚える カフェで注文できるようにする	120	分
	No6	Lecon 3 ・何語を話すか言う	・規則動詞の活用 parler「話す」 ・言語 ☆何語を話すか言う		
		予習内容(時間)	テキストHPで第3課の映像を見る	120	分
		復習内容(時間)	コースパワーの授業資料添付「第6回授業」の見直し 規則動詞の規則を覚える 何語を話すか言えるようにする	120	分
	No7	Lecon 3 ・私は～人ではない ・私は～語を話さない ・それは～でない ・Dialogue	・否定形 ・課題Ⅱ ☆ 国籍・言語について尋ね合う		
		予習内容(時間)	第7課の学習事項を確認する	120	分
		復習内容(時間)	コースパワーの授業資料添付「第7回授業」の見直し 否定形を覚える 話す言語を言えるようにする	120	分
	No8	Lecon 7 ・好みを尋ね合う ・何が好きか尋ね合う	・定冠詞 ・動詞 aimer 活用 ・好きの度合を表す表現 ☆ 好みについて尋ね合う		
		予習内容(時間)	HPで第7課の映像を見る	120	分
		復習内容(時間)	コースパワーの授業資料添付「第8回授業」の見直し 不定冠詞・定冠詞の違いを理解する 好みについて言えるようにする	120	分
	No9	Lecon 7 ・料理・音楽について好みを言う ・Dialogue ・Il y a ～がある	・食べ物の名称 ・音楽の種類 ・非人称構文 il y a「～がある」 ・名詞＋形容詞：形容詞の性数一致		
		予習内容(時間)	第7課 P.30 Ⅲの語彙を確認する 第4課 P.17 Iの語彙を確認する	120	分
		復習内容(時間)	コースパワーの授業資料添付「第9回授業」の見直し 音楽の好みについて尋ね合う	120	分
	No10	Lecon 4 ・身の回りの物 ・～を持っているか Lecon 7 ・スポーツについて好みを言う	・動詞 avoir 活用 「～を持っている」 「兄が一人います」 ・avoir の否定形 否定の de ☆ スポーツの好みについて尋ね合う		
		予習内容(時間)	HPで第4課の映像を見る	120	分

		復習内容(時間)	コースパワーの授業資料添付「第10回授業」の見直し 動詞 avoir の活用を覚える スポーツの好みを言えるようにする	120	分
	No11	Lecon 4 ・兄弟姉妹について言う ・Dialogue	・様々な動詞 ・課題Ⅲ		
		Lecon 7 ・週末は何をするのが好きか言う	☆ 週末何をするのが好きか尋ね合う		
		予習内容(時間)	HPで第4課映像、音声 No.34 を聞く	120	分
		復習内容(時間)	コースパワーの授業資料添付「第11回授業」の見直し 週末何をするのが好きか、兄弟姉妹について言えるようにする	120	分
	No12	Lecon 4 ・年齢の言い方 ・兄弟姉妹について、年齢、職業、好み等を言う	・疑問文 Est-ce que 「～ですか」 ・年齢の言い方 ☆ これまでの会話の復習		
		予習内容(時間)	口頭試験の為にこれまでの会話を見直す	120	分
		復習内容(時間)	コースパワーの授業資料添付「第12回授業」の見直し 年齢の言い方を復習する	120	分
	No13	口頭試験	挨拶・自己紹介・好みを尋ね合う		
		予習内容(時間)	本試験の為に、これまでの学習事項を見直す	120	分
		復習内容(時間)	口頭試験で指摘された点を見直す 課題Ⅰ～Ⅲの見直し	120	分
	No14	Lecon 1～4, 7 学習事項の復習	練習問題		
		予習内容(時間)	試験の為に準備	120	分
		復習内容(時間)	全ての学習事項の復習	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	中国語 I BE-A
講義名(英字)	Chinese I
担当教員	井上 良雄
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	日常会話の練習をします。初心者が対象ですから基礎知識は要りません。あまり文法的なことには深入りしないで、授業中はどんどん声を出して体で覚えてもらいます。 中国語の学習を通して、中国文化や中国人の生活習慣に親しみ、国際的な視野を広げてほしいと思います。「聞く」授業ではなく、「参加する」授業です。
	中国語の基本構造と発音の概要を理解する。自分の名前の中国語発音を調べ、発表し、互いに呼び合えるようにする。

【到達目標】	学生生活のさまざまな場面での会話を想定して対話練習をする。 1分間程度の自己紹介スピーチを披露する。							
【履修条件・受講推奨者】	中国語に興味と関心があり、積極的に授業に参加できる学生。							
【教育方法】	教科書に沿って解説を行い、発音の反復練習をする。一人ひとりの発音を指導・矯正し、発表する。各課に関連深いトピックスを【コラム】で紹介する。							
【指定教科書・参考資料等】	井上良雄(著)『中国語のチカラ』東京富士大学出版部、2013年							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法				
	自分の名前の中国語発音を調べ、発表する。		20%	平常点評価70%、自己紹介スピーチ試験評価30%である。欠席・遅刻は減点する。				
	授業中に指名し、聴解の正確性と積極的な参加意欲を評価。		50%					
	自己紹介スピーチ試験の完成度、パフォーマンスを評価。		30%					
	合計		100%					
【その他の注意事項】	座席は指定制です。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	中国語の概観	共通語、文字、文の組み立てを解説する。日本語や他の言語との違いを理解し、中国語を学ぶことの意義を理解する。					
		予習内容(時間)	教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。				120	分
		復習内容(時間)	中国語発音の暗唱。				120	分
	No2	発音について(1)	音節、母音、子音、声調、ピンインについて解説する。中国語の発音システムの基本を理解し、これからの語学学習の土台作りをする。					
		予習内容(時間)	教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。				120	分
		復習内容(時間)	中国語発音の暗唱。				120	分
	No3	発音について(2)	百までの数、あいさつ言葉、身体の名称、漢詩、名前、といった実際の単語、言葉の発音練習をする。中国語と日本語が語彙の面では多くの同意性があることを実感する。外国人(日本人を含む)の名前の中国語発音の仕組みを理解する。					
		予習内容(時間)	教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。				120	分
		復習内容(時間)	中国語発音の暗唱。				120	分
	No4	第一課 知人と出会った時のあいさつの仕方	通常のあいさつ、目上の人の場合のあいさつを学習し、敬称について学ぶ。人称代名詞を整理する。「はじめまして」、「しばらくです」の言い方を紹介する。					
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。				120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。				120	分
	No5	第二課 名前の聞き方、言い方	相手の年代による名前の聞き方の違い、苗字、下の名前、フルネームの聞き方、及び答え方を学ぶ。他の常用あいさつ言葉を練習する。中国と日本の苗字について紹介する。					
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。				120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。				120	分

【授業計画】

No6	自分の名前の中国語発音を発表	辞書等で、自分の名前の中国語発音、漢字の意味・用例を調べ、レポートを提出する。一人ひとり板書の上、発表し、クラス全体で発音を共有する。		
	予習内容(時間)	自分の名前の中国語発音を調べる。	120	分
	復習内容(時間)	自分の名前(苗字、フルネーム)の言い方の暗唱。	120	分
No7	第三課 家族の人数、家族構成	自分の家族の人数や家族構成を表現する。親族呼称・名称を発音練習する。 ”有”の文、数量の尋ね方、人や物を数える単位を学習する。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No8	第四課 学生生活	科目名、学校名、専門、学年の言い方を学び、学生生活を表現する。”的”の用法、”是”の文を学習する。中国の大学事情を紹介する。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No9	第五課 誕生日、年齢	月、日、曜日、西暦の言い方を学び、誕生日を表現する。世代別の年齢の聞き方、答え方を学習し対話練習をする。中国の少子高齢化について紹介する。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No10	第六課 場所の尋ね方、 答え方 ～に住んでいる	場所、国籍、住所地の言い方を学び、自分の現住所(仮設定)を発表する。 指示代名詞、場所や方向を示す言葉、r化を学習する。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No11	第七課 ～が出来る、出来ない	スポーツ、語学等が出来るという表現を学習し、一人ひとり発表する。”会”、”可以”、”能”の例文から、日本語と中国語の「～出来る」の表現方法の違いを理解する。「肯定 + 否定」の疑問文を学習する。 「ガンバレ！」の中国語表現を紹介する。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No12	第八課 自己紹介(前半)	自己紹介のモデルパターンを学習する。～生まれの～育ち、学んでいる学校名の言い方を練習する。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No13	第八課 自己紹介(後半)	自己紹介のモデルパターンを学習する。趣味の言い方、自己紹介の決まり文句、締め言葉の練習をする。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No14	自己紹介の実践 (試験準備対策)	各人が作成した自己紹介文を添削し、表現・発音等の個人指導を行う。		
	予習内容(時間)	自己紹介文の作成。	120	分
	復習内容(時間)	自己紹介文の暗唱。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	中国語 I BE-D
講義名(英字)	Chinese I
担当教員	賽音吉雅
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	日常会話の練習をします。初心者が対象ですから基礎知識は要りません。あまり文法的なことには深入りしないで、授業中はどんどん声を出して体で覚えてもらいます。 中国語の学習を通して、中国文化や中国人の生活習慣に親しみ、国際的な視野を広げてほしいと思います。「聞く」授業ではなく、「参加する」授業です。
	中国語の基本構造と発音の概要を理解する。自分の名前の中国語発音を調べ、発表し、互いに呼び合えるようにする。

【到達目標】	学生生活のさまざまな場面での会話を想定して対話練習をする。 1分間程度の自己紹介スピーチを披露する。							
【履修条件・受講推奨者】	中国語に興味と関心があり、積極的に授業に参加できる学生。							
【教育方法】	教科書に沿って解説を行い、発音の反復練習をする。一人ひとりの発音を指導・矯正し、発表する。各課に関連深いトピックスを【コラム】で紹介する。							
【指定教科書・参考資料等】	井上良雄(著)『中国語のチカラ』東京富士大学出版部、2013年							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法				
	自分の名前の中国語発音を調べ、発表する。		20%	平常点評価70%、自己紹介スピーチ試験評価30%である。欠席・遅刻は減点する。				
	授業中に指名し、聴解の正確性と積極的な参加意欲を評価。		50%					
	自己紹介スピーチ試験の完成度、パフォーマンスを評価。		30%					
	合計		100%					
【その他の注意事項】	座席は指定制です。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	中国語の概観	共通語、文字、文の組み立てを解説する。日本語や他の言語との違いを理解し、中国語を学ぶことの意義を理解する。					
		予習内容(時間)	教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。				120	分
		復習内容(時間)	中国語発音の暗唱。				120	分
	No2	発音について(1)	音節、母音、子音、声調、ピンインについて解説する。中国語の発音システムの基本を理解し、これからの語学学習の土台作りをする。					
		予習内容(時間)	教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。				120	分
		復習内容(時間)	中国語発音の暗唱。				120	分
	No3	発音について(2)	百までの数、あいさつ言葉、身体の名称、漢詩、名前、といった実際の単語、言葉の発音練習をする。中国語と日本語が語彙の面では多くの同意性があることを実感する。外国人(日本人を含む)の名前の中国語発音の仕組みを理解する。					
		予習内容(時間)	教科書を熟読し、発音しにくい単語をチェックする。				120	分
		復習内容(時間)	中国語発音の暗唱。				120	分
	No4	第一課 知人と出会った時のあいさつの仕方	通常のあいさつ、目上の人の場合のあいさつを学習し、敬称について学ぶ。人称代名詞を整理する。「はじめまして」、「しばらくです」の言い方を紹介する。					
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。				120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。				120	分
	No5	第二課 名前の聞き方、言い方	相手の年代による名前の聞き方の違い、苗字、下の名前、フルネームの聞き方、及び答え方を学ぶ。他の常用あいさつ言葉を練習する。中国と日本の苗字について紹介する。					
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。				120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。				120	分

【授業計画】

No6	自分の名前の中国語発音を発表	辞書等で、自分の名前の中国語発音、漢字の意味・用例を調べ、レポートを提出する。一人ひとり板書の上、発表し、クラス全体で発音を共有する。		
	予習内容(時間)	自分の名前の中国語発音を調べる。	120	分
	復習内容(時間)	自分の名前(苗字、フルネーム)の言い方の暗唱。	120	分
No7	第三課 家族の人数、家族構成	自分の家族の人数や家族構成を表現する。親族呼称・名称を発音練習する。 ”有”の文、数量の尋ね方、人や物を数える単位を学習する。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No8	第四課 学生生活	科目名、学校名、専門、学年の言い方を学び、学生生活を表現する。”的”の用法、”是”の文を学習する。中国の大学事情を紹介する。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No9	第五課 誕生日、年齢	月、日、曜日、西暦の言い方を学び、誕生日を表現する。世代別の年齢の聞き方、答え方を学習し対話練習をする。中国の少子高齢化について紹介する。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No10	第六課 場所の尋ね方、 答え方 ～に住んでいる	場所、国籍、住所地の言い方を学び、自分の現住所(仮設定)を発表する。 指示代名詞、場所や方向を示す言葉、r化を学習する。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No11	第七課 ～が出来る、出来ない	スポーツ、語学等が出来るという表現を学習し、一人ひとり発表する。”会”、”可以”、”能”の例文から、日本語と中国語の「～出来る」の表現方法の違いを理解する。「肯定 + 否定」の疑問文を学習する。 「ガンバレ！」の中国語表現を紹介する。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No12	第八課 自己紹介(前半)	自己紹介のモデルパターンを学習する。～生まれの～育ち、学んでいる学校名の言い方を練習する。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No13	第八課 自己紹介(後半)	自己紹介のモデルパターンを学習する。趣味の言い方、自己紹介の決まり文句、締め言葉の練習をする。		
	予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出しにくい文をチェックする。	120	分
	復習内容(時間)	【会話事例】の暗唱。	120	分
No14	自己紹介の実践 (試験準備対策)	各人が作成した自己紹介文を添削し、表現・発音等の個人指導を行う。		
	予習内容(時間)	自己紹介文の作成。	120	分
	復習内容(時間)	自己紹介文の暗唱。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	韓国語 I BE-A
講義名(英字)	Korean I
担当教員	黒澤 愛美
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	言語はコミュニケーションの手段です。また、上手くコミュニケーションを取るには、単に言語を知っているだけでは不十分です。この授業は、韓国文化を理解し、韓国の人と上手にコミュニケーションが取れるようになることを目指します。韓国語の文字である「ハングル」の読み書きから始めて、それぞれの場面にふさわしい言葉遣いを身につけていきます。また、韓国の生活や習慣、マナーも同時に学びます。言語をはじめとする文化は、時代によって変わります。リアルな韓国語・韓国文化を楽しく学びましょう。							
【到達目標】	ハングルの読み書きができる 基礎的な文を理解できる 簡単な自己紹介をすることができる							
【履修条件・受 講推奨者】	・この授業は、韓国語を初めて学ぶ人を対象にします。 ・全ての授業に出席するつもりで履修してください。 ・毎回必ずテキストを持参してください。							
【教育方法】	・基本的にテキストに沿って進めます。 ・適宜日本語で解説します。							
【指定教科書・ 参考資料等】	木内明『基礎から学ぶ韓国語講座初級改訂版』国書刊行会、2013年。							
【実務IQ修得目	自制力	○	思考力		突破力	○	忍耐力	○

【目標】	協働力		主張力		創造力		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法		
	ほかの人が問題なく読めるハングルを書くことができ、また、ハングルを正しく発音することができる		25%	3分の2以上の出席を前提として授業参加度25%、宿題25%、期末試験50%で評価します。			
	基礎的な文を読んだり聞いたりして理解できる		50%				
	通じる発音で、趣味や専攻など、自分のことについて話せる		25%				
	合計		100%				
【その他の注意事項】	・受講マナーを守り、ほかの受講者に迷惑を掛ける行動は慎んでください。 ・パソコン、携帯電話の使用を禁止します。タブレットは使用方法によって許可する場合があります。 ・決して楽な授業ではありません。覚えることも多いです。それを踏まえて履修してください。						
【授業計画】	週	テーマ	学習内容				
	No1	イントロダクション	韓国語／ハングルとは、基本の母音				
		予習内容(時間)	韓国や韓国語について、自分が知っていることを整理する			120	分
		復習内容(時間)	基本の母音を覚える			120	分
	No2	文字、発音	子音、日本の地名の書き方				
		予習内容(時間)	テキストに目を通す			120	分
		復習内容(時間)	子音を覚える			120	分
	No3	文字、発音	パッチム、自分の名前の書き方				
		予習内容(時間)	テキストに目を通す			120	分
		復習内容(時間)	パッチムを覚える			120	分
	No4	文字、発音	複合母音、あいさつ				
		予習内容(時間)	テキストに目を通す			120	分
		復習内容(時間)	自分の名前をハングルで書けるようにする			120	分
	No5	肯定表現	第1課 ～は、～です(韓国の初対面の人との会話)				
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする			120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記			120	分
	No6	疑問表現	第2課 ～が、～ですか(韓国の地域)				
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする			120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記			120	分
	No7	否定表現	第3課 ～ではありません(韓国の学生生活)				
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする			120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記			120	分
	No8	音読練習	第1課～第3課本文				
		予習内容(時間)	第1課～第3課本文の音読練習			120	分
		復習内容(時間)	第1課～第3課本文の音読練習			120	分
	No9	存在表現	第4課 あります、ありません(韓国映画)				
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする			120	分

		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No10	動作表現	第5課 します、しますか(韓国人の趣味活動)		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No11	丁寧な語尾の形	第6課 あります／しますのヨ体(韓国の社会人生活)		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No12	丁寧な語尾の形	第7課 ～です／ますのムニダ体(韓国の交通手段)		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No13	丁寧な語尾の形	第8課 ～です／ますのヨ体(韓国の食文化)		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No14	自己紹介	趣味や専攻など、自分のことについて話す		
		予習内容(時間)	自己紹介の練習	120	分
		復習内容(時間)	自己紹介の練習	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	健康と運動 I BE-A
講義名(英字)	Health and Sports I
担当教員	井上 航人
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	◇講義では、運動が身体に及ぼす影響や効果をはじめ、生活習慣・栄養・トレーニング・スポーツの持つ意義等々、社会生活に必要な健康安全の知識及び能力について関心と理解を深める。 ◇実技では、バドミントン、バスケットボール等のゲームを中心に、集団生活の体験と、公共心の大切さを会得させ、生涯にわたって楽しく豊かな生活ができるよう、運動実践の能力や態度を育成する。
	◇運動が身体に及ぼす影響や運動の必要性を理解し、自己管理につなげる知識を有すること

【到達目標】	◇運動の実践を通して、思考力・判断力・表現力およびコミュニケーション能力を身に付けて行動ができる																						
	◇自己管理を行い、ルール・マナーを守り、積極的に授業に参加することができる																						
【履修条件・受講推奨者】	◇授業方針・ルール・マナーを守れる者 ◇室内履き・運動着の準備ができる者																						
【教育方法】	◇二上講堂5Fフジアリーナにて、実技の授業を実施																						
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書は使用せず、講義資料は必要に応じて都度配布をする																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力		創造力			
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○																
協働力	○	主張力		創造力																			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法																		
	実技への出席状況と取り組み方によって評価。 体調管理と服装の準備に留意し、積極的な心構えで行動することができる			30%	70%以上の出席を前提とし、授業態度・マナー、実技テスト、レポート等によって評価																		
	授業(実技)への意欲・態度・関心度・マナー・実技テスト等々、総合的に評価。 他者との関わり合いを重視し、相互の存在を認め合い、思いやりのある人間性を築き、コミュニケーションを積極的に行うことができる			30%																			
	講義後、提出されたレポート課題によって評価。 健康の三原則や身体活動の必要性、また、日本全体で取り組んでいる生活習慣病の理解と、その予防についての知識を有すること			40%																			
	合計			100%																			
【その他の注意事項】	◇学内に個人ロッカー設備がないため、運動に必要な服装・室内履きは毎回持参すること ◇日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること ◇70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと																						
	週	テーマ	学習内容																				
	No1	オリエンテーション	授業方針・評価について																				
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと					60	分														
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること					60	分														
	No2	チームビルディングとアダプテッド・スポーツについて	履修学生の関係づくりを目標とし、さまざまな人が一緒に楽しむことができるアダプテッド・スポーツのひとつである「ボッチャ」を実施する																				
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと					60	分														
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること					60	分														
	No3	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)①																				
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと					60	分														
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること					60	分														
	No4	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)②																				
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと					60	分														
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること					60	分														
	No5	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)③																				
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと					60	分														
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること					60	分														

【授業計画】

No6	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶバドミントン①		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No7	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶバドミントン②		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No8	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶバドミントン③		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No9	体力年齢テスト	自身に年齢相応の体力があるのかを簡単な測定により知り、今後の学修目標の参考にする		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No10	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶアルティメット①		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No11	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶアルティメット②		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No12	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶアルティメット③ バスケットボール①		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No13	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶバスケットボール②		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No14	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶバスケットボール③		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	健康と運動 I BE-D
講義名(英字)	Health and Sports I
担当教員	田島 外志美
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	講義では、運動が身体におよぼす基本的な影響と効果の理解を深め、運動の必要性を学ぶ。さらに、近年若者に増加している性感染症などの疾病の理解と、予防するための知識を学ぶ。学んだ内容を論理的に整理し、レポート作成スキルの習得を目指す。 実技では体カトレーニングやストレッチの他、生涯にわたって手軽に継続できる運動を中心に実施する。同時に豊かな情操をもち、高度な社会生活に適応できる人間の育成を目指し、協力・コミュニケーションを促す種目を選択し、実践する。 実技で身体を動かすだけでなく、講義において運動の必要性の理解を深めることも大切なポイントとしている。
	◇運動が身体に及ぼす影響や運動の必要性を理解し、自己管理につなげる知識を習得する

【到達目標】	◇運動実践を通して、多様な価値観を共有し、お互いの成長に携わる行動ができる							
	◇自己管理を行い、ルール・マナーを守り、積極的に授業に参加することができる							
【履修条件・受講推奨者】	◇授業方針・ルール・マナーを守れる者 ◇室内履き・運動着の準備ができる者							
【教育方法】	◇グループは固定せず、授業ごとに変更ことを基本とする ◇履修学生の状況に合わせて、ルールや道具を変更し、より多くの学生が運動を楽しめるよう工夫する							
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書は使用せず、講義資料は必要に応じて配布や配信をする							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力		創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法				
	講義:健康維持、疾病予防の知識を有し行動できること			40%	70%以上の出席を前提とし、授業態度、講義の振り返り課題、レポート等によって評価			
	実技:個人やチームが現状より良くなるように行動できること			30%				
	実技に向けて健康管理と、毎月の健康測定が実施できること。			30%				
	合計			100%				
【その他の注意事項】	◇学内に個人ロッカーがないため、運動に必要な服装・室内履きは毎回持参すること ◇新型コロナウイルス等の感染状況、履修人数によって、実技種目を変更する可能性がある							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	オリエンテーション	・授業方針・評価について ・健康測定:身長、体重、体脂肪、血圧、心拍数、基礎代謝の測定 ・レポート課題に向けての講義 1)健康の三原則(栄養・運動・休養)について 2)性感染症(STD・STI)の現状と予防法について					
		予習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること				60	分
		復習内容(時間)	レポート作成のスケジュールを検討し、取り組む。授業以外にも身体活動を実施する。				60	分
	No2	チームビルディングとアダプテッド・スポーツ	チームビルディングとは、チームを構築し、チーム力を高めるプログラム手法です。履修学生の関係づくりや仲間づくりの一環として実施する。 スポーツ競技ではなく、色んな方が楽しめるアダプテッド・スポーツの一つである「ボッチャ」を題材に履修者の関係構築を目指す。					
		予習内容(時間)	アダプテッド・スポーツのボッチャについて事前学習を進めること				60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること				60	分
	No3	ネット型スポーツ①	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)①					
		予習内容(時間)	卓球(ラージボール)の基本的技術に関する学習を進める				60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること				60	分
	No4	ネット型スポーツ②	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)②					
		予習内容(時間)	卓球(ラージボール)のシングルの戦術に関する学習を進める				60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること				60	分
		ネット型スポーツ③	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ卓球(ラージボール)③					

【授業計画】	No5	予習内容(時間)	卓球(ラージボール)のダブルスの戦術に関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No6	小集団のネット型スポーツ④	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶバドミントン①		
		予習内容(時間)	バドミントンの基本的技術・フットワークに関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
		ネット型スポーツ⑤	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶバドミントン②		
	No7	予習内容(時間)	バドミントン(ダブルス)のルールに関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No8	ネット型スポーツ⑥	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶバドミントン③		
		予習内容(時間)	バドミントン(ダブルス)のルールに関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
		体力年齢テスト	自身の体力は年齢相応なのだろうか。筋力、瞬発力、敏捷性などの簡単な測定に挑戦します。年齢相応の体力があるかを測り、今後の学修目標の参考にします。		
	No9	予習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
	No10	集団型スポーツ①	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶアルティメット①		
		予習内容(時間)	アルティメット競技の特徴、基本技術に関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No11	集団型スポーツ②	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶアルティメット②		
		予習内容(時間)	アルティメット競技の効果的なディフェンス・オフェンスに関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No12	集団型スポーツ③	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶアルティメット③ バスケットボール①		
		予習内容(時間)	アルティメット競技の戦術、バスケットボール競技の特徴、基本技術の学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No13	集団型スポーツ④	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶバスケットボール②		
		予習内容(時間)	バスケットボール競技の効果的なディフェンス・オフェンスに関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No14	集団型スポーツ⑤	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶバスケットボール③		
		予習内容(時間)	バスケットボール競技の戦術に関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	健康と運動Ⅲ BE-A
講義名(英字)	Health and Sports III
担当教員	井上 航人
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	◇講義では、運動が身体に及ぼす影響や効果をはじめ、生活習慣・栄養・トレーニング・スポーツの持つ意義等々、社会生活に必要な健康安全の知識及び能力について関心と理解を深める。 ◇実技では、バドミントン、バスケットボール等のゲームを中心に、集団生活の体験と、公共心の大切さを会得させ、生涯にわたって楽しく豊かな生活ができるよう、運動実践の能力や態度を育成する。
	◇運動が身体に及ぼす影響や運動の必要性を理解し、自己管理につなげる知識を有すること

【到達目標】	◇運動の実践を通して、思考力・判断力・表現力およびコミュニケーション能力を身に付けて行動ができる																						
	◇自己管理を行い、ルール・マナーを守り、積極的に授業に参加することができる																						
【履修条件・受講推奨者】	◇授業方針・ルール・マナーを守れる者 ◇室内履き・運動着の準備ができる者																						
【教育方法】	◇二上講堂5Fフジアリーナにて、実技の授業を実施																						
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書は使用せず、必要に応じて都度配布をする																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力		創造力			
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○																
協働力	○	主張力		創造力																			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法																		
	実技への出席状況と取り組み方によって評価。 体調管理と服装の準備に留意し、積極的な心構えで行動することができる			30%	70%以上の出席を前提とし、授業態度・マナー、実技テスト、レポート等によって評価																		
	授業(実技)への意欲・態度・関心度・マナー・実技テスト等々、総合的に評価。 他者との関わり合いを重視し、相互の存在を認め合い、思いやりのある人間性を築き、コミュニケーションを積極的に行うことができる			30%																			
	講義後、提出されたレポート課題によって評価。 スポーツ文化への理解と、スポーツの世界で社会問題となっている事柄についての知識と理解を深め、自身の考えを有すること			40%																			
	合計			100%																			
【その他の注意事項】	◇学内に個人ロッカー設備がないため、運動に必要な服装・室内履きは毎回持参すること ◇日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること ◇70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと																						
	週	テーマ		学習内容																			
	No1	オリエンテーション		授業方針・評価について																			
		予習内容(時間)		70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと			60	分															
		復習内容(時間)		日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること			60	分															
	No2	チームビルディングとアダプテッド・スポーツについて		履修学生の関係づくりを目標とし、さまざまな人が一緒に楽しむことができるアダプテッド・スポーツのひとつである「ボッチャ」を実施する																			
		予習内容(時間)		70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと			60	分															
		復習内容(時間)		日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること			60	分															
	No3	実技(ネット型スポーツ)		小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球①																			
		予習内容(時間)		70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと			60	分															
		復習内容(時間)		日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること			60	分															
	No4	実技(ネット型スポーツ)		小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球②																			
		予習内容(時間)		70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと			60	分															
		復習内容(時間)		日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること			60	分															
		実技(ネット型スポーツ)		小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球③																			

【授業計画】

No5	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No6	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める バドミントン①		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No7	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める バドミントン②		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No8	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める バドミントン③		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No9	体力年齢テスト	自身に年齢相応の体力があるのかを簡単な測定により知り、今後の学修目標の参考にする		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No10	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボールへの知識と理解を深める アルティメット①		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No11	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボールへの知識と理解を深める アルティメット②		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No12	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボールへの知識と理解を深める アルティメット③ バスケットボール①		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No13	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボールへの知識と理解を深める バスケットボール②		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No14	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボールへの知識と理解を深める バスケットボール③		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分

	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	健康と運動Ⅲ BE-C
講義名(英字)	Health and Sports III
担当教員	田島 外志美
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	講義では、運動が身体におよぼす基本的な影響と効果の理解を深め、運動の必要性を学ぶ。さらに、スポーツによる傷害(外傷・障害)の現状を理解し、傷害の起こしにくい「からだ作り」、予防するための知識を学ぶ。学んだ内容を論理的に整理し、レポート作成スキルの習得を目指す。実技では体カトレーニングやストレッチの他、生涯にわたって手軽に継続できる運動を中心に実施する。同時に豊かな情操をもち、高度な社会生活に適応できる人間の育成を目指し、協力・コミュニケーションを促す種目を選択し、実践する。実技で身体を動かすだけでなく、講義において運動の必要性の理解を深めることも大切なポイントとしている。
	◇運動による傷害の対処法を学び、QOLの向上につなげる運動方法について習得する

【到達目標】	◇運動実践を通して、多様な価値観を共有し、お互いの成長に携わる行動ができる							
	◇自己管理を行い、ルール・マナーを守り、積極的に授業に参加することができる							
【履修条件・受講推奨者】	◇授業方針・ルール・マナーを守れる者 ◇室内履き・運動着の準備ができる者							
【教育方法】	◇グループは固定せず、授業ごとに変更ことを基本とする ◇履修学生の状況に合わせて、ルールや道具を変更し、より多くの学生が運動を楽しめるよう工夫する							
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書は使用せず、講義資料は必要に応じて度配布や配信をする							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力		創造力	○		
	評価項目と割合				評価方法			
	講義:健康維持、疾病予防の知識を有し行動できること	40%	70%以上の出席を前提とし、授業態度、講義の振り返り課題、レポート等によって評価					
実技:個人やチームが現状より良くなるように行動できること	30%							
実技に向けて健康管理と、毎月の健康測定が実施できること。	30%							
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	合計	100%						
【その他の注意事項】	◇学内に個人ロッカーがないため、運動に必要な服装・室内履きは毎回持参すること ◇新型コロナウイルス等の感染状況、履修人数によって、実技種目を変更する可能性がある							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	オリエンテーション	・授業方針・評価について ・健康測定:身長、体重、体脂肪、血圧、心拍数、基礎代謝の測定 ・レポート課題に向けての講義 1)スポーツ傷害(外傷・障害)の予防法について 2)体カトレーニングの必要性について					
		予習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること				60	分
		復習内容(時間)	レポート作成のスケジュールを検討し、取り組む。授業以外にも身体活動を実施する。				60	分
	No2	チームビルディングとアダプテッド・スポーツ	チームビルディングとは、チームを構築し、チーム力を高めるプログラム手法です。履修学生の関係づくりや仲間づくりの一環として実施する。 スポーツ競技ではなく、色んな方が楽しめるアダプテッド・スポーツの一つである「ボッチャ」を題材に履修者の関係構築を目指す。					
		予習内容(時間)	アダプテッド・スポーツのボッチャの基本技術や重度四肢麻痺者について学習を進める				60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること				60	分
	No3	ネット型スポーツ①	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり、公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球①					
		予習内容(時間)	卓球(ラージボール)の基本的技術・戦術に関する学習を進める				60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること				60	分
	No4	ネット型スポーツ②	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり、公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球②					
		予習内容(時間)	ラージボールと硬球の違いに関する学習を進める				60	分

【授業計画】

	復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
No5	ネット型スポーツ③	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり、公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める 卓球③		
	予習内容(時間)	レベル差のある履修生同士がともに楽しめるルールの工夫に関する学習を進める	60	分
	復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
No6	ネット型スポーツ④	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり、公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める バドミントン①		
	予習内容(時間)	基本的技術・フットワークに関して学習を進め、道具の違いによる効果について調べる	60	分
	復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
No7	ネット型スポーツ⑤	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり、公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める バドミントン②		
	予習内容(時間)	バドミントンの正式ルールに関する学習を進める	60	分
	復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
No8	ネット型スポーツ⑥	小集団のネット型スポーツ種目である卓球やバドミントンを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(シャトル)を使用したり、公式ルールについて学ぶことで卓球やバドミントンへの知識と理解を深める バドミントン③		
	予習内容(時間)	バドミントンに近い、クロスミントンについて学習を進める	60	分
	復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
No9	体力年齢テスト	自身の体力は年齢相応なのだろうか。筋力、瞬発力、敏捷性などの簡単な測定に挑戦します。年齢相応の体力があるかを測り、今後の学修目標の参考にする。		
	予習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No10	集団型スポーツ①	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボール(3×3)への知識と理解を深める アルティメット①		
	予習内容(時間)	アルティメット競技の正式ルール、基本技術に関する学習を進める	60	分
	復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
No11	集団型スポーツ②	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボール(3×3)への知識と理解を深める アルティメット②		
	予習内容(時間)	アルティメット競技の効果的なディフェンス・オフェンスに関する学習を進める	60	分
	復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
No12	集団型スポーツ③	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボール(3×3)への知識と理解を深める アルティメット③ バスケットボール①		
	予習内容(時間)	アルティメット競技の戦術、バスケットボールと3×3競技の違いについて学習を進める	60	分
	復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	集団型スポーツ④	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボール(3×3)への知識と理解を深める		

	No13		バスケットボール(3×3)へ②		
		予習内容(時間)	バスケットボール(3×3)競技の効果的なディフェンス・オフェンスに関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No14	集団型スポーツ⑤	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるアルティメットやバスケットボールを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(ディスク)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでアルティメットやバスケットボール(3×3)への知識と理解を深める バスケットボール(3×3)へ③		
		予習内容(時間)	バスケットボール(3×3)競技の戦術に関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	社会学 I BE-A
講義名(英字)	Sociology I
担当教員	難波 俊樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	私たちの社会を取り巻く事象を、社会学を通じて考察します。受講者が自らの視点と判断基準をもって事象をとらえることができるようになることを目的とします。春学期は、ネット社会、コミュニケーション、テクノロジー、個人の権利やプライバシーを中心とします。 また、社会情勢にあわせて適宜内容を変更して、最新の社会情勢の考察に取り組むことがあります。						
【到達目標】	社会への理解を深める: 自分の視点をしっかり持って社会の事象をとらえることができる。 社会を多面的にとらえる: クリティカルシンキングができる。 基礎知識の習得: 社会事象を理解するための基礎知識が習得できたか。						
【履修条件・受 講推奨者】							
【教育方法】	講義: 70% グループワーク: 30%						
【指定教科書・ 参考資料等】							
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力		創造力	○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	定期試験	60%	定期試験とグループワークへの取り組み状況の総合評価となります。 基本的にはグループワークへの参加は必須となりますが、回によってはwebを活用して実施する場合もあります。		
	グループワークへの取り組み状況	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】					
	週	テーマ	学習内容		
	No1	全体ガイダンス:視点を 持つことの重要性	どのような姿勢、準備でこの講義に取り組んでいただきたいか。 自分の視点を持つことの重要性。 観察することの重要性。 社会学とは何か？		
		予習内容(時間)	「社会学」に対する自分なりの考察	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No2	思考の練習	社会学を学ぶにあたって、 ・知識とは何か？ ・事実とは何か？ ・様々な思考法 についてのワークショップを行う。		
		予習内容(時間)	「社会学」に対する考察	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No3	インターネットで社会 はどう変化したか？	Beforeインターネット社会とAfterインターネット社会はどのように変化したのか。ビジネスのありかた、社会のありかた、個人のありかたまで変えてしまった、この変化を考察する。		
		予習内容(時間)	SNSのメリットデメリットについて考察しておく	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No4	テクノロジーと社会	インターネット以外にも、社会を大きく変えたテクノロジーがある。また、その変化は社会や人間にプラスの変化だけではなく、マイナスの変化ももたらした。 いくつかのその変革を功罪両方の側面から考察する。		
		予習内容(時間)	社会を変えたテクノロジーについての下調べ	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No5	「個」と「公」	民主主義の成立からこれまでの経緯を踏まえて現在の民主主義が抱える課題やジレンマを考察し、成熟社会日本のこれからの時代の個人と社会の関係性を考える。 【キーワード】 ・well-being ・ダイバーシティ ・プライバシー		
		予習内容(時間)	民主主義と様々な制度についての下調べ	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No6	データから世界を眺める	私たちが知っている「世界」は果たして真実か。実際のデータをもとに、自分たちの認識が正しかったか、正しくなかったかを検証する。 現在の社会をデータを通じて理解を深める。 【キーワード】 ・南北格差 ・富の集中 ・分断		
		予習内容(時間)	前時に指定した課題に取り組む	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No7	ビッグデータとは何か	ビッグデータについての概説から、実際のビジネスでどのようにビッグデータが活用されているかのケーススタディを行う。 【キーワード】 ・データ倫理 ・データ活用ビジネス ・ポイントカード		

【授業計画】		・人流		
	予習内容(時間)	ビッグデータ活用ビジネスに関する下調べ	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	65	分
	No8	AIと社会を考える	急速に発展し、実社会での活用が進む人工知能。これからのビジネスではさらに人工知能を活用することが求められる。本講義では技術的側面とビジネス的側面の双方から人工知能を考える。	
	予習内容(時間)	人工知能がビジネスに活用されている事例に関する下調べ	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No9	情報社会論①	世界で流れている様々なフェイクニュースを通して以下の事象について考察する。 ・「真実」とは何か？ ・情報の発信には様々な意図があること。 ・人はなぜフェイクニュースを信じるのか？ ・人の認知にあるひずみ。	
	予習内容(時間)	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No10	情報社会論②	都市伝説について実例を取り上げ、それらが流布される背景を考察する。 【キーワード】 ・都市化 ・ネットロア	
	予習内容(時間)	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No11	情報社会論③	ウクライナ戦争では当事者国の双方が虚々実々の情報戦争を仕掛けていた。ネット上の様々なフェイク情報の分析を通して、人はなぜフェイクニュースを信じるかを考察する。 【キーワード】 ・情報戦争 ・ディープフェイク ・ファクトチェック	
	予習内容(時間)	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No12	情報社会論④	なぜデマが生まれるのか、そしてそれが広まっていくのか。歴史的な「デマ」事件を取り上げ、心理学・社会学な考察を行う。 【キーワード】 ・デマ ・情報の拡散 ・エセ科学／疑似科学	
	予習内容(時間)	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No13	ワークショップ①	これまでの講義内容をふまえて、少人数グループに分かれ、テーマを設定し、発表資料を作成する。	
	予習内容(時間)	ワークショップのための下調べ(前時に指示します)	120	分
	復習内容(時間)	発表のための準備	120	分
	No14	ワークショップ②	ワークショップ①で作成した資料を発表する。	
	予習内容(時間)	発表のための準備(前時に指示します)	120	分
	復習内容(時間)	発表の振り返り	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	法学 I (憲法を含む) BE-A
講義名(英字)	Law I
担当教員	外山 美砂子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	法を学ぶことは、社会を法というルールを通して見直すことです。法というルールが、この社会の中で果たす役割について見ていくことにより、社会の仕組みやあり方についての理解を深めることができます。これを本授業の目的とします。 そこで、法の内容・法源といった法学の基礎を踏まえたうえで、わが国の最高法規である憲法を中心に諸法律を概観します。その際、さまざまな事例に触れることによって、どの法律が適用され、どのように解釈されるのかを考察します。
	法に対する関心を持ち、法が私たちの社会生活にどう関わっているかを理解する。

【到達目標】	憲法を中心とする様々な法を理解することにより、法的なものの考え方を身につける。 世の中で起きている様々な問題に対し、法がどのように対処するか説明できる。																						
【履修条件・受講推奨者】	とくになし。																						
【教育方法】	授業は講義形式とします。法律が少しでも身近なものとなり、なおかつ理解が深められるよう、最近起きた関連する事件等なども紹介していきます。																						
【指定教科書・参考資料等】	教科書 使用せず。 参考書 佐伯仁志ほか編『ポケット六法・令和5年版』有斐閣、2022年 伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門（第4版）』有斐閣、2005年																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力			
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																	
協働力	○	主張力	○	創造力																			
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="2">評価方法</th></tr><tr><td>法と社会生活の関わりについてミニレポートで評価</td><td>20</td><td colspan="2" rowspan="4">3分の2以上の出席。授業内のミニレポート20%、試験80%</td></tr><tr><td>憲法など様々な法の理解について試験で評価</td><td>40</td></tr><tr><td>世の中の問題への法の対処について本試験で評価</td><td>40</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法		法と社会生活の関わりについてミニレポートで評価	20	3分の2以上の出席。授業内のミニレポート20%、試験80%		憲法など様々な法の理解について試験で評価	40	世の中の問題への法の対処について本試験で評価	40	合計	100%		
評価項目と割合		評価方法																					
法と社会生活の関わりについてミニレポートで評価	20	3分の2以上の出席。授業内のミニレポート20%、試験80%																					
憲法など様々な法の理解について試験で評価	40																						
世の中の問題への法の対処について本試験で評価	40																						
合計	100%																						
【その他の注意事項】	とくになし。																						
	週	テーマ	学習内容																				
	No1	イントロダクション、法とは何か	この講義で扱う内容、講義の進め方、評価方法について説明する。そして、「法とは何か」、「法学とは何か」というテーマについて講義する。前者は、規範や秩序について考え、後者は、法文をどのように解釈するか考える。																				
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおき、法とは何か自分で調べてみる。			120	分																
		復習内容(時間)	規範という語を用いて、法についての考えをまとめる。			120	分																
	No2	裁判制度	裁判所はどのような場合に利用できるか、裁判手続にはどのような種類があるか、裁判制度の担い手にはどのようなものがあるか等について説明し、民事裁判・刑事裁判の概要を講義する。																				
		予習内容(時間)	裁判制度について自分の疑問点をまとめておく。			120	分																
		復習内容(時間)	民事裁判・刑事裁判の違いを理解し、自分でまとめる。			120	分																
	No3	憲法－日本国憲法とは、天皇制	憲法とは何か、憲法が私たちの生活にどのように関係するのか、という問題を考えるために、日本国憲法の基本原理と構造について講義する。そして、日本国憲法に明記されている「象徴」としての天皇についても説明する。																				
		予習内容(時間)	高校までに学んだ憲法の知識についてふりかえる。			120	分																
		復習内容(時間)	象徴としての天皇について整理し、まとめる。			120	分																
	No4	憲法－人権の制限、信教の自由	日本国憲法がどのような場合に国民の人権を制限するのか、事例を挙げながら説明する。さらに、世界では非常に重要な役割を果たしている信教の自由について、政教分離の原則を中心に講義する。																				
		予習内容(時間)	靖国神社の参拝について問題点をまとめておく。			120	分																
		復習内容(時間)	新教の自由と政教分離の原則についてまとめる。			120	分																
		憲法－表現の自由、学問	日本国憲法によって保障されるようになった表現の自由や「知る権利」について講義し、プライバシー権や肖像権について																				

【授業計画】

No5	の自由	ても説明する。そして、「学問の自由」として保障されている教育を受ける権利について講義する。		
	予習内容(時間)	学問の自由と義務教育について問題点をまとめておく。	120	分
	復習内容(時間)	SNSと表現の自由について自分の考えをまとめる。	120	分
No6	憲法一婚姻の自由と勤労の自由	婚姻の自由とその制約について、男女平等に関わる問題(再婚禁止期間など)について講義する。それから、日本国憲法において「働く」行為はどのように捉えられているか、法の下での平等はどのように実現されているか、説明する。		
	予習内容(時間)	男女平等の問題について疑問点をまとめておく。	120	分
	復習内容(時間)	「生存権」について今後の課題についてまとめる。	120	分
No7	憲法一立法、行政	三権分立にしたがって国家権力を機能させていくわが国の仕組みのうち、「立法」と「行政」について説明する。立法では両院制や国会議員について、行政では内閣のトップに位置する内閣総理大臣を中心に、講義する。		
	予習内容(時間)	三権分立について、これまで勉強してきたことを整理する。	120	分
	復習内容(時間)	内閣総理大臣の役割について自分でまとめる。	120	分
No8	憲法一司法、地方自治	三権分立の「司法」について、裁判官の権利と役割を中心に説明する。そして、戦後、日本国憲法に明記された「地方自治」の必要性について講義する。		
	予習内容(時間)	裁判員制度について、自分の知っていることを整理しておく。	120	分
	復習内容(時間)	わが国の司法(裁判員制度を含む)についてまとめる。	120	分
No9	憲法一憲法9条、憲法改正手続	日本は憲法前文に平和主義を謳い、憲法9条に戦争放棄が規定されているが、その持つ意味と自衛隊の位置づけについて講義する。そして、制定以来、一度も憲法が改正されていない状態について説明する。		
	予習内容(時間)	戦争放棄について、自分の疑問点をまとめておく。	120	分
	復習内容(時間)	憲法9条の問題と今後の憲法改正について考えをまとめる。	120	分
No10	民事法一保証の問題	数ある民法のテーマから保証の問題を講義する。個人保証人の保護は、2020年施行の改正債権法でも取り上げられた。保証の意義とその種類、個人保証人を保護する理由、個人保証人保護の光と影について説明する。		
	予習内容(時間)	保証人の保護についてその内容を調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	個人保証人を保護することについて自分の考えをまとめる。	120	分
No11	刑事法一刑法と厳罰化の問題	刑法は、他の法律と異なり、これに違反すれば制裁として刑罰が科される。日本には死刑制度も存在する。そこで、犯罪と刑罰に関する基礎知識を得て、刑法の特徴を把握できるように講義する。		
	予習内容(時間)	日本の刑罰について調べ、疑問点を整理しておく。	120	分
	復習内容(時間)	死刑を含め、日本の刑罰は今後どうあるべきかまとめる。	120	分
No12	行政法一感染症対策	2019年末から流行している新型コロナウイルス感染症。わが国での感染症対策は様々な法令によってなされており、そのほとんどが行政法に含まれる。感染症対策を通して、行政法の基本的な考え方を説明する。		
	予習内容(時間)	わが国の感染症対策について調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	行政法の特徴、役割についてまとめる。	120	分
No13	社会保障法一医療保障	医療保障のしくみを通して、社会法の役割と機能を説明する。国家による医療の保障が、日本では保健医療制度によって実現され、この制度のもとで平等な医療が受けられている。ここでは混合診療の問題にも触れる。		
	予習内容(時間)	日本の医療制度について知っていることを整理しておく。	120	分
	復習内容(時間)	医療保障のしくみについて、問題点も含めまとめる。	120	分

		知的財産法 －著作権法 の課題	知的財産法は、人が作り出したものが生み出され、世の中に送り出され、享受される過程に関係する。なかでも著作権法は、インターネットを利用する私たちに関りが多い。ここでは「ダウンロード違法化」について触れながら、著作権法の課題について説明する。		
	No14	予習内容(時間)	インターネットでダウンロードする行為の問題点を考える。	120	分
		復習内容(時間)	著作権法を通してダウンロード違法化についてまとめる。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	法学 I (憲法を含む) BE-C
講義名(英字)	Law I
担当教員	長岐 郁也
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	初めて法律学を学ぶ学生諸君に法律学に対する興味や関心を持ってもらい、基本的な法原則・法概念、そして法の適用(解釈)などを習得してもらうことが本講義の目的である。法律学は、初めて勉強する人にとっては取っ付きにくい学問であり、勉強の最初の段階で違和感や苦手意識を感じてしまう学生も多い。 そこで本講義では、いくつかの身近で具体的な事例を出発点として法の基礎知識を学ぶとともに、法の解釈とはどのようなものかを学生諸君と考えていくこととしたい。
	法律学に対する興味・関心を持つこと

【到達目標】	憲法を中心とした法体系を理解すること 法に与えられている役割を理解すること											
【履修条件・受講推奨者】	特になし。											
【教育方法】	教科書だけでなく、適宜レジュメを配布して講義を行う。											
【指定教科書・参考資料等】	生駒正文・高田富男編・ガイドブック法学〔改訂版〕(嵯峨野書院、2022年)											
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力					
	協働力		主張力		創造力	○						
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法								
	定期試験	100%		定期試験で成績評価を行う。								
	合計	100%										
【その他の注意事項】	講義中の私語は厳禁とする。											
	週	テーマ	学習内容									
	No1	法学の基礎知識と日本国憲法(統治機構論)	法と法律の役割と体系、裁判手続き及び日本国憲法における統治機構のひとつである国会について学習する。									
		予習内容(時間)	教科書第1章(1～10頁)及び第2章(11～17頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。								120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。								120	分
	No2	日本国憲法(統治機構論)	日本国憲法における統治機構のうち、内閣と裁判所について学習する。									
		予習内容(時間)	教科書第2章(18～27頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。								120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。								120	分
	No3	日本国憲法(選挙と地方自治)	日本国憲法における統治機構のうち、選挙制度と地方自治について国と地方とを比較しながら学習する。									
		予習内容(時間)	教科書第2章(28～32頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。								120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。								120	分
	No4	日本国憲法(基本的人権)	日本国憲法における基本的人権のうち、その成り立ちと幸福追求権と法の下での平等について学習する。									
		予習内容(時間)	教科書第3章(33～43頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。								120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。								120	分
	No5	日本国憲法(基本的人権)	日本国憲法における基本的人権のうち、精神的自由について学習する。									
		予習内容(時間)	教科書第3章(44～53頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。								120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。								120	分
	No6	日本国憲法(基本的人権と平和主義)	日本国憲法における基本的人権のうち、身体的自由及び経済的自由等並びに平和主義について学習する。									
		予習内容(時間)	教科書第3章(54～62頁)及び第4章(63～72頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。								120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。								120	分

【授業計画】		犯罪と法	刑罰の意義と成立要件、構成要件及び刑事手続きについて学習する。		
	No7	予習内容(時間)	教科書第5章(73～90頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。	120	分
	No8	日常生活のおける法(民法総則)	日常生活の基本を規律する民法の原則的なルールを定める総則について学習する。		
		予習内容(時間)	教科書第6章(91～110頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。	120	分
	No9	日常生活のおける法(物権法)	日常生活の基本を規律する民法のうち物に対する権利について学習する。		
		予習内容(時間)	教科書第7章(111～121頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。	120	分
	No10	日常生活のおける法(契約法)	日常生活の基本を規律する民法のうち契約について学習する。		
		予習内容(時間)	教科書第7章(122～129頁、134～136頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。	120	分
	No11	日常生活のおける法(不法行為等)	日常生活の基本を規律する民法のうち不法行為、事務管理、不当利得及び特定商取引法(割賦販売、訪問販売)について学習する。		
		予習内容(時間)	教科書第7章(130～133頁)及び第10章(185～196頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。	120	分
	No12	日常生活のおける法(親族法)	日常生活の基本を規律する民法のうち親族について学習する。		
		予習内容(時間)	教科書第8章(137～155頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。	120	分
	No13	日常生活のおける法(相続法)	日常生活の基本を規律する民法のうち相続について学習する。		
		予習内容(時間)	教科書第8章(156～166頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。	120	分
	No14	労働に関する法律	働くことに関する法律の諸制度の概要について学習する。		
		予習内容(時間)	教科書第9章(167～184頁)を読み、分からない言葉があれば調べること。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、理解の定着を図ること。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	文学 BE-A
講義名(英字)	Literature
担当教員	網本 尚子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	現代文学 この授業では、日本の現代文学における何人かの重要な作家の作品を取り上げ、そこからどのような作者の思いが読み取れるかについて考える。それぞれの作者の文章の特徴や、表現の傾向を分析したり、作者の生活した土地や、交友関係、生い立ちなどが作風にどのように影響を与えているかについて考えたりしてみたい。また、お互いに、自分の好きな作家の作品を紹介し合い、各自の読書の世界を広げるような試みも行いたい。 この授業をきっかけに、読書の楽しみ方を学び、読書習慣を身につけてもらいたい。

	1芥川龍之介の作品を読んで、内容や表現の特徴について考える 明治時代以降の日本文学の歴史を把握し、芥川龍之介の位置づけや作品の内容、表現の特徴、芥川の人間性、歩んだ人生などについて理解する。																																																																																																																																											
【到達目標】	2太宰治の作品を読んで、内容や表現の特徴について考える 太宰治の作品の内容や、表現の特徴、太宰の人間性、歩んだ人生などについて理解する。 3村上春樹の作品を読んで、内容や表現の特徴について考える 村上春樹の作品の内容や、表現の特徴、村上の人間性、歩んだ人生などについて理解する。																																																																																																																																											
【履修条件・受講推奨者】	1読書が好きな人、今は苦手でも読書してみたいと思っている人など、積極的に授業に参加できる学生に履修してもらいたい。 2日本語で書かれた文学作品を読むので、留学生は自分の日本語能力を十分考慮した上で受講すること。																																																																																																																																											
【教育方法】	配付された現代文学作品のプリントを読み、作品の内容や作者についての講義を受ける。																																																																																																																																											
【指定教科書・参考資料等】	とくになし。																																																																																																																																											
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力		創造力																																																																																																																								
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																																																																																						
協働力		主張力		創造力																																																																																																																																								
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="5">評価方法</td></tr><tr><td>受講態度、授業への参加度</td><td>20%</td><td colspan="5" rowspan="4">3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価する。</td></tr><tr><td>試験</td><td>80%</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法					受講態度、授業への参加度	20%	3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価する。					試験	80%			合計	100%																																																																																																																	
評価項目と割合		評価方法																																																																																																																																										
受講態度、授業への参加度	20%	3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価する。																																																																																																																																										
試験	80%																																																																																																																																											
合計	100%																																																																																																																																											
【その他の注意事項】	わからない言葉が出てきたら、積極的に辞書を使って調べること。																																																																																																																																											
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="6">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td colspan="6">授業の進め方や成績評価について説明。 ブックレビューサイトを参考に、読んでみたい本を上げたり、レビューの書き方について学ぶ。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">シラバスの確認。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">ブックレビューサイトを参考に、読んでみたい本について考える。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>近現代文学史1</td><td colspan="6">近代に入ってから明治時代末期頃までの日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">明治時代の主要な作家と作品について調べる。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>近現代文学史2</td><td colspan="6">明治時代末期から大正時代にかけての日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">大正時代の主要な作家と作品について調べる。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>近現代文学史3</td><td colspan="6">大正時代末期から昭和にかけての日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">昭和初期の主要な作家と作品について調べる。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>近現代文学史4</td><td colspan="6">戦後の日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">戦後から昭和後半くらいまでの主要な作家と作品について調べる。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="2">No6</td><td>芥川龍之介の生涯と作品1</td><td colspan="6">芥川龍之介の生涯と代表作品について理解する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">芥川龍之介の主要な作品を調べる。</td><td>120</td><td>分</td></tr></table>							週	テーマ	学習内容						No1	ガイダンス	授業の進め方や成績評価について説明。 ブックレビューサイトを参考に、読んでみたい本を上げたり、レビューの書き方について学ぶ。						予習内容(時間)	シラバスの確認。				120	分	復習内容(時間)	ブックレビューサイトを参考に、読んでみたい本について考える。				120	分	No2	近現代文学史1	近代に入ってから明治時代末期頃までの日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。						予習内容(時間)	明治時代の主要な作家と作品について調べる。				120	分	復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。				120	分	No3	近現代文学史2	明治時代末期から大正時代にかけての日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。						予習内容(時間)	大正時代の主要な作家と作品について調べる。				120	分	復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。				120	分	No4	近現代文学史3	大正時代末期から昭和にかけての日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。						予習内容(時間)	昭和初期の主要な作家と作品について調べる。				120	分	復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。				120	分	No5	近現代文学史4	戦後の日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。						予習内容(時間)	戦後から昭和後半くらいまでの主要な作家と作品について調べる。				120	分	復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。				120	分	No6	芥川龍之介の生涯と作品1	芥川龍之介の生涯と代表作品について理解する。						予習内容(時間)	芥川龍之介の主要な作品を調べる。				120	分
週	テーマ	学習内容																																																																																																																																										
No1	ガイダンス	授業の進め方や成績評価について説明。 ブックレビューサイトを参考に、読んでみたい本を上げたり、レビューの書き方について学ぶ。																																																																																																																																										
	予習内容(時間)	シラバスの確認。				120	分																																																																																																																																					
	復習内容(時間)	ブックレビューサイトを参考に、読んでみたい本について考える。				120	分																																																																																																																																					
No2	近現代文学史1	近代に入ってから明治時代末期頃までの日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。																																																																																																																																										
	予習内容(時間)	明治時代の主要な作家と作品について調べる。				120	分																																																																																																																																					
	復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。				120	分																																																																																																																																					
No3	近現代文学史2	明治時代末期から大正時代にかけての日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。																																																																																																																																										
	予習内容(時間)	大正時代の主要な作家と作品について調べる。				120	分																																																																																																																																					
	復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。				120	分																																																																																																																																					
No4	近現代文学史3	大正時代末期から昭和にかけての日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。																																																																																																																																										
	予習内容(時間)	昭和初期の主要な作家と作品について調べる。				120	分																																																																																																																																					
	復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。				120	分																																																																																																																																					
No5	近現代文学史4	戦後の日本文学の歴史や、主要な作家とその作品について理解する。																																																																																																																																										
	予習内容(時間)	戦後から昭和後半くらいまでの主要な作家と作品について調べる。				120	分																																																																																																																																					
	復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。				120	分																																																																																																																																					
No6	芥川龍之介の生涯と作品1	芥川龍之介の生涯と代表作品について理解する。																																																																																																																																										
	予習内容(時間)	芥川龍之介の主要な作品を調べる。				120	分																																																																																																																																					

【授業計画】		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。	120	分
	No7	芥川龍之介の生涯と作品2	芥川龍之介の作品『藪の中』の原作となった『今昔物語集』所収説話を読んで、内容や登場人物について理解する。		
		予習内容(時間)	『今昔物語集』はどのような作品か調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。	120	分
	No8	芥川龍之介の生涯と作品3	短編小説『藪の中』を読み、内容や文章の特徴、登場人物の心情などについて理解を深める。		
		予習内容(時間)	『藪の中』はどのような作品か調べる。	120	分
		復習内容(時間)	『藪の中』の登場人物の心情を表現に即して考える。	120	分
	No9	芥川龍之介の生涯と作品4	『藪の中』と海外の小説との関連性や、後の時代の文学や芸術作品に与えた影響について理解する。		
		予習内容(時間)	『藪の中』をもととして制作された映画について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。	120	分
	No10	太宰治の生涯と作品1	太宰治の生涯と代表作品について理解する。		
		予習内容(時間)	太宰治はどのような作家だったか調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。	120	分
	No11	太宰治の生涯と作品2	太宰治の代表作品を読み、文章や題材の特徴について理解する。		
		予習内容(時間)	太宰治の主要な作品を調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。	120	分
	No12	太宰治の生涯と作品3	太宰治の代表作『人間失格』の抜粋を読み、内容や文章の特徴、登場人物の心情などについて理解を深める。		
		予習内容(時間)	『人間失格』はどのような作品か調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。	120	分
	No13	村上春樹の経歴と作品1	村上春樹の経歴や主要作品、ポップカルチャーとの関連性などについて理解する。		
		予習内容(時間)	村上春樹の経歴について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。	120	分
	No14	村上春樹の経歴と作品2	村上春樹の主要作品を抜粋で読み、内容や文章の特徴、登場人物の心情などについて理解を深める。		
		予習内容(時間)	村上春樹の主要な作品を調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を整理し、確認しておく。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	文学 BE-B
講義名(英字)	Literature
担当教員	網本 尚子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	「源氏物語」 『源氏物語』に描かれている女君たちのなかでもとくに印象深い、紫の上、葵の上、六条御息所、藤壺女御、そして光源氏の母である桐壺更衣らを取り上げ、それらの女性がどのように描かれているのかに着目しながら『源氏物語』の本文を読み進めていく。 古語や文語文法の知識を深めるというよりも、私たちと同じ日本人が、1000年前にはどのように生活し、どのような物の考え方をしていたのかを知り、現代日本の根底に横たわる、日本人としての共通認識や常識について理解を深めることを目標とする。
	1『源氏物語』の作者や物語執筆の背景、『源氏物語』の登場人物などについて理解する。

	歴史的な人物について答えられるだけでなく、漢字で正しく書けるようにする。 また、本文に登場する人物について、お互いの関係を理解し、正しく系図にまとめられるようになる。																																																																																	
【到達目標】	2授業で読むテキスト本文が、現代語訳のどの箇所にあたるかを理解し、指名された時に、正しく音読できるようになる。 3本文に描かれている平安時代の風俗や習慣、考え方などについて理解を深める。 授業で説明を受けた語句の意味等を正しく理解するだけでなく、漢字で正しく書けるようになる。																																																																																	
【履修条件・受講推奨者】	1日本語のテキストを音読する能力があること。 2日本の伝統や歴史に興味があること。 3日本の古い言葉で作品を読むので、留学生は自分の日本語能力を十分考慮した上で受講すること。																																																																																	
【教育方法】	『源氏物語』の本文を読み、語句の意味や内容について解説する。																																																																																	
【指定教科書・参考資料等】	秋山虔他編『源氏物語読本』筑摩書房、1996																																																																																	
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力		創造力																																																															
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																												
協働力		主張力		創造力																																																																														
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td>受講態度、授業への参加姿勢</td><td>20%</td><td colspan="4" rowspan="4">3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価。</td></tr><tr><td>試験</td><td>80%</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>						評価項目と割合		評価方法				受講態度、授業への参加姿勢	20%	3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価。				試験	80%			合計	100%																																																										
評価項目と割合		評価方法																																																																																
受講態度、授業への参加姿勢	20%	3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価。																																																																																
試験	80%																																																																																	
合計	100%																																																																																	
【その他の注意事項】	テキストを持参しない場合は欠席と見なすので、必ずテキストを購入し、毎時間持参すること。																																																																																	
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="4">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td colspan="4">授業の進め方などについて解説する。 さまざまな現代の作家が訳している『源氏物語』の現代語訳を読み比べる。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>シラバスの確認</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>『源氏物語』とはどのような物語なのかを確認する。</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>源氏物語のあらすじ作者について</td><td colspan="4">『源氏物語』のあらすじや紫式部の人生について理解する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの解説ページ「紫式部と源氏物語」をあらかじめ読んでおく。</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>源氏物語のあらすじや紫式部の人生について確認する。</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>桐壺1</td><td colspan="4">「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>桐壺2</td><td colspan="4">「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。とくに、後宮やそこに住む女性たちの生活について理解を深める。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td></td><td>桐壺3</td><td colspan="4">「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。とくに、中国の</td></tr></table>						週	テーマ	学習内容				No1	ガイダンス	授業の進め方などについて解説する。 さまざまな現代の作家が訳している『源氏物語』の現代語訳を読み比べる。				予習内容(時間)	シラバスの確認	120	分		復習内容(時間)	『源氏物語』とはどのような物語なのかを確認する。	120	分		No2	源氏物語のあらすじ作者について	『源氏物語』のあらすじや紫式部の人生について理解する。				予習内容(時間)	テキストの解説ページ「紫式部と源氏物語」をあらかじめ読んでおく。	120	分		復習内容(時間)	源氏物語のあらすじや紫式部の人生について確認する。	120	分		No3	桐壺1	「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。				予習内容(時間)	テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。	120	分		復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分		No4	桐壺2	「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。とくに、後宮やそこに住む女性たちの生活について理解を深める。				予習内容(時間)	テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。	120	分		復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分			桐壺3	「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。とくに、中国の			
週	テーマ	学習内容																																																																																
No1	ガイダンス	授業の進め方などについて解説する。 さまざまな現代の作家が訳している『源氏物語』の現代語訳を読み比べる。																																																																																
	予習内容(時間)	シラバスの確認	120	分																																																																														
	復習内容(時間)	『源氏物語』とはどのような物語なのかを確認する。	120	分																																																																														
No2	源氏物語のあらすじ作者について	『源氏物語』のあらすじや紫式部の人生について理解する。																																																																																
	予習内容(時間)	テキストの解説ページ「紫式部と源氏物語」をあらかじめ読んでおく。	120	分																																																																														
	復習内容(時間)	源氏物語のあらすじや紫式部の人生について確認する。	120	分																																																																														
No3	桐壺1	「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。																																																																																
	予習内容(時間)	テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。	120	分																																																																														
	復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分																																																																														
No4	桐壺2	「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。とくに、後宮やそこに住む女性たちの生活について理解を深める。																																																																																
	予習内容(時間)	テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。	120	分																																																																														
	復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分																																																																														
	桐壺3	「桐壺」の巻を中心に講読し、平安時代の後宮や平安貴族の考え方、当時の結婚観等について理解する。とくに、中国の																																																																																

【授業計画】

No5		詩人白居易の詩と源氏物語との関連性について理解を深める。		
	予習内容(時間)	テキストの「一 桐壺の更衣」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分
	藤壺	藤壺女御に関する記述をピックアップして読み、光源氏の生涯に藤壺が与えた影響について考察する。		
	予習内容(時間)	テキストの「五 心の鬼」をあらかじめ読んでおく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分
	葵の上	テキストには記載のない、光源氏と葵の上との出会いや死別の場面を読み、車争いの悲劇の原因について考察する。		
	予習内容(時間)	テキストの指定された箇所をあらかじめ読んでおく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分
	車争い	齋院や齋宮について学び、齋院の行事で起こった「車争い」の経緯や原因について理解を深める。		
	予習内容(時間)	テキストの「六 車争ひ」をあらかじめ読んでおく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分
	野宮の一夜	車争いの後に六条御息所の身に起こった現象を考察し、平安時代の人々の思想について理解を深める。また、光源氏と六条との別離の場面を読み味わう。		
	予習内容(時間)	テキストの「七 野宮の一夜」をあらかじめ読んでおく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分
	紫の上1	光源氏と紫の上との出会いの場面を読み、紫の上を造形した作者の紫式部の意図を考察する。		
	予習内容(時間)	テキストの「四 若紫の君」の指定された箇所をあらかじめ読んでおく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分
	紫の上2	光源氏の須磨配流の頃や、その後の栄華の絶頂期について読んで学び、光源氏と紫の上との関係性について理解する。		
	予習内容(時間)	テキストの指定された箇所をあらかじめ読んでおく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分
	紫の上3	女三の宮降嫁後の出来事や、光源氏と紫の上との関係性の变化について理解する。		
	予習内容(時間)	テキストの「十四 女三の宮の降嫁」をあらかじめ読んでおく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分
No13	女三の宮1	女三の宮の立場や光源氏、紫の上との関係性を理解し、女三の宮に起こった悲劇の原因について考察する。		
	予習内容(時間)	テキストの指定された箇所をあらかじめ読んでおく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分
No14	女三の宮2	女三の宮が生んだ息子薫に対する光源氏の思いを、中国の詩人白居易の詩と重ね合わせて理解する。		
	予習内容(時間)	テキストの「十六 罪の子」をあらかじめ読んでおく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で出てきた人物名や古典用語を整理し、確認する。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	文学 BE-C
講義名(英字)	Literature
担当教員	網本 尚子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「歌舞伎」 江戸時代から演じられ続けている日本の伝統芸能歌舞伎を取り上げ、映像教材を用いながら、歌舞伎の成立や歴史、特徴、他の古典芸能との関連、鑑賞のポイントなどについて講義する。受講者全員で古典芸能を鑑賞に出かけることなどはしないが、個人的に鑑賞の機会を持ってもらえることを期待する。 これからの国際化の時代、海外に出る機会もますます増えるだろう。諸外国の人々に、日本の伝統について堂々と説明できるようになってほしい。

	1歌舞伎の歴史について正しい知識を身につける 歌舞伎成立以前の芸能の歴史に始まり、江戸時代から近現代にいたるまでの歌舞伎の歴史を理解する。																																																																																																																																				
【到達目標】	2歌舞伎の特徴について正しい知識を身につける 歌舞伎が演じられる舞台の構造、歌舞伎の登場人物に見られる特徴、衣装、大道具・小道具、セリフなど、現代演劇と違う特徴を理解する。 3歌舞伎の演目について自分の意見や感想を述べる 授業で歌舞伎の映像資料を集中して鑑賞できる。あらすじや内容、鑑賞のポイントを理解し、現代社会に与える影響などを踏まえて、自分の言葉で感想や意見を述べるができる。																																																																																																																																				
【履修条件・受講推奨者】	1古典芸能や、演劇、ダンス、音楽などに、少しでも興味を持っている学生に履修してもらいたい。 2日本の古い言葉で演じられる芸能を、字幕なしで鑑賞するので、留学生は自分の日本語能力を十分考慮した上で受講すること。																																																																																																																																				
【教育方法】	映像資料を用いながら、歌舞伎の舞台機構、音楽、演技などについて解説し、それに対する感想や質問などを発表する。																																																																																																																																				
【指定教科書・参考資料等】	とくになし。																																																																																																																																				
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力		創造力																																																																																																																	
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																																																																															
協働力		主張力		創造力																																																																																																																																	
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="5">評価方法</td></tr><tr><td>受講態度、授業への参加度</td><td>20%</td><td colspan="5" rowspan="4">3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価。</td></tr><tr><td>試験</td><td>80%</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法					受講態度、授業への参加度	20%	3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価。					試験	80%			合計	100%																																																																																																										
評価項目と割合		評価方法																																																																																																																																			
受講態度、授業への参加度	20%	3分の2以上の出席を条件とし、受講態度や試験の成績を総合して評価。																																																																																																																																			
試験	80%																																																																																																																																				
合計	100%																																																																																																																																				
【その他の注意事項】	映像資料を鑑賞することが多い授業なので、遅刻をすると他の受講生に迷惑をかけることになる。遅刻は厳禁。																																																																																																																																				
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="6">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td colspan="6">授業の進め方や成績評価について説明。 歌舞伎の経済効果についての解説。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">シラバスを確認する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">歌舞伎の現状について確認する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>新しいタイプの歌舞伎の表現</td><td colspan="6">中村勘三郎主演の「野田版研立の討たれ」を鑑賞し、古典的な歌舞伎との違いを理解する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">十八代目中村勘三郎について調べておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">歌舞伎の演技や演出について確認する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>歌舞伎の表現の特徴について</td><td colspan="6">「野田版研立の討たれ」を題材として、歌舞伎らしい表現とは何かを理解する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">歌舞伎の舞台構造や音楽について調べておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">歌舞伎らしさについて整理し、確認する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>歌舞伎の歴史</td><td colspan="6">江戸時代から現代に至る歌舞伎の歴史について学び、理解する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">歌舞伎の歴史の概略を調べておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>歌舞伎の役柄</td><td colspan="6">歌舞伎の登場人物を役柄によって分類し、それぞれの特徴を理解する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">歌舞伎にはどのような人物が出てくるかを調べておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>歌舞伎の舞台と音楽</td><td colspan="6">歌舞伎の舞台の特徴を理解する。 歌舞伎で用いられる楽器や音楽について理解する。</td></tr></table>							週	テーマ	学習内容						No1	ガイダンス	授業の進め方や成績評価について説明。 歌舞伎の経済効果についての解説。						予習内容(時間)	シラバスを確認する。				120	分	復習内容(時間)	歌舞伎の現状について確認する。				120	分	No2	新しいタイプの歌舞伎の表現	中村勘三郎主演の「野田版研立の討たれ」を鑑賞し、古典的な歌舞伎との違いを理解する。						予習内容(時間)	十八代目中村勘三郎について調べておく。				120	分	復習内容(時間)	歌舞伎の演技や演出について確認する。				120	分	No3	歌舞伎の表現の特徴について	「野田版研立の討たれ」を題材として、歌舞伎らしい表現とは何かを理解する。						予習内容(時間)	歌舞伎の舞台構造や音楽について調べておく。				120	分	復習内容(時間)	歌舞伎らしさについて整理し、確認する。				120	分	No4	歌舞伎の歴史	江戸時代から現代に至る歌舞伎の歴史について学び、理解する。						予習内容(時間)	歌舞伎の歴史の概略を調べておく。				120	分	復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。				120	分	No5	歌舞伎の役柄	歌舞伎の登場人物を役柄によって分類し、それぞれの特徴を理解する。						予習内容(時間)	歌舞伎にはどのような人物が出てくるかを調べておく。				120	分	復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。				120	分		歌舞伎の舞台と音楽	歌舞伎の舞台の特徴を理解する。 歌舞伎で用いられる楽器や音楽について理解する。					
週	テーマ	学習内容																																																																																																																																			
No1	ガイダンス	授業の進め方や成績評価について説明。 歌舞伎の経済効果についての解説。																																																																																																																																			
	予習内容(時間)	シラバスを確認する。				120	分																																																																																																																														
	復習内容(時間)	歌舞伎の現状について確認する。				120	分																																																																																																																														
No2	新しいタイプの歌舞伎の表現	中村勘三郎主演の「野田版研立の討たれ」を鑑賞し、古典的な歌舞伎との違いを理解する。																																																																																																																																			
	予習内容(時間)	十八代目中村勘三郎について調べておく。				120	分																																																																																																																														
	復習内容(時間)	歌舞伎の演技や演出について確認する。				120	分																																																																																																																														
No3	歌舞伎の表現の特徴について	「野田版研立の討たれ」を題材として、歌舞伎らしい表現とは何かを理解する。																																																																																																																																			
	予習内容(時間)	歌舞伎の舞台構造や音楽について調べておく。				120	分																																																																																																																														
	復習内容(時間)	歌舞伎らしさについて整理し、確認する。				120	分																																																																																																																														
No4	歌舞伎の歴史	江戸時代から現代に至る歌舞伎の歴史について学び、理解する。																																																																																																																																			
	予習内容(時間)	歌舞伎の歴史の概略を調べておく。				120	分																																																																																																																														
	復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。				120	分																																																																																																																														
No5	歌舞伎の役柄	歌舞伎の登場人物を役柄によって分類し、それぞれの特徴を理解する。																																																																																																																																			
	予習内容(時間)	歌舞伎にはどのような人物が出てくるかを調べておく。				120	分																																																																																																																														
	復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。				120	分																																																																																																																														
	歌舞伎の舞台と音楽	歌舞伎の舞台の特徴を理解する。 歌舞伎で用いられる楽器や音楽について理解する。																																																																																																																																			

【授業計画】	No6	予習内容(時間)	歌舞伎で使われる楽器について調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No7	時代物	歌舞伎の時代物の特徴や演目、登場人物について理解する。 時代物の代表作「仮名手本忠臣蔵」の基となった赤穂事件について理解する。		
		予習内容(時間)	時代物とは何か調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No8	仮名手本忠臣蔵	時代物の名作「仮名手本忠臣蔵」の舞台映像を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。		
		予習内容(時間)	「仮名手本忠臣蔵」のあらすじや登場人物を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No9	加賀見山旧錦絵	時代物の人気作で、「仮名手本忠臣蔵」の女性版と呼ばれる「加賀見山旧錦絵」の舞台映像を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。		
		予習内容(時間)	「加賀見山旧錦絵」のあらすじや登場人物を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No10	荒事	荒事の特徴や演目、登場人物について理解する。 荒事の代表作「毛抜」の舞台映像を鑑賞する。		
		予習内容(時間)	荒事とは何か調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No11	世話物	世話物の特徴や演目、登場人物について理解する。		
		予習内容(時間)	世話物とは何か調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No12	四谷怪談	世話物の代表作「東海道四谷怪談」の舞台映像を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。		
		予習内容(時間)	「東海道四谷怪談」のあらすじや登場人物について調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No13	能と歌舞伎1	能「石橋」を基にして作られた歌舞伎「連獅子」の舞台映像を鑑賞し、能との違いについて理解を深める。		
		予習内容(時間)	「連獅子」とはどのような作品か調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No14	能と歌舞伎2	能「安宅」を基にして作られた歌舞伎「勧進帳」の舞台映像を鑑賞し、あらすじや登場人物について、能との違いについて理解を深める。		
		予習内容(時間)	「勧進帳」とはどのような作品か調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	文学 BE-D
講義名(英字)	Literature
担当教員	網本 尚子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	「古典文学」 この授業では、現代に生きるわれわれにも少なからず影響を与えている代表的な古典文学作品や、古典文学の影響を受けて書かれた近現代の小説を取り上げ、あらすじを知るとともに、その一部については原文で読み味わう。さらに、そこに描かれる昔の風俗や考え方についての講義を通して、日本人としての常識を身につけ、教養を深めることを目標とする。
	1和歌の歴史や用語について正しく理解する。 和歌文学の歴史や用語を理解し、代表的な和歌の作品の内容や背景について理解を深める。また、和歌を自分の言葉で現代語訳できるように

【到達目標】	なる。 2『今昔物語集』の特徴や説話の内容について正しく理解する。 説話のあらすじや語句の意味、漢字の読み、説話のおもしろさのポイントなどについて理解する。 3『平家物語』のあらすじを正しく理解する。『平家物語』をもとにした芸能の特徴について考察する。江戸時代の劇文学について理解する。 『平家物語』の主な登場人物や事件について理解する。『平家物語』と関連深い芸能である平曲や狂言などの特徴が説明できる。 また、江戸時代の劇文学である『曽根崎心中』の内容や、文案(人形浄瑠璃)の特徴を説明できる。																										
【履修条件・受講推奨者】	1高校時代に古典を選択していなかった人も十分受講可能だが、少なくとも文学に興味や関心のある人に履修してもらいたい。 2日本の古い言葉で書かれた文学作品を読むので、留学生は自分の日本語能力を十分考慮した上で受講すること。																										
【教育方法】	配付された古典文学作品のプリントを読み、その内容について、古語の読み方について、文法についてなどの講義を受ける。																										
【指定教科書・参考資料等】	とくになし。																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力		創造力							
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																					
協働力		主張力		創造力																							
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="5">評価方法</td></tr><tr><td>受講態度や授業への参加度</td><td>20%</td><td colspan="5" rowspan="4">3分の2以上の出席を条件とし、受講態度やレポートの評価、試験の成績を総合的に評価する。</td></tr><tr><td>レポート</td><td>30%</td></tr><tr><td>試験</td><td>50%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法					受講態度や授業への参加度	20%	3分の2以上の出席を条件とし、受講態度やレポートの評価、試験の成績を総合的に評価する。					レポート	30%	試験	50%	合計	100%
評価項目と割合		評価方法																									
受講態度や授業への参加度	20%	3分の2以上の出席を条件とし、受講態度やレポートの評価、試験の成績を総合的に評価する。																									
レポート	30%																										
試験	50%																										
合計	100%																										
【その他の注意事項】	レポートを一回課すが、何でもインターネットで調べて済ませようとせず、専門書で調べて勉強するようにしてほしい。																										
	週	テーマ	学習内容																								
	No1	ガイダンス	授業の進め方や成績評価について説明。 古典文学作品についてのクイズに答える。																								
		予習内容(時間)	シラバスの確認。	120	分																						
		復習内容(時間)	クイズの正解を確認する。	120	分																						
	No2	言葉遊び	日本に伝わるさまざまな言葉遊びについて学び、日本語の特徴や、日本人の言葉に関する感覚について理解する。、																								
		予習内容(時間)	日本語の言葉遊びの種類について調べる。	120	分																						
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語について整理し、確認する。	120	分																						
	No3	百人一首の恋歌1	藤原定家を選んだと言われる小倉百人一首について理解する。 女性歌人である小野小町の代表的な和歌を読み味わう。																								
		予習内容(時間)	百人一首とは何か調べる。小野小町について調べる。	120	分																						
		復習内容(時間)	授業で出てきた和歌の意味や用語、人物関係について整理し、確認する。	120	分																						
	No4	百人一首の恋歌2	女性歌人である和泉式部の代表的な和歌を読み味わう。																								
		予習内容(時間)	和泉式部について調べる。	120	分																						
		復習内容(時間)	授業で出てきた和歌の意味や用語、人物関係について整理し、確認する。	120	分																						
	No5	百人一首の恋歌3	式子内親王、藤原敦忠、崇徳院の代表的な和歌を読み味わう。 和歌を題材に作られた漫画や歌など、現代に与える影響について考える。																								
		予習内容(時間)	式子内親王、藤原敦忠、崇徳院について調べる。	120	分																						
復習内容(時間)		授業で出てきた和歌の意味や用語、人物関係について整理し、確認する。	120	分																							
	今昔物語集1	説話とは何か理解する。																									

【授業計画】	No6		『今昔物語集』所収の説話を読み、現代人との共通点や相違点について考察する。	
		予習内容(時間)	『今昔物語集』とはどのような作品か調べる。	120 分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語や説話の内容について整理し、確認する。	120 分
	No7	今昔物語集2	『今昔物語集』所収話の中から、小悪党の些細な悪事が描かれた話を読み、平安時代末期の世相について理解を深める。	
		予習内容(時間)	『今昔物語集』の構成について調べる。	120 分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語や説話の内容について整理し、確認する。	120 分
	No8	今昔物語集3	芥川龍之介の短編小説『藪の中』の原話となった説話を読み、平安時代末期の世相について理解を深める。	
		予習内容(時間)	平安時代の庶民の暮らしについて調べる。	120 分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語や説話の内容について整理し、確認する。	120 分
	No9	芥川龍之介『藪の中』 ¹	『藪の中』を読み味わい、原拠となった説話との違いについて理解する。	
		予習内容(時間)	芥川龍之介について調べる。	120 分
		復習内容(時間)	『藪の中』の内容や登場人物について整理し、確認する。	120 分
	No10	芥川龍之介『藪の中』 ²	『藪の中』で描かれる登場人物の言動について、どのような解釈ができるか考察する。	
		予習内容(時間)	『藪の中』を基にして制作された映画について調べる。	120 分
		復習内容(時間)	『藪の中』の内容や登場人物について整理し、確認する。	120 分
	No11	平家物語1	『平家物語』のあらすじや登場人物の関係を理解する。	
		予習内容(時間)	『平家物語』がどのような作品なのか調べる。	120 分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語や人物関係について整理し、確認する。	120 分
	No12	平家物語2	『平家物語』の中から、有名な那須与一の場面を読み味わう。さらに平家琵琶や那須与一の逸話を基にした狂言を鑑賞する。	
		予習内容(時間)	那須与一の逸話がどのようなものか調べる。	120 分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語や人物関係について整理し、確認する。	120 分
	No13	曾根崎心中1	『曾根崎心中』の作者である近松門左衛門の生涯や作品の特徴について理解する。	
		予習内容(時間)	近松門左衛門について調べる。	120 分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語や近松の生涯について整理し、確認する。	120 分
	No14	曾根崎心中2	『曾根崎心中』の本文を読み味わう。また、文楽(人形浄瑠璃)の映像資料を鑑賞し、文楽の特徴について理解する。	
		予習内容(時間)	『曾根崎心中』はどのような作品か調べる。	120 分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語や文楽の特徴について整理し、確認する。	120 分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	文学 BE-E
講義名(英字)	Literature
担当教員	網本 尚子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「能・狂言」 600年以上前から演じられ続けている日本の伝統芸能、能・狂言を取り上げ、映像資料を用いながら、能・狂言の成立や歴史、他の文学作品への影響、鑑賞のポイントなどについて講義する。受講者全員で古典芸能を鑑賞に出かけることなどはしないが、個人的に鑑賞の機会を持てくられることを期待する。 これからの国際化の時代、海外に出る機会もますます増えるだろう。諸外国の人々に、日本の伝統について堂々と説明できるようになってほしい。

【到達目標】	1能・狂言の歴史について正しい知識を身につける。 能・狂言以前の芸能の歴史に始まり、形成期、大成期、近現代にいたるまでの歴史を理解する。												
	2能・狂言の特徴について正しい知識を身につける。 能・狂言が演じられる能舞台の構造、能・狂言の登場人物に見られる特徴、衣装、大道具・小道具、セリフ、謡、舞など、現代演劇と違う特徴を理解する。												
	3能・狂言の演目について感想や意見を述べる。 映像教を集中して鑑賞できる。 鑑賞した能・狂言の演目について、あらすじや内容、鑑賞のポイントを理解し、自分の言葉で感想や意見を述べることができる。 能・狂言が現代まで演じ続けられていることに対して、その理由や、現代社会に与えている影響などについて、自分の言葉で意見を述べるができる。												
【履修条件・受講推奨者】	1古典芸能や、演劇、ダンス、音楽などに、少しでも興味を持っている学生に履修してもらいたい。 2日本の古い言葉で演じられる芸能を、字幕なしで鑑賞するので、留学生は自分の日本語能力を十分考慮した上で受講すること。												
【教育方法】	映像資料を用いながら、能狂言の舞台機構、音楽、演技などについて解説し、それに対する感想や質問などを発表する。												
【指定教科書・参考資料等】	とくになし。												
【実務IQ修得目標】	自制力			思考力		○	突破力			忍耐力			
	協働力			主張力			創造力						
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法								
	受講態度、授業への参加度			20%		3分の2以上の出席を条件とし、受講態度、試験の成績を総合して評価。							
	試験			80%									
	合計			100%									
【その他の注意事項】	映像教材を鑑賞することが多い授業なので、遅刻をすると他の受講生に迷惑をかけることになる。遅刻は厳禁。												
	週	テーマ		学習内容									
	No1	ガイダンス		授業の進め方や成績評価について説明。 他の古典芸能との比較。									
		予習内容(時間)		シラバスの確認。								120	分
		復習内容(時間)		能狂言と他の芸能との違いを整理し、確認する。								120	分
	No2	狂言「茸」		能舞台の構造を理解する。 狂言「茸」を鑑賞し、狂言らしい演技や演出について理解する。									
		予習内容(時間)		能舞台とはどのような舞台なのか調べる。								120	分
		復習内容(時間)		授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。								120	分
	No3	狂言「千切木」		狂言面の種類や特徴を理解する。 狂言「千切木」を鑑賞し、女性の役の演じ方や、立衆の役割などを理解する。									
		予習内容(時間)		狂言面にはどのようなものがあるか調べる。								120	分
		復習内容(時間)		授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。								120	分
	No4	狂言の登場人物、小道具、演技		狂言に出てくる役柄の種類や演じ方の特徴、演出の特徴について理解する。									
		予習内容(時間)		狂言の登場人物について調べる。								120	分
		復習内容(時間)		授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。								120	分
	No5	狂言「附子」		狂言「附子」を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。									
		予習内容(時間)		狂言「附子」とはどのような作品か調べる。								120	分
		復習内容(時間)		授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。								120	分

【授業計画】	No6	能楽の歴史1	能・狂言誕生以前の芸能から近現代にいたるまでの能・狂言の歴史を理解する。とくに世阿弥の功績について理解を深める。		
		予習内容(時間)	世阿弥について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No7	能楽の歴史2	能・狂言誕生以前の芸能から近現代にいたるまでの能・狂言の歴史を理解する。とくに戦国時代以降の能楽の危機と、どのように乗り越えたかについて理解を深める。		
		予習内容(時間)	能楽の流儀について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No8	能「井筒」	能「井筒」を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。		
		予習内容(時間)	能「井筒」はどのような作品か調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No9	能の基礎知識	映像資料をもとに、能の演技の特徴や衣装について理解する。		
		予習内容(時間)	能面にはどのようなものがあるか調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No10	五番立て	映像資料をもとに、能の五番立てについて理解する。能に出てくる役柄の種類や演じ方の特徴について理解する。		
		予習内容(時間)	五番立てとは何か調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No11	能「隅田川」	能「隅田川」を鑑賞し、内容や見どころについて理解を深める。		
		予習内容(時間)	能「隅田川」はどのような作品か調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No12	能と歌舞伎1	歌舞伎「連獅子」のもととなった能「石橋」の舞台映像を鑑賞し、能と歌舞伎との違いについて理解を深める。		
		予習内容(時間)	「連獅子」「石橋」はどのような作品か調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No13	能と歌舞伎2	歌舞伎「勧進帳」のもととなった能「安宅」の舞台映像を鑑賞し、能と歌舞伎との違いについて理解を深める。		
		予習内容(時間)	「勧進帳」「安宅」はどのような作品か調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分
	No14	能楽の伝承	映像資料をもとに、芸がどのように親から子へ伝承されるかを理解する。		
		予習内容(時間)	野村万作・萬斎親子について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で出てきた用語を理解し、漢字で書けるようにしておく。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	生命科学 BE-A
講義名(英字)	Life Science
担当教員	古田 玲子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	人体の構造と機能、他の生物の共通点と相違点、がん、若者に蔓延しているSexually Transmitted Infection (STI: 性感染症)、人獣共通感染症、有害物質、有害生物、臓器移植、生殖医療および生物の多様性について学び、生命現象を理解し、また健康を維持する為に必要な知識を養うことを目的としています。最先端の研究成果や最近の話題を取り入れながら判りやすく解説していきます。
	生物学的および医学的な基礎知識を学ぶ 人体の構造と機能、がん、STI、人獣共通感染症、有害物質、有害生物について学び、実現可能な予防策についての知識が習得する。

【到達目標】	病気の原因、予防について基礎的な知識を学ぶ 生命科学の基礎を正確に理解した上で、臓器移植と生殖医療、生物の多様性について考えることができる。 生命科学全般について理解を深め生命倫理、生物多様性についての意義を考える力を養う 生命科学に関する興味のあるテーマを選びレポートにすることで、調べる手段とまとめる力を養う。										
【履修条件・受講推奨者】	生命科学に興味があり、教養として知識を身につけたい方が望まれる。										
【教育方法】	生命科学関係の最近の話題を取り入れながら講義形式で進め、質疑応答により理解度を確認する。										
【指定教科書・参考資料等】	参考資料や用語集を必要に応じて配布する。										
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力				
	協働力		主張力		創造力	○					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】											
	評価項目と割合						評価方法				
	定期試験			80%							
	レポート			20%							
合計			100%								
【その他の注意事項】	特になし										
	週	テーマ		学習内容							
	No1	生命科学の概要		授業内容の説明およびレポートの作成方法について学ぶ							
		予習内容(時間)		生命科学についてどのような分野であるのか検索し予習しておくこと						120	分
		復習内容(時間)		授業内容を復習しておくこと						120	分
	No2	人体の構造と機能		臓器、組織、細胞、遺伝子について学ぶ							
		予習内容(時間)		人体の構造と機能について調べておくこと						120	分
		復習内容(時間)		講義で解説した内容を復習しておくこと						120	分
	No3	ヒトと他生物の共通点と相違点		ヒト、イヌ、マウスなどの哺乳類間と鳥類、爬虫類、魚類、両生類などの他生物との比較をして、共通点と相違点を理解する							
		予習内容(時間)		ヒトおよび他生物について調べておくこと						120	分
		復習内容(時間)		講義で解説した内容を復習しておくこと						120	分
	No4	腫瘍についての基礎的知識		腫瘍の発生と遺伝子異常、良性腫瘍と悪性腫瘍(がん)のちがいが、原因と予防、検査法について学ぶ							
		予習内容(時間)		腫瘍がどのような疾病であるのかを調べておくこと						120	分
		復習内容(時間)		専門用語を正しく理解するために授業内容を復習しておくこと						120	分
	No5	早期がんと進行がん		がんの進行度と治療法、予後について学ぶ							
		予習内容(時間)		腫瘍について調べておくこと						120	分
		復習内容(時間)		講義で解説した内容を復習しておくこと						120	分
	No6	各臓器のがんⅠ		肺がんについて学ぶ							
		予習内容(時間)		肺がんについて調べ、質問したいことを挙げておくこと						120	分
		復習内容(時間)		講義で解説した内容を復習しておくこと						120	分
		各臓器のがんⅡ		胃がん、大腸について学ぶ							

【授業計画】	No7	予習内容(時間)	胃がん、大腸がんについて調べ、質問したいことを挙げておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
	No8	各臓器のがんⅢ	乳がん、子宮がんについて学ぶ		
		予習内容(時間)	乳がん、子宮がんについて調べ、質問したいことを挙げておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
		各臓器のがんⅣ	肝臓がん、その他のがんについて学ぶ		
	No9	予習内容(時間)	肝臓がん、その他のがんについて調べ、質問したいことを挙げておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
	No10	STIについてⅠ	STI (sexually transmitted infections) の概要とHIV感染症・エイズ(後天性免疫不全症候群)について原因、症状、予防および治療について学ぶ		
		予習内容(時間)	HIV感染症・エイズについて調べておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
	No11	STIについてⅡ	HPV (Human papillomavirus) 感染症、梅毒、クラミジアなどの主なSTIの原因、症状、予防および治療について学ぶ		
		予習内容(時間)	STIの原因となる病原体について調べておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
	No12	STIについてⅢ	ヘルペス感染症、淋菌感染症、トリコモナス症、カンジダ 症、B型肝炎などについて学ぶ		
		予習内容(時間)	STIの原因となる病原体について調べておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
	No13	生物毒と有害物質	生物毒と有害生物について学ぶ		
		予習内容(時間)	毒のある生物について調べておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
	No14	人獣共通感染症・動物が媒介する感染症	BSE、狂犬病、インフルエンザ、デング熱、エキノコックスなど、人獣共通感染症・動物が媒介する感染症について学ぶ		
		予習内容(時間)	人獣共通感染症・動物が媒介する感染症について資料を読んで予習しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	生命科学で学んできた講義内容を復習しておくこと	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	国際関係論 BE-A
講義名(英字)	International Relations
担当教員	黒澤 愛美
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	まず、国際関係とは何かというところから始めて、国際関係論の基礎知識を身につけます。そして、その基礎知識を基に、現代の国際社会が抱える諸問題を議論します。現代の国際社会には数多くの問題がありますが、この授業は、日本で活動する国際人として知っておくべき問題を優先して扱います。問題の現状を知ることにとどまらず、経緯や今後の課題まで追究します。また、関連する時事ニュースも積極的に取り上げます。
	国際関係論の基礎知識がある

【到達目標】	国際関係史の大きな流れを理解している 国際社会の諸問題について、概要を理解し、議論することができる									
【履修条件・受講推奨者】	・初回に必ず出席してください。 ・毎回CoursePowerを利用できるデバイスを持参してください。									
【教育方法】	基本的に講義形式で進めますが、各々が考える時間を適宜取ります。									
【指定教科書・参考資料等】	CoursePowerで資料を配布します。									
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力			
	協働力		主張力	○	創造力	○				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合					評価方法				
	国際関係論の基礎知識について、重要用語を適切に用いながら論理的に記述する			10%	3分の2以上の出席を前提として授業中の課題50%、期末試験50%で評価します。					
	国際関係史について、重要事項を押さえながら簡潔に記述する			20%						
	国際問題について、概要を理解し、自分の主張を論理的かつ説得的に記述する			70%						
	合計			100%						
【その他の注意事項】	・受講マナーを守り、ほかの受講者に迷惑を掛ける行動は慎んでください。 ・板書等、撮影を一切禁止します。 ・国際情勢に鑑みて、授業計画を変更することがあります。									
	週	テーマ			学習内容					
	No1	イントロダクション			授業ガイダンス、国際関係とは何か					
		予習内容(時間)			国際関係とは何か考える			120	分	
		復習内容(時間)			授業内容を整理する			120	分	
	No2	国際関係論の基礎知識			国際関係の主体、グローバリゼーション					
		予習内容(時間)			国際ニュースをチェックする			120	分	
		復習内容(時間)			授業内容を整理する			120	分	
	No3	国際関係史			第一次世界大戦、第二次世界大戦					
		予習内容(時間)			国際ニュースをチェックする			120	分	
		復習内容(時間)			授業内容を整理する			120	分	
	No4	国際関係史			冷戦期の国際社会					
		予習内容(時間)			国際ニュースをチェックする			120	分	
		復習内容(時間)			授業内容を整理する			120	分	
	No5	国際関係史			国共内戦、朝鮮戦争					
		予習内容(時間)			国際ニュースをチェックする			120	分	
		復習内容(時間)			授業内容を整理する			120	分	
	No6	国際関係史			冷戦後の国際社会					
		予習内容(時間)			国際ニュースをチェックする			120	分	

【授業計画】		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No7	国際問題	歴史問題		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No8	国際問題	日韓歴史問題		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No9	国際問題	領土問題		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No10	国際問題	安全保障、軍事		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No11	国際問題	経済、貿易		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No12	国際問題	環境、エネルギー		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No13	国際問題	人権		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No14	国際問題	SDGs、今までの授業についての総括		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	社会学 BE-A
講義名(英字)	Sociology
担当教員	難波 俊樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	私たちの社会を取り巻く事象を、社会学を通じて考察します。受講者が自らの視点と判断基準をもって事象をとらえることができるようになることを目的とします。春学期は、ネット社会、コミュニケーション、テクノロジー、個人の権利やプライバシーを中心とします。また、社会情勢にあわせて適宜内容を変更して、最新の社会情勢の考察に取り組むことがあります。						
【到達目標】	社会への理解を深める: 自分の視点をしっかり持って社会の事象をとらえることができる。 社会を多面的にとらえる: クリティカルシンキングができる。 基礎知識の習得: 社会事象を理解するための基礎知識が習得できたか。						
【履修条件・受 講推奨者】							
【教育方法】	講義: 70% グループワーク: 30%						
【指定教科書・ 参考資料等】	使用せず						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力		創造力	○	
	評価項目と割合		評価方法				

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	定期試験	60%	定期試験とグループワークへの取り組み状況の総合評価となります。 基本的にはグループワークへの参加は必須となりますが、回によってはwebを活用して実施する場合もあります。			
	グループワークへの取り組み状況	40%				
	合計	100%				
【その他の注意事項】						
【授業計画】	週	テーマ	学習内容			
	No1	全体ガイダンス: 視点を持つことの重要性+G96:AI273	どのような姿勢、準備でこの講義に取り組んでいただきたいか。 自分の視点を持つことの重要性。 観察することの重要性。 社会学とは何か？			
		予習内容(時間)	「社会学」に対する自分なりの考察	120	分	
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分	
	No2	思考の練習	社会学を学ぶにあたって、 ・知識とは何か？ ・事実とは何か？ ・様々な思考法 についてのワークショップを行う。			
		予習内容(時間)	「社会学」に対する考察	120	分	
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分	
	No3	インターネットで社会はどう変化したか？	Beforeインターネット社会とAfterインターネット社会はどのように変化したのか。ビジネスのありかた、社会のありかた、個人のありかたまで変えてしまった、この変化を考察する。			
		予習内容(時間)	SNSのメリットデメリットについて考察しておく	120	分	
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分	
	No4	テクノロジーと社会	インターネット以外にも、社会を大きく変えたテクノロジーがある。また、その変化は社会や人間にプラスの変化だけではなく、マイナスの変化ももたらした。 いくつかのその変革を功罪両方の側面から考察する。			
		予習内容(時間)	社会を変えたテクノロジーについての下調べ	120	分	
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分	
	No5	「個」と「公」	民主主義の成立からこれまでの経緯を踏まえて現在の民主主義が抱える課題やジレンマを考察し、成熟社会日本のこれからの時代の個人と社会の関係性を考える。 【キーワード】 ・well-being ・ダイバーシティ ・プライバシー			
		予習内容(時間)	民主主義と様々な制度についての下調べ	120	分	
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分	
	No6	データから世界を眺める	私たちが知っている「世界」は果たして真実か。実際のデータをもとに、自分たちの認識が正しかったか、正しくなかったかを検証する。 現在の社会をデータを通じて理解を深める。 【キーワード】 ・南北格差 ・富の集中 ・分断			
		予習内容(時間)	前時に指定した課題に取り組む	120	分	
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分	
	No7	ビッグデータとは何か	ビッグデータについての概説から、実際のビジネスでどのようにビッグデータが活用されているかのケーススタディを行う。 【キーワード】 ・データ倫理 ・データ活用ビジネス ・ポイントカード ・人流			
		予習内容(時間)	ビッグデータ活用ビジネスに関する下調べ	120	分	

		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No8	AIと社会を考える	急速に発展し、実社会での活用が進む人工知能。これからのビジネスではさらに人工知能を活用することが求められる。本講義では技術的側面とビジネス的側面の双方から人工知能を考える。		
		予習内容(時間)	人工知能がビジネスに活用されている事例に関する下調べ	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No9	情報社会論①	世界で流れている様々なフェイクニュースを通して以下の事象について考察する。 ・「真実」とは何か？ ・情報の発信には様々な意図があること。 ・人はなぜフェイクニュースを信じるのか？ ・人の認知にあるひずみ。		
		予習内容(時間)	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No10	情報社会論②	都市伝説について事例を取り上げ、それらが流布される背景を考察する。 【キーワード】 ・都市化 ・ネットロア		
		予習内容(時間)	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No11	情報社会論③	ウクライナ戦争では当事者国の双方が虚々実々の情報戦争を仕掛けていた。ネット上の様々なフェイク情報の分析を通して、人はなぜフェイクニュースを信じるかを考察する。 【キーワード】 ・情報戦争 ・ディープフェイク ・ファクトチェック		
		予習内容(時間)	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No12	情報社会論④	なぜデマが生まれるのか、そしてそれが広まっていくのか。歴史的な「デマ」事件を取り上げ、心理学・社会学な考察を行う。 【キーワード】 ・デマ ・情報の拡散 ・エセ科学／疑似科学		
		予習内容(時間)	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No13	ワークショップ①	これまでの講義内容をふまえて、少人数グループに分かれ、テーマを設定し、発表資料を作成する。		
		予習内容(時間)	ワークショップのための下調べ(前時に指示します)	120	分
		復習内容(時間)	発表のための準備	120	分
	No14	ワークショップ②	ワークショップ①で作成した資料を発表する。		
		予習内容(時間)	発表のための準備(前時に指示します)	120	分
		復習内容(時間)	発表の振り返り	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	心理学 I BE-A
講義名(英字)	Psychology I
担当教員	伊波 和恵
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	科学の領域で、心理学は「人間の心理と行動」の法則や原理に関する学問として発展してきました。この授業では、人間の心理を理解するうえで必要となる、以下のような基礎的な知識の理解を目標とします：(1)人間の心理社会的発達、(2)心と脳との関係、(3)人の知覚(とくに視覚)のメカニズム、(4)欲求と適応行動、(5)学習行動と記憶のメカニズム。						
【到達目標】	生涯発達心理学と社会性に関する基礎知識を理解する 心と脳の関連性、知覚(とくに視覚)に関する知識を理解する 欲求と適応行動、学習・記憶の原理に関する知識を理解する						
【履修条件・受 講推奨者】	とくになし。						
【教育方法】	授業は基本的に講義形式で行いますが、ワークなどを行い、適宜、課題の提出を求めます。						
【指定教科書・ 参考資料等】	【使用教材】テキスト：岡村一成(編)『心理学—行動の科学—』東京教学社。その他、講義中に適宜紹介する。						
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力		主張力		創造力		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法	
	生涯発達心理学と社会性に関する基礎知識の習得	25	出席率70%以上。小課題40%・試験30%・レポート課題30%を勘案、総合的に評価	
	心と脳の関連性、知覚(とくに視覚)に関する知識の習得	35		
	欲求と適応行動、学習・記憶の原理に関する知識の習得	40		
	合計	100%		

【その他の注意事項】	・中間テストを必ず受験すること。 ・授業に関するあらゆる不正、ゲーム機・スマートフォン等の不適切な使用を禁じます。受講停止等、厳格に対応することもあります。

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	授業の進め方・評価方法の説明 行動科学としての心理学		
		予習内容(時間)	テキストを入手し、目次を概観しておく。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No2	発達心理学	心身の発達のメカニズム・発達モデル・発達段階説		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No3	発達心理学	乳児期・幼児期・児童期		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No4	発達心理学	青年期・成人期・老年期		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No5	生理心理学	神経系の構造と機能・大脳の構造と機能		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No6	生理心理学	心身相関論		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No7	知覚心理学	知覚・視覚・錯覚		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No8	知覚心理学	社会的知覚・美術的表現・仮現運動		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No9	中間テスト(予定) 認知心理学	前半：中間テスト実施と解説(予定。変更する場合は事前に告知します) 後半：欲求と欲求不満・欲求五階層説		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
		認知心理学	欲求五階層説・葛藤		

	No10	予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No11	認知心理学	適応(防衛)機制・適応行動		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No12	学習心理学	学習のメカニズム・学習のプロセス・学習性無力感		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No13	学習心理学	記憶・忘却のメカニズム・メタ記憶		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	試験の準備を進める。	120	分
	No14	学習心理学	記憶にまつわる心理的問題(記憶障害・記銘障害・認知症)		
		予習内容(時間)	試験の準備を進める。	120	分
		復習内容(時間)	まとめ課題を行い、試験の準備を進める。	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	心理学 I BE-C
講義名(英字)	Psychology I
担当教員	浮谷 秀一
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	科学として発展してきた心理学が、今日まで解明してきた人間の心理と行動の特徴についてわかりやすく解説し、身近な学問として正しく理解してもらおうことをねらいとしている。そのねらいの実現のために、人間の心理を理解するために必要な基礎的分野(発達心理・生理心理・認知心理・適応心理)を解説する。主に講義形式で授業を進め、必要に応じて心理検査実習の実習を組み込んでいく。							
【到達目標】	人間の発達について、そのプロセスとその特徴について理解すること 人間がどのようなメカニズムで外界の刺激をとらえているか理解すること 人間が社会に適応するためのメカニズムを理解すること							
【履修条件・受 講推奨者】	特になし							
【教育方法】	基本的には講義形式で授業を進行し、必要に応じて心理検査実習を組み込む							
【指定教科書・ 参考資料等】	岡村一成編著『心理学－行動の科学－』東京教学社 2006年							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	
	協働力		主張力		創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法	
	発達に影響する要因と発達段階の特徴を理解できているかで評価する			40%	中間試験40% 終了試験60%
	生理心理のメカニズムおよび認知心理に関連する人間の特徴を理解できているかで評価する			30%	
	適応するというのがどのようなことかを理解できているかで評価する			30%	
	合計			100%	
【その他の注意事項】	好奇心をもって積極的に出席すること				
	週	テーマ	学習内容		
	No1	授業ガイダンス 心理学とは	今後の授業内容と望ましい受講の仕方および評価の方法について解説する 心理学の目標をどのように達成しようとしているかの方法について解説する		
		予習内容(時間)	心理学に関連した本を読むなどして授業を受ける準備をする	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、心理学の目的と方法を理解できているか確認する	120	分
	No2	1. 発達心理	(1)発達とは 発達の定義について解説する (2)発達の特質 人間が生まれて死ぬまでに誰もが経験する特質を解説する 1)分化・統合性 2)順序性 3)波動性		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、今後のために発達の定義を自分なりに理解できているか確認する	120	分
	No3	1. 発達心理	(2)発達の特質 4)個人差 (3)遺伝と環境 人間に対する遺伝と環境の影響について解説する 1)生得説 2)経験説		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、個人差の重要性を理解できているか確認する	120	分
	No4	1. 発達心理	(3)遺伝と環境 3)両極説 4)環境閾値説		
		予習内容(時間)	遺伝と環境の影響について再確認しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、遺伝と環境の重要性が理解できているか確認する	120	分
	No5	1. 発達心理	* 遺伝と環境の関連して 環境と遺伝に関連する事例を解説する ①狼に育てられた子 ②アヴェロン野生児 ③地下牢の17年間		
		予習内容(時間)	遺伝と環境の影響について再確認しておく	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、3事例を取り上げた理由が理解できているか確認する	120	分
	No6	1. 発達心理	(4)発達段階の特徴 人間が生まれて死ぬまでの発達過程を特定の基準で段階に分け、 各段階の特徴をキーワードをあげて解説する 1)乳幼児期 2)児童期		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、授業で取り上げられたキーワードが理解できているか確認する	120	分
	No7	1. 発達心理	(4)発達段階の特徴 3)青年期 4)中高年期		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、授業で取り上げられたキーワードが理解できているか確認する	120	分

【授業計画】

	No8	2. 生理心理	(1)生理心理とは なぜ心理学がこの分野を研究するかを解説する (2)神経系について 神経系全般について解説する		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、心理学における生理心理の役割について理解できているか確認する	120	分
	No9	2. 生理心理	(3)自律神経系について 心理学に最も関連する自律神経系について解説する		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、人間にとっての自律神経の重要性について理解できているか確認する	120	分
	No10	3. 認知心理	(1)認知心理とは なぜ心理学がこの分野の研究をするのか解説する (2)感覚器官 人間が外部刺激を取り入れる取り入れ口について解説する 1)視覚 2)聴覚 3)嗅覚 4)味覚 5)皮膚感覚		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、人間が外部の刺激を取り入れるメカニズムについて理解できているか確認する	120	分
	No11	3. 認知心理	(3)知覚の一般的特徴 人間が外部の刺激を取り入れ時の特徴について解説する 1)選択性 2)恒常性 3)奥行知覚 4)運動知覚		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、人間が外部の刺激を取り入れ時の特徴を理解できているか確認する	120	分
	No12	4. 適応心理	(1)欲求とは 欲求が起こるメカニズムについて解説する (2)欲求5階層説 マズローの欲求5階層説を解説する		
		予習内容(時間)	教科書の該当部分を読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、欲求が起こるメカニズムについて理解できているか確認する	120	分
	No13	4. 適応心理	(3)葛藤 葛藤とは何かについて解説する (4)欲求不満 欲求不満のメカニズムおよび欲求不満耐性について解説する		
		予習内容(時間)	教科書の該当部分を読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、適応するということとはどのようなことかを理解できているか確認する	120	分
	No14	4. 適応心理	(5)適応機制 適応の仕方ではなく緊張解消法であるということを解説する 1)攻撃機制 2)防衛機制 3)逃避機制		
		予習内容(時間)	教科書の該当部分を読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、適応機制を正しく理解できているか確認する	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	統計学 BE-A
講義名(英字)	Statistics
担当教員	松本 勇樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	人間が生きていくうえではあらゆる局面で意思決定をしなければならない。経験やカンのみに頼って意思決定を行うと誤った意思決定を行う場合が多い。そこで客観的に測定された数値を用いることによって正しい意思決定を行うことができるようになる。本講義ではビジネスで使用する数字や統計の感覚を養うことを目的とする。概算や四捨五入などの基本から初めて、割合や変化の仕組みを学ぶ。その後、記述統計学と多変量解析の中から、身近なデータを使用して、統計の考え方について理解する。							
【到達目標】	数字の感覚を養う: 設問に対する回答によって評価する。与えられた問題に対して正しい計算ができるかを評価する。 データを整理する: 与えられた問題に対して、データを正しく分類することができるかを評価する。 統計計算を行う: 与えられた問題に対して、正しい計算を行い、その結果からどのようなことが分かるかを評価する。							
【履修条件・受 講推奨者】	継続して受講しないと理解度は高まらないので、休まず出席すること。							
【教育方法】	講義の前半で、該当するテーマについての解説を行い、後半で与えられたテーマに基づいて問題演習を行う。							
【指定教科書・ 参考資料等】	Course Power!に解説資料、講義ノートを授業開始までにアップするので、各自ダウンロードして授業に臨むこと。							
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法
授業内課題	15%	50%以上の授業内課題の提出を前提として、授業内課題15%、小テスト15%、期末試験70%の合計点で評価する。
小テスト	15%	
期末試験	70%	
合計	100%	

【その他の注意事項】

繰り返し解説を行うので、数学や計算に対しての過度な恐怖心や思い込みをしないで講義に参加してほしい。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	オリエンテーション	本講義のテーマ、目的・概要、講義方針等を確認する併せて、シラバスに基づく具体的な講義内容を説明するデータとは何かを理解する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No2	概算と電卓の操作方法	電卓の操作方法を確認するとともに、データを概算で扱う感覚を養う		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No3	比率	数値を比較するための手法として比率の考え方を習得する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No4	変化(1)	指数と倍率について理解する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No5	変化(2)	変化率について理解する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No6	度数分布	収集したデータを分類し、度数分布表とヒストグラムを作成する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No7	代表値	平均とメディアンについて理解する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No8	散らばりの代表値(1)	偏差の概念から、標準偏差について理解する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No9	小テスト(1)	平均とメディアン、標準偏差の演習を行い、最後にここまでの理解度を確認するために小テストを実施する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分

	No10	標準化	平均・標準偏差が異なる2つの分布に属するデータを比較するための方法である標準化について学び、Z値と偏差値の計算ができるようにする		
		予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
		復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
	No11	散布図	1つの対象について、2つの変数がどのような関係があるのか散布図を用いて把握する方法を学ぶ		
		予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
		復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
	No12	相関係数	2つの変数の関係を1つの数値で表す相関係数の概念と計算方法について学ぶ		
		予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
		復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
	No13	小テスト(2)	標準化、相関係数の復習を行い、最後にここまでの理解度を確認するために小テストを実施する		
		予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
		復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
	No14	正規分布	代表的な分布である正規分布の性質とその利用法について学ぶ		
		予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
		復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	コンピュータ・サイエンス BE-A
講義名(英字)	Computer Science
担当教員	江崎 和夫
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本学においてさまざまな科目を学習していくための基礎としてコンピュータを理解し、操作できることは重要です。そこで本科目は、ビジネス文書や、ビジネスデータの加工などができるコンピュータリテラシーのスキル(技能)を身につけることを目指します。そのために、パソコンの基本ソフト(OS)であるWindowsの基本的な操作の学習、ワープロソフトのMicrosoft Wordを使った日本語文書の作成、プレゼンテーションソフトのMicrosoft Powerpointを使った発表用資料の作成、表計算ソフトのMicrosoft Excelを使った表計算処理やグラフの作成などについて、実践的な演習を行います。					
【到達目標】	ワープロソフトでビジネス文書などを作成するスキルを身につけていること。 表計算ソフトの基本を理解し関数を活用したデータ処理やグラフの作成ができること。 プレゼンテーションソフトを使って効果的な発表資料が作成できること。					
【履修条件・受講推奨者】	コンピュータの初心者を対象としているので、履修条件はとくにない。					
【教育方法】	テキストの機能を例題でパソコン演習を通じて学習する。演習課題を作成し提出する。応用レベルの課題のポイントの説明を行い、次週締め切りで、パソコンの演習を行う。					
【指定教科書・参考資料等】	技術評論社編集部著「Word & Excel & PowerPoint 2019基本技」技術評論社発行					
【実務IQ修得目標】	自制力	思考力	○	突破力	忍耐力	○
	協働力	主張力		創造力		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法
理解度小テスト	30%	理解度小テスト、提出課題、実技テストを兼ねた総合課題演習で総合的に評価を行う。
課題作成	40%	
実技テストを兼ねた総合課題演習	30%	
合計	100%	

【その他の注意事項】

遅刻は2回で欠席1回とする。全授業の3分の1(5回)欠席した場合は、単位が認められない。
毎週、授業にパソコンとテキストを持参すること。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	ガイダンス。 Windowsの基本 Wordの基本	授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 Windowsの操作、ファイルの操作、Wordの基本操作。 第1回課題1のWordの文字入力演習を行う。 理解度小テストを行う。		
	予習内容(時間)	初回なのでない。	0	分
	復習内容(時間)	第1回課題2でWordの文字入力の演習を行う。	150	分
No2	Word の操作演習1	さまざまな文字の入力方法、ページ設定、文章の編集の演習。 第2回課題1のWordの文字入力の演習を行う。		
	予習内容(時間)	テキストのWordの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	復習内容(時間)	第2回課題2でWordの文書入力の演習を行う。	120	分
No3	Word の操作演習2	書式設定、文字の装飾、表の作成、表の編集の演習。 第3回課題1のWordの文書作成の演習を行う。		
	予習内容(時間)	テキストのWordの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	復習内容(時間)	第3回課題2でWordの文書入力の演習を行う。	120	分
No4	Word の操作演習3	画像等を活用したビジュアルな文書の作成、レイアウトの指定の演習。 第4回課題1のWordの文書作成の演習を行う。		
	予習内容(時間)	テキストのWordの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	復習内容(時間)	第4回課題2でWordの文書入力の演習を行う。	120	分
No5	Word の操作演習4	Wordのビジネス文書を作成する総合演習課題。 第5回課題1のWordのビジネス文書作成の演習を行う。 理解度小テストを行う。		
	予習内容(時間)	テキストのWordの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	150	分
	復習内容(時間)	第5回課題2でWordのビジネス文書作成の演習を行う。	150	分
No6	インターネットの活用	インターネットの使い方と活用方法の演習。 第6回課題1のインターネットの演習課題を作成する。		
	予習内容(時間)	資料のインターネットの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	復習内容(時間)	第6回課題2でインターネットの演習を行う。	120	分
No7	Powerpoint の操作演習1	スライド作成、文字や画像の活用の演習。 第7回課題1のPowerPointの基本操作演習を行う。		
	予習内容(時間)	テキストのPowerPointの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	復習内容(時間)	第7回課題2のPowerPointの基本操作演習を行う。	120	分
No8	Powerpoint の操作演習2	図形、Smartartを活用したビジュアル資料作成、 PowerPointの総合演習課題の演習。 第8回課題1のPowerPoint総合演習を行う。 理解度小テストを行う。		
	予習内容(時間)	テキストのPowerPointの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	150	分

		復習内容(時間)	第8回総合演習課題2の総合演習課題を作成する。	150	分
	No9	Excel の操作演習 1	基本的なワークシート編集、関数の基本の演習。 第9回課題1のExcelの基本演習を行う。		
		予習内容(時間)	テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	第9回課題2のExcelの基本操作演習を行う。	120	分
	No10	Excel の操作演習 2	表と罫線、グラフの作成の演習。 第10回課題1のExcelの基本演習を行う。		
		予習内容(時間)	テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	第10回課題2のExcelの基本操作演習を行う。	120	分
	No11	Excel の操作演習 3	関数(IF、RANK等)、文字列操作関数の演習。 第11回課題1の関数等の設定演習を行う。		
		予習内容(時間)	テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	第11回課題2のExcelの操作演習を行う。	120	分
	No12	Excel の操作演習 4	データの抽出、並べ替えの演習。 第12回課題1のExcelの操作演習行う。 理解度小テストを行う。		
		予習内容(時間)	テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	150	分
		復習内容(時間)	第12回課題2のExcelの操作演習を行う。	150	分
	No13	Excel の操作演習 5 授業の振り返り	関数(VLOOKUP、COUNTIF等)、フィルタ機能の演習を行う。 第13回課題1のExcelの応用操作演習行う。 今までの授業についての総括および実技テストにかわる総合演習課題を実施する。		
		予習内容(時間)	テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	第13総合演習2のExcelの応用操作演習行う。	120	分
	No14	総括・達成度の確認 総合演習	今までの授業についての総括および実技テストにかわる総合演習課題を実施する。 第14週総合演習1の作成を行う。 理解度小テストを行う。		
		予習内容(時間)	テキストのExcelの部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	150	分
		復習内容(時間)	最終回なので対象外	0	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	コンピュータ・サイエンス BE-B
講義名(英字)	Computer Science
担当教員	黒木 弘司
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	現代では大企業は言うに及ばず、ほとんどの企業や大学にはコンピュータが取り入れられ、その多くでMicrosoft社のWord、Excel、PowerPointが文書の作成やプレゼンテーション資料に使用されています。本講義では、今後使用する機会が増えるWordやExcel、PowerPointによる文書の作成や表計算、プレゼンテーション資料の作成について、実習を通して基本的な操作方法を習得することを目的とします。					
【到達目標】	Wordの基本操作を理解し、分かりやすい文書の作成ができる。 Excelの基本操作を理解し、表の作成やデータの操作、グラフの作成ができる。 PowerPointの基本操作を理解し、プレゼンテーション資料の作成ができる。					
【履修条件・受 講推奨者】	履修条件は特にありませんが、ある程度Windowsの使用やタイピングができることが望ましい。					
【教育方法】	テキストを使った実習を行い、WordやExcel、PowerPointによる文書の作成や表計算、プレゼンテーション資料の作成の基本的な操作方法を学びます。					
【指定教科書・ 参考資料等】	富士通エフ・オー・エム株式会社(著)『よくわかる Word 2019 & Excel 2019 & PowerPoint 2019』FOM出版、2019年					
【実務IQ修得目 標】	自制力	思考力	突破力	忍耐力		
	協働力	主張力	創造力			

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】

評価項目と割合		評価方法	
Wordを使用した基本的な文章や分かりやすい文書の作成	30%	授業内の課題(50%)と確認テストの結果(50%)を基に評価を行う。	
Excelを使用したデータ入力や表、グラフ、関数の使用	40%		
PowerPointを使用した基本的な発表資料の作成	30%		
合計	100%		

【その他の注意事項】

前回までの授業の理解が前提となるので、出来るだけ欠席しないこと。
Windows環境でのWord、Excel、PowerPointの2019を前提とします。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容	
No1	ガイダンスとWindowsの基本操作	授業の進め方、Windowsの基礎	
	予習内容(時間)	タイピングの練習とWindowsの操作方法について調べる	120 分
	復習内容(時間)	Windowsの基本的な操作方法について復習	120 分
No2	Word、Excel、PowerPointの基本操作	Word、Excel、PowerPointの概要、起動／終了、画面の構成	
	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120 分
	復習内容(時間)	Word、Excel、PowerPointの基本操作について復習	120 分
No3	Wordの操作実習(1)	Wordを使った文書の作成	
	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120 分
	復習内容(時間)	課題の実施とWordを使用した文章の作成について復習	120 分
No4	Wordの操作実習(2)	Wordを使ったグラフィック機能の使用	
	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120 分
	復習内容(時間)	課題の実施とWordを使用したグラフィック機能について復習	120 分
No5	Wordの操作実習(3)	Wordを使った表のある文書の作成	
	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120 分
	復習内容(時間)	課題の実施とWordを使用した表のある文章の作成について復習	120 分
No6	Excelの操作実習(1)	Excelを使ったデータの入力	
	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120 分
	復習内容(時間)	課題の実施とExcelを使用したデータの入力について復習	120 分
No7	Excelの操作実習(2)	Excelを使った表の作成	
	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120 分
	復習内容(時間)	課題の実施とExcelを使用した表の作成について復習	120 分
No8	Excelの操作実習(3)	Excelを使ったグラフの作成	
	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120 分
	復習内容(時間)	課題の実施とExcelを使用したグラフの作成について復習	120 分
No9	Excelの操作実習(4)	Excelを使ったデータの分析	
	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120 分
	復習内容(時間)	課題の実施とExcelを使用したデータの分析について復習	120 分
No10	PowerPointの操作実習(1)	PowerPointを使ったプレゼンテーションの作成	
	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120 分

		復習内容(時間)	課題の実施とPowerPointを使用したプレゼンテーション作成の復習	120	分
	No11	PowerPointの操作実習(2)	PowerPointを使ったスライドショーの実行		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120	分
		復習内容(時間)	課題の実施とPowerPointを使用したスライドショーの実行について復習	120	分
	No12	データ共有の操作実習	Word、Excel、PowerPoint間でのデータ共有		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120	分
		復習内容(時間)	課題の実施とWord、Excel、PowerPoint間でのデータ共有の復習	120	分
	No13	総合練習	総合問題を使った習熟度の確認		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120	分
		復習内容(時間)	課題の実施と総合問題の復習	120	分
	No14	総括	今までの授業についての総括を行い、理解が不十分と考える項目について復習		
		予習内容(時間)	授業を振り返り、理解が不十分な点を確認	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り結果のまとめと試験準備	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	コンピュータ・サイエンス BE-G
講義名(英字)	Computer Science
担当教員	高田 真也
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	企業で働くうえで必須のスキルであるWord、Excel、PowerpointなどのMicrosoft Officeの使い方について実践的に学ぶ。講義は、スライドによる解説と演習を通じて行い、評価は毎回の小課題により行う。単純な作業の演習にならないように、読みやすい文章の作成や、グラフやスライドについてデータを加工し、表現するために創意工夫するための基礎を学ぶことができる講義を心掛ける。							
【到達目標】	Word、Excel、Powerpointが一通り使えるようになり、必要な文書やグラフ、スライドを作成できるようになる。 わかりやすい文書レイアウトや、見やすいスライドについて自ら工夫できるようになる。							
【履修条件・受講推奨者】	特に前提知識は必要ないが、タイピングはできることが望ましい。							
【教育方法】	PowerPoint資料を用いて講義を行い、毎回小課題の提出を義務付ける。							
【指定教科書・参考資料等】	技術評論社他(2022)、「今すぐ使えるWord&Excel&Powerpoint2021」、技術評論社							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法
	小レポート	60%	小レポート、期末レポート、平常点により評価する。
	期末レポート	20%	
	平常点	20%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】	特別な理由がある場合を除き、授業回数の3分の1以上の欠席がある場合は、単位を認めない。また授業目的以外でのスマートフォンやタブレットなどの電子機器の使用を禁止する。

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス	オフィスの基本的な機能やデータリテラシーの基礎を説明し、講義の流れを解説する。		
		予習内容(時間)	オフィスの基本的な使い方を学習し、慣れておく。教科書の該当範囲(1章)を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No2	Word:文字列の操作と印刷、保存	文章の入力とファイルの保存、印刷などWordの基礎について学ぶ。		
		予習内容(時間)	教科書の該当範囲(2章)を読み、操作方法を確認する。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返し、小レポートを作成する。	120	分
	No3	Word:段落と編集	Wordで書いた文章の編集と校正について学ぶ。		
		予習内容(時間)	教科書の該当範囲(3章)を読み、操作方法を確認する。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返し、小レポートを作成する。	120	分
	No4	Word:図の挿入と編集	Wordでの図の挿入の仕方と、概念図の作成について学ぶ。		
		予習内容(時間)	教科書の該当範囲(4章)を読み、操作方法を確認する。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返し、小レポートを作成する。	120	分
	No5	Excel:データ入力と編集、削除、相対参照と絶対参照	Excelの表の作成方法と、相対参照など入力方法を学ぶ。		
		予習内容(時間)	教科書の該当範囲(5章)を読み、操作方法を確認する。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返し、小レポートを作成する。	120	分
	No6	Excelの関数	平均、分散、合計など、Excelの様々な関数について学ぶ。		
		予習内容(時間)	教科書の該当範囲(6章)を読み、操作方法を確認する。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返し、小レポートを作成する。	120	分
	No7	Excelの関数続き、表のレイアウト、	より高度なExcelの関数とレイアウト方法について学ぶ。		
		予習内容(時間)	教科書の該当範囲(7章)と補助プリントを読み操作方法を確認する。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返し、小レポートを作成する。	120	分
	No8	グラフ作成	Excelの表をもとにした様々なグラフの作成方法を学ぶ。		
		予習内容(時間)	教科書の該当範囲(8章)を読み、操作方法を確認する。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返し、小レポートを作成する。	120	分
	No9	相関分析	Excelのアドインの使い方と散布図の書き方及び、相関分析について学ぶ。		
		予習内容(時間)	アドインのインストールをし、使い方に慣れておく。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、小レポートを作成する。	120	分
		スライド作成の基礎	スライド作成の基礎と文字書式の設定について学ぶ。		

	No10	予習内容(時間)	教科書の該当範囲(9章・10章)を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返し、復習する。	120	分
	No11	図の挿入とレイアウト	スライドに文字以外の情報を挿入する方法について学ぶ。		
		予習内容(時間)	教科書の該当範囲(11章)を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返し、復習する。	120	分
		アニメーションとスライドマスタ	アニメーションとスライドマスタについて説明する。		
	No12	予習内容(時間)	教科書の該当範囲(11章)を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No13	効果的なプレゼンテーション	効果的なプレゼンテーションについて考え、プレゼンのための準備を理解する。		
		予習内容(時間)	教科書の該当範囲(12章)・補助プリントを読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No14	総合演習	これまでの講義のまとめと、最終課題に向けた準備について講義する。		
		予習内容(時間)	講義全体を振り返り、操作方法を見直しておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義全体を振り返り、操作方法を見直し、期末レポートを作成する。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	情報学 BE-A
講義名(英字)	Informatics
担当教員	鬼木 一直
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	企業で業務を遂行するにあたり、Microsoft社の『Excel』、『Word』、『PowerPoint』は必須アイテムともいえるソフトとなっています。これらのソフトを使いこなすためにパソコン一般知識、アプリケーション操作、情報モラル&セキュリティなどを学ぶことが必要です。本授業ではタイピングの練習、文章作成、表計算、グラフ作成などを通じ、日常の企業活動で発生するさまざまなコンピュータ知識、スキルを修得します。							
【到達目標】	タイピング速度60文字/分以上 Microsoft Word、Excelの基本的な使用法の修得 コンピュータ用語、ネットワークシステム、情報モラルの理解							
【履修条件・受 講推奨者】	Word、Excelの基本的な操作ができること。							
【教育方法】	PCを1人1台使用し、タイピングやソフトの操作を行いながらパソコンスキルを高めていきます。							
【指定教科書・ 参考資料等】	P検協会公式テキスト「P検3級テキスト」を貸し出しますので、購入は不要です。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	
	協働力		主張力		創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	タイピング速度60文字/分以上を目標とする	20%	PC操作を行い模擬問題を解きます。 コンピュータ知識については講義を行います。		
	Word、Excelを活用し、基本的な操作を行う	40%			
	コンピュータ用語、ネットワーク、情報モラルを理解する	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	授業時間内にP検(準2級または3級)の模擬試験を実施します。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	全体概要の説明とワープロ操作	講義内容、本試験の内容等についての説明を行い、ワープロの基本操作を修得する		
		予習内容(時間)	シラバスの確認、学習内容の概要確認	120	分
		復習内容(時間)	Wordの基本操作確認	120	分
	No2	ワープロ操作	タイピングの基本を学び、文書の編集などの演習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、ワープロ操作の確認	120	分
		復習内容(時間)	文書の編集作業の確認	120	分
	No3	ワープロ操作	図の挿入や図形の作成、表の作成や編集などの演習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、ワープロ操作の確認	120	分
		復習内容(時間)	Wordでの図形作成、表編集の確認	120	分
	No4	表計算	表計算ソフトの操作を学び、関数を利用した計算などの演習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、表計算操作の確認	120	分
		復習内容(時間)	Excelの基本操作確認	120	分
	No5	表計算	グラフの編集、表データの並べ替えなどの演習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、グラフ作成操作の確認	120	分
		復習内容(時間)	グラフ編集、表データ操作の確認	120	分
	No6	表計算	データの集計、シートの編集などの演習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、データ入力方法の確認	120	分
		復習内容(時間)	データの集計、シートの編集の確認	120	分
	No7	コンピュータ知識	コンピュータに関する一般的な技術用語を学ぶ		
		予習内容(時間)	タイピング練習、コンピュータ基礎知識の確認	120	分
		復習内容(時間)	コンピュータ用語の確認	120	分
	No8	情報通信ネットワーク	情報通信システムに関する一般的な技術用語を学ぶ		
		予習内容(時間)	タイピング練習、情報通信基礎知識の確認	120	分
		復習内容(時間)	情報通信システム用語の確認	120	分
	No9	情報モラルと情報セキュリティ	インターネットのセキュリティ対策、個人情報やプライバシーの保護について学ぶ		
		予習内容(時間)	タイピング練習、セキュリティ知識の確認	120	分
		復習内容(時間)	セキュリティ用語の確認	120	分
	No10	ICTを活用した問題解決	フローチャート、データベースの活用法について学び、演習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、フローチャートの確認	120	分
		復習内容(時間)	フローチャート、データベースの作成手順の確認	120	分

	No11	P検模擬試験	実際の検定試験と同じCBT方式での模擬試験を体験し、解答方法に慣れる		
		予習内容(時間)	タイピング練習、CBT操作の確認	120	分
		復習内容(時間)	模擬試験で間違えた部分のチェック	120	分
	No12	P検模擬試験	P検模擬試験3級を行い、苦手分野を確認する		
		予習内容(時間)	タイピング練習、模擬試験問題の確認	120	分
		復習内容(時間)	模擬試験で間違えた部分のチェック	120	分
	No13	P検模擬試験	P検模擬試験3級を行い、本番試験への対策を立てる		
		予習内容(時間)	タイピング練習、模擬試験問題の確認	120	分
		復習内容(時間)	模擬試験で間違えた部分のチェック	120	分
	No14	P検模擬試験	本番試験に備え時間配分などを確認し、苦手項目の学習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、模擬試験問題の確認	120	分
		復習内容(時間)	模擬試験で間違えた部分のチェック	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	多文化理解 I (韓国文化1) BE-A
講義名(英字)	Multicultural Issues I
担当教員	黒澤 愛美
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この授業が目指すのは、韓国文化を理解し、韓国の人と上手にコミュニケーションが取れるようになることです。そのために欠かせない韓国語を中心に学びます。韓国語の文字である「ハングル」の読み書きから始めて、それぞれの場面にふさわしい言葉遣いを身につけていきます。また、韓国の生活や習慣、マナーも同時に学びます。言語をはじめとする文化は、時代によって変わります。リアルな韓国文化を楽しく学びましょう。							
【到達目標】	ハングルの読み書きができる 基礎的な文を理解できる 簡単な自己紹介をすることができる							
【履修条件・受講推奨者】	・この授業は、韓国語を初めて学ぶ人を対象にします。 ・全ての授業に出席するつもりで履修してください。 ・毎回必ずテキストを持参してください。							
【教育方法】	・基本的にテキストに沿って進めます。 ・適宜日本語で解説します。							
【指定教科書・参考資料等】	木内明『基礎から学ぶ韓国語講座初級改訂版』国書刊行会、2013年。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力		突破力	○	忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	ほかの人が問題なく読めるハングルを書くことができ、また、ハングルを正しく発音することができる	25%	3分の2以上の出席を前提として授業参加度25%、宿題25%、期末試験50%で評価します。		
	基礎的な文を読んだり聞いたりして理解できる	50%			
	通じる発音で、趣味や専攻など、自分のことについて話せる	25%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	・受講マナーを守り、ほかの受講者に迷惑を掛ける行動は慎んでください。 ・パソコン、携帯電話の使用を禁止します。タブレットは使用方法によって許可する場合があります。 ・決して楽な授業ではありません。覚えることも多いです。それを踏まえて履修してください。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	イントロダクション	韓国語／ハングルとは、基本の母音		
		予習内容(時間)	韓国や韓国語について、自分が知っていることを整理する	120	分
		復習内容(時間)	基本の母音を覚える	120	分
	No2	文字、発音	子音、日本の地名の書き方		
		予習内容(時間)	テキストに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	子音を覚える	120	分
	No3	文字、発音	パッチム、自分の名前の書き方		
		予習内容(時間)	テキストに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	パッチムを覚える	120	分
	No4	文字、発音	複合母音、あいさつ		
		予習内容(時間)	テキストに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	自分の名前をハングルで書けるようにする	120	分
	No5	肯定表現	第1課 ～は、～です(韓国の初対面の人との会話)		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No6	疑問表現	第2課 ～が、～ですか(韓国の地域)		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No7	否定表現	第3課 ～ではありません(韓国の学生生活)		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No8	音読練習	第1課～第3課本文		
		予習内容(時間)	第1課～第3課本文の音読練習	120	分
		復習内容(時間)	第1課～第3課本文の音読練習	120	分
	No9	存在表現	第4課 あります、ありません(韓国映画)		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
		動作表現	第5課 します、しますか(韓国人の趣味活動)		

	No10	予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No11	丁寧な語尾の形	第6課 あります／しますのヨ体(韓国社会人生活)		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No12	丁寧な語尾の形	第7課 ～です／ますのムニダ体(韓国の交通手段)		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No13	丁寧な語尾の形	第8課 ～です／ますのヨ体(韓国の食文化)		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No14	自己紹介	趣味や専攻など、自分のことについて話す		
		予習内容(時間)	自己紹介の練習	120	分
		復習内容(時間)	自己紹介の練習	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	多文化理解Ⅴ BE-A
講義名(英字)	Multicultural Issues Ⅴ
担当教員	小林 寛典
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	近年、異文化を背景に持つ人々は私たちの周囲に大変多くなっている。しかし、私たちは彼らの存在を認識しているものの、彼らと心の交流をしているとはまだまだ言えない。 本講義では、異なった文化・社会・価値観などを持つ人々をどう理解していけばいいのかを異文化コミュニケーションの観点から共に考えていく。						
【到達目標】	異文化を理解すること コミュニケーションについて知ること 自分を知ること						
【履修条件・受 講推奨者】	履修条件: 学生同士の話し合いに積極的に参加し、自ら発言すること 受講推奨者: 異文化に興味がある好奇心旺盛な方						
【教育方法】	講師からの一方的な講義だけでなく、テーマごとに学生自身に考えてもらいその意見を皆で共有していく。						
【指定教科書・ 参考資料等】	使用しない。						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力		創造力		
	評価項目と割合			評価方法			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	授業参加度	30%	左記3項目の合計点数で評価する。		
	毎回の確認テスト	50%			
	期末レポート	20%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	学期の3分の1を超えて欠席した場合は、単位を認めない。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	スケジュール、講義の進め方、評価方法の確認 他己紹介 少人数のグループにて各自の異文化体験の紹介、全体発表 確認テストの練習		
		予習内容(時間)	過去の人生を振り返り、自分の異文化体験を発表できるようにする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、疑問点、不明点を明らかにする	120	分
	No2	異文化を理解する	日本の異文化交流の歴史 異文化理解の意義 文化とは何か		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No3	異文化理解への態度	文化とは何か2 常識・非常識 トータルカルチャーとサブカルチャー		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No4	文化の特徴	文化ダイアグラム 文化の特徴 行動を規定する3つの側面		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No5	異文化適応	異文化適応 カルチャーショック U字曲線の適応		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No6	コミュニケーションの概念	U字曲線の適応2 コミュニケーションの概念 コミュニケーションの定義		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No7	コミュニケーションスタイル	コミュニケーションモデル コミュニケーションスタイル 民族による違い		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No8	コミュニケーションの手段	ノンバーバル・コミュニケーション 身体動作学 距離のとり方		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分

	No9	コミュニケーションストラテジー	コミュニケーション能力の定義 コミュニケーション・ストラテジーの定義 コミュニケーションの成立		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No10	異文化の認識	固定観念 ファイリング カテゴリー化 ステレオタイプ		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No11	差別を考える	差別の定義 差別の種類 差別が生まれる背景		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No12	自分を知る	自己開示 ジョハリの窓 自分の自己開示度		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No13	アサーティブ・コミュニケーション	アサーティブ・コミュニケーションとは 自分のスタイルを知る		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No14	異文化トレーニング	エポケーとは エポケーの事例 学期末レポートの説明		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語 I BE-A
講義名(英字)	Basic English I
担当教員	北田 敬子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	これまでに培ってきた英語の基礎能力を強化して、実際に英語が使えるようになるための知識と技能を身に付けることが、このクラスの目的です。英語が好きだという人も、英語に苦手意識を持っている人も、英語の運用能力は現代社会における必須のスキルだと考えているのではないのでしょうか。それなのに、小学生の頃から学んでいるはずの英語が一向に「話せるようにならない」と思うのは何故でしょう？おそらく実践の機会が少なかったことと、当たり前のように毎日英語に触れる習慣を持たずに来てしまったことが原因ではないかと思います。 学生時代に「英語の学び方」の基礎を獲得するのは大切なことです。小・中・高と、与えられたノルマをこなすことだけが勉強だと思っていたとしたら、大学生の今こそ、主体的に学び始めるチャンスです。読む・書く・聴く・話すといういわゆる4技能をバラバラに学修するのではなく、統合的に取り込んでいきましょう。単純なことで確実に、読めるし、書けるし、聴いて分かるし、自分でも話せるという体験を積んで、自信を持ってほしいものです。 「基礎英語」を通じて、その連携を実感し、教室で取り上げるトピックから身の周りの様々な事象にまで理解と想像力を巡らせることができるようになれば、英語は知れば知るほど面白くなります。楽しく英語を学ぶクラスにいたしましょう。						
【到達目標】	英語の文章の基本的な構造を理解し、単純な文章を読んですぐ理解できるようになることを目標にします。 文章の連なる段落(パラグラフ)にはどのような仕組みがあるか理解し、ある程度長い文のまとまりにも対応できるようになることを目標にします。 日常生活に必要な語や語句を聞いて、理解できるようになることを目標にします。 英語による問いかけや、依頼に即応できるようになることを目標にします。 単純明快なメッセージを持つ英語の音声聴いて、直接理解できるようになることを目標にします。 英語による情報のインプットのみならず、自らアウトプットが行えるようになることを目標にします。 不可分のスキルである、書くことと話すことを授業で実践することを目標にします。						
【履修条件・受講推奨者】	アクティブに英語を学びたいと思っている人の受講を勧めます。						
【教育方法】	毎週の授業では「対面」のメリットを生かし、教員との質疑応答のみならず、学生同士のインタラクションや簡単なプレゼンテーションを含めた学習を行います。 オンラインにて提出する課題を毎週出します。 学生は自律的な学習を実行していくことを奨励されます。						
【指定教科書・参考資料等】	教科書: Reading Link (Robert Hickling他著 KINSEIDO)						
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	授業内活動への積極的参加	20%	授業内のワークシート提出 オンライン課題の提出 記述試験の成績 以上の総合で成績を出す		
	毎週のオンライン課題提出	20%			
	小テストと学期末試験の成績	60%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	100分間の授業の中に数分間の休憩・リフレッシュの機会を設けるので、遅刻・居眠りをしないこと！				
	週	テーマ	学習内容		
	No1	導入 使用教科書の概要説明 クラスルール共有 教員・学生相互紹介	授業開始に先立って、確認しておくこと、教員と学生が相互に了解する事項を明示し、次週からの授業に備える。 学生のプロフィール作成 英語による自己紹介タイム 教科書使用方法設営		
		予習内容(時間)	教科書を閲覧しておく	120	分
		復習内容(時間)	導入授業で出された課題に取り組む	120	分
	No2	Unit 1: Who Is Pepper? (1) Grammar Basics 「動詞の現在形」の用法	基本語彙確認 Pepperおよび最新のAI（人工知能）の現状について考える。 Unit 1 で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ		
		予習内容(時間)	インターネットを利用してAIの具体例をリサーチする。 Unit 1の概要をつかんでおく	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No3	Unit 1: Who Is Pepper? (2) Enjoy Reading summary and exercise Talk and write on AI.	英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 AIについて調べたこと、考えたことを口頭発表し短い英文にまとめて書く。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No4	Unit 2: What's It Like to Be a Self-Sufficient Family? (1) Grammar Basics 「代名詞」の基礎知識	基本語彙確認 現代にも存在する「自給自足」生活の実践者たちについて調べる。 Unit 2で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No5	Unit 2: What's It Like to Be a Self-Sufficient Family? (2) Enjoy Reading summary and exercise Talk and write on Self-Sufficient Family.	英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 Self-Sufficient Familyについて調べたこと、考えたことを口頭発表し短い英文にまとめて書く。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No6	Unit 3: Why Did Starbucks Become a Hit in Japan? (1) Grammar Basics 「過去形」	基本語彙確認 「スターバックスコーヒー」に関する互いの知見を交換し、ウェブサイトを閲覧して企業としての活動・戦略をチェックする。 Unit 3で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No7	Unit 3: Why Did Starbucks Become a Hit in Japan? (2) Enjoy Reading summary and exercise Talk and write on Starbucks Coffee.	英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 「スターバックスコーヒー」について調べたこと、考えたことを口頭発表し短い英文にまとめて書く。		

【授業計画】		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No8	Unit 5: Do You Want to Travel Back in Time to a Roman Thermae? (1) Grammar Basics「時と場所の前置詞」	(Unit 4は季節的な話題につき秋学期に回し、Unit 5へ進む。) 基本語彙確認 古代ローマの公衆大浴場に関する知見を共有し、マンガ版・映画版『テルマエ・ロマエ』の内容を振り返る。 Unit 5で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No9	Unit 5: Do You Want to Travel Back in Time to a Roman Thermae? (2) Enjoy Reading summary and exercise Talk and write on a Roman Thermae.	英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 Roman Thermaeについて調べたこと、考えたことを口頭発表し短い英文にまとめて書く。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No10	Unit 6: Are You Going Cashless? (1) Grammar Basics「進行形」	基本語彙確認 支払い方法が変化しつつある。昨今の自分自身の経験を踏まえ、現金以外での支払いについて、意見を交換する。 Unit 6で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No11	Unit 6: Are You Going Cashless? (2) Enjoy Reading summary and exercise Talk and write on cashless payment.	英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 Cashless paymentについて体験したこと、考えたことを口頭発表し短い英文にまとめて書く。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No12	Unit 7: Why Are Marathons 42.195 Kilometers Long? (1) Grammar Basics「疑問文」	基本語彙確認 マラソン競技に定められている距離について改めてその由来を考える。インターネット上の記録動画を鑑賞する。 Unit 7で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No13	Unit 7: Why Are Marathons 42.195 Kilometers Long? (2) Enjoy Reading summary and exercise Talk and write on marathon.	英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 marathonについての知見、考えたことを口頭発表し短い英文にまとめて書く。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No14	The total review of the semester	Reading and writing practice: My best shot in summer, 2023. (読解と作文の総合的復習の一環として、2023年の夏までに自分で撮影したものの中から一枚を選び、「この夏最高のショット」というタイトルで、画像に関する作文を英語で書く。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語 I BE-B
講義名(英字)	Basic English I
担当教員	矢戸 カール
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	This is an introductory course in English with focus on communication. There will be new vocabularies and expressions introduced as well as grammar. Students will be expected to read out loud, do role plays, and create original sentences.																										
【到達目標】	Every lesson will start with a print where simple every day communication English is introduce. New vocabularies and expressions according to the topic of the unit will be introduced. Practice communication skills by reading out loud and doing a lot of role plays.																										
【履修条件・受 講推奨者】	This is a compulsory course for 2nd year student																										
【教育方法】	Classes will be taught using prints and focused on the text book. Students are expected to participate actively.																										
【指定教科書・ 参考資料等】	Breakthrough Plus, Student's Book 1, Macmillan Education 2nd Edition																										
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>							自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力	○						
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																				
協働力	○	主張力	○	創造力	○																						
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="5">評価方法</td></tr><tr><td>Midterm and final examination</td><td>60%</td><td colspan="5" rowspan="4">Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance</td></tr><tr><td>Active class participation</td><td>30%</td></tr><tr><td>Class attendance</td><td>10%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法					Midterm and final examination	60%	Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance					Active class participation	30%	Class attendance	10%	合計	100%
評価項目と割合		評価方法																									
Midterm and final examination	60%	Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance																									
Active class participation	30%																										
Class attendance	10%																										
合計	100%																										

【その他の注意事項】	None				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	Unit 1, Introduction and Print	Introducing yourself and what do you do? Print		
		予習内容(時間)	Introduction and print	120	分
		復習内容(時間)	Introduction and print	120	分
	No2	Unit 1, Introduction and Print	Where do you live and part time jobs. Print.		
		予習内容(時間)	Where do you live and part time jobs. Print.	120	分
		復習内容(時間)	Where do you live and part time jobs. Print.	120	分
	No3	Unit 1, Introduction and print	What do you study and like to do? Print.		
		予習内容(時間)	What do you study and like to do? Print.	120	分
		復習内容(時間)	What do you study and like to do? Print.	120	分
	No4	Unit 2, Daily Routine and print	Daily activities and print.		
		予習内容(時間)	Daily activities and print.	120	分
		復習内容(時間)	Daily activities and print.	120	分
	No5	Unit 2 & 3, Daily Routine and Free time. Print	Daily routine of two students and print		
		予習内容(時間)	Daily routine of two students and print	120	分
		復習内容(時間)	Daily routine of two students and print	120	分
	No6	Unit 3, Free Time and Print	Hobbies and school clubs. Print.		
		予習内容(時間)	Hobbies and school clubs. Prints.	120	分
		復習内容(時間)	Hobbies and school clubs. Prints.	120	分
	No7	Midterm Examination	Midterm Examination		
		予習内容(時間)	Unit 1,2, 3 and prints	120	分
		復習内容(時間)	Unit 1,2, 3 and prints	120	分
	No8	Unit 4, Places and print	Hometowns and neighborhoods. Print		
		予習内容(時間)	Hometowns and neighborhoods. Print	120	分
		復習内容(時間)	Hometowns and neighborhoods. Print	120	分
	No9	Unit 4, Places and print	Local towns and areas. Print		
		予習内容(時間)	Local towns and areas. Print	120	分
		復習内容(時間)	Local towns and areas. Print	120	分
	No10	Unit 5, Getting Around, and Print	Getting around town and city. Print		
		予習内容(時間)	Getting around town and city. Print	120	分
		復習内容(時間)	Getting around town and city. Print	120	分
	No11	Unit 5, Getting Around, and Print	Directions and how to get there. Print		
		予習内容(時間)	Directions and how to get there. Print	120	分
		復習内容(時間)	Directions and how to get there. Print	120	分
	No12	Unit 6, Shopping and Print	Shopping and checking prices. Print.		
		予習内容(時間)	Shopping and checking prices. Print.	120	分

		復習内容(時間)	Shopping and checking prices. Print.	120	分
	No13	Unit 6, Shopping and Print	Markets and best prices. Print.		
		予習内容(時間)	Markets and best prices. Print.	120	分
		復習内容(時間)	Markets and best prices. Print.	120	分
	No14	Unit 6, Shopping and Print	Markets and best prices. Print.		
		予習内容(時間)	Markets and best prices. Print.	120	分
		復習内容(時間)	Markets and best prices. Print.	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語 I BE-C
講義名(英字)	Basic English I
担当教員	高畑 一路
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」という4つの観点から、英語をバランスよく総合的に身につけることを目標とする。同時に、英語圏の文化、思想、習慣等を理解するようにしたい。使用する教科書は、語彙、文法、読解、会話のあらゆる角度から工夫されたものであり、総合的な英語力を身につけるのに適している。					
【到達目標】	英語で簡単な会話をすることができるようになる。 リスニング力を身につける。 基礎文法を身につける。 読解力を身につける。					
【履修条件・受講推奨者】	履修条件はとくにないが、基本的な英語の文法力があることが望ましい。					
【教育方法】	基本的には指定教科書に沿って授業を進めていくが、受講者のレベル、興味などにしたがって、プリント教材を追加する場合がある。					
【指定教科書・参考資料等】	English First Basic (著者: Robert Hickling, Misato Usukura) 出版社: 金星堂					
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力	
	協働力		主張力	○	創造力	
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法			
	リスニング力	20%	授業中に行う演習課題および中間・期末試験によって評価。			
	文法力	50%				
	読解力	30%				
	合計	100%				

【その他の注意事項】

授業に必ず辞書を持参すること(電子辞書可)。
指定された教科書を初回の授業までに必ず購入すること。教科書を所有していない学生の受講は許可しない。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	Introduction	授業についての概要説明 英語での自己紹介		
	予習内容(時間)	自己紹介の準備	120	分
	復習内容(時間)	自己紹介で使った英語定型表現の確認	120	分
No2	Unit1	Welcom to Japan リスニング 文法:動詞の現在形		
	予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し	120	分
No3	Unit1	Welcome to Japan 長文読解 英作文		
	予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想	120	分
	復習内容(時間)	長文再読 英作文書き直し	120	分
No4	Unit2	That Sounds Like Fun リスニング 文法:代名詞		
	予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し	120	分
No5	Unit2	That Sounds Like Fun 長文読解 英作文		
	予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想	120	分
	復習内容(時間)	長文再読 英作文書き直し	120	分
No6	Unit3	We Leave on Friday Morning リスニング 文法:時を表す前置詞		
	予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し	120	分
No7	Unit3	We Leave on Friday Morning 長文読解 英作文		
	予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想	120	分
	復習内容(時間)	長文再読 英作文書き直し	120	分
No8	Midterm Exam Review	中間試験 前半の総復習		
	予習内容(時間)	Unit1~3の総復習	120	分
	復習内容(時間)	中間試験の解き直し	120	分

	No9	Unit4	You Know a Lot About Trains リスニング 文法:基本5文型		
		予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し	120	分
	No10	Unit4	You Know a Lot About Trains 長文読解 英作文		
		予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想	120	分
		復習内容(時間)	長文再読 英作文書き直し	120	分
	No11	Unit5	I Didn't Want to Leave リスニング 文法:動詞の過去形		
		予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し	120	分
	No12	Unit5	I Didn't Want to Leave 長文読解 英作文		
		予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想	120	分
		復習内容(時間)	長文再読 英作文書き直し	120	分
	No13	Unit6	You're Working Late リスニング 文法:進行形		
		予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し	120	分
	No14	Unit6	You're Working Late 長文読解 英作文		
		予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想	120	分
		復習内容(時間)	長文再読 英作文書き直し	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語 I BE-G
講義名(英字)	Basic English I
担当教員	渡邊 きみ代
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この授業では、「読む」「書く」「聞く」「話す」能力を育てることを目的とします。短文を読み、文法を学び、リスニングを訓練し、自分の考えを書いたり、話すことができるよう学習します。語彙力をつけるため毎回クイズをします。覚えておくことと便利な表現などを楽しく学びます。伝え合うことのできる英語を身につけましょう。																							
【到達目標】	語彙力を上げ、基本的文法を学び、応用できる リスニング能力を向上させる 短文を読み、理解する																							
【履修条件・受講推奨者】	英語の能力を習得することを希望し、積極的に授業に参加すること																							
【教育方法】	学習目標を達成させるために、テキスト、さまざまな副教材、クイズなどを使い、興味を持って授業に参加できるようにする。																							
【指定教科書・参考資料等】	English Aid 著者 Robert Hickling / Misato Usukura 金星堂 副教材としてプリントを使用																							
【実務IQ修得目標】	自制力	思考力	○	突破力	忍耐力																			
	協働力	主張力	○	創造力	○																			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="5">評価方法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>語彙、文法の理解と応用</td><td>60%</td><td colspan="5" rowspan="3">筆記試験によって、授業内で学習した文法を理解、応用できるか、また語彙力が向上したかを総合的に評価する。また、積極的に授業に参加する姿勢を評価する</td></tr> <tr> <td>授業参加姿勢</td><td>40%</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>						評価項目と割合		評価方法					語彙、文法の理解と応用	60%	筆記試験によって、授業内で学習した文法を理解、応用できるか、また語彙力が向上したかを総合的に評価する。また、積極的に授業に参加する姿勢を評価する					授業参加姿勢	40%	合計	100%
評価項目と割合		評価方法																						
語彙、文法の理解と応用	60%	筆記試験によって、授業内で学習した文法を理解、応用できるか、また語彙力が向上したかを総合的に評価する。また、積極的に授業に参加する姿勢を評価する																						
授業参加姿勢	40%																							
合計	100%																							

【その他の注意事項】

特になし

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	Introduction	授業の進め方、自己紹介、英語の文章の成り立ちを理解する。語彙をふやすためのクイズ		
	予習内容(時間)	教科書に目を通す	120	分
	復習内容(時間)	学んだ語彙が身に着いたか確認	120	分
No2	Unit 1 First Day of Class	語彙を増やすためのクイズ、be動詞について学習し、問題を解く。自己紹介文を書く		
	予習内容(時間)	自己紹介文を考える	120	分
	復習内容(時間)	語彙が身に着いたか確認。自分をアピールできる自己紹介文であったかを考える	120	分
No3	Unit 1 First Day of Class	語彙を増やすためのクイズ、be動詞を使った会話のリスニング、be動詞を使った文章を書く、和文英訳。文章を読んで理解する。		
	予習内容(時間)	教科書のbe動詞の文法のページを再度見ておく	120	分
	復習内容(時間)	語彙が身に着いたか確認。Be動詞をマスターできたか確認	120	分
No4	Unit 2 I Love Bread	語彙を増やすためのクイズ、一般動詞の現在形についての文法と問題。日常生活についての言葉、表現		
	予習内容(時間)	Unit2に目を通す	120	分
	復習内容(時間)	一般動詞の現在形についての理解ができたか、語彙がみについたかを確認	120	分
No5	Unit 2 I Love Bread	語彙をふやすためのクイズ、一般動詞を使った会話のリスニング。一般動詞を使って文章を書く、読解。		
	予習内容(時間)	一般動詞の現在形の文法を再確認	120	分
	復習内容(時間)	一般動詞の現在形についての理解ができたか、語彙がみについたかを確認	120	分
No6	Unit 3 Pizza Time	語彙をふやすためのクイズ、可算名詞、不可算名詞についての文法を学び、問題を解く。		
	予習内容(時間)	Unit 3に目を通す	120	分
	復習内容(時間)	可算名詞、不可算名詞についての文法、語彙を確認	120	分
No7	Unit 3 Pizza Time	語彙をふやすためのクイズ、可算名詞、不可算名詞を使った会話のリスニング、可算名詞、不可算名詞を使った文章を書く、和文英訳、読解など。		
	予習内容(時間)	可算名詞、不可算名詞についての文法を再確認	120	分
	復習内容(時間)	可算名詞、不可算名詞についてマスターしたかを確認	120	分
No8	中間試験	Unit1～Unit3, 学習した語、表現、英文などについての確認試験		
	予習内容(時間)	Unit1～Unit3, 学習した語、表現、英文などについての確認	120	分
	復習内容(時間)	試験で解けなかった問題をテキスト、ノートで確認。	120	分
No9	Unit 4 Not Just a Baker	語彙をふやすためのクイズ、代名詞についての文法を学び、問題を解く。		
	予習内容(時間)	Unit 4に目を通す	120	分
	復習内容(時間)	語彙が身についたか、代名詞についての文法を理解できたかを確認	120	分
No10	Unit 4 Not Just a Baker	語彙をふやすためのクイズ、代名詞を使った会話のリスニング、代名詞を使った文章を書く、和文英訳、読解など。		
	予習内容(時間)	代名詞について再確認	120	分
	復習内容(時間)	代名詞についてマスターしたか確認	120	分
No11	What's Wrong with Hitomi?	語彙をふやすためのクイズ、一般動詞の過去形についての文法を学び、問題を解く。不規則動詞。		
	予習内容(時間)	Unit 5に目を通す	120	分

		復習内容(時間)	語彙、一般動詞の過去形、不規則動詞の確認	120	分
	No12	What's Wrong with Hitomi?	語彙をふやすためのクイズ、一般動詞の過去形を使った会話のリスニング、一般動詞の過去形を使った文章を書く、和文英訳、読解。		
		予習内容(時間)	語彙、一般動詞の過去形、不規則動詞の再確認	120	分
		復習内容(時間)	一般動詞をマスターしたか確認	120	分
	No13	Unit 6 It Won't Hurt	語彙をふやすためのクイズ、進行形についての文法を学び、問題を解く。進行形を使った会話のリスニング。進行形を使った文章を書く。		
		予習内容(時間)	Unit 6に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	語彙、進行形をマスターしたか確認	120	分
	No14	期末試験	Unit 4～Unit 6で学習した語、文法、表現などについての確認試験		
		予習内容(時間)	Unit4～Unit6で学習した語、英文、表現について確認	120	分
		復習内容(時間)	試験で解けなかった問題をテキスト、ノートで確認。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語 I BE-I
講義名(英字)	Basic English I
担当教員	阿部 牧子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	基礎的な文法と語彙の習得を目的としたテキストを使って学習を進めていきます。英文和訳、和文英訳、部分作文などの問題を通じて文法の復習をします。教科書は15ユニットに渡って、大学生の知的好奇心を刺激する題材を取り上げています。英語が苦手であっても、辞書を使って読み進めていきましょう。語彙力をつけるために、単語や熟語のテストを実施します。通じる英語を目指して、発音指導を行います。																												
【到達目標】	各ユニットに登場する重要な語彙の意味を理解する。 基本的な文法を理解し、文法の知識や英語特有の表現を使って英文を作ることができる。 発音練習を繰り返し、正しい発音を身につける。																												
【履修条件・受 講推奨者】	一年次に受けたテストによって、習熟度別に編成されたクラスです。																												
【教育方法】	教員の講義と学生の発言はfifty-fiftyとし、間違いを恐れない積極的な発言を促します。																												
【指定教科書・ 参考資料等】	Reading Link 金星堂 ISBN 978-4-7647-4100-3																												
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力									
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																							
協働力	○	主張力	○	創造力																									
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="6">評価方法</td></tr><tr><td>筆記試験</td><td>35%</td><td colspan="6" rowspan="4">筆記試験は2回あります。素点が30点(100点満点中)に満たない場合は、単位修得できないことがあります。</td></tr><tr><td>課題</td><td>30%</td></tr><tr><td>授業での発言など</td><td>35%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法						筆記試験	35%	筆記試験は2回あります。素点が30点(100点満点中)に満たない場合は、単位修得できないことがあります。						課題	30%	授業での発言など	35%	合計	100%
評価項目と割合		評価方法																											
筆記試験	35%	筆記試験は2回あります。素点が30点(100点満点中)に満たない場合は、単位修得できないことがあります。																											
課題	30%																												
授業での発言など	35%																												
合計	100%																												

【その他の注意
事項】

遅刻に気をつけてください。遅刻2回で欠席1回とします。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	ガイダンス 自己紹介など	授業の進め方や課題について説明する 自己紹介を英語で表現する		
	予習内容(時間)	自己紹介の準備	120	分
	復習内容(時間)	自己紹介文をより正確な英文に修正するなど	120	分
No2	助動詞	助動詞とは？ can, may, mustなどを効果的に使う Who Can Be a YouTuber? (Unit 11)		
	予習内容(時間)	Unit 11本文内容を理解するため、未知語の意味を調べるなど	120	分
	復習内容(時間)	授業で理解が足りなかったところを復習してください	120	分
No3	助動詞(前週の続き)	Unit 11のまとめ プリント教材など		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No4	現在完了形	現在完了とは？ 過去形との違い What Have Plastics Done to Our Oceans? (Unit 12)		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No5	現在完了形の続き	Unit 12のまとめ		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No6	過去形	動詞の形を過去形に変える Why Did Starbucks Become a Hit in Japan? (Unit 3)		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No7	過去形	Unit 3のまとめ		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No8	到達度の確認	前週までの到達度を確認します		
	予習内容(時間)	到達度確認テストの準備をする	120	分
	復習内容(時間)	到達度確認テストの振り返りをする	120	分
No9	従位接続詞	接続詞とは？ after, because, if など What Would We Do If We Didn't Have Dogs? (Unit 13)		
	予習内容(時間)	Unit 13本文を読み、未知語を調べるなど	120	分
	復習内容(時間)	授業で理解が足りなかったところを復習してください	120	分
No10	従位接続詞	Unit 13のまとめ		
	予習内容(時間)	同上	120	分

		復習内容(時間)	同上	120	分
	No11	進行形	現在進行形と過去進行形 Are You Going Cashless? (Unit6)		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No12	進行形	近い未来の予定を表す現在進行形 進行形で表さない動詞(knowなど) Unit 6のまとめ		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No13	総まとめ	前週までの復習を中心に授業を行います プリント教材を使う予定です		
		予習内容(時間)	教科書の既習事項を確認してください	120	分
		復習内容(時間)	授業で理解が足りなかったところを復習してください	120	分
	No14	How to use Google翻訳 effectively	時間に余裕がある場合、機械翻訳を使って演習を行います		
		予習内容(時間)	本試験の準備をしてください	120	分
		復習内容(時間)	本試験の準備をしてください	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語 I S-A
講義名(英字)	Basic English I
担当教員	阿部 牧子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	基礎的な文法と語彙の習得を目的としたテキストを使って学習を進めていきます。英文和訳、和文英訳、部分作文などの問題を通じて文法の復習をします。教科書は15ユニットに渡って、大学生の知的好奇心を刺激する題材を取り上げています。英語が苦手であっても、辞書を使って読み進めていきましょう。語彙力をつけるために、単語や熟語のテストを実施します。通じる英語を目指して、発音指導を行います。																																
【到達目標】	各ユニットに登場する重要な語彙の意味を理解する。 基本的な文法を理解し、文法の知識や英語特有の表現を使って英文を作ることができる。 発音練習を繰り返し、正しい発音を身につける。																																
【履修条件・受講推奨者】	特になし																																
【教育方法】	教員の講義と学生の発言はfifty-fifty																																
【指定教科書・参考資料等】	Reading Link 金星堂 ISBN 978-4-7647-4100-3																																
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力													
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																											
協働力	○	主張力	○	創造力																													
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="4">評価項目と割合</th><th colspan="3">評価方法</th></tr><tr><td colspan="3">筆記試験</td><td>35</td><td colspan="3" rowspan="4"></td></tr><tr><td colspan="3">課題</td><td>30</td></tr><tr><td colspan="3">授業での発言など</td><td>35</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合				評価方法			筆記試験			35				課題			30	授業での発言など			35	合計			100%
評価項目と割合				評価方法																													
筆記試験			35																														
課題			30																														
授業での発言など			35																														
合計			100%																														

【その他の注意事項】

遅刻に気をつけてください。遅刻2回で欠席1回とします。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	ガイダンス 自己紹介など	授業の進め方や課題について説明する 自己紹介を英語で表現する		
	予習内容(時間)	自己紹介の準備	120	分
	復習内容(時間)	自己紹介文をより正確な英文に修正するなど	120	分
No2	助動詞	助動詞とは？ can, may, mustなどを効果的に使う Who Can Be a YouTuber? (Unit 11)		
	予習内容(時間)	Unit 11本文内容を理解するため、未知語の意味を調べるなど	120	分
	復習内容(時間)	授業で理解が足りなかったところを復習してください	120	分
No3	助動詞(前週の続き)	Unit 11のまとめ プリント教材など		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No4	現在完了形	現在完了とは？ 過去形との違い What Have Plastics Done to Our Oceans? (Unit 12)		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No5	現在完了形の続き	Unit 12のまとめ		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No6	過去形	動詞の形を過去形に変える Why Did Starbucks Become a Hit in Japan? (Unit 3)		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No7	過去形	Unit 3のまとめ		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No8	到達度の確認	前週までの到達度を確認します		
	予習内容(時間)	到達度確認テストの準備をする	120	分
	復習内容(時間)	到達度確認テストの振り返りをする	120	分
No9	従位接続詞	接続詞とは？ after, because, if など What Would We Do If We Didn't Have Dogs? (Unit 13)		
	予習内容(時間)	Unit 13本文を読み、未知語を調べるなど	120	分
	復習内容(時間)	授業で理解がたりなかったところを復習してください	120	分
No10	従位接続詞	Unit 13のまとめ		
	予習内容(時間)	同上	120	分

		復習内容(時間)	同上	120	分
	No11	進行形	現在進行形と過去進行形 Are You Going Cashless? (Unit6)		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No12	進行形	近い未来の予定を表す現在進行形 進行形で表さない動詞 (knowなど) Unit 6のまとめ		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No13	総まとめ	前週までの復習を中心に授業を行います プリント教材を使う予定です		
		予習内容(時間)	教科書の既習事項を確認してください	120	分
		復習内容(時間)	授業で理解が足りなかったところを復習してください	120	分
	No14	How to make use of Google翻訳 effectively	時間に余裕がある場合は、機械翻訳を使って演習を行います		
		予習内容(時間)	本試験の準備をしてください	120	分
		復習内容(時間)	本試験の準備をしてください	120	分

 [前画面へ戻る](#)

 [前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語 I BE-K
講義名(英字)	Basic English I
担当教員	木村 直樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この授業では「風と共に去りぬ」「若草物語」「オズの魔法使い」「アラバマ物語」などのアメリカの名作映画を観ながら、アメリカの文化史を学ぶと同時に、映画の登場人物たちによって使われる彩り豊かな英語表現を考察します。洋画を題材とした教材を使うため内容は若干難しめですが、映像と表現をプラグマティック(場面的・実用的)に分析することで、日常生活に密着したバリエーション豊富な英語表現の習得を目指します。																												
【到達目標】	アメリカの文化史を学び、日本文化との比較を通じて、国際的な幅広い視野を身に付ける。 日常的に使われる英会話表現を身に付けて、それを自分の意見の表明に使えるようになる。 映画に登場する会話を聴き取り、書いて表せるようになる。																												
【履修条件・受 講推奨者】	英会話Ⅰ・Ⅱを履修済みか、同時履修中であることが望ましい。																												
【教育方法】	映画のシーンを見て分析し、テキストの質問に解答する。また、文化史にまつわるテーマについて考察し、調査した結果を発表する。																												
【指定教科書・ 参考資料等】	石塚 美佳 / 小林 めぐみ / メイス みよ子 / 長崎 睦子 著『American Spirits in Movies: 名作映画で学ぶアメリカの心』成美堂出版																												
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力		主張力	○	創造力									
自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																						
協働力		主張力	○	創造力																									
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="6">評価方法</th></tr><tr><td>学習到達度確認テスト</td><td>70%</td><td colspan="6" rowspan="4">授業内のリスニング、ディクテーション、ペアワークやロールプレイ、ディスカッションへの参加・貢献度で評価します。</td></tr><tr><td>授業中のディスカッションやリサーチへの積極性</td><td>15%</td></tr><tr><td>発表およびレポート</td><td>15%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法						学習到達度確認テスト	70%	授業内のリスニング、ディクテーション、ペアワークやロールプレイ、ディスカッションへの参加・貢献度で評価します。						授業中のディスカッションやリサーチへの積極性	15%	発表およびレポート	15%	合計	100%
評価項目と割合		評価方法																											
学習到達度確認テスト	70%	授業内のリスニング、ディクテーション、ペアワークやロールプレイ、ディスカッションへの参加・貢献度で評価します。																											
授業中のディスカッションやリサーチへの積極性	15%																												
発表およびレポート	15%																												
合計	100%																												

【その他の注意事項】

授業の特性上、指定期日までにテキストを用意できない学生は、その時点で自動的に達成度評価テストの受験資格を失う。
また、授業内でメディア教材を複数扱うため、PCを用意して受講することが望ましい。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	Gone with the Wind: Unit 1	初回ガイダンス、成績評価方法の説明、レベル判定問題、「風と共に去りぬ」登場人物の確認		
	予習内容(時間)	「風と共に去りぬ」の時代背景調査	120	分
	復習内容(時間)	レベル判定問題の設問復習	120	分
No2	Gone with the Wind: Unit 1	Scene1-3の分析、南北戦争について考察、1章レビュー		
	予習内容(時間)	南北戦争についてのリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No3	Gone with the Wind: Unit 2	Scene1-2の分析、「ヤンキー (Yankee)」という語句が持つ意味について考察		
	予習内容(時間)	エピソードのまとめ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No4	Gone with the Wind: Unit 2	Scene3の分析、奴隷制度について考察、2章レビュー		
	予習内容(時間)	アメリカの奴隷制について調査	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No5	Gone with the Wind: Unit 3	Scene1-2の分析、アメリカ南部の地理について調査		
	予習内容(時間)	アメリカ国旗の成り立ちについて調査	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No6	Gone with the Wind: Unit 3	Scene3の分析、アメリカの税金制度について考察、3章レビュー		
	予習内容(時間)	アメリカの酒税の歴史についてリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No7	Gone with the Wind: Unit 4	Scene1-2の分析、アメリカ南東部の地理について考察		
	予習内容(時間)	アメリカ、ジョージア州についてリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No8	Gone with the Wind: Unit 4	Scene3の分析、物語の結末考察、4章レビュー		
	予習内容(時間)	劇中の「風」という語が表す象徴性について考察	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No9	Little Women: Unit 5	Scene1-2の分析、「若草物語」登場人物と背景確認、アメリカ・ニューイングランド地方について考察		
	予習内容(時間)	ニューイングランド地方の地理についてリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No10	Little Women: Unit 5	Scene3の分析、北米におけるクリスマス文化の考察、5章レビュー		
	予習内容(時間)	北米でのクリスマスの文化的違いについてリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No11	Little Women: Unit 6	Scene1-2の分析、アメリカの食文化について考察		
	予習内容(時間)	アメリカのお菓子にまつわる慣習リサーチ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
	Little Women: Unit 6	Scene3の分析、欧米でのパーティーの文化についてリサーチ、6章レビュー		

	No12	予習内容(時間)	「パーティー」の文化についてリサーチ	120	分
		復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
	No13	Little Women: Unit 7	Scene1-2の分析、1860年代の女性の髪形について考察		
		予習内容(時間)	1800年代後半の北米のファッションについてリサーチ	120	分
		復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
	No14	Little Women: Unit 7	Scene3の分析、1860年代の流行病と治療法の考察、7章レビュー		
		予習内容(時間)	「ペニシリン」開発の背景についてリサーチ	120	分
		復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	文化教養特講 I BE-A
講義名(英字)	Cultural Education Special Lecture I
担当教員	小林 寛典
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	近年、異文化を背景に持つ人々は私たちの周囲に大変多くなっている。しかし、私たちは彼らの存在を認識しているものの、彼らと心の交流をしているとはまだまだ言えない。 本講義では、異なった文化・社会・価値観などを持つ人々をどう理解していけばいいのかを異文化コミュニケーションの観点から共に考えていく。																													
【到達目標】	異文化を理解すること コミュニケーションについて知ること 自分を知ること																													
【履修条件・受 講推奨者】	履修条件: 学生同士の話し合いに積極的に参加し、自ら発言すること 受講推奨者: 異文化に興味がある好奇心旺盛な方																													
【教育方法】	講師からの一方的な講義だけでなく、テーマごとに学生自身に考えてもらいその意見を皆で共有していく。																													
【指定教科書・ 参考資料等】	使用しない。																													
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力		創造力										
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																								
協働力	○	主張力		創造力																										
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><td colspan="3">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="2">授業参加度</td><td>30%</td><td colspan="4" rowspan="4">左記3項目の合計点数で評価する。</td></tr><tr><td colspan="2">毎回の確認テスト</td><td>50%</td></tr><tr><td colspan="2">期末レポート</td><td>20%</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合			評価方法				授業参加度		30%	左記3項目の合計点数で評価する。				毎回の確認テスト		50%	期末レポート		20%	合計		100%
評価項目と割合			評価方法																											
授業参加度		30%	左記3項目の合計点数で評価する。																											
毎回の確認テスト		50%																												
期末レポート		20%																												
合計		100%																												
【その他の注意 事項】	学期の3分の1を超えて欠席した場合は、単位を認めない。																													
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>							週	テーマ	学習内容																				
週	テーマ	学習内容																												

【授業計画】

No1	オリエンテーション	スケジュール、講義の進め方、評価方法の確認 他已紹介 少人数のグループにて各自の異文化体験の紹介、全体発表 確認テストの練習		
	予習内容(時間)	過去の人生を振り返り、自分の異文化体験を発表できるようにする	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、疑問点、不明点を明らかにする	120	分
No2	異文化を理解する	日本の異文化交流の歴史 異文化理解の意義 文化とは何か		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
No3	異文化理解への態度	文化とは何か2 常識・非常識 トータルカルチャーとサブカルチャー		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
No4	文化の特徴	文化ダイアグラム 文化の特徴 行動を規定する3つの側面		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
No5	異文化適応	異文化適応 カルチャーショック U字曲線の適応		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
No6	コミュニケーションの概念	U字曲線の適応2 コミュニケーションの概念 コミュニケーションの定義		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
No7	コミュニケーションスタイル	コミュニケーションモデル コミュニケーションスタイル 民族による違い		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
No8	コミュニケーションの手段	ノンバーバル・コミュニケーション 身体動作学 距離のとり方		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
No9	コミュニケーションストラテジー	コミュニケーション能力の定義 コミュニケーション・ストラテジーの定義 コミュニケーションの成立		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
No10	異文化の認識	固定観念 ファイリング カテゴリー化 ステレオタイプ		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分

	No11	差別を考える	差別の定義 差別の種類 差別が生まれる背景		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No12	自分を知る	自己開示 ジョハリの窓 自分の自己開示度		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No13	アサーティブ・コミュニケーション	アサーティブ・コミュニケーションとは 自分のスタイルを知る		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分
	No14	異文化トレーニング	エポケーとは エポケーの事例 学期末レポートの説明		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理する	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経営組織論 I BE-A
講義名(英字)	Organization Theory I
担当教員	高橋 正泰
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	現在の経営学にはさまざまな研究が展開されており、その中でも、組織社会である現代社会を考えると、経営学の対象となる組織は、重要な研究分野として位置づけられる。しかし、組織の研究は経営学固有のものではなく、多様化する社会現象の解明に欠かせないものとして、学際的な研究領域を形成している。本講義では、これらの組織研究の成果を取り入れながら、企業の組織問題を中心として考察し、組織についての理解を深めることを目的としている。
	組織とは何かについての理解

【到達目標】	組織を学ぶ意義の理解 組織を理解するための様々な考えや方法についての理解																																																																																																																																																																																																															
【履修条件・受講推奨者】	◇ とくにありませんが、真摯に勉学に励む方出来れば、経営管理論、心理学、社会学などを学んでいることが望ましい。																																																																																																																																																																																																															
【教育方法】	講義とレポート、ならびに必要なに応じてディスカッションにより授業を行う。																																																																																																																																																																																																															
【指定教科書・参考資料等】	◇ 大月博司・高橋正泰『経営組織』学文社、2003年。 高橋正泰監修『マクロ組織論』学文社、2019年。																																																																																																																																																																																																															
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力																																																																																																																																																																																									
	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																																																																																																																																																									
協働力		主張力	○	創造力																																																																																																																																																																																																												
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="8">評価方法</td></tr><tr><td>定期試験</td><td>50%</td><td colspan="8" rowspan="4">定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。</td></tr><tr><td>レポート</td><td>50%</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合		評価方法								定期試験	50%	定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。								レポート	50%			合計	100%																																																																																																																																																																												
	評価項目と割合		評価方法																																																																																																																																																																																																													
	定期試験	50%	定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。																																																																																																																																																																																																													
	レポート	50%																																																																																																																																																																																																														
合計	100%																																																																																																																																																																																																															
【その他の注意事項】	◇ 学際的な視点から組織の問題を考え、学ぶ必要があります。																																																																																																																																																																																																															
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="8">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>組織の概念</td><td colspan="8">「組織とは何か」について考察する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>組織学が意義</td><td colspan="8">「組織がわれわれにとってどのような関係にあるか」について講義する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>社会科学としての組織のパラダイム</td><td colspan="8">社会科学としての組織理論の位置づけを考える。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>組織のメソドロジー</td><td colspan="8">社会科学としての組織の理論を学ぶ方法について考察する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>経営組織論の系譜Ⅰ</td><td colspan="8">科学的管理法を中心として基本的な組織理論を講義する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No6</td><td>経営組織論の系譜Ⅱ</td><td colspan="8">人間関係論を中心として講義する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>経営組織論の系譜Ⅲ</td><td colspan="8">近代的組織論の展開とその基本的な考え方について考える。</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容								No1	組織の概念	「組織とは何か」について考察する。								予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること						120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること						120	分	No2	組織学が意義	「組織がわれわれにとってどのような関係にあるか」について講義する。								予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること						120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること						120	分	No3	社会科学としての組織のパラダイム	社会科学としての組織理論の位置づけを考える。								予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること						120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること						120	分	No4	組織のメソドロジー	社会科学としての組織の理論を学ぶ方法について考察する。								予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること						120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること						120	分	No5	経営組織論の系譜Ⅰ	科学的管理法を中心として基本的な組織理論を講義する。								予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること						120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること						120	分	No6	経営組織論の系譜Ⅱ	人間関係論を中心として講義する。								予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること						120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること						120	分		経営組織論の系譜Ⅲ	近代的組織論の展開とその基本的な考え方について考える。																	
	週	テーマ	学習内容																																																																																																																																																																																																													
	No1	組織の概念	「組織とは何か」について考察する。																																																																																																																																																																																																													
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること						120	分																																																																																																																																																																																																						
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること						120	分																																																																																																																																																																																																						
	No2	組織学が意義	「組織がわれわれにとってどのような関係にあるか」について講義する。																																																																																																																																																																																																													
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること						120	分																																																																																																																																																																																																						
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること						120	分																																																																																																																																																																																																						
	No3	社会科学としての組織のパラダイム	社会科学としての組織理論の位置づけを考える。																																																																																																																																																																																																													
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること						120	分																																																																																																																																																																																																						
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること						120	分																																																																																																																																																																																																						
	No4	組織のメソドロジー	社会科学としての組織の理論を学ぶ方法について考察する。																																																																																																																																																																																																													
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること						120	分																																																																																																																																																																																																						
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること						120	分																																																																																																																																																																																																						
	No5	経営組織論の系譜Ⅰ	科学的管理法を中心として基本的な組織理論を講義する。																																																																																																																																																																																																													
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること						120	分																																																																																																																																																																																																						
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること						120	分																																																																																																																																																																																																						
	No6	経営組織論の系譜Ⅱ	人間関係論を中心として講義する。																																																																																																																																																																																																													
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること						120	分																																																																																																																																																																																																						
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること						120	分																																																																																																																																																																																																						
		経営組織論の系譜Ⅲ	近代的組織論の展開とその基本的な考え方について考える。																																																																																																																																																																																																													

【授業計画】	No7	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No8	経営組織論の系譜Ⅳ	組織のコンティンジェンシー理論について講義する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No9	組織の理論モデルⅠ	組織の機能主義的組織モデルについて考える。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No10	組織の理論モデルⅡ	文化および社会システムとしての組織を講義する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No11	組織の形態と構造	組織の基本的形態と構造について講義する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No12	組織デザイン	組織をどのように設計すれば良いかについて考える。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No13	組織と環境	単なる組織の環境適応ではなくエコロジーやSDGsの観点から組織を考察する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No14	組織と人間	組織を構成する人間について考察する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経営組織論 I BE-B
講義名(英字)	Organization Theory I
担当教員	寺部 優
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	企業を取り巻く環境は、近年大きく変化しています。この環境の変化に対応するために、生産性・柔軟性の高い組織を構築しリテラシーの高い人材を育成することが必要です。すなわち人的資源を有効に管理し発展させることが、企業において求められています。組織行動を理解し有効な人的管理を実践するためには、組織に関連する理論(すなわち経営学で学ぶことのできる知識)と実務(すなわち実際の企業で起きている現象)を結び付けて考察する能力が必要とされます。そこで本授業では「この組織に関連する理論と実務を結び付けて考察する能力を身につけること」を目標とします。
	用語と理論: 経営組織に関連する基礎的な用語が、説明できる。また経営学で学ぶことのできる基本的な理論やフレームワークが説明できる。

【到達目標】	実務:実際のビジネスの現象を、組織論の視点から整理して説明できる。 組織に関連する理論と実務を結び付けて考察する能力:授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって整理し考察できること。																																									
【履修条件・受講推奨者】	秋学期に開講する「経営組織論Ⅱ」の基礎となる科目です。 「経営組織論Ⅱ」の履修を希望する場合は、必ず本科目を履修してください。																																									
【教育方法】	講義と参加者とのディスカッション(議論)を中心に行います。																																									
【指定教科書・参考資料等】	教科書は稲葉祐之・井上達彦・鈴木隆太・山下勝(著)『キャリアで語る経営組織[第2版]—個人の論理と組織の論理—』有斐閣アルマ,2022年 参考書は、使用しません。																																									
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○																		
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																				
協働力		主張力	○	創造力	○																																					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="4">評価項目と割合</th><th colspan="4">評価方法</th></tr><tr><td colspan="4">組織論に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。</td><td>40%</td><td colspan="4" rowspan="4">受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。</td></tr><tr><td colspan="4">授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から整理して説明できること。</td><td>20%</td></tr><tr><td colspan="4">授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって整理し考察できること。</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				組織論に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。				40%	受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。				授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から整理して説明できること。				20%	授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって整理し考察できること。				40%	合計				100%
評価項目と割合				評価方法																																						
組織論に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。				40%	受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。																																					
授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から整理して説明できること。				20%																																						
授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって整理し考察できること。				40%																																						
合計				100%																																						
【その他の注意事項】	とくになし																																									
	週	テーマ	学習内容																																							
	No1	ガイダンス 個人と会社①	授業の概要と評価方法、学び方、教科書について 個人の欲求と働き方 会社とは何か																																							
		予習内容(時間)	企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録をしておく。						120	分																																
		復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。						120	分																																
	No2	個人と会社②	付加価値を生むプロセス 会社で働くキャリア ディスカッション																																							
		予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。						120	分																																
		復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。						120	分																																
	No3	社会化と組織文化①	組織社会化と組織社会化プロセス リアリティ・ショックとRJP ディスカッション																																							
		予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。						120	分																																
		復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。						120	分																																
	No4	社会化と組織文化②	組織文化 同質性の怖さと過剰な社会化 ディスカッション																																							
		予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。						120	分																																
		復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。						120	分																																

【授業計画】

No5	モチベーションと規則の関係①	官僚制 仕事に対する欲求 ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No6	モチベーションと規則の関係②	内発的動機付け 会社の中での自立性 ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No7	会社の中でのキャリア開発①	会社のなかの人材管理 組織と個人の関係 ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No8	会社の中でのキャリア開発②	個人のキャリア・マネジメント ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No9	リーダーシップ①	リーダーシップの意義 優れたリーダー行動 ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No10	リーダーシップ②	臨機応変のリーダー行動 長期的視点のリーダー行動 ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No11	集団のダイナミズム①	意思決定のプロセス 集団の意思決定はどのようになされるのか ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No12	集団のダイナミズム②	集団の失敗 集団の罫から逃れるためには ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No13	個人と組織の学習メカニズム①	仕事における学び 実践共同体 ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
	個人と組織の学習メカニズム②	個人の学習と組織の学習 学びほぐし		

	ディスカッション				
	No14	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で使った教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経営戦略論 I BE-A
講義名(英字)	Strategic Management I
担当教員	寺部 優
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	現代社会はデジタル化、グローバル化が進み、企業を取り巻く環境は、めまぐるしく日々変化しています。この環境の変化に対応して成長するために、企業における経営戦略は、ますます重要な要素となっています。 経営戦略を策定し実行するには、経営戦略に関連する理論(すなわち経営学で学ぶことのできる知識)と実務(すなわち実際のビジネスで起きている現象)を結び付ける能力が必要とされます。そこで本授業では「経営戦略に関連する理論と実務を結び付ける能力を身につけること」を目標とします。
	用語と理論: 経営戦略に関連する基礎的な用語が、説明できる。また経営学で学ぶことのできる基本的な理論やフレームワークが説明できる。

【到達目標】	実務:実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から整理して説明できる。 経営戦略に関連する理論と実務を結び付ける能力:実際のビジネスの現象を基本的な理論やフレームワークをつかって分析できる。																																																																		
【履修条件・受講推奨者】	秋学期に開講する「経営戦略論Ⅱ」の基礎となる科目です。 「経営戦略論Ⅱ」の履修を希望する場合は、必ず本科目を履修してください。																																																																		
【教育方法】	講義を中心に行います。また重要なテーマについては、参加者とディスカッション(議論)しながら進めます。																																																																		
【指定教科書・参考資料等】	教科書は、使用しません。授業でプリントを配布します。 参考書は、マイケル・A・ヒット他著『戦略経営論 改訂新版』センゲージ ラーニング、2014年																																																																		
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○																																											
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																													
協働力		主張力	○	創造力	○																																																														
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="4">評価項目と割合</th><th colspan="4">評価方法</th></tr><tr><td colspan="4">経営戦略に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。</td><td>40</td><td colspan="4" rowspan="4">受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。</td></tr><tr><td colspan="4">授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から整理して説明できること。</td><td>20</td></tr><tr><td colspan="4">授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって分析できること。</td><td>40</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				経営戦略に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。				40	受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。				授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から整理して説明できること。				20	授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって分析できること。				40	合計				100%																									
評価項目と割合				評価方法																																																															
経営戦略に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。				40	受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。																																																														
授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から整理して説明できること。				20																																																															
授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって分析できること。				40																																																															
合計				100%																																																															
【その他の注意事項】	とくになし																																																																		
	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th>学習内容</th><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td>授業の概要と評価方法について 学び方について 教科書・参考書についてなど 授業の概要を説明する</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録をしておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>経営戦略とは</td><td>戦略とは・経営戦略とは 戦略の定義 経営戦略のまとめ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>企業の方向性</td><td>ビジョン・ミッション 企業のドメイン 企業の経営理念</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>企業全体のバランス</td><td>事業ポートフォリオ 多角化 PPM分析</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td><td>120</td><td>分</td></tr></table>										週	テーマ	学習内容			No1	ガイダンス	授業の概要と評価方法について 学び方について 教科書・参考書についてなど 授業の概要を説明する			予習内容(時間)	企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録をしておく。	120	分	復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分	No2	経営戦略とは	戦略とは・経営戦略とは 戦略の定義 経営戦略のまとめ			予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分	復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分	No3	企業の方向性	ビジョン・ミッション 企業のドメイン 企業の経営理念			予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分	復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分	No4	企業全体のバランス	事業ポートフォリオ 多角化 PPM分析			予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分	復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
週	テーマ	学習内容																																																																	
No1	ガイダンス	授業の概要と評価方法について 学び方について 教科書・参考書についてなど 授業の概要を説明する																																																																	
	予習内容(時間)	企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録をしておく。	120	分																																																															
	復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分																																																															
No2	経営戦略とは	戦略とは・経営戦略とは 戦略の定義 経営戦略のまとめ																																																																	
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分																																																															
	復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分																																																															
No3	企業の方向性	ビジョン・ミッション 企業のドメイン 企業の経営理念																																																																	
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分																																																															
	復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分																																																															
No4	企業全体のバランス	事業ポートフォリオ 多角化 PPM分析																																																																	
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分																																																															
	復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分																																																															

【授業計画】

No5	企業戦略分析	SWOT分析 機会・脅威 強み・弱み		
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No6	企業戦略の事例分析	SWOTによる事例分析 セブン・イレブンのSWOT分析 分析結果からの方向性		
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No7	外部環境:競争のメカニズム	5フォース分析 5つの力 競争優位		
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No8	外部環境による事例分析	東京富士大学の事例 ドコモの事例 まとめ		
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No9	ポジショニング戦略	ポーターの基本戦略 コストリーダーシップ・差別化・集中 まとめ		
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No10	ポジショニング戦略による事例分析	ポジショニングによる分析 自動車業界 アパレル業界		
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No11	経営資源:コア・コンピタンス	コア・コンピタンスとは VRIO VRIOフレームワーク		
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No12	経営資源による事例分析	経営資源による分析 演習①、演習②、演習③		
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No13	バリューチェーン	バリューチェーンとは バリューチェーンと成功要因 バリューチェーンと事業変革		
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
	バリューチェーンによる事例分析	バリューチェーン分析① バリューチェーン分析②		

	バリューチェーン分析③				
	No14	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経営戦略論 I BE-B
講義名(英字)	Strategic Management I
担当教員	小川 達也
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	経営戦略に関する基礎的理論と実践的知識を修得し、現代企業が戦略を策定・実行する際に直面する諸課題についての洞察力を養います。授業では、時事問題や事例研究を適宜取り入れることで理論と実践のバランスを図り、経営戦略への理解を深められるように工夫します。第1回目の授業は、ガイダンスを行います。この科目の学び方や評価方法、注意事項など重要な内容を説明をしますので、必ず出席してください。 刻一刻と変化する企業・産業界の動向に関心を持ち、日頃から経済新聞や経済雑誌をよく読み、時事問題やトレンドの把握に努めましょう。
	用語の定義や概念を把握し、他の用語と混同しないように説明できること

【到達目標】	経営戦略の基礎的理論の定義や概念、課題・問題点などを把握し、正しく説明できること																									
経営戦略の実践的知識の概念や背景、課題・問題点などを把握し、正しく説明できること																										
【履修条件・受講推奨者】	この科目は、秋学期開講の「経営戦略論Ⅱ」の基礎となる科目です。 「経営戦略論Ⅱ」の履修を希望する場合には、まず「経営戦略論Ⅰ」の単位を修得してください。																									
【教育方法】	授業は、パワーポイントを中心にプリントを併用しながら丁寧に進めます。 また、受講生一人ひとりの疑問や質問に向き合い、創造的でインタラクティブな授業を目指します。																									
【指定教科書・参考資料等】	教科書：岸川善光(著)『経営戦略要論』同文館出版、2006年 参考書：大滝精一ほか(著)『経営戦略—論理性・創造性・社会性の追求第3版』有斐閣アルマ、2016年																									
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>										自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○		
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																				
協働力		主張力	○	創造力	○																					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法																					
	受講態度及び授業毎の課題コメントの提出		40	成績は、受講態度及び課題コメント40%、本試験60%を目安に決定します。																						
	専門用語を正しく理解し、事例を用いて説明できること		20																							
	経営戦略の理論と知識を広く理解し、応用して説明できること		40																							
	合計		100%																							
【その他の注意事項】	授業中にスマートフォンやタブレットなどの電子デバイス類を授業目的外で使用することは、禁止します。 指示に従わない場合には、減点の上、欠席扱いとします。																									
	週	テーマ	学習内容																							
	No1	【重要】ガイダンス	授業の概要と評価方法、学び方について																							
		予習内容(時間)	時事問題やトレンドの把握(経済新聞・経済雑誌)						120	分																
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握(辞典・辞書)						120	分																
	No2	経営戦略の意義	なぜ経営戦略が必要なのか																							
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握						120	分																
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握						120	分																
	No3	経営戦略の体系①	経営戦略と戦術の役割																							
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握						120	分																
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握						120	分																
	No4	経営戦略の体系②	経営理念とビジョンの役割																							
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握						120	分																
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握						120	分																
	No5	経営戦略の体系③	経営戦略の類型																							
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握						120	分																
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握						120	分																
	No6	経営戦略の体系④	経営戦略の策定と組織																							
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握						120	分																

【授業計画】		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No7	製品・市場戦略①	アンゾフの成長ベクトル		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No8	製品・市場戦略②	多角化戦略と相乗効果(シナジー)		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No9	製品・市場戦略③	市場細分化戦略		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No10	製品・市場戦略④	新製品開発と新市場開発		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No11	競争戦略の要点①	ポーターの競争戦略の枠組み		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No12	競争戦略の要点②	競争の基本戦略「コストリーダーシップ戦略」		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No13	競争戦略の要点③	競争の基本戦略「差別化戦略」「集中戦略」		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No14	競争戦略の要点④	価値連鎖(バリューチェーン)		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経営史 B-A
講義名(英字)	History of Business
担当教員	清水 太陽
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この授業では、現代の経済活動の中核を担う主体のうち、企業に焦点をあてて学んでいきます。企業の変貌と発展の歴史を見ていき、現代企業の抱える問題とその行く末を展望します。また、それぞれの「時代」についてもあわせて考えることで、経営史を多面的に理解できる授業にしたいと考えています。映像資料や動画などを活用することにより、経営史を学ぶことの楽しさと意義を理解できるような授業を目指します。					
【到達目標】	専門用語の理解 内容の理解 時代の理解					
【履修条件・受講推奨者】	経営学をすでに受講済みまたは同時に履修することが望ましい。また、企業論を受講すると、理解の助けになるであろう。その他、歴史に関心がある人に幅広く受講してもらいたい。					
【教育方法】	講義での知識を修得し、レポートを作成することで、企業の歴史について関心を深め、現代企業が直面する課題について自分自身で考える力を涵養する。					
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書: 安部悦生(著)『経営史<第2版>』日本経済新聞出版社(日経文庫)、2010年 ◇参考文献: 中瀬哲史(著)『エッセンシャル経営史 生産システムの歴史的分析』中央経済社、2016年 ※他は随時授業で指示します					
【実務IQ修得目標】	自制力	思考力	○	突破力	忍耐力	
	協働力	主張力	○	創造力		
	評価項目と割合			評価方法		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	専門用語、内容の理解		40%	期末テスト60% 数回のレポート30% 受講態度10%			
	時代の理解		20%				
	知識の応用		40%				
	合計		100%				
【その他の注意事項】	とくになし						
	週	テーマ	学習内容				
	No1	ガイダンス	授業内容についての説明など、経営史はなぜ必要か				
		予習内容(時間)	シラバス、スライド、レジュメに目を通す	120	分		
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分		
	No2	戦略商品と経済覇権の変遷	市場と商品 (1)戦略商品とは何か(2)香料(塩)から毛織物へ 第一次産業革命—バックス・ブリタニカー— (1)毛織物から綿製品へ(2)機械化による技術革新(3)製鉄が可能にした鉄道による大量輸送(4)先駆者イギリスの弱点				
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分		
		復習内容(時間)	レポートの作成	120	分		
	No3	戦略商品と経済覇権の変遷	第二次産業革命—バックス・アメリカナー— (1)電気、化学、自動車の登場(2)第二次産業革命のエネルギー源、石油・電気 (3)大企業の組織的研究・開発による勝利 第三次産業革命—エレクトロニクス革命— (1)市場細分化の進展(2)「バックス・ジャポニカ」(3)エレクトロニクス革命(4)メガコンペティションの時代へ(5)金融世界の変貌—貨幣の誕生からサブプライム危機へ—				
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分		
		復習内容(時間)	レポートの作成	120	分		
	No4	会社の誕生—イギリスの産業革命—	企業と企業家 (1)会社の誕生(2)世界初の株式会社、東インド会社(3)南海泡沫事件と泡沫会社禁止条例(4)パートナーシップの発達 工場と会社の誕生—木綿工業— (1)相次ぐ技術革新(2)産業集積の発生(3)木綿企業家ピール家の場合(4)企業家から政治家へ				
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分		
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分		
	No5	会社の誕生—イギリスの産業革命—	重工業における技術革新と市場—製鉄業— (1)石炭利用における製鉄の拡大(2)製鉄企業家クロウシェイ家とゲスト家 エネルギー革命＝蒸気機関の発明—機械産業— (1)最初の蒸気機関、ニューコメン・エンジン(2)産学協同が生んだワットの発明 (3)技術者と資金提供者(4)工場を支えた職人、関連産業				
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分		
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分		
	No6	会社の誕生—イギリスの産業革命—	パートナーシップから株式会社へ—株式会社の誕生— (1)泡沫会社禁止条例下の株式会社(2)パブリック・カンパニーと私会社 取引コストの削減—取引所とネットワーク— (1)さまざまな取引所の登場(2)ネットワーク＝産業集積 イギリスにおける企業誕生の意義				
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分		
		復習内容(時間)	レポートの作成	120	分		
			ビッグ・ビジネスの成立—アメリカの第	第二次産業革命—ビッグ・ビジネスの成立— (1)チャンドラー・モデル(2)管理組織の類型(3)企業組織の類型 インフラストラクチャーの整備—運河・鉄道・電信— (1)運河輸送とその問題点(2)鉄道による大量輸送体制の確立(3)電信によるビジネスのスピード			

【授業計画】

No7	二次産業革命—	化 企業家精神と戦略—鉄鋼業— (1)大企業家を生んだ環境(2)「ハード・ドライビング」(3)カーネギーの場合(4)カーネギーの経営戦略		
	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
	復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
No8	ビッグ・ビジネスの成立—アメリカの第二次産業革命—	巣直統合戦略と企業形態—石油産業— (1)ロックフェラーの場合(2)他企業の買収による巨大化(3)トラストの設立と独占禁止法 アメリカ的組織と経営方法—化学産業— (1)デュボンの近代化(2)技術的共用性をベースとした多角化(3)事業部制への徹底した組織改革		
	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
	復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
No9	ビッグ・ビジネスの成立—アメリカの第二次産業革命—	競争戦略とマーケット・セグメンテーション—自動車産業— (1)二十世紀最大の戦略商品、自動車(2)ヘンリー・フォードとフォードイズム(3)モデルTの販売不振(4)「組織人」スローンとGM ビッグ・ビジネスの成立とその限界		
	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
	復習内容(時間)	レポートの作成	120	分
No10	大競争時代—多様化する競争のかたち—	先発国と後発国—国際競争の構造— (1)ガーシェンクロン・モデル(2)後発の優位 財閥の形成と解体—三菱— (1)土佐藩の商事部隊が母体(2)「海から陸へ」多角化展開(3)事業部制から財閥へ(4)財閥の解体とケイレツの誕生		
	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
	復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
No11	大競争時代—多様化する競争のかたち—	日本の生産システムの確立—トヨタ自動車— (1)多品種中量生産(2)トヨタイズム(3)豊田喜一郎とトヨタイズムの形成 エレクトロニクス革命とグローバル化—IBM— (1)第三次産業革命(2)顧客重視で伸びたIBM(3)コンピューターへの集中投資 (4)独占的な地位の獲得		
	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
	復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
No12	大競争時代—多様化する競争のかたち—	IT革命—インテルとグーグル— (1)パソコン時代の幕開け(2)市場を読み誤ったIBM(3)明暗を分けたオープン化戦略(4)ハードからソフトへ 国際競争の象徴としての自動車産業—企業間の合従連衡— (1)今後も拡大する自動車市場(2)国際競争の激化と日本の退潮(3)開発力、デザイン力、ブランド力		
	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
	復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
No13	大競争時代—多様化する競争のかたち—	R&Dと大競争—知的所有権と研究開発— (1)「産業の米」半導体(2)アメリカを圧倒した日本の半導体メーカー(3)特許に対する理解の相違が招いた日本の衰退(4)危機に直面する日本の半導体メーカー (5)異質競争に弱い日本企業 サブプライム危機と金融革命 (1)サブプライム危機の経緯(2)アメリカの金融制度の変貌(3)証券化と金融革命 (4)住宅ブームの終焉とサブプライム(5)ビジネス・モラル		
	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
	復習内容(時間)	レポートの作成	120	分
No14	ものづくりとファイナンス—大企業、ベンチャーネットワーク、マネー—	現状と未来への展望		
	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
	復習内容(時間)	レポートの作成	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経営情報学 B-A
講義名(英字)	Management Information
担当教員	鬼木 一直
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	情報化社会と言われる今、情報の価値は益々高まってきており、情報システムの果たす役割はきわめて大きいと言えます。本授業では経営情報システムの基本原理、しくみを理解し、ビジネスでの応用について具体的な事例に基づき学んでいきます。経営情報システムの活用方法、インターネットを用いたビジネス、データベースシステム等を理解することでビジネスにおいて役立つ知識の修得を目標にします。						
【到達目標】	コンピュータ、ハードウェア、補助記憶装置の構成と構造を知る 経営情報システム、通信ネットワーク、データベースの仕組みを知り、活用例を理解する セキュリティ管理方法、情報倫理、情報リテラシーについて学び、実用例を理解する						
【履修条件・受 講推奨者】	特にありません。						
【教育方法】	基本的には講義形式としますが、グループワークを行うこともあります。						
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書は使用しません。経営情報学で取り扱う事例は最新のものが多いため、パワーポイントの資料にて講義を進めます。						
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力
	協働力	○	主張力		創造力	○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法		
コンピュータ、ハードウェア、補助記憶装置の理解	30	授業時間内の態度、グループワーク取組姿勢、課題の発表状況、試験によって総合的に評価を行います。		
経営情報システム、通信ネットワーク、データベースの理解	40			
セキュリティ管理方法、情報倫理、情報リテラシーの理解	30			
合計	100%			

【その他の注意事項】

毎回、簡単な課題を出します。積極的に発言をお願いします。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	オリエンテーションと経営情報学の概要	講義内容についての説明、経営情報学の概要		
	予習内容(時間)	経営情報学の基本知識	120	分
	復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分
No2	コンピュータの構造	コンピュータの基礎知識、種類、構成について学ぶ		
	予習内容(時間)	課題の検討	120	分
	復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分
No3	パソコンの構造	パソコンの構造について学ぶ		
	予習内容(時間)	課題の検討	120	分
	復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分
No4	5大装置	入力装置、出力装置、記憶装置、制御装置、演算装置について学ぶ		
	予習内容(時間)	課題の検討	120	分
	復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分
No5	データの取り扱い	コンピュータ原理とデータの取り扱い方について学ぶ		
	予習内容(時間)	課題の検討	120	分
	復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分
No6	データベースシステム	データベースシステムの役割、活用法について学ぶ		
	予習内容(時間)	課題の検討	120	分
	復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分
No7	経営情報システム	経営情報システムの定義、役割について学ぶ		
	予習内容(時間)	課題の検討	120	分
	復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分
No8	通信ネットワーク	通信ネットワーク、インターネットビジネス、クラウドコンピューティングについて学ぶ		
	予習内容(時間)	課題の検討	120	分
	復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分
No9	情報とコミュニケーション	情報の分析とコミュニケーションの必要性について学ぶ		
	予習内容(時間)	課題の検討	120	分
	復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分

		セキュリティ管理	セキュリティ管理、ファイルのバックアップについて学ぶ		
	No10	予習内容(時間)	課題の検討	120	分
		復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分
	No11	企業の情報化と情報倫理	情報化社会における情報の扱い方と情報倫理について学ぶ		
		予習内容(時間)	課題の検討	120	分
		復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分
	No12	情報リテラシー	情報リテラシーとプレゼンテーション技術について学ぶ		
		予習内容(時間)	課題の検討	120	分
		復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分
	No13	次世代の経営情報学	経営情報学の今後について学ぶ		
		予習内容(時間)	課題の検討	120	分
		復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分
	No14	まとめ	全体像を総括し、ポイントを整理する		
		予習内容(時間)	試験勉強	120	分
		復習内容(時間)	授業資料の確認	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	人的資源管理論 I BE-A
講義名(英字)	Human Resource Management I
担当教員	洪 聖協
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	働く人間というのは生産のための手段であると同時に感情を持つ存在でもあります。人間を「資源」として捉えようと、モノ扱いしてしまうように聞こえてしまいます。やはり感情を持つ存在という点を無視してはいけません。感情を持つ資源という認識のもとでいかに管理するのか、この点について講義していきます。講義はレジュメに沿って進めていきます。また、DVDなどの映像資料を活用し、視聴覚的に理解を図ります。
	人的資源管理の「目的・歴史・制度」について理解し、説明ができるようにする。

【到達目標】	「終身雇用・年功序列・企業別労使関係」について理解し、説明ができるようにする。 「ダイバーシティマネジメント」、「ワークライフバランス」、「ハラスメント」について理解し、説明ができるようにする。労働CSRと人材リスクマネジメントについて理解し、説明ができるようにする。							
【履修条件・受講推奨者】	必ず「人的資源管理論Ⅱ」と併せて履修するように。							
【教育方法】	本授業は、テーマに沿って、その内容を解説しながら問題に関して討論を行いながら授業を進める。							
【指定教科書・参考資料等】	教科書：岩出博編著『従業員満足のための人的資源管理』中央経済社 資料等：毎回レジュメを配布。							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合					評価方法		
	確認テストを行う。「人的資源管理の目的・歴史・制度」に関連する について理解し、用語とその意味を答えられること。				30	①平常点15%（授業内課題提出）②中間テスト25% ③期末テスト60%		
	確認テストを行う。「終身雇用・年功序列・企業別労使」に関連する 」について理解し、用語とその意味を答えられること。				30			
	確認テストを行う。「ダイバーシティマネジメント」、「ワークライフバランス」、「ハラスメント」、労働CSRと人材リスクマネジメントについて理解し、用語とその意味を答えられること。				40			
	合計				100%			
【その他の注意事項】	私語禁止。携帯使用禁止。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	ガイダンス	人的資源管理論とは。講義の概要と評価方法など。					
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること				120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること				120	分
	No2	人的資源管理の目的	人的資源管理の役割と目的とは何か					
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること				120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること				120	分
	No3	人的資源管理の歴史①	人的資源管理の歴史的な背景は。労働者とは何か。					
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること				120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること				120	分
	No4	人的資源管理の歴史②	人的資源管理の歴史的発展段階とは。					
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること				120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること				120	分
	No5	人的資源管理の制度	日本の人的資源管理の制度は。					
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること				120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること				120	分
	No6	日本の人的資源管理①	終身雇用慣行とは何か。					
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること				120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No7	日本の人的資源管理②	年功賃金とは何か。		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No8	日本の人的資源管理③	企業別労使関係とは何か		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No9	ダイバーシティマネジメント	ダイバーシティマネジメントとは何か。		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No10	ワークライフバランス	ワークライフバランスとは何か。		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No11	ハラスメント	ハラスメントとは何か。		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No12	労働CSR	労働における企業の社会的責任とは何か。		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No13	人材リスクマネジメント	人的資源管理におけるリスクマネジメントとは。		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No14	総括・テスト	全体の総まとめ及び確認テスト		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	広告論 I BE-A
講義名(英字)	Principle of Advertising I
担当教員	荒井 誠
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	ブランディングの基礎から、広告による意識変容のメカニズム、広告メディアの変遷／進化、SNS時代の新しい広告手法などを、皆さんにとって身近な話題やイベント、実際の広告やキャンペーン事例を通して学びます。 皆さんは実際に広告を2回創作し、キャッチコピーやデザインなど広告創りの楽しさや難しさを体験します。 広告に関心のない受講生にとっても、この科目で培われるコミュニケーション力は、将来、広告業界と関らなくとも、社会人になり必ず役に立ちます。 長年広告ビジネスに携わっている広告マンならではの話も飛び出す授業です。 秋学期の「広告論Ⅱ」はこの科目の応用編となります。

	広告によって、人々の購買への意識がいかに変容するかを理解する。																																																																				
【到達目標】	広告によるブランディングの基礎を理解する。 広告創りを通し、自己表現やコミュニケーション力を培う。																																																																				
【履修条件・受講推奨者】	秋学期の「広告論Ⅱ」はこの科目の応用編のため、春学期の「広告論Ⅰ」から履修する。																																																																				
【教育方法】	身近な話題や広告を紹介します。毎回提出してもらうレポートの質問やコメントを、翌週の授業で取り上げます。実際に2回創作してもらう皆さんの広告も、授業内で取り上げ受講生とシェアし、コメントを加えます。																																																																				
【指定教科書・参考資料等】	授業の際に使用する特定の教材はありません。来館を推奨する施設は「アドミュージアム東京」@汐留です。江戸時代から現代の広告、さらに海外で注目されている広告も閲覧することができます。																																																																				
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○																																																
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																															
協働力		主張力	○	創造力	○																																																																
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="5">評価方法</th></tr><tr><td>出席時の受講態度と毎回のレポートにより授業の理解度を評価</td><td>50</td><td colspan="5" rowspan="4">各授業後のレポート、2回取り組む広告創作、期末に実施する試験かテストレポートにより総合評価</td></tr><tr><td>2回の広告創作の提出と、それに取り組んだ意欲／姿勢を評価</td><td>25</td></tr><tr><td>広告論を通し、自身の生活に役立つことを如何に会得したかを評価</td><td>25</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法					出席時の受講態度と毎回のレポートにより授業の理解度を評価	50	各授業後のレポート、2回取り組む広告創作、期末に実施する試験かテストレポートにより総合評価					2回の広告創作の提出と、それに取り組んだ意欲／姿勢を評価	25	広告論を通し、自身の生活に役立つことを如何に会得したかを評価	25	合計	100%																																										
評価項目と割合		評価方法																																																																			
出席時の受講態度と毎回のレポートにより授業の理解度を評価	50	各授業後のレポート、2回取り組む広告創作、期末に実施する試験かテストレポートにより総合評価																																																																			
2回の広告創作の提出と、それに取り組んだ意欲／姿勢を評価	25																																																																				
広告論を通し、自身の生活に役立つことを如何に会得したかを評価	25																																																																				
合計	100%																																																																				
【その他の注意事項】	コースパワーへの出席登録に加え、毎回授業後に提出するレポートより授業への取り組み姿勢を評価しますので、集中した授業への取組と十分な復習とレポート作成が必要です。																																																																				
	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th>学習内容</th><th colspan="2"></th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>広告論Ⅰのイントロダクション</td><td>「広告論Ⅰ」で取り上げるテーマについてポイントを理解する。広告論への取り組み姿勢として、受講生が提出する毎授業後のレポート、2回の「広告創作」、期末のテスト／レポートや成績評価基準を理解する。</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>自分の好きな広告、気に入らない広告が何か、そしてその理由を考えてください。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>広告の定義とマーケティング戦略における広告の役割</td><td>「広告」の定義をもとに広告というものの基本を理解する。マーケティング戦略の中におけるプロモーション戦略の領域を理解するとともに、プロモーション戦略における「広告」の果たす役割について理解する。</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>マーケティングとは何か、その中で「広告」の役割は何か、考えてみてください。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>広告表現における3つの力(言語／視覚／聴覚)</td><td>広告表現を構成する3つの要素(言語／視覚／聴覚)について、その働きと効力について理解する。言葉の力はキャッチフレーズやスローガンなどのコピーライティング、視覚の力は、広告のデザインや色使いなどによってその効力を発揮する。聴覚の力については、広告論Ⅱで取り上げる。</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>どのようなキャッチフレーズやデザインがインパクトあるか、考えてみてください。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>広告によるターゲットの意識変容のメカニズム</td><td>広告によって視聴者や読者が、どのようなプロセスでその広告商品の購入を検討し購入の決定に至るか、その心理変容のメカニズムを理解する。「AIDMA(アイドマ)」「AISAS(アイサス)」といった心理変容の法則を理解する。</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>あなたが広告に影響を受けて商品を購入するまでの意識の変化を考えてみてください。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>ターゲットインサイトの把握のための調査(定量と定性)</td><td>広告のターゲット層に響くための商品開発や広告創作のために必要な、ターゲットのインサイト(ニーズやウォンツ)の把握の重要性を理解する。その把握のための調査手法(定量と定性)について理解する。</td><td colspan="2"></td></tr></table>							週	テーマ	学習内容			No1	広告論Ⅰのイントロダクション	「広告論Ⅰ」で取り上げるテーマについてポイントを理解する。広告論への取り組み姿勢として、受講生が提出する毎授業後のレポート、2回の「広告創作」、期末のテスト／レポートや成績評価基準を理解する。			予習内容(時間)	自分の好きな広告、気に入らない広告が何か、そしてその理由を考えてください。	120	分	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分	No2	広告の定義とマーケティング戦略における広告の役割	「広告」の定義をもとに広告というものの基本を理解する。マーケティング戦略の中におけるプロモーション戦略の領域を理解するとともに、プロモーション戦略における「広告」の果たす役割について理解する。			予習内容(時間)	マーケティングとは何か、その中で「広告」の役割は何か、考えてみてください。	120	分	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分	No3	広告表現における3つの力(言語／視覚／聴覚)	広告表現を構成する3つの要素(言語／視覚／聴覚)について、その働きと効力について理解する。言葉の力はキャッチフレーズやスローガンなどのコピーライティング、視覚の力は、広告のデザインや色使いなどによってその効力を発揮する。聴覚の力については、広告論Ⅱで取り上げる。			予習内容(時間)	どのようなキャッチフレーズやデザインがインパクトあるか、考えてみてください。	120	分	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分	No4	広告によるターゲットの意識変容のメカニズム	広告によって視聴者や読者が、どのようなプロセスでその広告商品の購入を検討し購入の決定に至るか、その心理変容のメカニズムを理解する。「AIDMA(アイドマ)」「AISAS(アイサス)」といった心理変容の法則を理解する。			予習内容(時間)	あなたが広告に影響を受けて商品を購入するまでの意識の変化を考えてみてください。	120	分	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分		ターゲットインサイトの把握のための調査(定量と定性)	広告のターゲット層に響くための商品開発や広告創作のために必要な、ターゲットのインサイト(ニーズやウォンツ)の把握の重要性を理解する。その把握のための調査手法(定量と定性)について理解する。		
週	テーマ	学習内容																																																																			
No1	広告論Ⅰのイントロダクション	「広告論Ⅰ」で取り上げるテーマについてポイントを理解する。広告論への取り組み姿勢として、受講生が提出する毎授業後のレポート、2回の「広告創作」、期末のテスト／レポートや成績評価基準を理解する。																																																																			
	予習内容(時間)	自分の好きな広告、気に入らない広告が何か、そしてその理由を考えてください。	120	分																																																																	
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分																																																																	
No2	広告の定義とマーケティング戦略における広告の役割	「広告」の定義をもとに広告というものの基本を理解する。マーケティング戦略の中におけるプロモーション戦略の領域を理解するとともに、プロモーション戦略における「広告」の果たす役割について理解する。																																																																			
	予習内容(時間)	マーケティングとは何か、その中で「広告」の役割は何か、考えてみてください。	120	分																																																																	
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分																																																																	
No3	広告表現における3つの力(言語／視覚／聴覚)	広告表現を構成する3つの要素(言語／視覚／聴覚)について、その働きと効力について理解する。言葉の力はキャッチフレーズやスローガンなどのコピーライティング、視覚の力は、広告のデザインや色使いなどによってその効力を発揮する。聴覚の力については、広告論Ⅱで取り上げる。																																																																			
	予習内容(時間)	どのようなキャッチフレーズやデザインがインパクトあるか、考えてみてください。	120	分																																																																	
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分																																																																	
No4	広告によるターゲットの意識変容のメカニズム	広告によって視聴者や読者が、どのようなプロセスでその広告商品の購入を検討し購入の決定に至るか、その心理変容のメカニズムを理解する。「AIDMA(アイドマ)」「AISAS(アイサス)」といった心理変容の法則を理解する。																																																																			
	予習内容(時間)	あなたが広告に影響を受けて商品を購入するまでの意識の変化を考えてみてください。	120	分																																																																	
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分																																																																	
	ターゲットインサイトの把握のための調査(定量と定性)	広告のターゲット層に響くための商品開発や広告創作のために必要な、ターゲットのインサイト(ニーズやウォンツ)の把握の重要性を理解する。その把握のための調査手法(定量と定性)について理解する。																																																																			

【授業計画】

No5	予習内容(時間)	人の心の奥にある感情や意識をどのように把握したらいいか、考えてみてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No6	広告到達指標(リーチとフリークエンシー)	広告がターゲット層にどのくらい到達しているか(リーチ)、広告が何回到達したか(フリークエンシー)という二つの広告到達指標について理解する。リーチとフリークエンシーの関係も併せ理解する。		
	予習内容(時間)	ターゲットに対し、CMを何回見てもらった方がいいか、考えてみてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No7	広告業務の基礎 広告主からのオリエンからプレゼンまでの流れ	広告主が広告会社へ広告制作やキャンペーン構築の依頼の際に提示する「オリエンテーション」と、それを受けて広告会社が「プレゼンテーション」に向けて、どのようなチーム構成と制作プロセスで取り組むかを理解する。		
	予習内容(時間)	広告主と広告会社の広告制作における役割分担を考えてみてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No8	ブランディング基礎 ① ブランドの定義とブランド構築(=ブランディング)とは	「ブランド」の定義から、ブランドの構築(ブランディング)の意味するところを理解する。ブランドには、認知度と品質は必要条件であるが、十分条件として「独自性／オリジナリティ」の重要性を理解する。		
	予習内容(時間)	ブランドとは何か、またブランド構築に必要なものは何か、考えてみてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No9	ブランディング基礎 ② ブランドプロミス／ブランドアイデンティティ	企業と顧客の関係性において、企業が顧客に提供する「ブランドプロミス」と企業が顧客に伝えたい自社商品の価値「ブランドアイデンティティ」について理解する。実際のブランド事例を取り上げる。		
	予習内容(時間)	ブランディングで成功している企業や商品を調べ、成功の秘訣を考えみてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No10	ブランディング基礎 ③ ブランドコミュニケーションの7要素	ブランド構築の上で、広告など企業から顧客へのコミュニケーションにおいて重要な役割を果たす7つの要素について理解する。実際の要素事例を取り上げる。		
	予習内容(時間)	ブランドを構築する際に、広告上で有効な要素は何か、考えてみてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No11	企業コミュニケーション 企業と生活者のコンタクトポイント	企業は商品やサービスを購入する「消費者」との関係構築を重要視するが、企業と「生活者」との接点は、「消費者」だけではなく投資家や従業員、近隣住人など様々な関係性(コンタクトポイント)において存在することを理解する。		
	予習内容(時間)	企業と生活者との関係性においてどのような接点があるか、考えれてみてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No12	広告メディア 変化する生活者のメディア環境	広告を企業から視聴者や読者に届ける上で、その媒介となる媒体(メディア)は不可欠である。生活者にとって、このメディアがどのように変化をしてきたか、今後進化しようとしているか、を理解する。テレビ局と新聞社の歴史と将来への取組を取り上げる。		
	予習内容(時間)	印刷や電波媒体(メディア)について、それぞれの特徴を考えてみてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No13	インターネット広告とSNSの活用	今や日頃の生活に欠かせなくなったインターネットであるが、広告コミュニケーションにおいても不可欠なメディアとなっている。特にSNSの普及により、生活者のメディア環境は大きく変化してきている。この動向について理解する。インターネット広告の進捗状況や種類別の特徴などを理解する。		
	予習内容(時間)	SNSを活用した広告の成功事例を調べ、その理由を考えてみてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No14	広告表現の留意点 広告に関する法律と自主規制	広告表現に関しては、多くの関連法律で規制が定められている。さらに広告を取り扱う広告主、広告会社、媒体社などが推進している日本広告審査機構(JARO)の取組や業界として設けている自主規制について理解する。		
	予習内容(時間)	広告を創作する上で留意すべき点について考えてみてください。	120	分

	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	広告論 I BE-B
講義名(英字)	Principle of Advertising I
担当教員	広瀬 盛一
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この講義では、私たちの身近にある広告を理論的、実践的に研究することを目的とする。広告を行う企業の立場だけでなく、広告会社に代表される広告業界の動向や広告の受け手である消費者を含めた幅広い視点に立って、広告についての知識を学ぶ。テキストだけでなく、実際に行われた広告活動を取り上げることで、企業活動や社会の仕組みについても考察する。
【到達目標】	広告関連の専門用語を理解し、正しく使えるようになる。 広告と社会やビジネス活動との関係性を理解して、広告の可能性や問題点について議論できる。

	広告を含むマーケティング・コミュニケーションの役割を理解して、簡単な広告計画立案ができるようになる。											
【履修条件・受講推奨者】	マーケティング論、消費者行動論、流通論などの関連領域に興味があること。											
【教育方法】	教科書の内容理解を中心として、実例などを用いながら、様々な課題をこなしていく。											
【指定教科書・参考資料等】	嶋村和恵監修『新しい広告』(電通)、その他授業中に指示する。											
【実務IQ修得目標】	自制力			思考力		○	突破力			忍耐力		○
	協働力			主張力		○	創造力		○			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合					評価方法						
	期末試験			75		期末試験、レポート、授業中の課題などによって評価する。						
	授業内容についてのレポート			15								
	授業への参加確認			10								
	合計			100%								
【その他の注意事項】												
	週	テーマ			学習内容							
	No1	ガイダンス			授業の進め方、広告論で学ぶことについて社会的な背景と関連領域との関連性について説明する。							
		予習内容(時間)			教科書などの予習				120	分		
		復習内容(時間)			授業の振り返り				120	分		
	No2	多様化するコミュニケーション活動と広告の定義と種類			広告活動において多様化しているコミュニケーション活動がおよぼす影響と広告の定義や種類について説明する。							
		予習内容(時間)			教科書などの予習				120	分		
		復習内容(時間)			授業の振り返り				120	分		
	No3	マーケティングと広告との関わりについて(1)			マーケティングと広告との関わり、ブランド構築、消費者視点のコミュニケーションについて説明する。							
		予習内容(時間)			教科書などの予習				120	分		
		復習内容(時間)			授業の振り返り				120	分		
	No4	マーケティングと広告との関わりについて(2)			マーケティングと広告との関わり、ブランド構築、消費者視点のコミュニケーションについて説明する。							
		予習内容(時間)			教科書などの予習				120	分		
		復習内容(時間)			授業の振り返り				120	分		
	No5	マーケティングと広告活動			マーケティングと広告活動との関わりについて説明する。							
		予習内容(時間)			教科書などの予習				120	分		
		復習内容(時間)			授業の振り返り				120	分		
	No6	広告に関わる組織(1)			広告会社、媒体社、広告関連業界団体などについて説明する。							
		予習内容(時間)			教科書などの予習				120	分		
		復習内容(時間)			授業の振り返り				120	分		
		広告に関わる組織(2)			広告会社、媒体社、広告関連業界団体などについて説明する。							

【授業計画】	No7	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No8	コミュニケーションプロセス		広告におけるコミュニケーションプロセスの理論的な枠組みと実践について説明する。	
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No9	広告計画について(1)		広告目標と予算、目標設定のアプローチについて説明する。	
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No10	広告計画について(2)		広告予算の設定と分配について説明する。	
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No11	クリエイティブ戦略		クリエイティブ戦略の立案から戦略などについて説明する。	
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No12	メディアプランニング		メディアプランニングの目標設定、媒体戦略の立案、予算上の検討事項について説明する。	
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No13	広告媒体(1)		広告媒体としてのマスメディアについて説明する。	
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No14	広告媒体(2)		マスメディア以外の広告媒体について説明する。	
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	入門簿記 I BE-A
講義名(英字)	Elementary Bookkeeping I
担当教員	北井 不二男
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	簿記は、企業の日常の経済活動を記録し、その結果を整理して報告するための技術であり、今日では必須のビジネススキルの一つとなっている。 本講義は、会計関連科目への入門講座としての性格を有し、簿記の初歩を取り扱う。すなわち、簿記を初めて学ぶ学生を対象とし、簿記の基本的な考え方と技術を習得することを目標としている。取引の記帳から決算手続きまでの簿記一巡の流れが理解できるように、解説および問題演習によって授業を進める。
	簿記の意義、複式簿記に関連する用語を正しく理解すること。基本的な勘定科目と、貸借対照表・損益計算書の意味を理解すること。

【到達目標】	簿記上の取引の意味を理解すること。取引の8要素と基本的な取引の仕訳、勘定口座記入が行えること。 決算の意味、手続きを理解し、各種試算表の作成方法、6桁精算表の作成ができること。											
【履修条件・受講推奨者】	商業簿記の習得に意欲的な学生。すべての授業に出席すること。											
【教育方法】	授業内容に即したプリント教材を毎回配布、講義を実施し、理解の確認と定着のため演習と解説を行う。											
【指定教科書・参考資料等】	市販の教材は使用せず、毎時プリントを配布する。A4サイズのポケットファイルを用意すること。											
【実務IQ修得目標】	自制力			思考力		○	突破力			忍耐力		○
	協働力			主張力			創造力					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法								
	授業中のテスト		20%	授業中のテストと本試験の合計点数で評価し、良い質問や積極的発言には加点する。								
	本試験		80%									
	質問・積極性		加点									
	合計		100%									
【その他の注意事項】	計算専用の電卓を必ず用意すること。											
	週	テーマ			学習内容							
	No1	ガイダンス			講義の進め方、評価方法、準備物等についての説明 次回授業の資料配布							
		予習内容(時間)			シラバスを熟読しておくこと。					120	分	
		復習内容(時間)			ガイダンス事項の確認。					120	分	
	No2	簿記の基礎概念(1)			簿記の目的、会計期間、資産・負債・資本と貸借対照表							
		予習内容(時間)			事前配布資料を熟読しておくこと。					120	分	
		復習内容(時間)			配布演習問題の際確認すること。					120	分	
	No3	簿記の基礎概念(2)			損益の計算、収益・費用と損益計算書							
		予習内容(時間)			事前配布資料を熟読しておくこと。					120	分	
		復習内容(時間)			配布演習問題の際確認すること。					120	分	
	No4	簿記の基礎概念総括			財産法と損益法、計算問題演習							
		予習内容(時間)			事前配布資料を熟読しておくこと。					120	分	
		復習内容(時間)			配布演習問題の際確認すること。					120	分	
	No5	仕訳と転記(1)			簿記上の取引、取引の8要素、仕訳と勘定口座記入							
		予習内容(時間)			事前配布資料を熟読しておくこと。					120	分	
		復習内容(時間)			配布演習問題の際確認すること。					120	分	
	No6	仕訳と転記(2)			商品取引の記録、出資							
		予習内容(時間)			事前配布資料を熟読しておくこと。					120	分	
		復習内容(時間)			配布演習問題の際確認すること。					120	分	
		仕訳と転記演習			総合演習問題							

【授業計画】	No7	予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配布演習問題の際確認すること。	120	分
	No8	決算(1)	決算の意味、試算表の種類と作成方法		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配布演習問題の際確認すること。	120	分
	No9	決算(2)	試算表演習問題、6桁精算表の作成方法		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配布演習問題の際確認すること。	120	分
	No10	決算(3)	帳簿の締切、財務諸表の作成		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配布演習問題の際確認すること。	120	分
	No11	簿記一巡の流れ	取引発生から財務諸表作成までの手続き確認		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配布演習問題の際確認すること。	120	分
	No12	現金取引	現金の範囲、現金過不足の処理		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配布演習問題の際確認すること。	120	分
	No13	預金取引	預金の種類、小切手と当座預金		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配布演習問題の際確認すること。	120	分
	No14	まとめと総復習	これまでの授業の総括と総合演習		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配布演習問題の際確認すること。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	入門簿記 I BE-C
講義名(英字)	Elementary Bookkeeping I
担当教員	鶴岡 清司
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	簿記は企業活動を、記録、計算整理するための技術であり、財務諸表を作成するための手段だといわれています。 本講義では、簿記の基礎を学びます。 入門簿記 I では日常の取引を「仕訳」できること(簿記語に変換できること)が中心課題となります。
【到達目標】	個人企業の経営成績を判断する損益計算書・財政状態を判断する貸借対照表の土台となる取引が仕訳できること。 実務的には、所得税の事業所得の計算の基礎となる損益計算書・貸借対照表が作成できる土台となる取引の仕訳ができること。

	資格取得という観点からは、簿記3級レベルの知識が身につくこと。											
【履修条件・受講推奨者】	「やってみよう」という意志と忍耐力が必要です(語学の習得に似ています)。											
【教育方法】	講義・演習をテーマごとにおこないます。「わかった」から「できる」というレベルまでひきあげます。											
【指定教科書・参考資料等】	指定教科書：滝澤ななみ著 スッキリわかる日商簿記3級 14版 TAC出版											
【実務IQ修得目標】	自制力			思考力		○	突破力			忍耐力		○
	協働力			主張力			創造力					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法							
	定期試験		80%		設問に対する解答によって評価します。							
	中間試験		20%									
	合計		100%									
【その他の注意事項】	指定教科書と電卓は必須道具です。最低でも、3分の2以上の出席が成績認定の基本です。											
	週	テーマ			学習内容							
	No1	スタートアップ講義			簿記の一連の流れをザックリ講義します。							
		予習内容(時間)			じっくり精読してきてください。						120	分
		復習内容(時間)			会計処理がどの時点で行われているかを意識して読み直すこと。						120	分
	No2	第1章簿記の基礎			簿記の基本ルールについてみていきましょう。							
		予習内容(時間)			第1章を精読してくること。						120	分
		復習内容(時間)			仕訳の基本を理解すること。						120	分
	No3	第2章商品売買 ケース3～6			商品を買ってきて、そしてそれを売ったときの処理についてみていきましょう。							
		予習内容(時間)			第2章を精読してくること。						120	分
		復習内容(時間)			第2章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。						120	分
	No4	第2章商品売買 ケース7～10			商品を買ってきて、そしてそれを売ったときの処理についてみていきましょう。							
		予習内容(時間)			第2章を精読してくること。						120	分
		復習内容(時間)			第2章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。						120	分
	No5	第3章現金			現金で処理するものってどんなものがあるの、過不足が生じた場合の処理についてもみていきましょう。							
		予習内容(時間)			第3章を精読してくること。						120	分
		復習内容(時間)			第3章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。						120	分
	No6	第4章預金			各預金の処理のほか、当座借越の処理についてもみていきましょう。							
		予習内容(時間)			第4章を精読してくること。						120	分
		復習内容(時間)			第4章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。						120	分
	No7	第5章小口現金			小口現金係の役割、会計係との関連を通じて、会計処理についてみていきましょう。							
予習内容(時間)			第5章を精読してくること。						120	分		

【授業計画】		復習内容(時間)	第5章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分
	No8	第6章手形と電子記録債権	手形と小切手の会計処理の違いを意識してその処理についてみていきましょう。		
		予習内容(時間)	第6章を精読してくること。	120	分
		復習内容(時間)	第6章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分
	No9	第7章貸付金・借入金	お金を貸し借りしたときの処理についてみていきましょう。		
		予習内容(時間)	第7章を精読してくること。	120	分
		復習内容(時間)	第7章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分
	No10	第8章その他の債権債務 ケース36～44	今まで学んだ以外の債権債務の処理についてみていきましょう。 未収金・未払金等		
		予習内容(時間)	第8章を精読してくること。	120	分
		復習内容(時間)	第8章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分
	No11	第8章その他の債権債務 ケース45～53	今まで学んだ以外の債権債務の処理についてみていきましょう。		
		予習内容(時間)	第8章を精読してくること。	120	分
		復習内容(時間)	第8章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分
	No12	第9章その他の費用	固定資産税を支払ったなど、その他の費用についてみていきましょう。		
		予習内容(時間)	第9章を精読してくること。	120	分
		復習内容(時間)	第9章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分
	No13	第10章貸倒れと貸倒引当金 ケース59～60	得意先が倒産したとき、その債権はどうなるのか、予防のための処理についてもみていきましょう。		
		予習内容(時間)	第10章を精読してくること。	120	分
		復習内容(時間)	第10章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分
	No14	第10章貸倒れと貸倒引当金 ケース61～62	得意先が倒産したとき、その債権はどうなるのか、予防のための処理についてもみていきましょう。		
		予習内容(時間)	第10章を精読してくること。	120	分
		復習内容(時間)	第10章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	入門簿記 I BE-D
講義名(英字)	Elementary Bookkeeping I
担当教員	福山 倫基
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	簿記は、企業の日常の経済活動を記録し、その結果を整理して報告するための技術であり、今日では必須のビジネススキルの一つとなっている。本講義は、会計関連科目への入門講座としての性格を有し、簿記の初歩を取り扱う。すなわち、簿記をはじめて学ぶ学生を対象とし、財務諸表作成までの簿記一巡の手続きの理解から出発し、その後は基本的な商取引に関する会計処理を一通り習熟する事を最たる目的としている。さらに、仕訳を行う過程には社会人基礎力に求められる批判的思考を育成する手続きが含まれている。単に簿記に関する知識や技能を習得するだけでなく、今後の大学における学習を行う上で必要な学習方法や問題解決能力を育てていく。
	複式簿記の基礎的な専門用語および基礎概念を正しく理解し、説明できるようにする。

【到達目標】	簿記上の取引の意味を理解し、その記録を習得していること。							
	決算の意味、手続きを理解していること。							
【履修条件・受講推奨者】	講義の特性上、毎回の出席・講義時間中に行う演習をきちんと行える学生が望ましい。							
【教育方法】	毎回の講義で、講義を行った後に受講生に演習問題を解答してもらい解説を行う。また、反転講義も行う。初学者の場合は特に復習に重点を置いて講義を受けることを勧める。							
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書：開講時に指示する。 ◇参考書：開講時に指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合				評価方法			
	中間テスト		20%		左記を合算して評価する。			
	期末試験		70%					
	会計教育に関するアンケート		10%					
	合計		100%					
【その他の留意事項】	他者に迷惑となる行為（私語等）は厳に禁止する。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	ガイダンス	講義の進め方および成績評価方法についての説明、大学における経営科目の学習の意義や会計を学ぶ意義、並びに簿記の目的・意義なども併せて講義する。初回講義において、講義の概要や成績評価などに関して受講生との合意を図るため、受講を予定している学生は必ず出席すること。					
		予習内容(時間)	シラバスの確認				120	分
		復習内容(時間)	講義の振り返り				120	分
	No2	簿記の基礎概念(1)	会計期間、貸借対照表とその構成要素(資産・負債・純資産)といった今後簿記講義において仕訳や決算手続きを学習していく上での前提となる基礎知識を講義していく。					
		予習内容(時間)	前回まで実施した内容の振り返り				120	分
		復習内容(時間)	講義中にノートした内容をまとめる				120	分
	No3	簿記の基礎概念(2)	損益計算書とその構成要素(収益・費用)、純損益の計算といった今後簿記講義において仕訳や決算手続きを学習していく上での前提となる基礎知識を講義していく。					
		予習内容(時間)	前回まで実施した演習の振り返り				120	分
		復習内容(時間)	講義中にノートした内容をまとめる				120	分

【授業計画】

	間)			
No4	取引と仕訳	簿記上の取引、取引の8要素、仕訳といった特に複式簿記において仕訳を行うことに関する知識を講義する。		
	予習内容(時間)	前回まで実施した演習の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	講義時間中に覚えるべきと強調した部分をまとめる	120	分
No5	仕訳と転記(1)	仕訳、勘定口座および転記に関する手続きを学習する。特に仕訳を行い記録した内容をT字勘定に転記する手法について述べていく。		
	予習内容(時間)	前回まで実施した演習の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	講義中に行った演習を必ず復習すること	120	分
No6	仕訳と転記(2)	仕訳と仕訳帳の記入、転記と総勘定元帳の記入に関して学習する。特に各勘定科目のT字勘定から総勘定元帳に転記する手続きについて述べていく。		
	予習内容(時間)	前回まで実施した演習の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	講義中に行った演習を必ず復習すること	120	分
No7	中間テスト	これまでに行った入門簿記上の基礎知識をテストする。		
	予習内容(時間)	今までの講義内容の復習	300	分
	復習内容(時間)	受けたテストの振り返り	120	分
No8	商品売買取引(1)	仕入・売上、返品取引、掛取引に関する講義を行う。これ以降、特に演習では複式簿記を使った仕訳を中心に行っていくため、演習で出された設問には必ず一度自分で解答を行うこと。自分で演習を行ったことを前提に講義は進めていく。		
	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
No9	商品売買取引(2)	前払・前受取引、諸係に関する取引に関する講義を行う。これらの取引を仕訳する際、覚えておかなければ仕訳できない部分もあるので、覚えるべき部分は必ず覚えること。また、類似の取引も今後出てくるため、類推して正しい仕訳を導出できるよう意識すること。		
	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分

	No10	商品 買取 引(3)	売上原価と商品有高帳について講義していく。商品有高帳の記録の仕方や売上原価を求める手法は、会計学を学習していくにあたり非常に重要なポイントであるといえる。そのため、演習をきちんと行うこと。		
		予習 内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
		復習 内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
	No11	現金・ 預金(1)	現金の範囲、現金過不足について学習する。会計が定める現金の範囲は一般的に認識している現金の範囲とは異なるため、会計上の現金の範囲をきちんと押さえること。また、現金過不足の取引は期中の取引だけでなく、決算の手続きにおいても必要となるため、決算上ではどのような手続きが必要になるかも推測できるように意識すること。		
		予習 内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
		復習 内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
	No12	現金・ 預金(2)	小口現金の処理、現金出納帳・小口現金出納帳の作成、預金に関する手続きについて学習する。特に預金の場合、学生にはなじみがないクレジットに関する手続きを学習する。講義並びに演習を通して一連の手続きに関する理解を進めること。		
		予習 内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
		復習 内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
	No13	試算 表(1)	試算表の意義、試算表の種類、作成手続きについて学習する。試算表単体での作成手続きを講義するので、きちんと各種試算表の作成手順を理解すること。		
		予習 内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
		復習 内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
	No14	試算 表(2)	資格試験的な試算表作成問題の解答手順について学習する。特に簿記に関連する資格試験を目指す受講生は解答のテクニックを理解すること。		
		予習 内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	200	分
		復習 内容(時間)	当該回の演習の復習	200	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	入門簿記 I BE-F
講義名(英字)	Elementary Bookkeeping I
担当教員	光澤 美芽
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	今日、企業が公表する財務諸表(貸借対照表、損益計算書等)がどのように作成されるのか理解することは、財務諸表を理解する上で重要となっている。 本講義は、会計関連科目への入門講座としての性格を有し、簿記の初歩を取り扱う。すなわち、簿記を初めて学ぶ学生を対象とし、簿記の基本的な考え方と技術を修得することを目的としている。具体的には、企業の経営活動を貨幣額で把握する仕組み、すなわち複式簿記の基本について学習する。記録の対象となる取引とは何か、記録のルールとは何か、財務諸表がどのようにして作成されるのかといった、取引の記帳から決算手続までの簿記一巡の流れを理解することを目標とする。
	【複式簿記の基礎的な専門用語および基礎概念を正しく理解し、説明できる】

	簿記の意義、簿記の種類、簿記に関連する用語を答えられること。また、基本的な勘定科目と貸借対照表、損益計算書の意味を理解し、要素勘定に正確に分類できること。																																																																																																										
【到達目標】	【簿記上の取引の意味を理解し、その記録を習得している】 取引の8要素を理解し、基本的な取引の仕訳、勘定口座への転記が行えること。 【決算の意味、手続きを理解している】 各種試算表の意味と作成方法、6桁精算表の作成方法を理解し、財務諸表の作成ができること。																																																																																																										
【履修条件・受講推奨者】	簿記は、講義を聴くのみではなく、自らが記帳練習を行い、継続的な努力を基に身につけ修得する学問である。よって、講義のみならず自ら電卓を用い復習を行い真面目に勉強することを望む。 なお、講義の特性上、欠席が多いとついていけないため、基本的には全講義出席することが望ましい。																																																																																																										
【教育方法】	以下に指定する教科書に従い、講義形式によりPP(パワーポイント)を用いて解説を行う。必要に応じて講義内で演習問題を解いてもらい、解答・解説を行う。 毎回、授業のテーマごとに教科書の章末問題を課題として出し、次の回に復習および課題の解答・解説を行って、知識の定着を図る。																																																																																																										
【指定教科書・参考資料等】	伊藤龍峰ほか著『基本簿記原理』中央経済社(税込¥2,240)																																																																																																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力		創造力																																																																																								
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																																																					
協働力		主張力		創造力																																																																																																							
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="3">評価項目と割合</th><th colspan="4">評価方法</th></tr><tr><td>複式簿記の基礎的な専門用語および基礎概念を正しく理解し、説明できる</td><td>30%</td><td rowspan="4">授業中に行う小テスト(30%)および本試験(70%)により、総合的に判断。「出席点」は設定しない。ただし、全講義回数の2/3以上の出席が、成績評価の対象となる要件となる。</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>簿記上の取引の意味を理解し、その記録を習得している</td><td>40%</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>決算の意味、手続きを理解している</td><td>30%</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td><td colspan="4"></td></tr></table>							評価項目と割合			評価方法				複式簿記の基礎的な専門用語および基礎概念を正しく理解し、説明できる	30%	授業中に行う小テスト(30%)および本試験(70%)により、総合的に判断。「出席点」は設定しない。ただし、全講義回数の2/3以上の出席が、成績評価の対象となる要件となる。					簿記上の取引の意味を理解し、その記録を習得している	40%					決算の意味、手続きを理解している	30%					合計	100%																																																																								
評価項目と割合			評価方法																																																																																																								
複式簿記の基礎的な専門用語および基礎概念を正しく理解し、説明できる	30%	授業中に行う小テスト(30%)および本試験(70%)により、総合的に判断。「出席点」は設定しない。ただし、全講義回数の2/3以上の出席が、成績評価の対象となる要件となる。																																																																																																									
簿記上の取引の意味を理解し、その記録を習得している	40%																																																																																																										
決算の意味、手続きを理解している	30%																																																																																																										
合計	100%																																																																																																										
【その他の注意事項】	他者に迷惑となる行為(私語等)は厳に禁止する。携帯電話の使用(メール・ウェブの閲覧も含む)も不可とする。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。 なお、受講の際には電卓(12桁以上)を準備のこと。算盤でもかまわない。中間テストおよび本試験の際には、携帯電話、電子辞書、PC、その他電子機器に内蔵されている電卓の使用は一切禁止するので気をつけること。																																																																																																										
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="5">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td colspan="5">講義の進め方、成績評価方法等についての説明</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。</td><td>60</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。</td><td>180</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>簿記の基礎概念(1)</td><td colspan="5">簿記の意義と目的、簿記の前提、貸借対照表の意味と構造、損益計算書の意味と構造について</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。</td><td>60</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。</td><td>180</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>簿記の基礎概念(2)</td><td colspan="5">貸借対照表の作成、資本等式と貸借対照表等式、損益計算書の作成、利益の計算方法―財産法と損益法―について</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。</td><td>60</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。</td><td>180</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>取引と仕訳</td><td colspan="5">簿記一巡の手続き、会計上の取引、勘定科目と勘定口座、取引の8要素について</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。</td><td>60</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。</td><td>180</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>仕訳と転記(1)</td><td colspan="5">要素分解と仕訳、転記の基本について</td><td></td><td></td></tr></table>							週	テーマ	学習内容					No1	ガイダンス	講義の進め方、成績評価方法等についての説明					予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。				60	分	復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。				180	分	No2	簿記の基礎概念(1)	簿記の意義と目的、簿記の前提、貸借対照表の意味と構造、損益計算書の意味と構造について					予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。				60	分	復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。				180	分	No3	簿記の基礎概念(2)	貸借対照表の作成、資本等式と貸借対照表等式、損益計算書の作成、利益の計算方法―財産法と損益法―について					予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。				60	分	復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。				180	分	No4	取引と仕訳	簿記一巡の手続き、会計上の取引、勘定科目と勘定口座、取引の8要素について					予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。				60	分	復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。				180	分		仕訳と転記(1)	要素分解と仕訳、転記の基本について						
週	テーマ	学習内容																																																																																																									
No1	ガイダンス	講義の進め方、成績評価方法等についての説明																																																																																																									
	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。				60	分																																																																																																				
	復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。				180	分																																																																																																				
No2	簿記の基礎概念(1)	簿記の意義と目的、簿記の前提、貸借対照表の意味と構造、損益計算書の意味と構造について																																																																																																									
	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。				60	分																																																																																																				
	復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。				180	分																																																																																																				
No3	簿記の基礎概念(2)	貸借対照表の作成、資本等式と貸借対照表等式、損益計算書の作成、利益の計算方法―財産法と損益法―について																																																																																																									
	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。				60	分																																																																																																				
	復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。				180	分																																																																																																				
No4	取引と仕訳	簿記一巡の手続き、会計上の取引、勘定科目と勘定口座、取引の8要素について																																																																																																									
	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。				60	分																																																																																																				
	復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。				180	分																																																																																																				
	仕訳と転記(1)	要素分解と仕訳、転記の基本について																																																																																																									

【授業計画】	No5	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No6	仕訳と転記(2)	仕訳と仕訳帳の記入および転記と総勘定元帳の記入について		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
		決算Ⅰ(1)試算表の作成	簿記一巡の手続き、試算表の種類と仕組み、試算表の作成について		
	No7	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No8	決算Ⅰ(2)精算表の作成	精算表の種類、6桁精算表の構造と作成について		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No9	決算Ⅰ(3)帳簿の締切りと決算振替仕訳	帳簿の締切り、決算振替仕訳、繰越試算表について		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No10	小テスト	第1回から第9回までの小括		
		予習内容(時間)	第1回から第9回までの復習をする。	120	分
		復習内容(時間)	小テストの内容について質問事項や不明点をまとめる。	120	分
	No11	現金および現金過不足	現金の範囲、現金過不足勘定と過不足の処理について		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No12	銀行預金等	預金の種類、当座借越とその処理、小口現金		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No13	商品売買取引(1)	分記法と三分法、掛取引と人名勘定、クレジット売掛金について		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No14	商品売買取引(2)	得意先元帳と仕入先元帳、売掛金元帳と買掛金元帳について		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。本試験に備えて不明点をなくす。	180	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	環境経営学 BE-A
講義名(英字)	Environmental Management
担当教員	藤森 大祐
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	環境問題への取り組みは現代の企業において積極的に対応すべき必須の課題となっています。近年話題となっている環境問題としては、地球温暖化やエネルギー問題が挙げられますが、本講義ではそれらの現代的な環境問題よりも以前から起きていた問題にも焦点を当てて講義を展開していきます。具体的には、初期の公害問題として知られている足尾銅山問題や四大公害問題などから考察していくことで、環境問題と企業の関係の本質的問題を把握していきます。そして、それらをベースにして地球環境問題の代表的な問題を考察しながら、現代の企業の課題を考えていきます。また、後半では廃棄物問題への対応、リサイクルの推進、エネルギー問題への企業の取り組みを見ていきます。さらには、現代的な話題であるSDGsへの企業の貢献、ESG投資などについても論じていきます。
【到達目標】	様々な環境問題の基礎知識を習得する 環境問題と企業との関係を理解する 環境問題への企業のあり方を理解する

【履修条件・受講推奨者】	「経営学」などの基礎科目を単位取得していることが望ましい。環境問題のみならず、より広範囲な社会問題に対して、企業に何ができるかを探究したい方に受講してもらいたい。																																																																																																																																																																																		
【教育方法】	講義形式。毎回の講義の際に課題を出します。																																																																																																																																																																																		
【指定教科書・参考資料等】	とくになし。講義の中で必要に応じて紹介します。																																																																																																																																																																																		
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																																																																																																																											
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力																																																																																																																																																																													
協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																																																																																																																																														
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="8">評価方法</td></tr><tr><td>様々な環境問題の基礎知識を習得している</td><td>30%</td><td colspan="8" rowspan="4">70%以上の出席を前提とし、学期末の試験を60%、レポート20%、平常点20%の配分で総合的に評価する。平常点は講義内の受講態度や毎回の課題によって評価する。</td></tr><tr><td>環境問題と企業との関係を理解している</td><td>30%</td></tr><tr><td>環境問題への企業のあり方を理解している</td><td>40%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合		評価方法								様々な環境問題の基礎知識を習得している	30%	70%以上の出席を前提とし、学期末の試験を60%、レポート20%、平常点20%の配分で総合的に評価する。平常点は講義内の受講態度や毎回の課題によって評価する。								環境問題と企業との関係を理解している	30%	環境問題への企業のあり方を理解している	40%	合計	100%																																																																																																																																															
評価項目と割合		評価方法																																																																																																																																																																																	
様々な環境問題の基礎知識を習得している	30%	70%以上の出席を前提とし、学期末の試験を60%、レポート20%、平常点20%の配分で総合的に評価する。平常点は講義内の受講態度や毎回の課題によって評価する。																																																																																																																																																																																	
環境問題と企業との関係を理解している	30%																																																																																																																																																																																		
環境問題への企業のあり方を理解している	40%																																																																																																																																																																																		
合計	100%																																																																																																																																																																																		
【その他の注意事項】	特になし。																																																																																																																																																																																		
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="8">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td colspan="8">講義の概要、進め方、評価方法などを周知する。環境経営学の基本的な考え方について論じる。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>足尾銅山問題について</td><td colspan="8">足尾銅山問題の経緯、およびその問題構造について論じる。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>日立鉱山、別子銅山問題について</td><td colspan="8">日立鉱山と別子銅山のそれぞれについて、足尾と比較しながら論じる。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>水俣病問題について</td><td colspan="8">水俣病問題における企業行動とその問題点について論じる。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>イタイイタイ病問題、四日市ぜんそく問題について</td><td colspan="8">イタイイタイ病および四日市ぜんそく問題について、企業行動とその問題点について論じる。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="2">No6</td><td>四大公害問題以後の日本経済の動向、および公害輸出について</td><td colspan="8">四大公害以後、日本経済がどのように変化したのかについて論じる。また、その中で公害輸出について論じる。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr></table>										週	テーマ	学習内容								No1	ガイダンス	講義の概要、進め方、評価方法などを周知する。環境経営学の基本的な考え方について論じる。								予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。						120	分	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。						120	分	No2	足尾銅山問題について	足尾銅山問題の経緯、およびその問題構造について論じる。								予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。						120	分	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。						120	分	No3	日立鉱山、別子銅山問題について	日立鉱山と別子銅山のそれぞれについて、足尾と比較しながら論じる。								予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。						120	分	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。						120	分	No4	水俣病問題について	水俣病問題における企業行動とその問題点について論じる。								予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。						120	分	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。						120	分	No5	イタイイタイ病問題、四日市ぜんそく問題について	イタイイタイ病および四日市ぜんそく問題について、企業行動とその問題点について論じる。								予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。						120	分	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。						120	分	No6	四大公害問題以後の日本経済の動向、および公害輸出について	四大公害以後、日本経済がどのように変化したのかについて論じる。また、その中で公害輸出について論じる。								予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。						120	分
週	テーマ	学習内容																																																																																																																																																																																	
No1	ガイダンス	講義の概要、進め方、評価方法などを周知する。環境経営学の基本的な考え方について論じる。																																																																																																																																																																																	
	予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。						120	分																																																																																																																																																																										
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。						120	分																																																																																																																																																																										
No2	足尾銅山問題について	足尾銅山問題の経緯、およびその問題構造について論じる。																																																																																																																																																																																	
	予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。						120	分																																																																																																																																																																										
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。						120	分																																																																																																																																																																										
No3	日立鉱山、別子銅山問題について	日立鉱山と別子銅山のそれぞれについて、足尾と比較しながら論じる。																																																																																																																																																																																	
	予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。						120	分																																																																																																																																																																										
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。						120	分																																																																																																																																																																										
No4	水俣病問題について	水俣病問題における企業行動とその問題点について論じる。																																																																																																																																																																																	
	予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。						120	分																																																																																																																																																																										
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。						120	分																																																																																																																																																																										
No5	イタイイタイ病問題、四日市ぜんそく問題について	イタイイタイ病および四日市ぜんそく問題について、企業行動とその問題点について論じる。																																																																																																																																																																																	
	予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。						120	分																																																																																																																																																																										
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。						120	分																																																																																																																																																																										
No6	四大公害問題以後の日本経済の動向、および公害輸出について	四大公害以後、日本経済がどのように変化したのかについて論じる。また、その中で公害輸出について論じる。																																																																																																																																																																																	
	予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。						120	分																																																																																																																																																																										

【授業計画】		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。	120	分
	No7	地球環境問題について①	地球環境問題とはどういう問題なのかを論じる。その上で、企業とオゾン層破壊の問題について論じる。		
		予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。	120	分
	No8	地球環境問題について②	地球温暖化の現状について理解するとともに、企業における脱炭素の動きについて論じる。		
		予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。	120	分
	No9	地球環境問題について③	企業における脱炭素の取り組みを論じる。		
		予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。	120	分
	No10	廃棄物問題について	現代社会と廃棄物の問題について理解する。そしてその中での企業行動について論じる。		
		予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。	120	分
	No11	循環型社会と企業について①	リサイクルの現状について論じる。		
		予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。	120	分
	No12	循環型社会と企業について②	企業における循環型社会に向けた取り組みを事例をあげながら論じる。		
		予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。	120	分
	No13	循環型社会と企業について③	サーキュラーエコノミーと企業活動について論じる。		
		予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、理解できなかった箇所、疑問を感じた点などを課題として提出する。	120	分
	No14	企業におけるSDGsへの貢献について	SDGsに対して企業がどのような取り組みをしているかを客観的な視点から論じる。		
		予習内容(時間)	事前に講義内容を把握し、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、課題を行うとともに、学期末の試験に準備をする。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経営倫理 BE-A
講義名(英字)	Management & Ethics
担当教員	高橋 正泰
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	地球環境の劣化や科学技術の進展、経営活動のグローバル化などに伴い、経営体すなわち企業およびその経営者の倫理は今日極めて重要な問題となっている。本講は、経営倫理の諸研究を経営者の倫理、道徳および経営理念、そして企業の不祥事や事故の事例を踏まえながら、問題テンを整理し複雑化、複合化しつつある企業に在り方や経営者を中心として経営倫理問題についての学際的検討をめざすものである。
【到達目標】	倫理とは何かについての理解：講義を通して理解し習得した知識について理解してもらうことを目標とする。 経営倫理を学ぶ意義の理解するとともに経営倫理を理解するための様々な考えや方法についての理解してもらうことを目標とする。 経営倫理を学ぶことにより、何が理解でき、何が可能になるかを実践的な観点から理解するとともに、産業社会にとって経営倫理がどのような役割を果たしているか、日々かかわっている社会について考えてもらうことを目標とする。
【履修条件・受講推奨者】	特にないが、哲学や倫理学、社会学、経営組織論、および企業論を履修していることが望ましい。
【教育方法】	講義とレポートを中心として授業をすすめる。また、必要に応じてディスカッションをおこない経営倫理についての理解を深めることとする。

【指定教科書・参考資料等】	【参考書】 高浦康有・藤野真也共著『企業倫理入門 ー理論とケースで学ぶー』白桃書房、2022年。 スチュアート著『企業倫理』白桃書房、2001年。 中村瑞穂編『企業倫理と企業統治』文眞堂、2003年。 高橋正泰監修『マクロ組織論』学文社、2019年。 高橋正泰監修『ミクロ組織論』学文社、2019年。 以上は、特に教科書として使用しませんが、授業を行ける際の参考書として下さい。																																																																																																																			
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○																																																																																												
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																																																														
協働力		主張力	○	創造力	○																																																																																																															
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="6">評価方法</th></tr><tr><td>定期試験</td><td>50</td><td colspan="6" rowspan="4">定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。</td></tr><tr><td>レポート</td><td>50</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合		評価方法						定期試験	50	定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。						レポート	50			合計	100%																																																																																				
評価項目と割合		評価方法																																																																																																																		
定期試験	50	定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。																																																																																																																		
レポート	50																																																																																																																			
合計	100%																																																																																																																			
【その他の注意事項】	特にありませんが、真摯に勉学に励むこと。																																																																																																																			
【授業計画】	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th>学習内容</th><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>倫理と諸概念</td><td colspan="3">「倫理とは何か」について、道徳や社会規範について考察する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>経営倫理を学ぶ意義</td><td colspan="3">「経営倫理がわれわれにとってどのような関係にあるか」について企業経営の立場から講義する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>経営倫理と経営理念Ⅰ</td><td colspan="3">経営者の経営理念と経営倫理について考える。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>経営倫理と経営理念Ⅱ</td><td colspan="3">事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>経営倫理と経営理念Ⅲ</td><td colspan="3">事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No6</td><td>経営理念と社会的責任</td><td colspan="3">社会的責任と経営倫理について考察する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No7</td><td>組織における経営理念の浸透</td><td colspan="3">企業組織において経営倫理が浸透していくかについて検討する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>経営理念と制度</td><td colspan="3">組織の制度理論から経営倫理について考える。</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容			No1	倫理と諸概念	「倫理とは何か」について、道徳や社会規範について考察する。			予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分	No2	経営倫理を学ぶ意義	「経営倫理がわれわれにとってどのような関係にあるか」について企業経営の立場から講義する。			予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分	No3	経営倫理と経営理念Ⅰ	経営者の経営理念と経営倫理について考える。			予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分	No4	経営倫理と経営理念Ⅱ	事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。			予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分	No5	経営倫理と経営理念Ⅲ	事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。			予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分	No6	経営理念と社会的責任	社会的責任と経営倫理について考察する。			予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分	No7	組織における経営理念の浸透	企業組織において経営倫理が浸透していくかについて検討する。			予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分		経営理念と制度	組織の制度理論から経営倫理について考える。							
週	テーマ	学習内容																																																																																																																		
No1	倫理と諸概念	「倫理とは何か」について、道徳や社会規範について考察する。																																																																																																																		
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																
No2	経営倫理を学ぶ意義	「経営倫理がわれわれにとってどのような関係にあるか」について企業経営の立場から講義する。																																																																																																																		
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																
No3	経営倫理と経営理念Ⅰ	経営者の経営理念と経営倫理について考える。																																																																																																																		
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																
No4	経営倫理と経営理念Ⅱ	事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。																																																																																																																		
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																
No5	経営倫理と経営理念Ⅲ	事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。																																																																																																																		
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																
No6	経営理念と社会的責任	社会的責任と経営倫理について考察する。																																																																																																																		
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																
No7	組織における経営理念の浸透	企業組織において経営倫理が浸透していくかについて検討する。																																																																																																																		
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																
	経営理念と制度	組織の制度理論から経営倫理について考える。																																																																																																																		

	No8	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	60	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	60	分
	No9	経営倫理と組織の意味と価値	組織体としての企業を価値と意味の観点から経営倫理を考察する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
		経営理念の共有	いかに経営倫理が共有され、定着していくプロセス組織化の理論から考える。		
	No10	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No11	社会的構成としての経営倫理	社会の価値と企業の経営価値との関係を社会構成主義の立場から講義する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
		経営倫理と社会	ESGを考え、企業と社会との関係を経営倫理から考察する。		
	No12	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No13	経営倫理の課題Ⅰ	サステナビリティ(SDGs)と経営倫理について考察する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No14	経営倫理の課題Ⅱ	多様性と経営倫理を考える。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、この授業の総括を行うこと	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	情報処理 I BE-A
講義名(英字)	Information Processing I
担当教員	江崎 和夫
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本科目は、マイクロソフトの検定試験であるオフィススペシャリスト(MOS)の、表計算ソフトのMicrosoft Excelの対策入門講座でもありま す。MOSのExcelは、企業の評価も高い世界共通の検定試験です。Excelが企業の実務で活用できるレベルのスキル(技能)に達していることを 示します。ビジネスデータの加工などができるスキルを身につけるとともに、検定試験の準備をすることを目指します。そのために、Excelを使った 表計算処理やグラフの作成・テーブルやフィルターの操作などについて、MOSの実践的な演習を通じて学習します。MOSの模擬問題を多く解くこ とによって実務能力の向上を図ります。
【到達目標】	シートの編集、関数を適切に活用した表計算、グラフの作成などができる。 セル範囲へのデータ挿入、書式設定、条件付き書式の設定ができる。 テーブルの作成、フィルターが使用できる。データベース機能の並替え機能が使える。
【履修条件・受	コンピュータの初心者を対象としているので、履修条件はとくにない。

【講推奨者】												
【教育方法】	テキストの機能を例題でパソコン演習を通じて学習する。演習課題を作成し提出する。応用レベルの課題のポイントの説明を行い、次週締め切りで、パソコンの演習を行う。											
【指定教科書・参考資料等】	土岐順子著「MOS攻略問題集 Excel 365&2019」日経BP社発行											
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○				
	協働力		主張力		創造力							
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法								
	理解度小テスト		30%	理解度小テスト、提出課題、実技テストを兼ねた総合課題演習で総合的に評価を行う。								
	課題作成		40%									
	実技テストを兼ねた総合課題演習		30%									
	合計		100%									
【その他の注意事項】	遅刻は2回で欠席1回とする。全授業の3分の1(5回)欠席した場合は、単位が認められない。毎週、授業にパソコンとテキストを持参すること。											
	週	テーマ	学習内容									
	No1	ガイダンス。 Excelの基本操作の確認	授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 MOS(Excel)検定試験の方式・内容の説明。 Windowsの操作、ファイルの操作、Excelの基本操作。 第1回課題1のExcelの基本操作の演習を行う。									
		予習内容(時間)	初回なのでない。								0	分
		復習内容(時間)	第1回課題2でExcelの基本操作の演習を行う。								150	分
	No2	Excelの基本操作確認など	さまざまな数式、関数の基本操作。MOSの関数の演習課題の作成。 第2回課題1のExcelの基本操作の演習を行う。									
		予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。								120	分
		復習内容(時間)	第2回課題2でExcelの基本操作の演習を行う。								120	分
	No3	ワークシートの管理など	ワークシートとブックに関する演習課題の作成。 第3回課題1のエクセルのブックの作成の演習を行う。									
		予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。								120	分
		復習内容(時間)	第3回課題2でブックの作成などの演習を行う。								120	分
	No4	セルとデータ管理など	セルやセル範囲へのデータ挿入、書式設定の演習課題の作成。 第4回課題1の書式設定などの演習を行う。									
		予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。								120	分
		復習内容(時間)	第4回課題2で書式設定などの演習を行う。								120	分
	No5	セルの条件付き書式など	セルの条件付き書式の設定の演習を行う。条件を満たすセルの色を変える、アイコンを表示するなどの演習を行う。 第5回課題1の条件付き書式の設定の演習を行う。 理解度小テストを行う。									
		予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。								150	分
		復習内容(時間)	第5回課題2で条件付き書式の設定演習を行う。								150	分
	No6	数式や関数を使った集計	データ集計を行う関数、小計の演習課題の作成演習を行う。 第6回課題1の関数の設定などの演習課題を作成する。									
		予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。								120	分
		復習内容(時間)	第6回課題2で関数の設定などの演習を行う。								120	分

【授業計画】	No7	条件付関数、文字列関数	条件付きの計算の関数、文字列の変更の関数の作成演習を行う。 第7回課題1の関数の設定演習を行う。		
		予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	第7回課題2の関数の設定演習を行う。	120	分
	No8	テーブルを使用した演習	テーブルの作成、フィルターによる抽出の演習を行う。 第8回課題1の総合演習を行う。 理解度小テストを行う。		
		予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	150	分
		復習内容(時間)	第8回総合演習課題2の総合演習課題を作成する。	150	分
	No9	フィルターの設定	フィルターによる抽出指定、条件検索の演習課題 第9回課題1のフィルターの設定演習を行う。		
		予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	第9回課題2のフィルターの設定演習を行う。	120	分
	No10	データベース、並べ替え	データベース機能、並べ替えの演習課題を作成する。 第10回課題1のデータベース作成演習を行う。		
		予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	第10回課題2のデータベースの作成演習を行う。	120	分
	No11	グラフの作成と種類	グラフの作成の基本、用途別のグラフの作成演習を行う。 第11回課題1のグラフの作成演習を行う。		
		予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	第11回課題2のグラフ作成演習を行う。	120	分
	No12	グラフの書式設定	グラフの書式設定の演習課題を作成する。 第12回課題1のグラフ作成演習を行う。 理解度小テストを行う。		
		予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	150	分
		復習内容(時間)	第12回課題2のグラフの書式設定演習を行う。	150	分
	No13	図形、Smartartなど 授業の振り返り	図形、Smartart を活用したビジュアル資料の演習課題の作成演習を行う。 第13回課題1のExcelの総合演習課題を作成する。 今までの授業についての総括および実技テストにかわる総合演習課題を作成する。		
		予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	第13総合演習2のExcelの総合演習課題を作成する。	120	分
	No14	総括・達成度の確認 総合演習	今までの授業についての総括および実技テストにかわる総合演習課題を実施する。 第14週総合演習1の作成を行う。 理解度小テストを行う。		
		予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	150	分
		復習内容(時間)	最終回なので対象外	0	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	新事業創造論 B-A
講義名(英字)	New Business Creation Theory
担当教員	片山 源治郎
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	テーマ:「事業を授業に！」アイスクリーム事業を創造する この講義では、本学五号館に設置されたアイスクリームラボ(株式会社ジャスピコ)を中心とするアイスクリーム事業の創造からその事業展開の進行に合わせて、新事業の創造を実際に体験しながら、経営の現場で発生するさまざまな問題を皆さんと一緒に解決していきます。したがって、この事業では、講義と演習が組み合わさる形の授業です。この講義を受講することによって、新事業に自分が参加する形で実践的に経営学のあらゆる要素について学ぶことができます。
【到達目標】	経営学に関する基礎知識を応用する:経営学で学んだ、もしくは学んでいる知識をアイス事業の実践の中で、どのように応用できているかを講義および演習で実証します。 事業創造の特徴を理解する:事業創造とは何か、そしてその特徴、課題そして困難な問題について、経営戦略、マーケティング、ファイナンスなどが有機的に連携していることを理解します。
【履修条件・受講推奨者】	協働性を身につける:この講義は演習型の講義であり、他の受業生とのグループ学習を行います。他の受業生および講師と一体となってプロジェクトに取り組むという協働性を身につけて、講義および演習で発揮します。
【教育方法】	創造性と継続性という事業創造の重要ポイントを身につける:事業は立ち上げるだけでは意味がありません。事業継続の中で、日々事業の創造が求められます。事業創造や改善のアイデアをどう実践し、事業を継続するのか、その方法論を理解しているか否かについて、講義および演習そして期末試験によって評価します。
【指定教科書・	

【参考資料等】	教材はとくに使用しません、講義中に参考文献の指示、資料配布を行います。										
【実務IQ修得目標】	自制力		○	思考力		○	突破力			忍耐力	
	協働力		○	主張力		○	創造力		○		
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合		評価方法								
	毎回のレポート提出	30%	毎回の講義の出席状況、受講態度、プレゼンテーション・レポート評価および講義終盤の事業計画書の作成内容によって総合評価します。								
	講義及び実習への参加意欲	30%									
	事業計画書の作成	40%									
	合計	100%									
【その他の注意事項】	◇原則として秋学期の「ベンチャービジネス論（片山源治郎）」の履修が条件です。 ◇この授業は単なる講義ではありません、遅刻、欠席はもとより授業途中で居眠りや講義と関係ない作業を行った学生は即時履修停止になります。										
【授業計画】	週	テーマ			学習内容						
	No1	前期授業の概要と目的			新事業創造における重要事項の解説講義						
		予習内容(時間)			シラバスの内容把握				120	分	
		復習内容(時間)			授業計画の理解				120	分	
	No2	新事業創造とは			新事業の創造、事業運営についての概論講義						
		予習内容(時間)			自己PRの台本作成				120	分	
		復習内容(時間)			授業内容の理解				120	分	
	No3	ギルトフリーアイスクリーム ラボ ダシーズについて			ダシーズの目的とコンセプトの解説講義、新事業立ち上げの経緯を解説講義						
		予習内容(時間)			ダシーズの公式サイトの閲覧				120	分	
		復習内容(時間)			ダシーズ創業の経緯の理解				120	分	
	No4	ダシーズのコンセプトとマーケティング1			ダシーズのコンセプト理解「健康」「食品・アイス市場について」						
		予習内容(時間)			健康市場、アイス市場の調査				120	分	
		復習内容(時間)			食品市場の流行についての理解				120	分	
	No5	ダシーズのコンセプトとマーケティング2			ダシーズのコンセプト理解「アスリートのセカンドキャリア」「今後の展開」						
		予習内容(時間)			アスリートのセカンドキャリアの問題点の把握				120	分	
		復習内容(時間)			日本企業の海外市場戦略についての理解				120	分	
	No6	起業と企業のカタチ			新会社設立の流れ、様々な事業の実例の解説講義						
		予習内容(時間)			起業するために必要な準備事項の確認				120	分	
		復習内容(時間)			起業事例の調査				120	分	
	No7	企業の危機管理経営			具体的なリスク・危機とは？危機管理経営の解説講義						
		予習内容(時間)			コンプライアンス違反の事例調査				120	分	
		復習内容(時間)			コンプライアンスの重要性についての理解				120	分	
	No8	ITビジネスの可能性と未来			新事業における最新のビジネスモデルの活用についての解説講義						
		予習内容(時間)			新規事業の事例調査				120	分	
		復習内容(時間)			授業で取り上げた事例以外の新規事業事例の調査				120	分	

	No9	マーケティングとプロモーション	ネーミングとロゴ、映像と音楽のチカラによるマーケティング講義		
		予習内容(時間)	高田馬場周辺企業及び飲食店のロゴについて調べる	30	分
		復習内容(時間)	映像及び音楽を使用したマーケティング事例の調査	30	分
	No10	映像プロモーション	映像の持つ力と映像プロモーションの活用についての解説講義		
		予習内容(時間)	映像マーケティングの事例調査	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の理解	120	分
	No11	新規事業の立ち上げと継続	資金計画、損益計算の基礎知識講義		
		予習内容(時間)	起業の資金調達の手法についての事前調査	120	分
		復習内容(時間)	損益計算書の読み方の理解	120	分
	No12	事業計画書の作成①	事業計画書の基礎知識と項目の解説講義		
		予習内容(時間)	ダシーズ新店舗の開店地域の調査	120	分
		復習内容(時間)	事業計画書の作成	120	分
	No13	事業計画書の作成②	新店舗オープンの事業計画書作成演習		
		予習内容(時間)	事業計画書の修正	120	分
		復習内容(時間)	事業計画書の作成	120	分
	No14	事業計画書の作成③	新店舗オープンの損益計算書作成演習		
		予習内容(時間)	損益計算書の読み方の理解	120	分
		復習内容(時間)	新店舗の損益計算書の作成	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	新事業創造論 B-B
講義名(英字)	New Business Creation Theory
担当教員	野澤 弘宗
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	ビジネスは創造であり、そして事業家は常に挑戦を続けなければなりません。 新事業創造論は、起業家精神(アントレプレナーシップ)を発揮する上で不可欠となる新事業の創造をいかにして行うか、その具体的な方法論について学びます。 新事業は単なる思いつきだけでは創造できません。かといって、型にはまった方法に基づいて自動的に作り出されるものでもありません。 この新事業創造を効果的にすすめていくための着眼点、基礎知識、そして具体的な方法論について学びます。
【到達目標】	1. 経営学に関する基礎知識を実践のビジネス中で応用するための方法論を習得する。 2. 事業創造の特徴を理解する。 事業創造における経営戦略、マーケティング、ファイナンスの有機的連携を理解する。 3. 事業創造の基礎的な方法論を習得する。 事業創造において、様々な関連する発想や、市場動向を踏まえ、深い洞察に基づく事業創造力の基礎を習得する。 4. 新事業の事業継続性の方法論を理解する。 新事業を創造するにとどまらず、持続的成長を目指す上で必要となる知識や方法論の基礎を理解する。
【履修条件・受 講推奨者】	特になし
【教育方法】	演習において指示された資料やウェブサイトを必ず事前に調べ、その内容について簡単にまとめておくこと。なお、予習課題を提示する場合もあるので、授業中の指示に従うこと

【指定教科書・参考資料等】	演習で取り扱う情報技術、事例は最新のものが多く、テキストの内容がすぐに陳腐化するため教科書を指定しない。その代わり、関係資料、講義資料などを配付する。				
【実務IQ修得目標】					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	期末試験・レポート	60%	毎回の講義での受講態度、プレゼンテーション・レポート評価及び期末試験の成績によって評価します。		
	授業参加姿勢、授業態度	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	授業中の私語、無断退席、私用でのスマートフォンなどの携帯端末の使用、内職は厳禁、これを守れない社会常識のない学生は履修停止とする。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	導入講義	開講に際して注意点及び導入講義を実施		
		予習内容(時間)	講義で自己紹介、将来の夢についてレポートを記述、提出してもらいます。事前準備をしてください。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分
	No2	IoTと事業創造	IoTと事業創造について解説		
		予習内容(時間)	講義の最後に次回講義の概要と事前に確認すべき内容(事前配布するパンフレット、関連するホームページ等)を伝えます。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分
	No3	IoTとセキュリティ	IoTを活用した実際の事業創造事例の分析		
		予習内容(時間)	講義の最後に次回講義の概要と事前に確認すべき内容(事前配布するパンフレット、関連するホームページ等)を伝えます。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分
	No4	IoT、データと事業	IoT関連事業創造におけるデータの重要性について解説		
		予習内容(時間)	講義の最後に次回講義の概要と事前に確認すべき内容(事前配布するパンフレット、関連するホームページ等)を伝えます。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分
	No5	先端技術と事業創造	先端技術と事業創造について解説		
		予習内容(時間)	講義の最後に次回講義の概要と事前に確認すべき内容(事前配布するパンフレット、関連するホームページ等)を伝えます。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分
	No6	産学連携	大学の知恵、知見から生み出す事業創造について解説		
		予習内容(時間)	講義の最後に次回講義の概要と事前に確認すべき内容(事前配布するパンフレット、関連するホームページ等)を伝えます。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分
	No7	海外企業との連携	海外企業の技術、知見を生かした事業創造について解説		
		予習内容(時間)	講義の最後に次回講義の概要と事前に確認すべき内容(事前配布するパンフレット、関連するホームページ等)を伝えます。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分
		災害と事業創造	日本における地震・災害の復興に貢献する事業創造について解説		

	No8	予習内容(時間)	講義の最後に次回講義の概要と事前に確認すべき内容(事前配布するパンフレット、関連するホームページ等)を伝えます。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分
	No9	地震と事業創造	免震を軸とした事業創造について解説		
		予習内容(時間)	講義の最後に次回講義の概要と事前に確認すべき内容(事前配布するパンフレット、関連するホームページ等)を伝えます。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分
	No10	津波と事業創造	シミュレーション技術を中心とした事業創造について解説		
		予習内容(時間)	講義の最後に次回講義の概要と事前に確認すべき内容(事前配布するパンフレット、関連するホームページ等)を伝えます。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分
	No11	人命と事業創造	災害からの避難を改善する事業創造について解説		
		予習内容(時間)	講義の最後に次回講義の概要と事前に確認すべき内容(事前配布するパンフレット、関連するホームページ等)を伝えます。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分
	No12	地方と事業創造	自治体と企業との協働による事業創造について解説		
		予習内容(時間)	講義の最後に次回講義の概要と事前に確認すべき内容(事前配布するパンフレット、関連するホームページ等)を伝えます。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分
	No13	電波と事業創造	経済を支える電波の利活用と事業創造について解説		
		予習内容(時間)	講義の最後に次回講義の概要と事前に確認すべき内容(事前配布するパンフレット、関連するホームページ等)を伝えます。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分
	No14	センサーと事業創造	21世紀の必須技術であるセンサーと事業創造について解説		
		予習内容(時間)	講義の最後に次回講義の概要と事前に確認すべき内容(事前配布するパンフレット、関連するホームページ等)を伝えます。	120	分
		復習内容(時間)	講義で配布する教材(講義資料、パンフレット等)及び関連するホームページ等の内容を確認してください。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	新事業創造論 B-C
講義名(英字)	New Business Creation Theory
担当教員	青山 和正
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	経済のグローバル化やIT化・AIの進展、少子高齢化社会の到来により、人々の価値観や生活スタイルも大きく変容してきている。そのため、既成の価値観や領域を超えた新たな発想での新ビジネスや新市場創出が強く求められている。 本講義では、新事業のアイデア発想から事業化までの基本的なステップを理解し、各自のアイデアをもとにビジネスプラン作成を行い、新事業の構想からマネジメント、資金調達などを学ぶ。
【到達目標】	①新事業創出の重要性と基礎的な知識や進め方の考えを理解していること ②新事業発想と事業化のための基本的な条件や事業化の進め方を理解していること ③新事業創出の集大成としてビジネスプラン作成の基本から応用まで理解していること
【履修条件・受講推奨者】	将来、起業や開業を目指している方や新事業の構想に関心のある方は是非、履修をしていただきたい。
【教育方法】	事前にレジメを配布、レジメに沿って授業をするが、各自で新事業を構想し、ビジネスプランづくりに役立てて欲しい。新事業の事例を紹介する。
【指定教科書・参考資料等】	とくに指定の教科書はなし。必要な図書があれば授業の時に指示する。

【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	
	協働力		主張力		創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法					
	各自作成したビジネスプランと試験		80	各自のアイデア構想した新事業のビジネスプランを評価。試験はプラン作りを出題。				
	演習課題		20					
	合計		100%					
【その他の注意事項】	自分のお店や会社を持ったと想定して新事業のビジネスプランを作成すること。							
【授業計画】	週	テーマ	学習内容					
	No1	新事業創出の重要性	なぜ、新事業を創出することが重要なのか。また、情報化社会の進展、グローバル化社会の到来により新事業が続々と誕生しているが、日本はまだ新事業創出が少ない。多くの人が新事業創出を理解し、新事業に取り組んでいけるようにする。また、新事業として話題になった事例も紹介する。					
		予習内容(時間)	新事業創出はなぜ必要かを事前に考える				120	分
		復習内容(時間)	新事業創出の重要性を復習する				120	分
	No2	新事業創出のためのアイデア発想	アイデア発想には、様々な手法や考え方がある。アイデアはどこから生まれるのか、アイデア発想のプロセス、着眼点など、アイデアの発想を学習する。					
		予習内容(時間)	アイデアはどこから生まれるかを事前に考える				120	分
		復習内容(時間)	アイデア発想法の活用を復習する				120	分
	No3	アイデアから新事業を始める準備	3つのアイデア発想法(プロダクトアウト、課題解決、競合からの移行)について解説する。そして、アイデア発想から新事業へ向かうプロセスや考え方を説明し、新事業の基本要素を理解する。					
		予習内容(時間)	アイデアを構想したが、新事業へどうやって移行するかを考える				120	分
		復習内容(時間)	新事業へ向けての準備をどうするかを復習する				120	分
	No4	新事業を構想から事業の組立	競合他社のビジネスや顧客の抱える課題解決に向けた新事業を組み立てていくステップを具体的に学習する。スタートアップ事例からアイデア発想から事業化移行へのプロセスを学ぶ。					
		予習内容(時間)	新事業の事業化へのステップを事前に考える				120	分
		復習内容(時間)	新事業の事業化のプロセスを復習する				120	分
	No5	リーンキャンパスで事業化構想を練る	新事業の構想をリーンキャンパスというツールを活用して新事業のフレームワークを構築することを学習する。具体的なケースを取り上げて分析してみる。					
		予習内容(時間)	リーンキャンパスとは何かを事前に調べる				120	分
		復習内容(時間)	リーンキャンパスを活用して新事業構想を固めることを復習する				120	分
	No6	新事業の商品・サービスの展開	新事業の事業化に向け、マーケティング4Pの活用と競合他社の分析、市場の特性や規模を推測するなど、新事業の商品・サービス展開を学習する。					
		予習内容(時間)	新事業の商品・サービスの展開をどうするかを考える				120	分
		復習内容(時間)	新事業の商品・サービスの具体的な展開を復習する				120	分
	No7	新事業のビジネスを描く	構想した新事業を取り巻く環境を分析(PEST分析)し、マクロ的な視点での変化を確認する。その上で新事業の商品・サービスの事業化をコンセプトづくりから順を追って学習をする。					
		予習内容(時間)	新事業の事業化への全体像を事前に考える				120	分
		復習内容(時間)	新事業の事業化をステップを踏んで進むことを復習する				120	分
	No8	ビジネスプランとその作成	新事業のビジネスプランの作成の意義を理解する。その上で、ビジネスプラン作成の項目と手順を学習する。また、イノベーションを引き起こすような新事業のプラン作りを検討する。					
予習内容(時間)		ビジネスプランとは何かを事前に考える				120	分	

		復習内容(時間)	ビジネスプラン作成の意味と仕組みを復習する	120	分
	No9	新事業の売上計画の立て方	新事業の売上計画を立てることを学習する。 売上予測は、事業形態ごとにアプローチが違うので、それぞれの形態に合わせて売上の見込みを検討する。 また、BtoC、BtoBでも異なるので、各種ツールを活用して売上予測をしていく。 売上予測ができれば売上原価、費用見積りなど、順序追って売上計画を作成していくことを学ぶ。販売促進についても学習する。		
		予習内容(時間)	売上計画をどのようにするか事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	売上計画の作成とその手順を復習する	120	分
	No10	利益計画書の作成	損益分岐点分析ツールを活用して利益計画の作成を学習する。 まずは、損益分岐点分析を理解し、それを使って目標売上、原価などのシミュレーションし、利益計画を作成していくことを説明する。業種別の利益計画のポイントも併せて学ぶ。		
		予習内容(時間)	利益計画について事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	新事業の利益計画の作成と手順、留意点を復習する	120	分
	No11	資金計画を策定	新事業をスタートするには、開業資金、運転資金、設備投資資金が必要である。 その資金をどのように調達するかについて、資金計画の策定を学習する。 新事業は、実績がないので、新規開業資金制度などを上手に活用することが必要となる。また、資金繰り管理も不可欠である。新事業に関する資金計画について学ぶ。		
		予習内容(時間)	資金計画はどう進めるかを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	資金計画の具体的な内容、進め方を復習する	120	分
	No12	会社の設立手続きに必要なこと	新事業を立ち上げるには、個人形態または会社設立をする必要がある。 会社形態では、新会社を設立していくに必要な条件や手続きなどを学ぶ。 また、人の採用・教育、設備導入など組織づくりも必要となるので、併せて解説する。		
		予習内容(時間)	会社設立には、何が必要かを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	会社設立と手続き、留意点、設立後の組織体制などを復習する	120	分
	No13	各自でビジネスプラン作成(1)	各自のアイデアを事業化するために、ビジネスプランを作成する。 プランのひな型は事前に配布する。		
		予習内容(時間)	それぞれが自分の新事業をビジネスプランに落とし込む	120	分
		復習内容(時間)	ビジネスプランを評価、見直す	120	分
	No14	各自でビジネスプラン作成(2)	ビジネスプランのひな型に沿って、各自、自分のアイデアを新事業にしたビジネスプランの作成を行う。 何度も書き直して完成していく。完成したら事業化の可能性を評価してみる。		
		予習内容(時間)	各自のビジネスプランの最終版を作成する	120	分
		復習内容(時間)	各自のビジネスプランの評価をする	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	流通論 I BE-A
講義名(英字)	Channel Management I
担当教員	深澤 琢也
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	現代の小売・流通企業は、国際的運輸・交通手段の発展、情報通信技術の飛躍的発展、消費者ライフスタイルの多様化といった時代的な環境変化、そして市場変化の加速化、競争の多次元化(コスト、品質、スピード)といった競争環境の変化への戦略的対応が要請されている。本講義では、流通に関する基礎的な知識の習得を目指すとともに、上記環境下における小売・流通企業の戦略について最新のケースを用いながら理論的に検討する。
	社会における流通と商業に関する基本用語を正しく理解し、説明できること。

【到達目標】	日本において発展してきたさまざまな小売業態が起こしたイノベーションについて説明できること。 流通理論に関して正しく理解し説明できること。							
【履修条件・受講推奨者】	小売・流通企業に興味・関心を持っていること。							
【教育方法】	講義形式で教授する。							
【指定教科書・参考資料等】	<参考書> 石原武政・竹村正明編『1からの流通論』碩学舎、2008年							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力		主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合					評価方法		
	流通と商業に関する基本用語を正しく説明できる。				25%	設問に対する回答によって評価。		
	小売業態が起こしたイノベーションについて説明できる。				50%			
	流通理論に関して正しく理解し説明できる。				25%			
	合計				100%			
【その他の注意事項】	遅刻および講義中における授業内容とは関係のない私語は厳禁。							
	週	テーマ		学習内容				
	No1	イントロダクション		流通論講義への招待、講義内容説明、成績評価説明				
		予習内容(時間)		講義資料の予習			120	分
		復習内容(時間)		講義内容の復習			120	分
	No2	流通とは		現代社会における流通の様相				
		予習内容(時間)		講義資料の予習			120	分
		復習内容(時間)		講義内容の復習			120	分
	No3	各種小売業態の特徴(1)		食品スーパーとCVSについて				
		予習内容(時間)		講義資料の予習			120	分
		復習内容(時間)		講義内容の復習			120	分
	No4	各種小売業態の特徴(2)		ディスカウント・ストアとSPAについて				
		予習内容(時間)		講義資料の予習			120	分
		復習内容(時間)		講義内容の復習			120	分
	No5	各種小売業態の特徴(3)		商店街とショッピングセンターについて				
		予習内容(時間)		講義資料の予習			120	分
		復習内容(時間)		講義内容の復習			120	分
	No6	変化する流通構造		流通構造の分析				
		予習内容(時間)		講義資料の予習			120	分
		復習内容(時間)		講義内容の復習			120	分
	No7	小売業態とは何か		業態理論について				
		予習内容(時間)		講義資料の予習			120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No8	日本型取引慣行	日本型取引の特徴(流通系列化, 建値, リベート)		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No9	ロジスティクス	現代流通を支える3PL		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No10	売買集中の原理と品揃え形成	商業の存在意義について		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No11	商業の外部性と商業集積	商業集積における競争と協調メカニズム		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No12	投機的流通から延期的流通へ	延期投機理論について		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No13	生産と流通の分業関係の変化	流通系列化から製販連携へ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No14	総括	春学期の学習ポイントについての理解を深める		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	商品論 BE-A
講義名(英字)	Product Management
担当教員	田口 冬樹
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	市場には多くの新しい商品が提供されているが、ヒット商品として支持され、ロングセラーにまで発展できる商品は限られている。この講義では、新製品の開発と提供のプロセスを中心に理解を深めることをねらいとしている。さらに最近の商品動向として所有から利用へ、モノからコトへ、ダウンロードからストリーミングやサブスクリプションといったサービス化のトレンドについてもその変化の意味を考察し、またSDGsを含め商品の安全性確保・環境保護・資源保全の視点からも広く検討を加え、現代に求められる商品論を提案したい。
【到達目標】	商品とサービスの役割を正しく理解し、説明できるようにする 新製品開発と製品ライフサイクルの両プロセスを関連づけて説明できること 現代の商品に求められる社会的条件として、SDGsを含め安全性・環境・資源について課題を考察し、理解を深める
【履修条件・受講推奨者】	マーケティング関連科目を履修していることが望ましい。

【教育方法】	テキストをベースに講義を進める。わかりやすい授業を目指すために、ビジネスにとって重要と思われる商品・サービスの事例や企業の取り組みを積極的に活用した授業展開とする。																																																															
【指定教科書・参考資料等】	教科書：田口冬樹著『マーケティング・マインドとイノベーション』白桃書房 参考書：田口冬樹著『流通イノベーションへの挑戦』白桃書房 他に授業開始時ならびに必要なに応じて紹介、とくに「リテールマーケティング(販売士)」受験の準備・参考資料なども授業時に紹介。																																																															
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○																																											
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																										
協働力		主張力	○	創造力	○																																																											
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="5">評価方法</td></tr><tr><td>定期試験</td><td>60%</td><td colspan="5" rowspan="4">定期試験及び中間レポートの成績を中心に、授業内での質問に対する解答、発言等を総合的に評価する。</td></tr><tr><td>授業時の小テストや中間レポート</td><td>30%</td></tr><tr><td>授業への貢献</td><td>10%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法					定期試験	60%	定期試験及び中間レポートの成績を中心に、授業内での質問に対する解答、発言等を総合的に評価する。					授業時の小テストや中間レポート	30%	授業への貢献	10%	合計	100%																																					
評価項目と割合		評価方法																																																														
定期試験	60%	定期試験及び中間レポートの成績を中心に、授業内での質問に対する解答、発言等を総合的に評価する。																																																														
授業時の小テストや中間レポート	30%																																																															
授業への貢献	10%																																																															
合計	100%																																																															
【その他の注意事項】	関連する分野について、テキストをよく読んで自分事として関心を高めておくこと。 身近な問題を取り上げるとはいても、自分で課題を発見し、よく調べて授業に出席すること。																																																															
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td>講義のねらいと進め方：商品論の学習を通して、われわれの生活やビジネスに商品がどのような役割を果たしているかを理解し、そのうえで製品開発や提供の条件を検討する。そのためのガイダンスを最初に行う。 ・なぜ商品論を学ぶのか ・商品論と関連科目について ・日常生活やビジネスと商品との関係について ・商品論学習の3つの視点</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの該当箇所を熟読する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で扱った商品論学習の3つの視点についてのポイントを整理する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>商品とは何か</td><td>商品とは何だろうかという基本的な疑問を提起することによって、あなたにとって商品と呼べる条件を考察する。 ・あなたにとって商品とは ・商品化の仕組み ・ニーズ＆ウォンツの関係 ・なぜSDGs&ESGが強調されるのか</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの該当箇所を熟読する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で扱った商品化の仕組みのポイントを整理する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>商品と顧客満足</td><td>顧客満足が生み出される仕組みを考察することで、感動を生み出す顧客満足とはどのような商品やサービスなのかを検討してみたい。 ・顧客満足のレベルについて ・標準装備から期待を超えた感動商品までの展開 ・顧客の徹底観察(エスノグラフィー)の重要性 ・WOW(ワオ)ファクターとは</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの該当箇所を熟読する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で扱った顧客満足のレベルと自分の体験とを比較しポイントを整理する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>消費財とビジネス財</td><td>同じ商品でも使用の目的が異なると違った商品分類となり、それに合わせたマーケティングの展開が求められる点をさらに深く考察する。 ・商品の使用目的と顧客対象の違い ・消費財の分類とビジネス財の分類 ・ミシュランガイドとコストコの事例から学べること ・顧客の顧客は顧客である(BtoBとBtoCの接点)という意味とは</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの該当箇所を熟読する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で扱ったBtoBとBtoCとの関連づけについてポイントを整理する。</td><td>120</td><td>分</td></tr></table>							週	テーマ	学習内容			No1	ガイダンス	講義のねらいと進め方：商品論の学習を通して、われわれの生活やビジネスに商品がどのような役割を果たしているかを理解し、そのうえで製品開発や提供の条件を検討する。そのためのガイダンスを最初に行う。 ・なぜ商品論を学ぶのか ・商品論と関連科目について ・日常生活やビジネスと商品との関係について ・商品論学習の3つの視点			予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分	復習内容(時間)	授業で扱った商品論学習の3つの視点についてのポイントを整理する。	120	分	No2	商品とは何か	商品とは何だろうかという基本的な疑問を提起することによって、あなたにとって商品と呼べる条件を考察する。 ・あなたにとって商品とは ・商品化の仕組み ・ニーズ＆ウォンツの関係 ・なぜSDGs&ESGが強調されるのか			予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分	復習内容(時間)	授業で扱った商品化の仕組みのポイントを整理する。	120	分	No3	商品と顧客満足	顧客満足が生み出される仕組みを考察することで、感動を生み出す顧客満足とはどのような商品やサービスなのかを検討してみたい。 ・顧客満足のレベルについて ・標準装備から期待を超えた感動商品までの展開 ・顧客の徹底観察(エスノグラフィー)の重要性 ・WOW(ワオ)ファクターとは			予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分	復習内容(時間)	授業で扱った顧客満足のレベルと自分の体験とを比較しポイントを整理する。	120	分	No4	消費財とビジネス財	同じ商品でも使用の目的が異なると違った商品分類となり、それに合わせたマーケティングの展開が求められる点をさらに深く考察する。 ・商品の使用目的と顧客対象の違い ・消費財の分類とビジネス財の分類 ・ミシュランガイドとコストコの事例から学べること ・顧客の顧客は顧客である(BtoBとBtoCの接点)という意味とは			予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分	復習内容(時間)	授業で扱ったBtoBとBtoCとの関連づけについてポイントを整理する。	120	分
週	テーマ	学習内容																																																														
No1	ガイダンス	講義のねらいと進め方：商品論の学習を通して、われわれの生活やビジネスに商品がどのような役割を果たしているかを理解し、そのうえで製品開発や提供の条件を検討する。そのためのガイダンスを最初に行う。 ・なぜ商品論を学ぶのか ・商品論と関連科目について ・日常生活やビジネスと商品との関係について ・商品論学習の3つの視点																																																														
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分																																																												
	復習内容(時間)	授業で扱った商品論学習の3つの視点についてのポイントを整理する。	120	分																																																												
No2	商品とは何か	商品とは何だろうかという基本的な疑問を提起することによって、あなたにとって商品と呼べる条件を考察する。 ・あなたにとって商品とは ・商品化の仕組み ・ニーズ＆ウォンツの関係 ・なぜSDGs&ESGが強調されるのか																																																														
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分																																																												
	復習内容(時間)	授業で扱った商品化の仕組みのポイントを整理する。	120	分																																																												
No3	商品と顧客満足	顧客満足が生み出される仕組みを考察することで、感動を生み出す顧客満足とはどのような商品やサービスなのかを検討してみたい。 ・顧客満足のレベルについて ・標準装備から期待を超えた感動商品までの展開 ・顧客の徹底観察(エスノグラフィー)の重要性 ・WOW(ワオ)ファクターとは																																																														
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分																																																												
	復習内容(時間)	授業で扱った顧客満足のレベルと自分の体験とを比較しポイントを整理する。	120	分																																																												
No4	消費財とビジネス財	同じ商品でも使用の目的が異なると違った商品分類となり、それに合わせたマーケティングの展開が求められる点をさらに深く考察する。 ・商品の使用目的と顧客対象の違い ・消費財の分類とビジネス財の分類 ・ミシュランガイドとコストコの事例から学べること ・顧客の顧客は顧客である(BtoBとBtoCの接点)という意味とは																																																														
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分																																																												
	復習内容(時間)	授業で扱ったBtoBとBtoCとの関連づけについてポイントを整理する。	120	分																																																												

【授業計画】

No5	サービスと商品	われわれの生活の中でサービスに依存する割合が増えている動向を踏まえて、商品とサービスの関係の変化や新しい商品提供の方法を検討する。 ・消費のトレンドとサービスの位置・モノからコトへ、所有から利用への変化・サービス・ドミナント・ロジック・伝統的な定期定額購入とサブスクリプションとの違い		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容(時間)	授業で扱ったサービス・ドミナント・ロジックのポイントを整理する。	120	分
No6	新製品と開発主体	企業成長には新製品の存在が不可欠である。しかも人口減少と超高齢社会における日本の課題の一つは国内外で必要とされる新製品を創出することで活力を生み出すことが求められている。企業はどのようにして新製品を開発し提供できるかを皆さんとともに考察してみたい。 ・新製品のとらえ方とイノベーションの重要性・NBvsPBとは何か・ユーザー・イノベーションについて・アップルの製品は誰が作っているのか(ブランドとOEM・EMSの関係)		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容(時間)	授業で扱った新製品のとらえ方のポイントを整理する。	120	分
No7	新製品開発の戦略	新製品のアイデアの創出から市場導入までの過程を考察することで、どのようなイノベーション、投資活動、マーケティング、それにリスクマネジメントが求められるのかを検討する。 ・新製品開発のプロセス・提案制度からプレゼン会議までの活用事例・品質が良ければ売れるのか・失敗から生まれた新製品。		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容(時間)	授業で扱った新製品開発のプロセスについてポイントを整理する。	120	分
No8	製品ライフサイクル	新製品が市場に導入されてから成長・成熟を経て衰退するまでの全体のプロセスをとらえる。その中でも、導入期の段階で多くの新製品は普及せずに撤退を余儀なくされる事例が後を絶たない。なぜ新製品は普及しないのかをキャズムという概念を利用して、普及の障害を検討してみたい。 ・新製品の普及とキャズムの存在・コモディティ化の克服方法・PPMとの関連付け・製品ライフサイクル活用のメリットと課題		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容(時間)	授業で扱ったキャズムとイノベーションの普及理論のポイントを整理する。	120	分
No9	市場変化のとらえ方	新製品が成功し成長期を実現できたとしても、その後の成長が自動的に保証されるわけではない。市場は顧客ニーズの変化、技術進歩それに新たな競争者などの出現で常に変動しており、商品のアップデートが求められる。どのような時に顧客ターゲットの見直しや競争への対抗が必要となるのかを検討する。 ・市場変化と商品の対応・顧客は誰か(代理購買の意味や購買キーパーソンの変化)・市場細分化と製品差別化の関連性・パーソナライゼーションとアマゾン成長との関係		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容(時間)	授業で扱った市場細分化と製品差別化の関連性についてポイントを整理する。	120	分
No10	商品と価格戦略	顧客は商品を購入する際に、商品への関与の程度、高額であれば所得や資産の程度と密接に結び付けながら価格評価を行う。価格はその商品の価値を表現する働きを持ち、品質のイメージにも影響する。企業にとって価格は費用回収だけでなく、ライバルとの比較で自社の商品が顧客に選ばれる価格設定を探り出す必要がある。 ・新製品の価格決定・フリー/フリーミアムのねらい・キャプティブ価格戦略とは・EDLPとハイロープライシングとの比較・ウォルマートの成長要因		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容(時間)	授業で扱った商品と価格戦略の対応についてポイントを整理する。	120	分
No11	ブランドと商品	ブランドに対する多くの人々の常識を検討し、ブランドの本質的な働きや人々のブランドに期待する要因を明らかにする。そのことを踏まえてビジネスとブランドの結びつきの重要性を考えてみる。 ・ブランドの役割・人はなぜブランドにこだわるのか・どうすればブランドになるのか・消費者と企業にとってのブランド化の効果・ブランド・エクイティとは何か		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容	授業で扱った、消費者にとってブランドとして成立する条件のポイントを整理する。	120	分

		容(時間)			
	No12	ブランド戦略	ブランド戦略のデザインには市場環境と企業のねらいによって様々なアプローチが可能である。ここではブランド戦略のタイプを製品や企業レベルでとらえるだけでなく、他社や地域との連携を含めた事例を通して考察する。 ・ブランド戦略とそのタイプ ・社名を外したブランドはなぜ利用されるのか ・ブランドの先発優位性と後発優位性 ・成分ブランドの効果		
		予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
		復習内容(時間)	授業で扱ったブランド戦略のタイプについて具体例を調べポイントを整理する。	120	分
	No13	商品デザインとブランド創造	これまでの講義を通して、履修学生の独自の立場から、SDGsといった社会的課題に対する解決を目指した商品デザインやブランド創造への提案を行ってもらおう。 ・SDGsを改めて商品論から再検討 ・新製品と既存製品の評価 ・ブランドベースの輸出戦略とインバウンド支援商品 ・地域ブランドのプロデュース		
		予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
		復習内容(時間)	授業で扱った自分の提案をプレゼン資料にまとめポイントを整理する。	120	分
	No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する。		
		予習内容(時間)	テキストやノートの該当箇所を熟読する。	120	分
		復習内容(時間)	授業全体を通して扱ったポイントを整理する。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経済法 BE-A
講義名(英字)	Economic Law
担当教員	隅田 浩司
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この講義は、市場経済を支える経済法(競争法)の法理論と政策を取り扱います。授業では、談合やカルテルを規制する不当な取引制限、独占規制、そして合併や買収が競争に与える影響を分析する企業結合規制、そして不公正な取引方法を取り上げます。この講義を受講することによって、経営に必要な法的知識や法的思考力を習得することができます。またこの講義では、さまざまな業界を取り扱いますので、業界研究に役立つだけでなく、企業の経営戦略やマーケティング戦略についても理解を深めることができます。
【到達目標】	1 経済法の全体的な構造を把握し、独占禁止法を中心とする法体系について理解することができる 2 独占禁止法に関係する重要事件について、その概要、及び判決などの射程範囲について理解し、応用的な事例に対して独占禁止法がどのように適用されるか、その解釈論を理解することができる 3 競争政策に関する最近の論点を理解することができる
【履修条件・受 講推奨者】	特に制限なし、全学生に推奨する、特に経済学、経営戦略そしてマーケティングに興味がある受講生取っ手は、経済現象を法的に捉えるという新しい視点を得ることができるだろう。
【教育方法】	講義形式、ただし、講義中に行うQ&Aスタイルのオンライン投票システム(クリッカー)を使用する。また、対面形式の講義開催の場合は、受講生同士のディスカッションを行う場合がある。
【指定教科書・	(教科書)購入すること 岸井 大太郎(著)、大槻 文俊(著)、中川 晶比兒(著)、川島 富士雄(著)、稗貫 俊文(著)『経済法[第9版補訂]: 独占禁止法と競争政策(有斐閣ア

【参考資料等】	ルマ)『有斐閣(2022)ISBN-13：978-4641221840 (参考書) 経済法の対象範囲は極めて幅広いため、参考文献也多岐にわたる、そこで、講義中に適宜指摘する																																																																																																																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○																																																																																																						
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																																																																					
協働力		主張力	○	創造力	○																																																																																																																						
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="3">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td>経済法の論点を正確に理解しているかどうか</td><td>60%</td><td colspan="5" rowspan="4">学期末に行われる試験において評価項目の達成度合いを測定する。ただし講義中における質疑、及び発言等について、高い評価に値する者についてはこれを数値化し、学期末の試験結果にプラスする。</td></tr><tr><td>経済法がビジネスにおいてどのような影響を及ぼしているのかについて理解しているかどうか</td><td>20%</td></tr><tr><td>最近の経済問題について、競争政策がどのように影響しているのかどうか、自ら発見することができるか</td><td>20%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合			評価方法				経済法の論点を正確に理解しているかどうか	60%	学期末に行われる試験において評価項目の達成度合いを測定する。ただし講義中における質疑、及び発言等について、高い評価に値する者についてはこれを数値化し、学期末の試験結果にプラスする。					経済法がビジネスにおいてどのような影響を及ぼしているのかについて理解しているかどうか	20%	最近の経済問題について、競争政策がどのように影響しているのかどうか、自ら発見することができるか	20%	合計	100%																																																																																																
評価項目と割合			評価方法																																																																																																																								
経済法の論点を正確に理解しているかどうか	60%	学期末に行われる試験において評価項目の達成度合いを測定する。ただし講義中における質疑、及び発言等について、高い評価に値する者についてはこれを数値化し、学期末の試験結果にプラスする。																																																																																																																									
経済法がビジネスにおいてどのような影響を及ぼしているのかについて理解しているかどうか	20%																																																																																																																										
最近の経済問題について、競争政策がどのように影響しているのかどうか、自ら発見することができるか	20%																																																																																																																										
合計	100%																																																																																																																										
【その他の注意事項】	予習については、教科書の該当する章、節を示す(場合によってはページ数を示すこともある)ので、講義前に読了し、何が論点となっているのかおよび、教科書に記載されている関係条文を調べて上で受講すること。																																																																																																																										
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="5">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>独占禁止法の目的、基礎概念</td><td colspan="5">独占禁止法、競争法の目的について説明し、その歴史的経緯について解説する。基礎概念である事業者の概念について具体的事例を上げて説明する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>教科書1から24頁</td><td>70</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査</td><td>180</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>独占禁止法の理論的背景</td><td colspan="5">独占禁止法の理論的な背景となる産業組織論の基本概念を解説するとともに、公正取引委員会の意義と機能について説明する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>教科書25から80頁</td><td>70</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査</td><td>180</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>不当な取引制限総論</td><td colspan="5">不当な取引制限におけるカルテル・談合規制について概観し、不当な取引制限における意思の連絡について説明する。なお、東芝ケミカル事件について公正取引委員会のホームページから判決文をダウンロードし、判旨を事前に読んでおくことを推奨する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>教科書103頁から106頁。</td><td>70</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査</td><td>180</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>意思の連絡</td><td colspan="5">不当な取引制限の要件である意思の連絡について、入札談合における基本合意、個別調整の問題について説明するとともに重要判例を説明する。なお、元詰種子カルテル事件について公正取引委員会のホームページから判決文をダウンロードし、判旨を事前に読んでおくことを推奨する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>教科書106から110頁</td><td>70</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査</td><td>180</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>反競争的効果の測定</td><td colspan="5">不当な取引制限における一定の取引分野の考え方、競争の実施的制限及び公共の利益について判例及び公正取引委員会の心血など事例を中心に解説する。また第5回以降の予習に際しては、教科書に記載されている判例については、原則として公正取引委員会のホームページを検索し、事前に関連しておくこと。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>教科書111から118頁、124から131頁</td><td>70</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査</td><td>180</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td rowspan="3">No6</td><td>カルテル・談合に対するエンフォースメント</td><td colspan="5">カルテル・談合に対する独占禁止法のエンフォースメントについて、公正取引委員会による行政処分、刑事手続そして民事訴訟について解説する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>教科書132から148頁</td><td>70</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査</td><td>180</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td></td><td>企業結合規制の</td><td colspan="5">企業結合規制の規制手法について解説し、過去の重要事例について説明する。受講に際して予習では、企業結合</td></tr></table>							週	テーマ	学習内容					No1	独占禁止法の目的、基礎概念	独占禁止法、競争法の目的について説明し、その歴史的経緯について解説する。基礎概念である事業者の概念について具体的事例を上げて説明する。					予習内容(時間)	教科書1から24頁	70	分		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分		No2	独占禁止法の理論的背景	独占禁止法の理論的な背景となる産業組織論の基本概念を解説するとともに、公正取引委員会の意義と機能について説明する。					予習内容(時間)	教科書25から80頁	70	分		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分		No3	不当な取引制限総論	不当な取引制限におけるカルテル・談合規制について概観し、不当な取引制限における意思の連絡について説明する。なお、東芝ケミカル事件について公正取引委員会のホームページから判決文をダウンロードし、判旨を事前に読んでおくことを推奨する。					予習内容(時間)	教科書103頁から106頁。	70	分		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分		No4	意思の連絡	不当な取引制限の要件である意思の連絡について、入札談合における基本合意、個別調整の問題について説明するとともに重要判例を説明する。なお、元詰種子カルテル事件について公正取引委員会のホームページから判決文をダウンロードし、判旨を事前に読んでおくことを推奨する。					予習内容(時間)	教科書106から110頁	70	分		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分		No5	反競争的効果の測定	不当な取引制限における一定の取引分野の考え方、競争の実施的制限及び公共の利益について判例及び公正取引委員会の心血など事例を中心に解説する。また第5回以降の予習に際しては、教科書に記載されている判例については、原則として公正取引委員会のホームページを検索し、事前に関連しておくこと。					予習内容(時間)	教科書111から118頁、124から131頁	70	分		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分		No6	カルテル・談合に対するエンフォースメント	カルテル・談合に対する独占禁止法のエンフォースメントについて、公正取引委員会による行政処分、刑事手続そして民事訴訟について解説する。					予習内容(時間)	教科書132から148頁	70	分		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分			企業結合規制の	企業結合規制の規制手法について解説し、過去の重要事例について説明する。受講に際して予習では、企業結合				
週	テーマ	学習内容																																																																																																																									
No1	独占禁止法の目的、基礎概念	独占禁止法、競争法の目的について説明し、その歴史的経緯について解説する。基礎概念である事業者の概念について具体的事例を上げて説明する。																																																																																																																									
	予習内容(時間)	教科書1から24頁	70	分																																																																																																																							
	復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分																																																																																																																							
No2	独占禁止法の理論的背景	独占禁止法の理論的な背景となる産業組織論の基本概念を解説するとともに、公正取引委員会の意義と機能について説明する。																																																																																																																									
	予習内容(時間)	教科書25から80頁	70	分																																																																																																																							
	復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分																																																																																																																							
No3	不当な取引制限総論	不当な取引制限におけるカルテル・談合規制について概観し、不当な取引制限における意思の連絡について説明する。なお、東芝ケミカル事件について公正取引委員会のホームページから判決文をダウンロードし、判旨を事前に読んでおくことを推奨する。																																																																																																																									
	予習内容(時間)	教科書103頁から106頁。	70	分																																																																																																																							
	復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分																																																																																																																							
No4	意思の連絡	不当な取引制限の要件である意思の連絡について、入札談合における基本合意、個別調整の問題について説明するとともに重要判例を説明する。なお、元詰種子カルテル事件について公正取引委員会のホームページから判決文をダウンロードし、判旨を事前に読んでおくことを推奨する。																																																																																																																									
	予習内容(時間)	教科書106から110頁	70	分																																																																																																																							
	復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分																																																																																																																							
No5	反競争的効果の測定	不当な取引制限における一定の取引分野の考え方、競争の実施的制限及び公共の利益について判例及び公正取引委員会の心血など事例を中心に解説する。また第5回以降の予習に際しては、教科書に記載されている判例については、原則として公正取引委員会のホームページを検索し、事前に関連しておくこと。																																																																																																																									
	予習内容(時間)	教科書111から118頁、124から131頁	70	分																																																																																																																							
	復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分																																																																																																																							
No6	カルテル・談合に対するエンフォースメント	カルテル・談合に対する独占禁止法のエンフォースメントについて、公正取引委員会による行政処分、刑事手続そして民事訴訟について解説する。																																																																																																																									
	予習内容(時間)	教科書132から148頁	70	分																																																																																																																							
	復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分																																																																																																																							
	企業結合規制の	企業結合規制の規制手法について解説し、過去の重要事例について説明する。受講に際して予習では、企業結合																																																																																																																									

【授業計画】	No7	概要と水平合併規制	審査に関する独占禁止法の運用指針(公正取引委員会)を公取委ホームページから閲覧、ダウンロードして読んでおくこと。		
		予習内容(時間)	教科書149から164頁	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分
	No8	垂直・混合合併規制、企業結合規制の最新の動向	垂直・混合合併規制、企業結合規制の最新の動向について、最新の企業結合事例などを取り上げて説明する。		
		予習内容(時間)	教科書165から202頁	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分
	No9	私的独占規制	私的独占規制について説明し、排除型私的独占について解説する。受講に際して予習では、排除型私的独占に係る独占禁止法上の指針(公正取引委員会)を公取委ホームページから閲覧、ダウンロードして読んでおくこと。		
		予習内容(時間)	教科書81から82頁、86から88頁。96から102頁	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分
	No10	支配型私的独占、排除と支配型の混合事例及びGAFAへの対応	支配型私的独占について説明する。また、講義では、独占規制の新しい動向として、GAFA(Google Apple Facebook(Meta),Amazon)など巨大プラットフォームへの対応についても説明する。		
		予習内容(時間)	教科書85,88-95頁	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分
	No11	不公正な取引方法総論	不当な取引制限について説明する。また不当な差別的取扱いについて具体的事例を上げて説明する。なお予習に際しては、流通・取引慣行に関する独占禁止法上の指針(公正取引委員会)を公取委ホームページから閲覧、ダウンロードして教科書に該当する箇所を読んでおくこと。		
		予習内容(時間)	教科書206から220頁,254から265頁	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分
	No12	再販売価格維持行為など	再販売価格維持行為、不当な拘束条件付取引などについて解説する。なお予習に際しては、流通・取引慣行に関する独占禁止法上の指針(公正取引委員会)を公取委ホームページから閲覧、ダウンロードして教科書に該当する箇所を読んでおくこと。		
		予習内容(時間)	教科書221から253頁	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分
	No13	優越的地位の濫用規制	優越的地位の濫用、不当廉売、不当な取引妨害などについて解説する。なお予習に際しては、流通・取引慣行に関する独占禁止法上の指針、優越的地位の濫用に関する独占禁止法上の考え方、役務の委託取引における優越的地位の濫用に関する独占禁止法上の指針(すべて公正取引委員会)を公取委ホームページから閲覧、ダウンロードして教科書に該当する箇所を読んでおくこと。		
		予習内容(時間)	教科書266から310頁	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分
	No14	知的財産権と独占禁止法	知的財産権と独占禁止法との関係について解説する。なお予習に際しては、知的財産の利用に関する独占禁止法上の指針(公正取引委員会)を公取委ホームページから閲覧、ダウンロードして教科書に該当する箇所を読んでおくこと。		
		予習内容(時間)	教科書311から366頁	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査	180	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	労働法 BE-A
講義名(英字)	Labor Law
担当教員	黒岩 容子
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この講義では、労働法の基本的枠組みや考え方、基礎知識を学びます。現代社会では、人々の多くが雇用されて働き賃金を得て生活し、また、企業は人を雇うことによって営業活動をしています。人を雇うとき、雇われるときの基本的なワーキングルールやその考え方を知っておくことは、自らが尊厳をもって生きていくためにも、公正な社会を築くうえでも必要不可欠なことです。この授業で、生きた労働法の知識を身につけてください。
【到達目標】	労働法の理念・基礎的枠組み・考え方を理解する。 労働法の基礎的知識を習得する。 事実に基づいて論理的に思考する姿勢の習得。
【履修条件・受講推奨者】	とくに条件はありませんが、「法学Ⅰ」「法学Ⅱ」等の法律科目を履修済み、ないし同時に履修していることが望ましい。

【教育方法】	講義形式です。また、ほぼ毎回復習として小レポート課題を出します。										
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しません。授業メモおよび資料を配付します。また、授業のなかで参考文献を紹介します。										
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力				
	協働力		主張力	○	創造力	○					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法							
	労働法の理念・基礎的枠組み・考え方を理解する。		30%	小レポートと期末レポート(試験に変更する場合がある)を総合評価する。							
	労働法の基礎的知識を習得する。		50%								
	事実に基づいて論理的に思考する姿勢の習得。		20%								
	合計		100%								
	【その他の注意事項】										
進行状況および受講生の問題関心等によって、スケジュールを変更することがあります。また、授業中は私語厳禁です。											
【授業計画】	週	テーマ	学習内容								
	No1	イントロダクション 労働法の歴史と機能	労働法の特徴、役割。 労働法の学び方。								
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。							120	分
		復習内容(時間)	小レポート							120	分
	No2	労働契約の締結	就職/採用に関する法的ルール。								
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。							120	分
		復習内容(時間)	小レポート							120	分
	No3	労働契約の締結	就職/採用に関する法的ルール その2。								
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。							120	分
		復習内容(時間)	関連参考資料を読む。							120	分
	No4	賃金	賃金に関する法的ルール。								
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。							120	分
		復習内容(時間)	小レポート							120	分
	No5	労働時間	労働時間に関する法的ルール。								
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。							120	分
		復習内容(時間)	小レポート							120	分
	No6	労働時間 休日・休暇	労働時間に関する法的ルール その2。 休日・休暇に関する法的ルール。								
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。							120	分
		復習内容(時間)	小レポート							120	分
	No7	人事異動	配転、出向、転籍に関する法的ルール。								
予習内容(時間)		事前配布資料を読む							120	分	
復習内容(時間)		小レポート							120	分	
	労働者の人格の尊重、平等	男女平等に関する法的ルール。 ワーク・ライフ・バランスのための法制度。									

	No8	予習内容(時間)	事前資料を読む	120	分
		復習内容(時間)	小レポート	120	分
	No9	労働者の人格の尊重、平等	障害者の権利、外国人労働者の権利。 様々なハラスメントに対する法的規制。		
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。	120	分
		復習内容(時間)	小レポート		分
	No10	退職、解雇	退職、解雇に関する法的ルール		
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。	120	分
		復習内容(時間)	小レポート	120	分
	No11	非正規労働者の権利	非正規労働者の権利に関する法的ルール		
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。	120	分
		復習内容(時間)	小レポート	120	分
	No12	非正規労働者の権利	非正規労働者の権利に関する法的ルール		
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。	120	分
		復習内容(時間)	小レポート		分
	No13	労働組合	労働組合の役割、活動。労働組合に関する法的ルール。		
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。	120	分
		復習内容(時間)	小レポート	120	分
	No14	働く人々をサポートする制度	労災保険、雇用保険、公的医療制度、法的年金制度に関する基礎知識。		
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。	120	分
		復習内容(時間)	関連資料を読む。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	消費者行動論 I BE-A
講義名(英字)	Consumer Behavior I
担当教員	花尾 由香里
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この授業では、消費者行動の基本的な考え方について学んだあと、購買行動に影響を及ぼす心理的要因について解説を行う。具体的には、商品を購入する際の意思決定プロセスや欲求との関わり、商品への関与度や態度形成が購買行動に与える影響などについて説明をする
【到達目標】	消費者の購買行動に影響を与える要因について理論的に理解し考察できるようになること 消費者行動と企業のマーケティング戦略との関わりについて、理解できるようになること

	消費者行動の考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるようになること							
【履修条件・受講推奨者】	マーケティングⅠ、マーケティングⅡを履修していることが望ましい							
【教育方法】	対面講義 授業内容に応じて、リアクションペーパーの提出を求めることがある							
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しない。必要に応じて、資料を配布する							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合					評価方法		
	購買行動に影響を与える要因を、理論的に理解し考察できる				40%	学期末試験を行う 選択式マークシートによる回答 持込は不可		
	消費者行動と企業のマーケティングの関わりを理解できる				30%			
	消費者行動の考え方と専門用語を正しく理解し、説明できる				30%			
	合計				100%			
【その他の注意事項】	私語や遅刻については厳重に注意する							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	イントロダクション	消費者行動では、どのようなことを勉強するのか、なぜ消費者行動が近年重要視されているのかを解説する					
		予習内容(時間)	シラバスをよく読み、内容を理解する				120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める				120	分
	No2	問題解決としての購買行動	購買行動とは具体的にどのようなものかを解説し、商品を欲しくなる時の心理について学ぶ					
		予習内容(時間)	資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく				120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める				120	分
	No3	購買意思決定プロセス	消費者の購買意思決定プロセスについて解説しを行う					
		予習内容(時間)	資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく				120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める				120	分
	No4	消費者の欲求と動機づけ	欲求とはどのような心理であるかを学び、購買行動に与える影響について解説する					
		予習内容(時間)	資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく				120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める				120	分
	No5	知覚のプロセスと特徴	知覚とは何かを説明し、消費者の購買に与える影響について学ぶ					
		予習内容(時間)	資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく				120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める				120	分
	No6	記憶の種類と役割	消費者の記憶の種類や特徴について学び、購買行動に与える影響を解説する					
		予習内容(時間)	資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく				120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める				120	分
	No7	知識の種類と役割	消費者の知識の種類や構造について学び、商品知識が購買行動に与える影響について解説する					
		予習内容(時間)	資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく				120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める	120	分
	No8	知識の高低による違い	商品知識の高低による消費者の反応の違いや購買行動への影響について解説する		
		予習内容(時間)	資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める	120	分
	No9	製品関与と購買への影響	製品関与とは何かを説明し、関与が購買行動に与える影響について学ぶ		
		予習内容(時間)	資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める	120	分
	No10	購買関与と広告関与	購買関与や広告関与について学び、購買行動に与える影響について解説する		
		予習内容(時間)	資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める	120	分
	No11	消費者の態度形成	消費者の態度とは何かを解説し、購買行動に与える影響について学ぶ		
		予習内容(時間)	資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める	120	分
	No12	態度変容と説得	消費者の態度変容について解説し、企業が消費者を説得する際のアプローチ方法などについて言及する		
		予習内容(時間)	資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める	120	分
	No13	価格の心理	消費者が価格を判断する際の心理について解説する		
		予習内容(時間)	資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める	120	分
	No14	まとめと復習	これまでの講義の総括を行い、理解度をより高める		
		予習内容(時間)	資料を事前に読み、ある程度の理解をしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解度を高める	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	商業簿記Ⅰ B-A
講義名(英字)	Commercial Bookkeeping I
担当教員	鶴岡 清司
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	簿記は企業活動を、記録、計算、整理するための技術であり、財務諸表を作成するための手段であるといわれています。 本講義では、入門簿記Ⅰ・入門簿記Ⅱの履修を前提として、発展的な簿記処理(株式会社社会計)を学びます。 会計期間中に起こる様々な取引を処理できる(仕訳できる)ことを目標にしています。
【到達目標】	株式会社の経営成績を判断する損益計算書・財政状態を判断する貸借対照表の土台となる取引が仕訳できること。 実務的には、法人税の課税所得の計算の基礎となる損益計算書・貸借対照表が作成できる土台となる日常の取引の仕訳ができること。 資格取得という観点からは、簿記2級レベルの知識が身につくこと。
【履修条件・受講推奨者】	入門簿記Ⅰ・Ⅱを履修し、理解できていることが望ましい。 ないし簿記3級の知識があれば大丈夫です。
【教育方法】	テーマごとに講義・演習を行います。「わかった」から「できる」というレベルまでひきあげます。
【指定教科書・参考資料等】	指定教科書: 滝澤ななみ著 スッキリわかる日商簿記2級 15版 TAC出版

【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法				
	定期試験		80	設問に対する解答によって評価します。 課題についても同様です。				
	授業中に課す課題		20					
	合計		100%					
【その他の注意事項】	指定教科書と電卓は必須道具です。最低でも、3分の2以上の出席が成績認定の基本です。							
【授業計画】	週	テーマ	学習内容					
	No1	スタートアップ講義	簿記一巡の流れをザックリ講義します。 3級のおさらいと考えてください。 基礎ができていないと、その上にいいものはできません。 建物に例えると、1階が3級、、2階が今回の学習で作り上げる部分です。					
		予習内容(時間)		3級の復習をしておいてください。			120	分
		復習内容(時間)		再確認して、弱点を補強しておいてください。			120	分
	No2	第1章株式の発行、剰余金の配当と分配 ケース1～5	株式会社の設立。まずは株式の発行についてみていきましょう。					
		予習内容(時間)		第1章を精読してくること。			120	分
		復習内容(時間)		第1章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。			120	分
	No3	第1章株式の発行、剰余金の配当と分配 ケース6～9	株式会社で利益が出た場合、そしてその後の処理についてもみていきましょう。					
		予習内容(時間)		第1章を精読してくること。			120	分
		復習内容(時間)		第1章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。			120	分
	No4	第2章合併と無形固定資産	会社を合併したり、特許権を取得したときの処理についてみていきましょう。					
		予習内容(時間)		第2章を精読してくること。			120	分
		復習内容(時間)		第2章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。			120	分
	No5	第3章法人税と消費税	会社だって法人税を納めなければならないし、物を買ったり売ったりしたら消費税も発生する。その処理についてみていきましょう。					
		予習内容(時間)		第3章を精読してくること。			120	分
		復習内容(時間)		第3章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。			120	分
	No6	第4章商品売買等 ケース20～24	商品売買の処理方法の3分法や売上原価対立法、帳簿残高と実際有り高が違っていた場合などの処理についてみていきましょう。					
		予習内容(時間)		第4章を精読してくること。			120	分
		復習内容(時間)		第4章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。			120	分
	No7	第4章商品売買等 ケース25～28	サービス業の処理についてもみていきましょう。					
		予習内容(時間)		第4章を精読してくること。			120	分
		復習内容(時間)		第4章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。			120	分
	No8	第5章手形と電子記録債権債務 ケース29～34	手形につて、受け取り、割引、裏書き、更改などの処理についてみていきましょう。					
		予習内容(時間)		第5章を精読してくること。			120	分

		復習内容(時間)	第5章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分
	No9	第5章手形と電子記録債権債務 ケース35～41	電子記録債権や売掛金の譲渡についてみていきましょう。		
		予習内容(時間)	第5章を精読してくること。	120	分
		復習内容(時間)	第5章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分
	No10	第6章銀行勘定調整表	預金の帳簿残高と残高証明書の残高が違っていたらどのように処理するのかみていきましょう。		
		予習内容(時間)	第6章を精読してくること。	120	分
		復習内容(時間)	第6章の練習問題が即答できるまで反復練習すること。	120	分
	No11	第7章固定資産 ケース48～53	減価償却の計算方法についてみていきましょう。		
		予習内容(時間)	第7章を精読してくること。	120	分
		復習内容(時間)	第7章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分
	No12	第7章固定資産 ケース54～65	固定資産の買い替え・除却・廃棄・補助金を受け取って取得した場合などの処理についてみていきましょう。		
		予習内容(時間)	第7章を精読してくること。	120	分
		復習内容(時間)	第7章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分
	No13	第8章リース取引	購入しないで、借りたとき、どんな処理をするかみていきましょう。		
		予習内容(時間)	第8章を精読してくること。	120	分
		復習内容(時間)	第8章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分
	No14	第9章研究開発費とソフトウェア	新製品を開発するために支出した費用やソフトウェアを購入したときの処理についてみていきましょう。		
		予習内容(時間)	第9章を精読してくること。	120	分
		復習内容(時間)	第9章の練習問題の仕訳が即答できるまで反復練習すること。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	工業簿記Ⅰ B-A
講義名(英字)	Industrial Bookkeeping I
担当教員	福山 倫基
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本講義では、日商簿記3級等で勉強する商業簿記を、商品を自社で製造して販売する活動、つまり工業に当てはめた簿記の形態である、「工業簿記」を重点的に取り扱います。 工業簿記と名は打っていますが、工業簿記は突き詰めて言いますと、製品1個の原価を計算するということになりますので、原価計算と考えて頂いて結構です。 講義は、解説→演習の流れで行い、講義毎のテーマが講義中に理解できるよう進めていきます。最終的に、日商簿記2級の工業簿記レベルの知識の習得が目標となります。初めて学習する内容になるかと思うしますので、必ず講義中に行う演習を行える方は是非受講ください。							
【到達目標】	費目計算に関して理解すること 部門別計算に関して理解すること 製品別計算に関して理解すること							
【履修条件・受講推奨者】	講義の特性上、毎回の出席・講義時間中に行う演習をきちんと行える学生が望ましい。							
【教育方法】	毎回の講義で、講義を行った後に受講生に演習問題を解答してもらい解説を行う。また、反転講義も行う。初学者の場合は特に復習に重点を置いて講義を受けることを勧める。							
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書：開講時に指示する。 ◇参考書：開講時に指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	3回の小テスト	20%	左記を合算して評価する。		
	期末試験	70%			
	会計教育に関するアンケート	10%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	他者に迷惑となる行為(私語等)は厳に禁止する。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス	講義の進め方および成績評価方法についての説明。 初回講義において、講義の概要や成績評価などに関して受講生との合意を図るため、受講を予定している学生は必ず出席すること。		
		予習内容(時間)	商業簿記で学習した内容の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	ガイダンス聴講後、1年生で学習した内容の振り返り	120	分
	No2	原価と原価計算(1)	本講義に必要な原価計算の知識を講義する。必要な部分のみをピックアップして講義するため、講義受講後に配布した資料を見返しておくこと。		
		予習内容(時間)	前回の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義中にノートした内容をまとめる	120	分
	No3	原価と原価計算(2)	工業簿記を学ぶことにより、どういことができるようになるのかといったことを中心に、本講義を受講した後に広がる学問の応用に重きを置いて講義する。		
		予習内容(時間)	前回までの振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義中にノートした内容をまとめる	120	分
	No4	費目別計算(1)	材料費という費目に焦点を当て、費目別計算についての手続きを講義する。 この回から演習が始まるので、演習は必ず解説を聞く前に自身で行える学生が受講していることを前提に進める。		
		予習内容(時間)	前回までの振り返り	120	分
		復習内容(時間)	演習で行った内容を中心に復習する。	120	分
	No5	費目別計算(2)	労務費という費目に焦点を当て、費目別計算についての手続きを講義する。 この回も引き続き演習を中心に講義を進めるため、演習は必ず解説を聞く前に自身で行える学生が受講していることを前提に進める。		
		予習内容(時間)	前回まで実施した演習の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義中に行った演習を必ず復習すること	120	分
	No6	費目別計算(3)	経費という費目に焦点を当て、費目別計算についての手続きを講義する。 この回も引き続き演習を中心に講義を進めるため、演習は必ず解説を聞く前に自身で行える学生が受講していることを前提に進める。		
		予習内容(時間)	前回までに実施した演習の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義中に行った演習を必ず復習すること	120	分
	No7	部門別計算(1)	費目別計算を通して直接費と間接費が集計されるが、部門別計算では間接費を計算対象として原価計算の手続きが展開されていく。部門別計算では最終的に間接費をどのように加工するのかを講義していく。		
		予習内容(時間)	費目別計算の振り返り	200	分

	復習内容(時間)	講義中に行った演習を必ず復習すること	120	分
No8	部門別計算(2)	部門別計算では2回の集計手続きを経て最終的な値を得るが、この会では2回目の集計作業の手続きである直接配賦法を学習する。		
	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
No9	部門別計算(3)	部門別計算では2回の集計手続きを経て最終的な値を得るが、この会では2回目の集計作業の手続きである相互配賦法を学習する。		
	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
No10	製品別計算(1)	製品の製造原価を求める最終手続きである製品別計算を学習する。前期は個別原価計算という手続きに焦点を当て講義をするが、原価計算の手続きは業態に応じて用いる計算手続きに様々ある。それらの総論を行っていく。		
	予習内容(時間)	部門別計算の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
No11	製品別計算(2)	製品別計算における直接費部分の集計処理を学習していく。		
	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
No12	製品別計算(3)	製品別計算における間接費部分の集計処理を学習していく。		
	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
No13	製品別計算(4)	直接費・間接費を原価計算表に集計したのち、製造原価の算定、財務諸表への転記といった製品別計算の最終的な処理に関する講義を行っていく。		
	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
No14	総論	今まで講義してきた内容のまとめ、この講義を受講したのちにチャレンジしてほしいことなどを皆さんにお伝えします。		
	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	費目別計算・部門別計算・製品別計算全体の振り返り	300	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	財務諸表論 B-A
講義名(英字)	Financial-Statements Theory
担当教員	光澤 美芽
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本講義は、税理士や公認会計士の試験科目である「財務諸表論」の基本的な考え方を習得するために、各会計基準の背景にある会計原則や会計理論について学ぶ。したがって財務会計の全般的な知識を有している学生を対象としており、その内容は発展的なものであることに留意が必要である。各テーマについて、テキストを中心に講義形式で解説を行う。必要に応じてレジュメを配布する予定である。																						
【到達目標】	【財務3表の意義と内容を理解している】 財務諸表の役割および特性を理解していること。また、その各財務諸表に記載される会計情報について、それらが示す意味を理解していること。 【会計を行う上での前提条件や諸概念について理解し、説明できる】 会計公準や発生主義といった内容を説明できること。 【会計基準や、会計手続きとその背景にある会計理論について説明できる】 各種会計基準の理論的意義について理解し、説明でできること。																						
【履修条件・受 講推奨者】	「会計学Ⅰ・Ⅱ」および「財務会計Ⅰ・Ⅱ」をすでに履修済みであることを条件とする。また、本講義には高度な簿記の知識を前提とした内容が多く含まれるため、相応の知識(日商簿記2級程度)を備えていること。																						
【教育方法】	以下に指定する教科書に従い、講義形式によりPP(パワーポイント)を用いて解説を行う。																						
【指定教科書・ 参考資料等】	岩崎建久ほか著『レクチャー財務諸表論(第2版)』中央経済社(税込 ¥ 3,300)																						
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力		創造力			
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																	
協働力		主張力		創造力																			
	評価項目と割合			評価方法																			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	財務3表の意義と内容を理解している		20%	授業への貢献度50%、本試験50%で総合的に判断。 「出席点」は設定しない。ただし、全講義数の2/3以上の出席が、成績評価の対象となる条件となる。		
	会計を行う上での前提条件や諸概念について理解し、説明できる		40%			
	会計基準や、会計手続きとその背景にある会計理論について説明できる		40%			
	合計		100%			
【その他の注意事項】	他者に迷惑となる行為(私語等)は厳に禁止する。携帯電話の使用(メール・ウェブの閲覧も含む)も不可とする。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。					
【授業計画】	週	テーマ	学習内容			
	No1	ガイダンス	講義の進め方および成績評価方法、財務諸表論の学び方について。			
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分	
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分	
	No2	会計公準および一般原則	会計の目的、静態論と動態論、会計公準、企業会計原則について。			
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分	
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分	
	No3	概念フレームワーク	資産負債アプローチと収益費用アプローチ、包括利益と純利益について。			
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分	
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分	
	No4	資産会計(1)	資産の意義と資産概念、資産の分類と評価、有価証券の評価、固定資産の減損について。			
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分	
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分	
	No5	資産会計(2)	金銭債権と貸倒れの見積り、棚卸資産の原価配分、固定資産の原価配分について。			
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分	
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分	
	No6	資産会計(3)	無形固定資産の意義、のれんの取得と評価、ソフトウェアと研究開発費会計、繰延資産の意義について。			
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分	
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分	
	No7	負債および純資産会計	負債の概念、負債の分類、引当金の意義と要件、純資産の概念と内訳、留保利益と剰余金の配当、自己株式について。			
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分	
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分	
	No8	損益会計および財務諸表	3つの損益計算、発生原則・実現原則・対応原則、収益の認識基準、財務諸表の体系、財務諸表の作成原則について。			
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分	
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分	
	No9	金融商品会計	金融商品の意義、デリバティブ取引、ヘッジ会計について。			
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分	
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分	
		減損会計	減損会計導入の背景、減損損失の認識と測定、共用資産の取扱い、のれんの取扱いについて。			

	No10	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No11	資産除去債務会計	資産除去債務の意義と会計処理、引当処理との相違点について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No12	退職給付会計	退職給付制度と会計手続きについて。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No13	連結会計	連結決算の意義、連結の範囲、連結財務諸表の作成について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No14	企業結合会計	組織再編、株式譲渡、事業譲渡、合併の処理、事業分割について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や講義資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	租税概論 I B-A
講義名(英字)	Introduction to Tax Law I
担当教員	三関 公雄
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	生活の中に身近に存在するけれども、普段見過ごされている税金について興味を持っており、この機会に学んでみたいという方やこれから税の専門家を目指したいけれどほとんど税について知識を持っていない方達を対象にして、租税法を体系的に学んでいける授業内容にしていきたいと考えています。特に「租税概論 I」では、所得税と法人税の基本的な事項について理解することを目指します。講義においては、適宜教材をコースパワーに入れて事前に配布して理解度のアップに努めたいと考えています。					
【到達目標】	租税法の根底にある基本的な原則や法体系について理解すること。 所得税の基本的な考え方について理解し、基礎知識を習得すること。 法人税の基本的な考え方について理解し、基礎知識を習得すること。					
【履修条件・受 講推奨者】	特にありませんが、簿記や財務会計等の基礎知識があれば理解し易いと考えます。					
【教育方法】	パワーポイント教材を使用して授業を行うため、事前に教材を読み理解できないところをチェックして授業において質問して下さい。					
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし					
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	
	協働力		主張力		創造力	
	評価項目と割合		評価方法			
	租税法の基本原則の理解	30%				

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

所得税の基礎的知識の習得	35%	授業の70%以上(10回)の出席を前提として、毎回実施する課題の解答結果と受講態度等により総合的に評価する。
法人税の基礎的知識の習得	35%	
合計	100%	

【その他の注意事項】

教材等は、コースパワーに事前に掲載します。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	イントロダクション	財政の仕組みと役割		
	予習内容(時間)	租税の目的や機能及び財政の機能など	120	分
	復習内容(時間)	租税の目的や機能及び財政の機能など	120	分
No2	租税法の意義	世界及び我国における租税の歴史、租税法における基本原則、各国の租税負担率及び租税体系		
	予習内容(時間)	租税の歴史や租税法における基本原則	120	分
	復習内容(時間)	租税の歴史や租税法における基本原則	120	分
No3	租税法の体系	租税の分類、法体系における租税の位置づけ、税法の種類、法律と政省令及び通達の関係について		
	予習内容(時間)	法体系における租税の位置づけや法律と政省令及び通達の関係	120	分
	復習内容(時間)	法体系における租税の位置づけや法律と政省令及び通達の関係	120	分
No4	租税行政の概要	申告納税制度、申告納税制度を支えるシステム、調査と更正決定、税務行政のデジタル化、不服審査と訴訟		
	予習内容(時間)	申告納税制度、申告納税制度を支えるシステム	120	分
	復習内容(時間)	申告納税制度、申告納税制度を支えるシステム	120	分
No5	所得税(1)	所得税の意義と特色、所得の概念		
	予習内容(時間)	所得とは何か、所得税の特徴	120	分
	復習内容(時間)	所得とは何か、所得税の特徴	120	分
No6	所得税(2)	納税義務者と課税所得の範囲、実質所得者の原則、納税地、所得の種類(利子所得、配当所得)		
	予習内容(時間)	納税義務者の区分、所得の性質に応じた区分	120	分
	復習内容(時間)	納税義務者の区分、所得の性質に応じた区分	120	分
No7	所得税(3)	所得の種類(不動産所得、事業所得、給与所得、退職所得、山林所得、譲渡所得)		
	予習内容(時間)	所得の性質に応じた種類と内容	120	分
	復習内容(時間)	所得の性質に応じた種類と内容	120	分
No8	所得税(4)	所得の種類(一時所得、雑所得)、所得控除の種類と意義(雑損控除、医療費控除、社会保険料控除、小規模企業共済等掛金控除、生命保険料控除、地震保険料控除、寄附金控除)		
	予習内容(時間)	所得控除の種類と意義(特に医療費控除、社会保険料控除、生命保険料控除、地震保険料控除、寄附金控除)	120	分

		復習内容(時間)	所得控除の種類と意義(特に医療費控除、社会保険料控除、生命保険料控除、地震保険料控除、寄附金控除)	120	分
	No9	所得税(5)	所得控除の種類と意義(障害者控除、寡婦控除とひとり親控除、勤労学生控除、配偶者控除、配偶者特別控除、扶養控除、基礎控除)		
		予習内容(時間)	所得控除の種類と意義(特に勤労学生控除、配偶者控除、配偶者特別控除、扶養控除、基礎控除)	120	分
		復習内容(時間)	所得控除の種類と意義(特に勤労学生控除、配偶者控除、配偶者特別控除、扶養控除、基礎控除)	120	分
	No10	法人税(1)	法人税法の意義と特色、法人の概念、法人税の課税所得の範囲		
		予習内容(時間)	法人税の納税義務者と課税所得の範囲	120	分
		復習内容(時間)	法人税の納税義務者と課税所得の範囲	120	分
	No11	法人税(2)	法人の事業年度、法人税の納税地、法人税の確定申告、企業会計の利益と法人税の所得金額の計算		
		予習内容(時間)	企業会計の利益と法人税の所得金額の計算の相違点	120	分
		復習内容(時間)	企業会計の利益と法人税の所得金額の計算の相違点	120	分
	No12	法人税(3)	損金経理、税務調整事項(決算調整事項、申告調整事項)、資産の無償譲渡の法人税法上の取扱い、受取配当金の益金不算入制度		
		予習内容(時間)	資産の無償譲渡による収益の認識、受取配当金を益金に算入しない理由	120	分
		復習内容(時間)	資産の無償譲渡による収益の認識、受取配当金を益金に算入しない理由	120	分
	No13	法人税(4)	同族会社、役員給与、過大役員給与の損金不算入		
		予習内容(時間)	同族会社とは何か、役員給与の要件	120	分
		復習内容(時間)	同族会社とは何か、役員給与の要件	120	分
	No14	法人税(5)	交際費課税制度、損金に算入されない租税公課		
		予習内容(時間)	交際費課税制度の趣旨、交際費の範囲	120	分
		復習内容(時間)	交際費課税制度の趣旨、交際費の範囲	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	所得税 B-A
講義名(英字)	Income Tax Law
担当教員	我妻 純子
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	所得税は、給与や銀行の利子などの所得にかかってくる税であり、個人の経済生活に密接に関係しています。そのため、どういうときにどのような所得が生じるのか、それに対してどのように所得税が課せられるのかを知っておくことは大切です。しかし、所得税について定めている所得税法を理解することは難しいといわれています。その理由としては、普段使わないような用語や表現がみられること、法的思考に基づいて解釈する必要があることなどが挙げられます。本講義では、法律の観点から見た所得税について、できるだけわかりやすい講義をしたいと考えています。
【到達目標】	<所得税の基礎的知識の習得> 所得の概念、納税義務者および所得分類について理解する。 <所得計算の通則と税額算出の手順の理解> 収入金額と費用控除、所得の年度帰属および所得控除について理解する。 <所得税にかかわる手続の理解> 税額確定手続、修正手続、源泉徴収制度および不服申立制度について理解する。
【履修条件・受講推奨者】	法律の知識は問いませんが、所得税法に興味を持っていることを望みます。
【教育方法】	講義形式で行います。
【指定教科書・参考資料等】	・教科書は指定しません。 ・資料をコースパワーに配信します。 ・参考書は初回授業時に紹介します。

【実務IQ修得目標】

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

【その他の注意事項】

【授業計画】

評価項目と割合		評価方法	
< 所得税の基礎的知識の習得 >	50%	学期末試験 60% 授業への貢献度 40%	
< 所得計算の通則と税額算出の手順の理解 >	30%		
< 所得税にかかわる手続の理解 >	20%		
合計	100%		

配信した資料はすべて毎回手元に用意しておいてください。

週	テーマ	学習内容		
No1	ガイダンス 所得税法の概要	本講義の説明・参考書について 沿革、租税法の基本原則		
	予習内容(時間)	授業の最後に次回の予告をするので、該当箇所について確認してくること	120	分
	復習内容(時間)	授業後に課題を出すので、コースパワーを通して提出すること	120	分
No2	所得税の基礎	所得の概念、所得税の納税義務者		
	予習内容(時間)	授業の最後に次回の予告をするので、該当箇所について確認してくること	120	分
	復習内容(時間)	授業後に課題を出すので、コースパワーを通して提出すること	120	分
No3	所得分類(1)	所得分類とは何か・利子所得、配当所得		
	予習内容(時間)	授業の最後に次回の予告をするので、該当箇所について確認してくること	120	分
	復習内容(時間)	授業後に課題を出すので、コースパワーを通して提出すること	120	分
No4	所得分類(2)	譲渡所得		
	予習内容(時間)	授業の最後に次回の予告をするので、該当箇所について確認してくること	120	分
	復習内容(時間)	授業後に課題を出すので、コースパワーを通して提出すること	120	分
No5	所得分類(3)	給与所得、退職所得、		
	予習内容(時間)	授業の最後に次回の予告をするので、該当箇所について確認してくること	120	分
	復習内容(時間)	授業後に課題を出すので、コースパワーを通して提出すること	120	分
No6	所得分類(4)	事業所得、不動産所得、山林所得		
	予習内容(時間)	授業の最後に次回の予告をするので、該当箇所について確認してくること	120	分
	復習内容(時間)	授業後に課題を出すので、コースパワーを通して提出すること	120	分
No7	所得分類(5)	一時所得、雑所得		
	予習内容(時間)	授業の最後に次回の予告をするので、該当箇所について確認してくること	120	分
	復習内容(時間)	授業後に課題を出すので、コースパワーを通して提出すること	120	分
No8	所得計算の通則(1)	収入金額、課税のタイミング		
	予習内容(時間)	授業の最後に次回の予告をするので、該当箇所について確認してくること	120	分
	復習内容(時間)	授業後に課題を出すので、コースパワーを通して提出すること	120	分
No9	所得計算の通則(2)	必要経費、損失の扱い、所得控除、税額控除		
	予習内容(時間)	授業の最後に次回の予告をするので、該当箇所について確認してくること	120	分
	復習内容(時間)	授業後に課題を出すので、コースパワーを通して提出すること	120	分
	手続法(1)	税額確定手続、修正手続、源泉徴収制度		

	No10	予習内容(時間)	授業の最後に次回の予告をするので、該当箇所について確認してくること	120	分
		復習内容(時間)	授業後に課題を出すので、コースパワーを通して提出すること	120	分
	No11	手続法(2)	徴収手続、不服の申立て、租税訴訟		
		予習内容(時間)	授業の最後に次回の予告をするので、該当箇所について確認してくること	120	分
		復習内容(時間)	授業後に課題を出すので、コースパワーを通して提出すること	120	分
	No12	総合(1)	所得分類のまとめ		
		予習内容(時間)	授業の最後に次回の予告をするので、該当箇所について確認してくること	120	分
		復習内容(時間)	授業後に課題を出すので、コースパワーを通して提出すること	120	分
	No13	総合(2)	所得計算の通則および手続法のまとめ		
		予習内容(時間)	授業の最後に次回の予告をするので、該当箇所について確認してくること	120	分
		復習内容(時間)	授業後に課題を出すので、コースパワーを通して提出すること	120	分
	No14	総括	今までの授業についての総括および学習達成度の確認		
		予習内容(時間)	これまでに授業で扱ったことを見直すこと	120	分
		復習内容(時間)	資料を見直して、用語の確認をすること	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	所得税 B-B
講義名(英字)	Income Tax Law
担当教員	田中 俊久
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	所得税は、個人が得た所得に対して生じる税金で、個人の生活に密接に関係しています。どのような場合に所得税の納税義務が生じるのかを知っておくことは、大切です。所得税の特色として、近年では4千万人を超える給与所得者が源泉徴収により所得税を納付していたり、2千万人を超える納税者が確定申告をしていたりと、人々の関心がとりわけ高い税金です。また、授業では、簡単な設例等をあげて解説するなど、わかりやすく授業を進めたいと考えています。						
【到達目標】	所得税の対象となる所得の概念、納税義務者、給与所得をはじめとする所得分類について学習し、所得税の基礎的な知識の習得を目標とします。 収入金額と費用控除、所得の帰属、所得控除および所得税額算出の手順について理解するなど、基礎的な所得計算や税額計算を理解し、その知識の習得を目標とします。 所得税にかかわる税額確定手続、修正手続をはじめとするなどのしくみを理解し、その知識の習得を目標とします。						
【履修条件・受講推奨者】	法律の知識は問いませんが、租税概論Ⅰを併せて受講するか、受講済であれば、授業の理解が一層進むものと考えます。						
【教育方法】	講義形式						
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しません。講義で使う資料は、事前にCoursePowerを通じてPDFデータで配布します。また、必要に応じて教室でプリントを配布します。						
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力
	協働力		主張力	○	創造力		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法	
	所得税の基礎的な知識の習得	40%	授業への3分の2以上の出席を前提に、期末試験50%、授業における課題20%、受講態度など授業への貢献度30%として評価します。	
	基礎的な所得計算や税額計算の理解及び知識の習得	40%		
	所得税額の確定手続などの理解及び知識の習得	20%		
	合計	100%		

【その他の注意事項】	講義資料や配布プリントを忘れずに、持参してください。

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス 所得税の概要	授業をはじめるに当たり、授業の内容、進め方などに関するガイダンスを行います。所得税の概要について学習します。		
		予習内容(時間)	所得税の概要に関するレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分
	No2	所得税の基礎	所得税における所得の概念、納税義務者について学習します。		
		予習内容(時間)	所得税の基礎に関するレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分
	No3	所得分類(1)	所得税における利子所得、配当所得について学習します。		
		予習内容(時間)	所得分類(1)に関するレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分
	No4	所得分類(2)	所得税における譲渡所得、山林所得について学習します。		
		予習内容(時間)	所得分類(2)に関するレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分
	No5	所得分類(3)	所得税における給与所得、退職所得について学習します。		
		予習内容(時間)	所得分類(3)に関するレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分
	No6	所得分類(4)	所得税における不動産所得、一時所得について学習します。		
		予習内容(時間)	所得分類(4)に関するレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分
	No7	所得分類(5)	所得税における事業所得、雑所得について学習します。		
		予習内容(時間)	所得分類(5)に関するレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分
	No8	所得計算の通則(1)	所得税における収入金額、課税のタイミング、所得の人的帰属について学習します。		
		予習内容(時間)	所得計算の通則(1)に関するレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分
	No9	所得計算の通則(2)	所得税における必要経費、費用控除のタイミング、損失の扱いについて学習します。		
		予習内容(時間)	所得計算の通則(2)に関するレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分
		所得税額の計算(1)	所得税における所得控除について学習します。		

	No10	予習内容(時間)	所得税額の計算(1)に関するレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分
	No11	所得税額の計算(2)	所得税における税率表の適用、税額計算の通則について学習します。		
		予習内容(時間)	所得税額の計算(2)に関するレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分
		所得税に関する手続(1)	所得税における給与所得者を中心とする確定申告、e-taxについて学習します。		
	No12	予習内容(時間)	所得税に関する手続き(1)のレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分
	No13	所得税に関する手続(2)	所得税における確定申告(事業者)、青色申告制度、決算書の作成について学習します。		
		予習内容(時間)	所得税に関する手続き(2)のレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分
	No14	所得税に関する手続(3)	所得税における税務調査、不服申立て、租税訴訟、国際課税の動向について学習します。		
		予習内容(時間)	所得税に関する手続き(3)のレジメを読み、不明なところや疑問点を明らかにしておいてください。	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した事項について、レジメやプリントにより、再確認してください。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	ビジネス英語 I BE-A
講義名(英字)	Business English Basics I
担当教員	北田 敬子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	ビジネスシーンで実際に使える英語を身に付けることを目的とするクラスです。これまでアルバイトの経験はあっても、実際に社会に出て企業や組織の一員として働くこと、また取引先の人々と当たれるよう、下ごしらえをしておきましょう。これまでに培ってきた英語の基礎知識を、ビジネスの場で活用するためにどのようなことが必要か、毎週の授業の中で具体的に確認していきます。学生の皆さんにとっては「まだずっと先のこと」と感じられるでしょうが、日頃からビジネスに関する英語に触れておくことは、将来の学自習のためにも大切です。想像力を働かせ、未来の自分のために今、ビジネス英語に着手しましょう
	挨拶や自己紹介、簡単な製品説明、事業内容説明、それぞれの場面での質疑応答などを口頭で行えるようになることを目標とする

【到達目標】	テキストで基本的なビジネス関連語彙を学び、文書読解、メール対応、電話メモ、会議の準備など、会議での発言方法など、仕事現場で必要とされるスキルを身に付けることを目標とする。							
	ビジネスプレゼンテーションの基礎を学び、シミュレーションを行うことを目標とする。							
【履修条件・受講推奨者】	英語とビジネス全般に関心のある学生。							
【教育方法】	読み、書き、聞き、話す、4技能を統合的に学べるようクラス内活動を行い、併せてオンラインによる課題の提出を通じて、ウェブ上でのやり取りもスムーズに行えるよう留意していく。							
【指定教科書・参考資料等】	教科書 Make It in Business (Mayumi Okamoto他著 センゲージラーニング株式会社)							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法			
	授業内活動への積極的参加			20%	授業内のワークシート提出 オンライン課題の提出 記述試験の成績 以上の総合で成績を出す			
	毎週のオンライン課題提出			20%				
	小テストと学期末試験の成績			60%				
	合計			100%				
【その他の注意事項】	100分間の授業の中に数分間の休憩・リフレッシュの機会を設けるので、遅刻・居眠りをしないこと！							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	導入 使用教科書の概要説明 クラスルール共有 教員・学生相互紹介	授業開始に先立って、確認しておくこと、教員と学生が相互に了解する事項を明示し、次週からの授業に備える。 学生のプロフィール作成 英語による自己紹介タイム 教科書使用方法設営					
		予習内容(時間)	教科書を閲覧しておく				120	分
		復習内容(時間)	導入授業で出された課題に取り組む				120	分
	No2	Lesson 1: Job Hunting (1)	就職活動のための英文履歴書作成、英語面接の基本を学ぶ。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習					
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組む、提出する。				120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。				120	分
	No3	Lesson 1: Job Hunting (2)	面接例をwebsiteで見て、シミュレーションを行う 実際に自分の履歴書を英語で書く					
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組む、提出する。				120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。				120	分
	No4	Lesson 2: The First Day of Work (1)	初出社の日の自己紹介、挨拶、部署確認などの場面を学ぶ 語彙確認 会話例、Expression Notes学習					
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組む、提出する。				120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。				120	分
	No5	Lesson 2: The First Day of Work (2)	新しい同僚との会話、名刺交換、自分の名刺作成					
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組む、提出する。				120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。				120	分

【授業計画】

No6	Lesson 3: Writing Email (1)	業務上のメール送受信(1) 語彙確認 会話例、Expression Notes学習		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No7	Lesson 3: Writing Email (2)	業務上のメール送受信(2) フォーマル、セミフォーマル、カジュアルなど、各レベルでのメールの書き方を知る		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No8	Lesson 4: Greeting a Visitor (1)	海外から出張で訪れた客をもてなし、会議に臨むという状況に必要な表現を学ぶ。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No9	Lesson 4: Greeting a Visitor (2)	海外からの客とビジネスの枠にとどまらない文化交流が求められた場合、自分なら何を紹介し、提案できるかプランとシナリオを描いて(書いて)みる。		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No10	Lesson 5: Explaining a Corporate Profile (1)	海外から訪れた取引先との会合。自社の説明、最新の製品などについて英語で語る。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No11	Lesson 5: Explaining a Corporate Profile (2)	「会社概要」を英語で書く 「社訓」や会議室に掲げられた額の文字(モットー)などについても英語での説明を求めたらどうするか。スモールトークの実践。		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No12	Lesson 6: Deciding on a Date for a Meeting (1)	社内会議の準備(スケジュール調整) 語彙確認 会話例、Expression Notes学習		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No13	Lesson 6: Deciding on a Date for a Meeting (2)	スケジュール調整の結果報告メールを書く 別の会議への出欠を知らせるメールを過不足なく書く		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No14	The final examination of the Spring Semester.	春学期末まとめ総合テスト		
	予習内容(時間)	春学期末試験に向けて準備を行う。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	ビジネス英語 I BE-B
講義名(英字)	Business English Basics I
担当教員	矢戸 カール
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	The introduction of Business English at a very basic level. Students will be introduced to a variety of different business vocabularies and expressions. Also, students will receive information about different countries and their customs since doing business nowadays requires global awareness.
【到達目標】	Learn business vocabularies and expressions in English. Also, business idioms will be introduced. Being able to read text materials smoothly with much practice in reading and basic grammar.

	Practice communication skills by reading out loud and doing a lot of role plays.									
【履修条件・受講推奨者】	Second year students									
【教育方法】	Classes will be taught using hand outs and focused on the text book. Students are expected to participate actively.									
【指定教科書・参考資料等】	Business Plus, Student' Book 1, Cambridge University Press, 2015									
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○		
	協働力	○	主張力	○	創造力	○				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法							
	Midterm and final examination	60	Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance.							
	Active class participation	30								
	Class attendance	10								
	合計	100%								
【その他の注意事項】	None									
【授業計画】	週	テーマ				学習内容				
	No1	Introduction and start Unit 1, "Nice to Meet You				Basic introduction in business situation.				
		予習内容(時間)				Introduction		120	分	
		復習内容(時間)				Introduction		120	分	
	No2	Unit 1, "Nice to Meet You				Continuation of textbook.				
		予習内容(時間)				Introduction		120	分	
		復習内容(時間)				Introduction		120	分	
	No3	Unit 1, "Nice to Meet You and Business Idiom 1				Business idioms and continuation of introductions.				
		予習内容(時間)				Idioms and introduction		120	分	
		復習内容(時間)				Idioms and introduction		120	分	
	No4	Unit 1, "Nice to Meet You"				People from different countries and regions.				
		予習内容(時間)				Countries and regions.		120	分	
		復習内容(時間)				Countries and regions.		120	分	
	No5	Unit 2, "In the Office" and business idioms.				Different types of offices and business idioms.				
		予習内容(時間)				Office and idioms		120	分	
		復習内容(時間)				Office and idioms		120	分	
	No6	Unit 2, "In the Office"				Continuation of different types of offices.				
		予習内容(時間)				Office		120	分	
		復習内容(時間)				Office		120	分	
	No7	Unit 2, "In the Office" and business idioms				Finish Unit 1 and business idiom.				
予習内容(時間)				Office and idiom		120	分			
復習内容(時間)				Office and idiom		120	分			

	No8	Midterm examination	Midterm examination		
		予習内容(時間)	Unit 1 and 2, business idioms	120	分
		復習内容(時間)	Unit 1 and 2, business idioms	120	分
	No9	Unit 3, " On the Phone	On the Phone		
		予習内容(時間)	On the phone	120	分
		復習内容(時間)	On the phone	120	分
	No10	Unit 3, " On the Phone" and business idiom	Continue On the phone and business idiom		
		予習内容(時間)	On the phone and business idiom	120	分
		復習内容(時間)	On the phone and business idiom	120	分
	No11	Unit 3, " On the Phone"	Finish "On the Phone"		
		予習内容(時間)	On the phone	120	分
		復習内容(時間)	On the phone	120	分
	No12	Unit 4, "Buying and Selling"and business idiom	Buying and Selling, Business idiom		
		予習内容(時間)	Buying and Selling, Business idiom	120	分
		復習内容(時間)	Buying and Selling, Business idiom	120	分
	No13	Unit 4, "Buying and Selling"	Finish Unit 4, Buying and Selling		
		予習内容(時間)	Buying and Selling	120	分
		復習内容(時間)	Buying and Selling	120	分
	No14	Unit 4, "Buying and Selling"	Finish Unit 4, Buying and Selling		
		予習内容(時間)	Buying and Selling	120	分
		復習内容(時間)	Buying and Selling	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	キャリア発達心理学 BE-A
講義名(英字)	Career Development
担当教員	伊波 和恵
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	一生涯を通じて、私たち人間はつねに発達し続ける存在です。この講義では、生涯発達心理学の観点から、胎生期から死に至るまでを範囲とし、とくに成人期に焦点をあて、人の心理社会的な変化のプロセスに関する知識と考え方を学びます。学習を通じて、人間理解の幅を世代的におし広げ、考察を深められるようにします。
【到達目標】	理論の理解：心理社会的発達に関する概念や用語について適切に説明できる 年代固有の特徴の理解：各段階における心理的危機と社会的適応について十分に理解する

	キャリア発達:成人期のキャリア発達に関する基本的な枠組み、意義について理解する											
【履修条件・受講推奨者】	「心理学I」「心理学II」を履修済みであること。もしくは同時に履修していることが望ましい。											
【教育方法】	基本的には講義形式で進める。テーマに応じて、グループディスカッションを入れることがある。理解の定着のため、レポート等の課題提出を求めることがある。											
【指定教科書・参考資料等】	教科書:藤村宣之 編著『発達心理学―周りの世界とかかわりながら人はいかに育つか(いちばんはじめに読む心理学の本)』ミネルヴァ書房. 参考書は講義内で指示											
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力					
	協働力	○	主張力		創造力							
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法								
	生涯発達心理学に関する諸理論、現象の理解		10%	出席率70%以上。小課題20%・試験(持込不可)60%・中間試験20%を勘案、総合的に評価								
	各年代固有の特徴に関する理解		25%									
	キャリア発達、成人期の社会性の発達に関する理解		65%									
	合計		100%									
【その他の注意事項】	・授業中のスマートフォン、携帯電話等の電子機器類の使用は原則として認めない。 ・課題提出のため、GoogleClassroomにも登録すること。 ・課題は期日どおりに提出すること。											
	週	テーマ	学習内容									
	No1	生涯発達とは？	生涯発達心理学の考え方、発達段階説									
		予習内容(時間)	テキストを入手し、目次等に目を通し、概観しておく。						120	分		
		復習内容(時間)	講義内で配布した資料を用いて、生涯発達心理学の理論について比較し、特徴を整理する。指示された課題に回答する。						120	分		
	No2	胎生期	胎生期の発達									
		予習内容(時間)	講義内で配布した資料を用いて、胎生期の特徴を把握しておく。						120	分		
		復習内容(時間)	講義内で指示した映像資料を観、ポイントを要約する。自分の意見をミニレポートにまとめる。						120	分		
	No3	乳幼児期(1)	心身の発達、愛着関係、社会性／相互作用性の発達									
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。						120	分		
		復習内容(時間)	キーワードに留意しながら、ポイントを整理しておく。授業で紹介した関連資料を読む。						120	分		
	No4	乳幼児期(2)	認知的発達									
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。						120	分		
		復習内容(時間)	キーワードに留意しながら、ポイントを整理しておく。授業で紹介した関連資料を読む。						120	分		
	No5	乳幼児期(3)	情緒的発達									
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。						120	分		
		復習内容(時間)	授業で指示した課題をまとめる。						120	分		
	No6	児童期(1)	認知的発達									
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。						120	分		
		復習内容(時間)	授業で指示した課題をまとめる。						120	分		

【授業計画】	No7	児童期(2)	社会性の発達		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題をまとめる。	120	分
	No8	中間試験(予定)、青年期(1)	前半: 中間試験と解説を行う(予定。変更する場合は事前に告知する) 後半: 思春期と青年期		
		予習内容(時間)	中間試験対策として、これまでの内容を見直す。	120	分
		復習内容(時間)	中間試験結果を見て、理解度を自己点検する。	120	分
	No9	青年期(2)	アイデンティティと職業選択、モラトリアム		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No10	青年期(3) 成人期(1)	青年期の病理、社会的 ひきこもり ワークライフバランス、ワークファミリーコンフリクト		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No11	成人期(2)	職業的キャリア		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No12	成人期(3)	働き盛りとメンタルヘルス		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No13	老年期(1)	老年期の特徴、健康な老い、QOLとADL、認知症		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。試験に向けて準備する。	120	分
	No14	老年期(2) まとめ	老年期の病理、高齢者への心理的ケア、死生学		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。試験に向けて準備する。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営心理学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経営心理学研究法 B-A
講義名(英字)	Business Psychology Study Methods
担当教員	伊波 和恵
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この講義では、人の心という目には見えないものを可視化し、測定する方法とその理論について学びます。経営心理学の学びをより深めるために必要な手段としての数値化や現象の記述方法について基礎的な手続きと方法を学び、受講学生が自分自身でそれらの方法を活用できるようにすることを目標とします。そのため、授業は講義を通しての知識の理解を求めるだけでなく、実習・レポート作成にも重点を置きます。						
【到達目標】	心理学研究方法における基礎知識について、適切に理解できる 心理学研究方法を用いる際に必要となる基本的な統計技法がわかるようになる 実験法や面接法、質問紙法を用い、適切な測定・結果や考察の記述ができるようになる						
【履修条件・受 講推奨者】	【履修条件等】エクセル、ワード、パワーポイントが最低限使用できること。 履修の際、使用教室の関係で、受講人数を制限することがある。						
【教育方法】	授業の中で、あるいは授業時間外に個人またはグループワーク課題を行うことがある。実習・レポート等を含むため、提出物での評価が多い。						
【指定教科書・ 参考資料等】	【使用教材】教科書：とくに指定なし(配付資料を用意する)。参考書：適宜、講義中に紹介する。						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力		
【成績評価・評	評価項目と割合		評価方法				
	心理学研究方法における基礎知識		20%				

価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)	基本的な統計技法	25%	出席率70%以上。小課題40%・試験30%・レポート課題30%を勘案、総合的に評価
	方法論(実験法や面接法、質問紙法)とその活用	55%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】	・課題が多い科目です。期日内に提出すること。 ・授業中のスマートフォン、携帯電話等の電子機器類の使用は原則として認めない。 ・授業の中で個人またはグループワーク課題を行うことがある。実習・レポートといった連続課題が含まれるため、全出席を原則とする。

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	講義概要と授業進め方についての説明		
		予習内容(時間)	エクセル、ワード、パワーポイントの基本的な使い方を確認しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No2	心理学研究法の基礎(1)	心理アセスメント(知能・性格)		
		予習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No3	心理学研究法の基礎(2)	質問紙の概念理解。妥当性・信頼性。思考のフレーム		
		予習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No4	心理学統計法の基礎(1)	データの種類(量的-質的)、基本統計(平均・分散・標準偏差)とExcelでの処理		
		予習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No5	心理学統計法の基礎(2)	統計法実習(1) 記述統計(代表値)とExcelの利用		
		予習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No6	心理学統計法の基礎(3)	統計法実習(2) 記述統計(代表値)とExcelの利用		
		予習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
		復習内容(時間)	小テスト1に備えて、これまでの内容を復習しておく。	120	分
	No7	小テスト(1) (予定) 心理学統計法の基礎(4)	小テスト(1) (予定。変更する場合は、事前に告知する。) 記述統計と尺度水準、正規分布、実験法		
		予習内容(時間)	小テスト1に備えて、これまでの内容を復習しておく。	120	分
		復習内容(時間)	小テスト1の結果について自己点検する。	120	分
	No8	質的データ処理	質的データの整理(KJ法)		
		予習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No9	質問紙法(1)	質問紙の構成、作成方法		
		予習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No10	質問紙法(2)	質問紙の作成		
		予習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
		復習内容(時間)	小テスト2に備えて、これまでの内容を復習しておく。	120	分

	No11	小テスト(2) (予定) 心理学研究の倫理	小テスト(2) (予定。変更する場合は、事前に告知する。) 心理学研究の倫理(インフォームドコンセント、デブリーフィング)		
		予習内容(時間)	小テスト2に備えて、これまでの内容を復習しておく。	120	分
		復習内容(時間)	小テスト2の見直しをする。	120	分
	No12	面接法	面接の構造、目的、方法		
		予習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No13	観察法	面接の構造、目的、方法		
		予習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No14	まとめ	心理学における研究法の多様性		
		予習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
		復習内容(時間)	試験対策として、これまでの内容を見直す。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	社会心理学 I BE-A
講義名(英字)	Social Psychology I
担当教員	薊 理津子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	他者と自己を比較する、困っている他者を助ける、自分を傷つけた他者に対して怒る、正直な他者に肯定的な印象を持つなど、我々は様々な人間関係の中で生活をしている。社会心理学では、これらの社会的行動を対象とし、社会的行動の背景にある心理的メカニズムを明らかにする。本授業では、社会心理学の様々な研究を紹介し、社会心理学の歴史や研究手法、自己、社会的認知、対人行動を扱う。この授業を受講することで、普段の行動の背景に、どのような心理的メカニズムがあるのかを考える契機としてほしい。
	歴史と研究手法を理解する。

【到達目標】	自己と社会的認知の仕組みと理論を理解する。 対人行動に関するモデル・理論を理解する。																																						
【履修条件・受講推奨者】	「社会心理学Ⅱ」も受講することが望ましい。																																						
【教育方法】	パワーポイントを使用した講義である。授業資料はCoursePowerにて事前に公開するので、授業当日までに印刷する、もしくは、パソコン等の電子機器にダウンロードし、手元に資料がある状態で授業に臨むこと。																																						
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しない。 参考図書は以下2つ。 ①池上知子・遠藤由美(著)『グラフィック社会心理学 第2版』サイエンス社 ②山田一成・結城雅樹・北村英哉(編著)『よくわかる社会心理学』ミネルヴァ書房																																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>											自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力		創造力															
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																	
協働力		主張力		創造力																																			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="9">評価方法</td></tr><tr><td>学期末試験</td><td>60%</td><td colspan="9" rowspan="4">学期末試験とリアクションペーパーによる平常点の合計得点が最終評価となる。最終的に60点以上取得できれば合格となる。</td></tr><tr><td>リアクションペーパーによる平常点</td><td>40%</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>											評価項目と割合		評価方法									学期末試験	60%	学期末試験とリアクションペーパーによる平常点の合計得点が最終評価となる。最終的に60点以上取得できれば合格となる。									リアクションペーパーによる平常点	40%			合計	100%
評価項目と割合		評価方法																																					
学期末試験	60%	学期末試験とリアクションペーパーによる平常点の合計得点が最終評価となる。最終的に60点以上取得できれば合格となる。																																					
リアクションペーパーによる平常点	40%																																						
合計	100%																																						
【その他の注意事項】	授業中の私語・携帯電話の使用・遅刻については厳禁である。																																						
	週	テーマ	学習内容																																				
	No1	ガイダンス	授業の進め方、学習への取り組み方、評価方法に関する説明																																				
		予習内容(時間)	社会心理学とはどのような心理学なのかを調べる。							120	分																												
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、学習への取り組み方、評価方法をよく理解する。							120	分																												
	No2	歴史と研究手法	社会心理学の歴史と研究手法																																				
		予習内容(時間)	社会心理学の歴史と研究手法を調べる。							120	分																												
		復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。							120	分																												
	No3	自己(1)	自己とは何か、自己認知、自己評価																																				
		予習内容(時間)	自己、自己認知、自己評価というワードを調べる。その上で、自分自身が、どのような自己認知、自己評価を抱いているかを考える。							120	分																												
		復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。							120	分																												
	No4	自己(2)	自己にかかわる動機																																				
		予習内容(時間)	自己にかかわる動機として、どのような動機があるかを調べる。その上で、自分がどのような動機を持っているかを考える。							120	分																												

【授業計画】

	復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
No5	自己(3)	自己意識と社会的行動		
	予習内容(時間)	自己意識というワードを調べる。更に、自己意識が我々のどのような行動と関わっているかを調べる。	120	分
	復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
No6	自己(4)	自己開示と自己呈示		
	予習内容(時間)	自己開示と自己呈示というワードを調べる。その上で、自分が誰にどのような自己開示をするか、また、誰にどのような自己呈示をするかを考える。	120	分
	復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
No7	社会的認知(1)	スキーマ、ヒューリスティック、原因帰属		
	予習内容(時間)	スキーマ、ヒューリスティック、原因帰属というワードを調べる。その上で、スキーマやヒューリスティックが利用されている場面を考え、また、人がどのようなときに、どのような原因帰属をしているかを考える。	120	分
	復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
No8	社会的認知(2)	態度		
	予習内容(時間)	態度というワードと態度に関する理論に、どのようなものがあるかを調べる。	120	分
	復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
No9	社会的認知(3)	ステレオタイプと偏見		
	予習内容(時間)	ステレオタイプと偏見というワードを調べる。その上で、自分や他者が持っているステレオタイプや偏見について考える。	120	分
	復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
No10	社会的認知(4)	感情が認知と行動に及ぼす影響		
	予習内容(時間)	感情が、人の認知と行動にどのような影響を及ぼすか調べる。	120	分
	復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
No11	対人行動(1)	説得的コミュニケーション		
	予習内容(時間)	説得的コミュニケーションというワードと理論を調べる。その上で、自分もしくは他者がどのようなときに説得されやすいか、もしくは説得されにくいかを考える。	120	分
	復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
No12	対人行動(2)	攻撃行動		
	予習内容(時間)	攻撃行動というワードを調べ、攻撃行動に関連する理論を調べる。その上で、自分も含めて、人はどういうときに攻撃をするかを考える。	120	分

		間)			
		復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
		対人行動(3)	援助行動		
	No13	予習内容(時間)	援助行動というワードを調べ、援助行動に関連する理論を調べる。その上で、自分も含めて、人はどういうときに援助をするかを考える。	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
	No14	対人行動(4)	対人魅力と恋愛		
		予習内容(時間)	対人魅力いうワードを調べ、対人魅力と恋愛に関連する理論を調べる。その上で、どのような人に魅力を感じやすいか、どのような相手をパートナーとして選択しやすいかを考える。	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	社会心理学 I BE-C
講義名(英字)	Social Psychology I
担当教員	佐藤 恵美
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	社会心理学は人間がその場の状況や他の人々社会とのかかわりの中で、どのような影響を受けて行動するのかという視点から、実証的な研究を通して人間を研究する学問である。本講義では、社会的な人間の行動を「社会の中の個人」と「個人と集団・組織との関わり」の観点から理解することを目的とする。社会心理学 I では社会の中での個人と対人関係に焦点を当て、社会の中で生活する個人のパーソナリティの認知、他者理解のための対人認知、他者のパーソナリティの認知の観点を解説し、自己や他者のパーソナリティ理解を深めることを目的とする。
	自己と対人認知：自己概念、自己評価、自尊心など自己に関するさまざまな側面から「自分とは何か？」を考え、社会の中で生活するパーソナリティの側面に目を向け、他者と関わる自己について理解する。さらに、自分自身が他者を認知し、パーソナリティを推測する対人認知について考える。個人の認知スタイルはその人の原因帰属によって環境の捉え方が異なることを理解し、そこからどのようなコミュニケーションが効果的か

【到達目標】	を自分で考え、効果的な人間関係や葛藤処理について考えることができるようにする。 態度、攻撃と対人葛藤：人間の態度について理解し、態度を変化させる説得的コミュニケーションの情報処理過程を理解する。さらに人間の攻撃行動や葛藤場面で生じる感情や動機について理解し、企業における効果的な人間関係を行うことができるようにする。 対人魅力と対人関係：人から好かれるにはどうしたら良いかについての実験や調査から対人魅力について理解する。さらに対人関係をさらに進展させ、維持するためにはどのようなプロセスが必要かを学び、日常生活や組織における円滑な対人関係が行えるようにする。																																																																																												
【履修条件・受講推奨者】	社会心理学Ⅱも合わせて履修するのが望ましい。																																																																																												
【教育方法】	対面による講義授業																																																																																												
【指定教科書・参考資料等】	社会心理学概説 2018 潮村 公弘, 福島 治 編著 北大路書房(社会心理学Ⅱと同様)																																																																																												
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力		協働力		主張力	○	創造力																																																																						
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力																																																																																							
協働力		主張力	○	創造力																																																																																									
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="4">評価項目と割合</th><th colspan="4">評価方法</th></tr><tr><td colspan="2">定期試験</td><td colspan="2">70%</td><td colspan="4" rowspan="4">定期試験とレポート</td></tr><tr><td colspan="2">レポート</td><td colspan="2">20%</td></tr><tr><td colspan="2">ホームワーク(毎授業の課題提出)</td><td colspan="2">10%</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td colspan="2">100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				定期試験		70%		定期試験とレポート				レポート		20%		ホームワーク(毎授業の課題提出)		10%		合計		100%																																																								
評価項目と割合				評価方法																																																																																									
定期試験		70%		定期試験とレポート																																																																																									
レポート		20%																																																																																											
ホームワーク(毎授業の課題提出)		10%																																																																																											
合計		100%																																																																																											
【その他の注意事項】	教科書は必ず持参すること。レポート等、提出物は必ず提出すること。																																																																																												
	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th>学習内容</th><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>社会心理学とは</td><td>個人内過程における社会的行動の概観</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>自己</td><td>自己概念とその形成過程、アイデンティティと自尊心</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>パーソナリティ</td><td>パーソナリティの考え方とその発達を通じた人格の成熟について</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>対人認知</td><td>対人認知の特徴と暗黙の人格理論</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>帰属理論</td><td>帰属理論、対人認知と感情</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td></td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No6</td><td>社会的認知</td><td>ステレオタイプ、偏見と差別の認知的メカニズム</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td></td><td>120</td><td>分</td></tr></table>										週	テーマ	学習内容			No1	社会心理学とは	個人内過程における社会的行動の概観			予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること	120	分	復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分	No2	自己	自己概念とその形成過程、アイデンティティと自尊心			予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること	120	分	復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分	No3	パーソナリティ	パーソナリティの考え方とその発達を通じた人格の成熟について			予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること	120	分	復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分	No4	対人認知	対人認知の特徴と暗黙の人格理論			予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること	120	分	復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分	No5	帰属理論	帰属理論、対人認知と感情			予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること	120	分	復習内容(時間)		120	分	No6	社会的認知	ステレオタイプ、偏見と差別の認知的メカニズム			予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること	120	分	復習内容(時間)		120	分
週	テーマ	学習内容																																																																																											
No1	社会心理学とは	個人内過程における社会的行動の概観																																																																																											
	予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること	120	分																																																																																									
	復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分																																																																																									
No2	自己	自己概念とその形成過程、アイデンティティと自尊心																																																																																											
	予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること	120	分																																																																																									
	復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分																																																																																									
No3	パーソナリティ	パーソナリティの考え方とその発達を通じた人格の成熟について																																																																																											
	予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること	120	分																																																																																									
	復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分																																																																																									
No4	対人認知	対人認知の特徴と暗黙の人格理論																																																																																											
	予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること	120	分																																																																																									
	復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分																																																																																									
No5	帰属理論	帰属理論、対人認知と感情																																																																																											
	予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること	120	分																																																																																									
	復習内容(時間)		120	分																																																																																									
No6	社会的認知	ステレオタイプ、偏見と差別の認知的メカニズム																																																																																											
	予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめてくること	120	分																																																																																									
	復習内容(時間)		120	分																																																																																									

【授業計画】		態度	態度とその諸属性、認知的均衡と態度変化		
	No7	予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)		120	分
	No8	態度変化と説得	態度を変化させる説得的コミュニケーション、説得の受容と拒否		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次の授業時までに提出すること	120	分
	No9	攻撃と社会的勢力	人間の攻撃性と社会的勢力		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次の授業時までに提出すること	120	分
	No10	援助行動	援助行動とその規定要因		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次の授業時までに提出すること	120	分
	No11	ソーシャルサポート	社会の中のソーシャルサポート		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次の授業時までに提出すること	120	分
	No12	魅力と対人関係	対人魅力の規定因、対人関係の問題と認知の歪み		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次の授業時までに提出すること	120	分
	No13	非言語コミュニケーション	コミュニケーション手段としての非言語的コミュニケーション、メディアとコミュニケーション		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次の授業時までに提出すること	120	分
	No14	対人葛藤と交渉	対人葛藤とその解決、葛藤場面と認知・感情・動機について		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次の授業時までに提出すること	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	経済学 I BE-A
講義名(英字)	Economics I
担当教員	清水 良樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	経済はわたしたちの生活に密着しています。経済現象は日常生活にあふれていますが、これに疑問をもったことはありませんか？たとえば、商品には必ず価格がついていますが、そもそもこの価格というのは何でしょうか？あなたならどう答えますか？こうした疑問に答えるためには、経済学を学ばなければいけません。 本講義では経済学の基礎理論を学ぶことを通して、わたしたちが生活している社会の仕組み、そして現代の経済問題を分析していきます。経済問題を議論できるエコノミストの視点を身につけましょう。
【到達目標】	経済学の基礎理論を習得。 現代の経済問題に対する経済学的視点を養う。 日本経済と国際経済を比較できる視野を持つ。
【履修条件・受 講推奨者】	提出物の期限を守ること。 他者に迷惑をかける行為(私語など)は慎むこと。
【教育方法】	講義形式が中心。 グーグルクラスルームを利用。講義で使用するレジュメや確認テストなどはグーグルクラスルームにアップロードされる。 履修者の理解度を測るために、確認テスト(フォーマットはグーグルフォーム)を実施。 調べ学習や自分の意見を表明できる課題を出す。
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書: 指定しない。 参考書: 講義の中で適宜指示する。

【実務IQ修得目標】	自制力		思考力		○	突破力		○	忍耐力	
	協働力		主張力		○	創造力		○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	定期試験	40%	定期試験と各回に予定されている確認テスト(課題)の累積得点により総合的に判断して成績を評価する。正当な理由のない欠席を5回以上した者は単位取得を認めない。		
	確認テスト(および課題)の累積点(100点満点換算)	60%			
	合計	100%			

【その他の注意事項】	経済の動向を勘案して授業計画を変更することがある。 課題の提出期限等のスケジュール管理を徹底すること。

	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス	講義概要、評価方法についての説明。 日本を含む国際経済の現在(いま)を知る。		
		予習内容(時間)	ニュースキュレーションアプリをチェック。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No2	経済主体と経済活動	各経済主体による経済活動を理解する。 経済主体間の連関を理解する。 経済波及効果を理解する。 市場が持つ機能を理解する。 均衡の概念を理解する。		
		予習内容(時間)	マーケットメカニズムについて調べる。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No3	閉じた経済圏	トークンの仕組みを理解する。 グローバル経済において企業による閉じた経済圏を知る。 一部企業の経済における支配力を知る。		
		予習内容(時間)	トークンについて調べる。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。 講義で紹介した企業以外の支配力を調べる。	120	分
	No4	ブロックチェーンが起こす革命	テクノロジーの進化と社会的価値の変化との関係を理解する。 新たなテクノロジーを知る。 暗号資産への投資を理解する。		
		予習内容(時間)	ビットコインについて調べる。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No5	貨幣の新たな形態	キャッシュレス化がもたらす経済的影響。 日本をはじめ、各国のデジタル通貨発行への取り組みを知る。 デジタル通貨が持つ役割を理解する。		
		予習内容(時間)	現金以外の決済方法について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No6	GDP	GDPの算出方法を理解する。 “豊かさ”について考える。 所得と幸福の関係について考える。 様々な社会システムについて知る。		
		予習内容(時間)	「幸福度ランキング」をチェック。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No7	これからの付加価値の生産	商品の価値構成を理解する。 生産性の上昇と剰余価値の関係を理解する。 生産性を上昇させる方法について考える。		
		予習内容(時間)	日本の経済成長率を調べる。	120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No8	日本のリーディング産業	日本の産業構造の変遷を知る。 自動車産業の転換点を理解する。 日本経済の強みを知る。 日本の新たなリーディング産業を模索する。		
		予習内容(時間)	将来、需要が高まるビジネスについて考える。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No9	お金の話	借金＝悪 ではない。 借金の意味と役割を理解する。 日本と各国の財政状況を比較する。 財政の役割を理解する。		
		予習内容(時間)	日本の財政赤字と政府債務残高を調べる。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No10	お金の増やし方①	個人の資産形成の必要性を理解する。 NISAの仕組みを理解する。 株式などの投資対象を理解する。		
		予習内容(時間)	NISAを調べる。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。 ヴァーチャル投資の実践。	120	分
	No11	お金の増やし方②	大学生でもできる投資。 投資信託の仕組みを理解する。		
		予習内容(時間)	投資に関連するニュースをピックアップ。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。 ヴァーチャル投資の実践。	120	分
	No12	制度を知る	NISAやiDeCoなどのお得な制度を紹介。 国や自治体からの様々な支援を知る。		
		予習内容(時間)	ふるさと納税をチェック。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No13	格差がもたらす破壊	格差の現状を知る。 格差について考える。 格差がもたらす破壊的影響を理解する。		
		予習内容(時間)	世界で格差が大きな国を調べる。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No14	社会のセーフティネット	世界の貧困問題を考える。 社会のセーフティネットの在り方を考える。		
		予習内容(時間)	既存のセーフティネットを調べる。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	経済学 I BE-C
講義名(英字)	Economics I
担当教員	松田 岳
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	日々起こっている経済現象は複雑な要因が絡み合っていたり、馴染みのない専門用語で説明されたりしているため、学生諸君からは「理解不能な情報」として放置される傾向にある。しかし、企業経営は経済変動の影響から絶対に逃れることはできない。そのため、諸君がビジネスパーソン(企業人)として活躍したいのであれば、経済に関する基礎知識を身に付けることが不可欠となる。経済現象を理解するためには、必要最低限の専門用語を理解するとともに、経済現象の構造や法則を理解することが肝要である。そこで本科目は国民経済や国際経済の特徴、構造、歴史、課題を理解するのに必要な最低限の経済知識を学生諸君が修得することをその目的とする。							
【到達目標】	現代経済の歴史、変遷、特徴、構造について理解し、説明できるようになること。 戦後の日本経済の歴史と抱えてきた課題について理解し、説明できるようになること。 国際経済の仕組み、自由化の動きと課題について理解し、説明できるようになること。							
【履修条件・受講推奨者】	学生として学修態度を有し、授業を妨害する行為を行わないことが履修条件である。							
【教育方法】	大学設置基準に定められている予習・復習を学生が行うことを前提として、授業を行う。授業は教科書のポイント解説、質問への回答、グループワークから構成されている。							
【指定教科書・参考資料等】	教科書はマツダタカン『経済学1講義録R5.1』、同『経済学1講義録R5.2』(Kindle本〔電子書籍〕)。購入方法はコースパワー経由で指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	現代経済の特徴と構造を理解し、説明できる。	54%	本試験の正答率で絶対評価を行う予定だが、得点率が低い場合は相対評価を採用する。		
	戦後日本経済の歴史と課題を理解し、説明できる。	31%			
	国際経済の潮流と課題を理解し、説明できる。	15%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	1)大学のメールアドレスとパスワードは授業参加に不可欠なので忘れないこと。2)コースパワーの情報を小まめに確認すること。3)5回以上欠席すると評価対象外になる。				
	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス: 本学における経済学の位置付け、経済学の到達目標や教授方法、評価方法を確認する。	本学のカリキュラムにおける本科目の位置付け、経済学全体における本科目(経済学1)の位置付け、本科目の全体テーマ、皆さんが目指すべき到達目標について理解していただきます。また、教科書を用いてどのように予習し、講義を受け、復習をし、テスト対策をすればよいのかについて解説します。最後に、本科目の評価対象と2つの評価基準、本科目の出欠確認方法、評価対象外となる基準、欠席を取り消す例外措置などについて説明します。		
		予習内容(時間)	シラバスに目を通し、到達目標、教授方法、評価方法を予め理解しておく。	180	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、シラバスが完全に理解できていない場合は質問を提出する。	60	分
	No2	経済社会の変容: 封建制度・絶対王政、資本主義経済の成立、社会主義経済の誕生と変容などを学修する。	第一に、資本主義経済について学修します。具体的には資本主義に先立って形成された封建制度や絶対王政の中からいかにして資本主義は生まれたのか、資本主義の発展(産業革命)と挫折(世界恐慌)の歴史を学びます。第二に、社会主義経済について学修します。具体的には社会主義がどのような思想であり、その思想に基づいてどのようにして国家が形成され、社会主義が現代の権威主義的・覇権主義的国家(中国に代表される)にどのように「発展」したのかを学びます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No3	経済思想史: 重商主義、古典派経済学、マルクス経済学、近代経済学、新自由主義経済学の思想を学修する。	第一に、重商主義と古典派経済学について学修します。具体的には、トマス・マン、ケナー、スミス、リカード、マルサスなどの学説を学びます。第二に、マルクス経済学と近代経済学について学修します。特に両者の違いを決定づける価値論(何が商品の価値を生み出すのか。労働価値説と限界効用価値説)を中心に学びます。また、現代の政治経済学に大きな影響を及ぼしているケインズ経済学についても学びます。第三に、現代の経済学として新自由主義経済学について学修します。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No4	経済主体: 経済主体、経済循環、資本循環、景気循環、企業の分類、企業関連の基礎用語などを学修する。	第一に経済主体とそれが生み出す諸循環について学修します。具体的には3つの経済主体による経済取引の循環、企業活動をめぐる資本の循環、景気の循環とその要因を学びます。第二に、企業の分類について学修します。具体的には公企業、私企業、合名会社、合資会社、合同会社、株式会社など、企業の多様な姿を学びます。第三に、株式会社の基礎知識を身に付けます。具体的には、株式会社の仕組みや資金調達、その利害関係者や、株式会社が果たすべき責任などを学びます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No5	市場: 需要曲線と供給曲線、曲線のシフト、完全競争市場と不完全競争、市場の失敗について学修する。	第一に需要曲線と供給曲線について学修します。具体的には曲線の形状が意味するもの、不均衡から均衡への回帰、曲線のシフトを招く要因について学びます。第二に市場の失敗について学修します。完全に効率的な、市場の理想的状態(完全競争市場)とはどのような状態か、理想的な状態を阻害する要因は何かについて学びます。第三に、市場の失敗の一形態である独占・寡占とその弊害、独占・寡占を防止するための法律(独占禁止法)について学修します。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No6	国民所得と経済成長: 国民所得と国富、国民所得の計算方法と原則、2つの経済成長率について学修する。	第一に、国民経済の豊かさについて検討します。豊かさを示す尺度である国富と国民所得の違いと両者の関係について理解を深めます。第二に、国民所得の計算方法と原則について学修します。GDP、GNP、NNP、NIなど複数の計算基準を学んだ後に、GDPは複数の側面から見てもその価値が等しくなることを学びます。第三に、経済成長率について学修します。成長率には名目成長率と実質成長率の2つのタイプがあり、その差は「物価」によって生じることを理解します。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分

【授業計画】	No7	通貨と金融: 貨幣の機能、通貨制度、物価変動、銀行の役割、日銀と金融政策、金融行政などを学修する。	第一に、通貨制度の変遷について学修します。具体的には、貨幣と通貨の違い、金本位制度と管理通貨制度の違い、管理通貨制度の下で発生する物価の持続的変化(インフレ、デフレなど)とその要因について学びます。第二に、銀行の役割について学修します。具体的には一般企業の資金調達方法、銀行の三大業務、通貨供給量、その他金融用語について学びます。第三に、日本銀行について学修します。具体的には日本銀行の組織、役割、目的、金融政策について学びます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No8	財政と財政政策: 財政の機能、財政政策、一般会計と特別会計、予算の構成、財政投融资などを学修する。	第一に財政の機能と財政政策について学修します。具体的には資源配分機能、所得再分配機能、経済安定化機能と、フィスカル・ポリシーとビルトイン・スタビライザーの違いについて理解を深めます。第二に、国家予算について学修します。具体的には一般会計と特別会計、歳入の内訳とその推移、歳出の内訳とその推移、国債発行の原則などについて理解を深めます。第三に、第二の予算とも呼ばれてきた財政投融资について、その構造と現状について学修します。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No9	日本経済の歴史: 日本経済を明治期、戦後復興期、高度成長期、低成長期、バブル期などに分けて学修する。	第一に、明治期と戦後復興期の日本経済の歴史を概観します。具体的には殖産興業政策、国立銀行条例、産業革命、世界恐慌、戦後の占領政策、経済復興策と日本経済への影響について学びます。第二に、高度経済成長期と低成長期の日本経済の歴史を概観します。具体的には神武・岩戸景気、オリンピック景気、いざなぎ景気の原因力とオイルショック後の日本経済について学びます。第三に、バブル発生メカニズムと「負の遺産」からの脱却について学修します。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No10	労働問題: 日米英の労働運動の歴史、労働三法、日本の雇用慣行、労働市場を巡る諸問題について学修する。	第一に、日米英の労働運動の歴史について学修します。具体的には英国のラッダイト運動、チャーチスト運動、米国の労働総同盟、ワグナー法、タフト・ハレー法、AFL-CIOの登場などを学びます。第二に、日本の労働三法について学修します。具体的には労働基準法の概要、労働組合法が定める労働三権等、労働関係調整法と公務員に対する制限を学びます。第三に労働市場を巡る諸問題について学修します。高齢者・外国人雇用、長時間労働などがその内容です。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No11	社会保障制度: 社会保障制度の歴史、社会保険、公的扶助、社会福祉、少子高齢化などを学修する。	第一に、社会保障制度の歴史について学修します。具体的にはエリザベス救貧法、社会保障法(米)、ベヴァリッジ報告(英)などを学びます。第二に、社会保障制度の概要を学修します。具体的には、社会保険(医療・介護・年金・労働)、公的扶助(生活保護)、社会福祉、公衆衛生などを学びます。第三に、少子高齢化について学修します。具体的には高齢化率の推移と高齢化の原因、高齢者福祉の充実、少子化対策、社会保障と税の一体改革などを学びます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No12	日本経済の諸問題: 中小企業問題、農業問題、消費者問題、公害問題、都市問題などを学修する。	第一に、日本の中小企業を巡る問題について学修します。具体的には中小企業の定義、中小企業の割合と大企業との格差、中小企業の種類、中小企業が抱える問題と法規制などを学びます。第二に、消費者に関わる問題について学修します。具体的には有害商品、欠陥商品、誇大広告、悪徳商法、食の安全に関わる問題と消費者を保護するための法規制の整備などを学びます。第三に、公害問題や都市への人口集中とそれに付随して発生する問題について学修します。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No13	国際経済1: 国際収支表、貿易理論、金本位制、固定相場・変動相場制、GATT、WTOなどを学修する。	第一に、国境を超える取引の記録と貿易の基礎理論を学修します。具体的には国際収支表(経常収支・金融収支等)、保護貿易と自由貿易のそれぞれの論理について学びます。第二に、国際通貨体制の変遷について学修します。具体的には戦前の金本位制度、戦後のブレトン・ウッズ体制(固定相場制度)、固定相場制度崩壊の過程などを学びます。第三に自由貿易体制の変遷について学修します。具体的には戦後のGATT体制とその基本原則、自由貿易交渉の概要について学びます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No14	国際経済2: 欧州経済の統合と動揺、地域的経済統合、南北問題、ODA(政府開発援助)などを学修する。	第一に欧州経済の統合と動揺について学修します。具体的には欧州連合形成までの歩み、共通通貨ユーロ導入までの歩み、EU拡大に向けた動きなどを学びます。第二に、地域的な経済統合の進展について学修します。具体的には、世界各地で相次いで結ばれている自由貿易協定の概要、WTO枠外での経済統合のメリットとデメリットについて学びます。第三に世界的な経済格差と対立の問題について学修します。具体的には南北問題、ODA、貿易摩擦の問題などを取り上げます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	マーケティング I BE-A
講義名(英字)	Marketing I
担当教員	上條 典夫
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	マーケティングとは、人間や社会のニーズを見極めてそれらに応えることであり、その本質は「顧客を知ること(リサーチ)」と「顧客に知らせること(コミュニケーション)」ということができます。本講義では、20世紀から21世紀へのマーケティングの変遷をたどりながら、各時代におけるマーケティングのフレームワークを学び、次に、マーケティング効果を高めるコミュニケーション戦略について解説します。広告会社電通で40年間培った経験で事例を紹介、楽しい授業にします。						
【到達目標】	マーケティングの本質・その目的と戦略等に関する理解する。 マーケティングのエッセンスと全体像を把握するとともに、時代や社会とのかかわりについて、事例等を踏まえ理解すること。 マーケティング戦略における各種フレームワークの理解 4Pモデル、STPモデル、3iモデル、SIPSモデル、5i理論等について、その目的、特徴、考え方を理解すること。 マーケティングコミュニケーションの展開事例を学ぶ マーケティングマインドを醸成するためには、消費者視点から問題意識を持つことが必要。それを事例などから学び理解すること ソーシャル・マーケティングの内容とその重要性を理解するとともに、SDGs視点のマーケティングに関する最新事例と概要を把握する SDGsの概念とソーシャ・マーケティングの本質を理解し、社会課題解決と利益確保の方法論を探究すること。						
【履修条件・受 講推奨者】	特にありません。						
【教育方法】	社会に出て役立つ実践的な学び						
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力		主張力	○	創造力	○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法
授業態度	30%	学校の基本方針にのっとり評価
レポート・試験	70%	
合計	100%	

【その他の注意事項】

講義の内容や順番は変更する場合があります

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	イントロダクション	マーケティングとは？その変遷とマーケティング・コミュニケーションについてと私自身の経験紹介		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No2	マーケティングの変遷①	マーケティング1.0(1900～1960 製品・価格中心、4Pモデル など)		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No3	マーケティングの変遷②	マーケティング2.0(1970～1980 顧客志向、STPモデル など)		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No4	マーケティングの変遷③	マーケティング3.0(1990～2000 社会的責任、ブランドの3iモデル など)		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No5	マーケティングの変遷④	マーケティング4.0(2010～ SIPSモデル、AISASモデル など)		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No6	マーケティング・コミュニケーション①	マーケティング・コミュニケーションとはなにか？		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No7	マーケティング・コミュニケーション②	消費者行動とマーケティング～消費者の行動を理解する①		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No8	マーケティング・コミュニケーション③	消費者行動とマーケティング～消費者の行動を理解する②		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No9	マーケティング・コミュニケーション④	広告展開におけるマーケティング事例①		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No10	マーケティング・コミュニケーション⑤	広告展開におけるマーケティング事例②		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分

		復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
	No11	マーケティング・コミュニケーション⑥	コミュニケーションミックスと広報・PR		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
	No12	マーケティング・コミュニケーション⑦	スポーツイベント・音楽イベントにおけるマーケティング		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
	No13	マーケティング・コミュニケーション⑧	競争優位のブランド・マネジメント		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
	No14	ポストコロナ時代のマーケティング	ソーシャル・マーケティングとは～SDGsを軸にしたマーケティングの潮流		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	マーケティング I BE-B
講義名(英字)	Marketing I
担当教員	花尾 由香里
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この授業では、マーケティングの基本的な理論と戦略について学習する。企業の経営活動の中で、マーケティングがどのような役割を担っているのかを学んだ後、戦略を立案する際に必要な分析方法や理論を中心に解説を行う。実在の企業や商品の例を取り上げ、マーケティングを現実的なものとして活用できるようになることも目的としている。							
【到達目標】	マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるようになること マーケティングに関する基本的な分析手法について、正確に理解できるようになること マーケティング分析にもとづいた戦略を考察できるようになること							
【履修条件・受講推奨者】	「マーケティング論Ⅱ」も引き続き受講することが望ましい							
【教育方法】	対面授業 授業中に、リアクションペーパーの提出を求めることがある							
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しない コースパワーに毎回資料を配布する							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力	○		
	評価項目と割合					評価方法		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるか		30%	学期末試験を行う 選択マークシート方式による解答 持ち込みは不可	
	マーケティングの基本的な分析手法について、正確に理解できているか		40%		
	マーケティング分析にもとづいた戦略を考察できるか		30%		
	合計		100%		
【その他の注意事項】	私語を慎み周囲に迷惑をかけないこと				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	マーケティングとは	授業の内容と進め方について説明した後、基本的なマーケティングの考え方について学ぶ		
		予習内容(時間)	シラバスと資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No2	マーケティング・コンセプト	マーケティングの考え方が時代とともにどのように変化して来たかを学んだあと、将来的な課題やマーケティングの役割について学ぶ		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No3	マーケティングの範囲	マーケティングを実行する範囲や企業が取り扱う商品の範囲について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No4	マーケティングにおける4P戦略	マーケティングにおける4Pの概念を学んだあと、マーケティングを実行するプロセスについて解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No5	環境分析	企業を取り囲む環境とは何かを学んだあと、環境分析の手法について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No6	市場細分化	市場細分化の理論について学んだあと、消費者をタイプ分けする手法やターゲット選定について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No7	ポジショニング分析	製品差別化について解説した後、商品や企業のポジショニング分析の手法を学ぶ		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No8	製品ライフサイクル論	製品の寿命とライフサイクルについて解説し、ライフサイクルに応じた戦略を学ぶ		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No9	ポートフォリオ分析	企業が抱える複数の商品を分類する手法や、投資の優先順位について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No10	企業の成長戦略	アンゾフの製品・市場マトリクスについて解説した後、企業の成長戦略について学ぶ		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分

	No11	競争分析	競争相手を分析する手法や、企業の地位別戦略について学ぶ		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No12	製品戦略1	製品とは何かを詳しく解説した後、成功している実在の製品を取り上げたケーススタディを行う		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No13	製品戦略2	新製品を成功させる困難さについて解説した後、新製品開発プロセスについて学ぶ		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No14	まとめと復習	講義内容の総括を行い、より深く理解を高める		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	マーケティング I BE-C
講義名(英字)	Marketing I
担当教員	広瀬 盛一
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	マーケティングの基礎知識から、マーケティングにおけるマネジメントの考え方、マー ケティングの実際までを理解する。マーケティングは、商品やサービスの販売を促進する 手段として捉えられがちであるが、企業の戦略や非営利組織の活動とも深く関わっている。 製品を開発する企業、製品を消費者に届ける流通業、製品を購入し利用する消費者など、 様々な視点からマーケティングを学習する。テキストだけでなく、事例なども用いて理解 を深める。						
【到達目標】	マーケティングの 設問に対する回答によって評価。マーケティング 基本的な用語につ の定義、コンセプトの変遷、マーケティング・ミ 25% いて理解し、説明 ックス、マーケティングの範囲について答えられること。 市場環境の分析について理解し、説明できること 消費者行動とマー 設問に対する回答によって評価。消費者を購入にケティング戦略に 導く、動機づけやそのフレームワーク、個人的な要因つ いて理解し、説 要因について答えられること。						
【履修条件・受 講推奨者】							
【教育方法】	教科書の内容理解を中心として、事例などを用いながら、様々な課題をこなしていく。						
【指定教科書・ 参考資料等】	『現代マーケティング論』第2版 実教出版						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力
	協働力		主張力	○	創造力	○	

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】

評価項目と割合		評価方法		
期末試験	75%	期末試験、レポート、授業中の課題などによって評価する。		
授業内容についてのレポート	15%			
授業への参加確認	10%			
合計	100%			

【その他の注意事項】

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	ガイダンス	授業の進め方、マーケティングとは何かについて説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No2	マーケティングのコンセプトと基本用語	マーケティング・コンセプトの変遷について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No3	マーケティング・ミックス	4Pの概念について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No4	マーケティングの範囲	マーケティングの対象について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No5	事例研究(1)	ブランドの事例を説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No6	市場環境の分析(1)	企業のミクロ環境、SWOT分析について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No7	市場環境の分析(2)	企業のマクロ環境、人口動態環境などについて説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No8	消費者行動(1)	消費者の意思決定プロセスについて説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No9	消費者行動(2)	消費者の意思決定に影響する要因について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No10	マーケティング戦略の基礎	市場細分化、ターゲティング、ポジショニングについて説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分

		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No11	製品戦略(1)	製品の捉え方について説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No12	製品戦略(2)	サービスや組織のマーケティングについて説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No13	事例研究(2)	製品戦略の事例について説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No14	製品開発	製品開発と製品ライフサイクルについて説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	マーケティング I BE-D
講義名(英字)	Marketing I
担当教員	深澤 琢也
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	マーケティングとは、顧客に商品やサービスの価値を届ける(顧客に買ってもらう)ための仕組みを作ることです。本講義では、マーケティングとはそもそも何なのか、いつから登場した概念なのか、上手にマーケティングをするために企業はどのような分析を行う必要があるのかといったことを中心に学びます。本講義では、多くの企業事例を例示し、マーケティング理論とマーケティングの実際を行き来できる講義展開が期待できると思います。							
【到達目標】	マーケティングに関する基本用語を正しく説明できること。 企業のマーケティング戦略について正しく説明できること。 企業の成長戦略と競争戦略について正しく説明できること。							
【履修条件・受 講推奨者】	1年生は特にありませんが、2年生以上はマーケティング関連の科目(流通論、広告論、消費者行動論)のいずれかを並行して履修していると理解が深まります。							
【教育方法】	講義形式で教授する。							
【指定教科書・ 参考資料等】	<参考書> 小川孔輔『マーケティング入門』、日本経済新聞社、2009年							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力		主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合					評価方法		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	マーケティングに関する基本用語を正しく理解している。	25%	設問に対する回答によって評価。
	企業のマーケティング戦略について正しく理解している。	50%	
	企業の成長戦略と競争戦略について正しく理解している。	25%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】	遅刻および講義中における授業内容とは関係のない私語は厳禁。

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	イントロダクション	マーケティングへの招待、講義内容説明、成績評価説明		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No2	マーケティングの仕組み(1)	マーケティングの基礎概念と基本課題を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No3	マーケティングの仕組み(2)	マーケティングの基礎概念と基本課題を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No4	マーケティングの発展史	マーケティングの誕生と発展史を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No5	マーケティング計画の策定	企業のマーケティング計画を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No6	マクロ環境分析(1)	マーケティング実行に影響する要因を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No7	マクロ環境分析(2)	マーケティング実行に影響する要因を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No8	顧客の分析方法(1)	多様な顧客の分類方法について学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No9	顧客の分析方法(2)	多様な顧客の分類方法について学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No10	市場戦略(1)	企業の成長戦略を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分

	No11	市場戦略(2)	企業の競争対応を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No12	マーケティング・リサーチ(1)	市場のリサーチ(調査)方法を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No13	マーケティング・リサーチ(2)	市場のリサーチ(調査)方法を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No14	総括	春学期の学習ポイントについての理解を深める		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	マーケティング I BE-E
講義名(英字)	Marketing I
担当教員	山川 悟
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	マーケティングとは、企業と顧客との関係を良好なものとし、商品やサービスが売れ続けていくための基盤をつくる活動です。戦略策定やコンセプト開発、商品企画、販売促進、広告、広報、消費者調査、顧客行動分析など、幅広い範囲がここに含まれます。本講義では、マーケティング理論や最新の事例を知るだけでなく、自ら企画立案する体験などを通じ、思考力と創造力の両側面を鍛える場にしていきたいと思います。																						
【到達目標】	①商品・店舗・広告・消費行動を、企業側の視点から見られるようになる ②マーケティングの実務内容に触れたうえで、自身の進路について語れるようになる ③フレームワークに基づき、簡単な商品・プロモーション企画を立案できるようになる																						
【履修条件・受講推奨者】	特になし。商品企画・販売促進・広告宣伝・広報・イベント等の仕事に携わりたい人。																						
【教育方法】	・講義中の個人・グループワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。 ・講義回によっては、遠隔(ライブ・反転)授業を採り入れる可能性もあります。																						
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用せず、パワーポイント資料を各自ダウンロードして受講します。																						
【実務IQ修得目標】	<table> <tr> <td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr> <tr> <td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table>	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力		創造力	○								
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																	
協働力		主張力		創造力	○																		
	評価項目と割合			評価方法																			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	企業視点から商品・店舗・広告・消費行動を語ることができる	30%	およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価
	自らの進路と関連させてマーケティングの仕事を説明できる	30%	
	創造フレームワークに基づき、独自性のある企画立案ができる	40%	
	合計	100%	

【その他の留意事項】	特になし

週	テーマ	学習内容		
No1	マーケティングの考え方	まず具体的な商品を想定し、「商品企画」「販売前」「販売後」の3段階において必要なマーケティング施策を考えてみる。次に、マーケティングという言葉が生まれた20世紀前半の米国における考え方と、消費者主導となった近年における考え方がどう異なるかを理解する。さらに今日の経営環境に必要な視点、マーケッターに要請される基礎能力についても学ぶ。		
	予習内容(時間)	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No2	今日のマーケティング課題①	今日の企業は厳しい競争環境に晒されている。本講義では、差競合との差別化、潜在ニーズ発掘、顧客理解、チャネル開発など、今日の企業が直面する5つのマーケティング課題を概括し、それらの課題に対応した戦略概念を学んでいく。ビジネスフレームワークを使い、課題解決につながるアイデア開発を行う。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No3	今日のマーケティング課題②	前回に引き続き、決済方法の改革、話題になる売り方、顧客経験価値、社会全体の利益、ブランド価値向上、デジタル対応など、今日の企業が直面する5つのマーケティング課題を概括し、それらの課題に対応した戦略概念を学んでいく。ビジネスフレームワークを使い、課題解決につながるアイデア開発を行う。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No4	マーケティングの仕事研究	マーケティングは特殊な仕事ではなく、どの業種・企業においても不可欠な機能である。ここでは営業・販売との目線の違いや、6種のマーケッター(商品開発、販売促進、広告宣伝、ブランディング、営業企画、広報PR)の実務内容について具体的な事例から学ぶ。マーケティングに関連する資格や資質についても言及する。最後に、現在のビジネス課題から、マーケッターとしてどんな対応をすべきか考案し、議論を行う。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No5	商品コンセプト事例研究	商品の魅力や特長を端的な言葉で表し、それを伝えていく「コンセプト」の重要性を学ぶ。20の商品事例から、個々のコンセプトがどのような観点から規定されているのかを考える。ここでは、5つのコンセプト策定法があることを理解する。また、採り上げた事例の中でヒットしそうだと思う商品とその理由について考察する。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

【授業計画】

【授業計画】	No6	コンセ プト ワーク実 習	今日は意味を消費する社会であり、あらゆるフィールドでコンセプトが明快な商品だけが生き残っている点を理解する。また、コンセプトの伝え方についての事例研究を行う。講義の最後に、創造性開発フレームワークに基づき、消費者ニーズと企業シーズの結節点から、飲料の新商品の企画立案を試みる。		
		予習内 容(時 間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内 容(時 間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No7	消費 者 心 理 の 事 例 研 究	商品がヒットした背景には微妙な消費者心理、インサイトが込められている。本講義では、利便性や価格といった表面的な理由からでは説明できないヒット要因を、13の事例から考え、議論していく。また、ありがちな消費者心理をヒントに、新たな商品・サービスの考案を試みる。		
		予習内 容(時 間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内 容(時 間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No8	前半総 括と講 義に関 するQ&A	前半授業についての総括、および学修達成度確認のためのレポート提出を行う。レポート課題は「見解・解釈」や「アイデア」を求めるものとする。また優良レポートは他の受講者にフィードバックし、それをもとに見直しと復習を行う。		
		予習内 容(時 間)	1～7回までの講義資料を見直す	240	分
		復習内 容(時 間)	課題フィードバックを参照し、戦略や事例研究を行う	120	分
	No9	リサー チとイ ンサイ ト発見 法	目的・状況に応じた適切なマーケティング調査の手法を理解し、アンケートが万能でないことを認識する。また、ライオンやサントリーなどの事例から、消費者心理の深層「インサイト」を発見し、それを商品企画などに反映させていく8つの手法についても学んでいく。		
		予習内 容(時 間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内 容(時 間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No10	販売促 進の手 法と事 例研究	マーケティング4Pの中で、購買への直接的な動機付けとなるセールスプロモーションの位置づけと、サンプリング、景品、値引き、消費者教育、コンテスト、制度型プロモーションからWeb活用販促に至るまでの消費者向け販促の9つの手法を、具体的な事例とともに学ぶ。		
		予習内 容(時 間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内 容(時 間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No11	今日の 販売促 進	今日の販売促進は、他の手法と結びつくことで複合的な効果を生み出している。ここではブランディングやCSR、PR等とも密接に関わる今日的な販促手法を学ぶ。また、フレームワークに基いた販促企画プランの立案を試みる。		
		予習内 容(時 間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内 容(時 間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No12	広告の 歴史と 機能	近代的なマスメディアが存在しなかった江戸期の広告手法と、それらの今日的な共通点を考えることで広告の本質について理解する。また、「大量消費を促す」「メディアの経営を健全化する」「新たな欲求を作り出す」など、現代の広告の10の機能を理解する。さらには意外に知られていない広告と広報の違いについても考える。最後に、広告会社が提案した広告企画案を批判的に分析するディスカッションを行う。		
		予習内 容(時 間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分

		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No13	広告媒体とクリエイティブ	広告効果とメディアミックス、媒体(新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、交通・屋外、インターネット)の種類と特性について学ぶ。また、新たな媒体開発の考え方、広告表現のパターン、広告制作の実際など、広告ビジネスの実態についても触れる。最後に、二つのターゲットを想定したメディアミックス案を自ら考えるワークに取り組む。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No14	流通業のマーケティング	立地戦略、商品陳列、店頭販促、品揃え、価格戦略、商品開発(プライベートブランド)、物流戦略、ネット活用、業態開発など、流通業特有のマーケティング手法について、具体的な事例から学んでいく。身近な流通業だが、その背景にある課題や考え方を知ることで、店舗や商品への見方が変わってくる。最近行った店で、本講義で示した工夫が施されていた事例について議論する。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

 [前画面へ戻る](#)

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	人事測定	60%	◇参加姿勢およびコメントシートでの理解度(45%) ◇学習達成度の確認テスト(55%)		
	人事評価制度	10%			
	職場のストレス	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	◇授業進行により授業計画は一部変更の可能性があります ◇授業には教科書を必ず持参してください ◇毎回の授業では、コメントシートを必ず提出してください ◇授業中のスマートフォンの使用、私語等は禁止とします				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	イントロダクション	授業で扱うテーマの概要と位置づけ、授業の進め方等		
		予習内容(時間)	シラバスの確認	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No2	人事測定	職業適性とは、職業適性検査、ホルランドのRIASECモデル		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No3	人事測定	人の能力に関する理論、知能検査		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No4	人事測定	性格に関する理論、性格検査		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No5	人事測定	心理検査の標準化		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No6	人事測定	面接評価		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No7	人事測定	人事評価制度の概要		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No8	人事測定	職務行動の把握(コンピテンシー、360度評価)		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No9	人事測定	アセスメントセンター		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No10	職場のストレス	ストレス、職場のストレスを説明するモデル		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分

		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No11	職場のストレス	職場のストレス要因		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No12	職場のストレス	ストレス反応		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No13	職場のストレス	ストレス反応に影響を与える要因(個人要因、他者要因)		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No14	職場のストレス	組織的な対応		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	経営心理学 I B-C
講義名(英字)	Business Psychology I
担当教員	佐藤 恵美
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	経営心理学は、産業場面における人間の心理や行動を科学的視点から研究する学問である。経営や産業に関連する人間行動は、産業と消費という2つの側面から捉えることが可能である。これは具体的に、“労働”、“職業”、“集団・組織”、“販売・広告”、“購買・消費”の5領域に集約される。経営心理学 I では、職業適性と採用、労働を考えるワークモチベーション、集団と組織、組織でのコミュニケーション、仕事の能率と安全の観点から詳しく解説し、経営や産業場面における人間行動を科学的に理解することを目的とする。						
【到達目標】	職業適性とメンタルヘルス:「自分はどのような職業に向いているのか」という職業適性の概念を理解し、自分の能力・パーソナリティから職業適性を考え、企業に必要とされる人材像を理解する。さらに、産業場面における時間研究と動作研究から、心理的な時間感覚を理解し、人間の疲労や認知的エラーによって引き起こされるヒューマンエラーをなくし、作業現場での事故防止を考える。また、ストレスによるメンタルヘルスについて理解できるようにする。 ワークモチベーション:働くための動機づけに関する歴史的経緯から、科学的管理法、ホーソン研究、職務満足、プロセス理論を理解し、経営者の人間観と働く人のワークモチベーションを理解する。 組織行動:集団を形成し、組織に参加していく過程から、形成された組織・集団その内部に作り出す人間関係とコミュニケーション、コンフリクト、意思決定システムを理解する。						
【履修条件・受 講推奨者】	経営心理学 II も合わせて履修するのが望ましい。						
【教育方法】	対面による講義授業						
【指定教科書・ 参考資料等】	産業・組織心理学 ―経営とワークライフに生かそうー 2020年 山口裕幸・芳賀繁・高橋潔・竹村和久 有斐閣アルマ(経営心理学 II と同様)						
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力
	協働力		主張力	○	創造力		
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、	評価項目と割合				評価方法		
	定期試験				70		
	レポート				20		

単位修得要件)】	ホームワーク(毎授業の課題)		10	定期試験とレポート	
	合計		100%		
【その他の注意事項】	教科書は必ず持参すること。レポート等、提出物は必ず提出すること。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	経営心理学とは	心理学と産業・組織場面での心理学における歴史と概観		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No2	職業適性	能力の考え方、知能と職業との関係		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No3	仕事とパーソナリティ	パーソナリティの考え方と職場への適応		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No4	採用の総合評定	面接方法と面接評価の誤り		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No5	ワークモチベーションの内容理論	仕事への外発的動機づけと科学的管理法		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No6	組織コミットメント	仕事への内発的動機づけと職務満足		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No7	ワークモチベーションの過程理論	仕事への達成動機理論、期待理論、公正理論		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No8	仕事の安全と能率	仕事における時間・動作研究とヒューマンエラー		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No9	仕事の安全	不安全行動と安全文化		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
		職場の疲労とストレス	ストレス理論とレジリエンス		

	No10	予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No11	職場の快適性	職場のストレス要因とメンタルヘルスへの対処		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
		組織と行動	組織と集団、組織における分業とキャリア・コーン		
	No12	予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No13	職場の人間関係	職場の人間関係とコミュニケーション		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No14	組織の集団決定	組織におけるコンフリクトと意思決定		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	会計学 I BE-A
講義名(英字)	Accounting I
担当教員	石塚 一彌
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	企業活動に直接関係していない学生にとっては、理論としての会計学が実感としてはなじみの薄い学問となっている。このような会計学が“本来は”受講生に身近な領域であることを本講義を通じて感じてもらうことを最大の目標としたい。春学期は、まず、会計へのイメージづくりを眼目とし、会計の考え方(理論)を中心に、講義を進める。																						
【到達目標】	基礎的前提に関する知識の修得の有無 財務会計に関する基礎的な知識の修得の確認 財務会計に関する理解の深度の確認																						
【履修条件・受講推奨者】	◇ とくになし。																						
【教育方法】	担当教員が独自に作成した資料に基づいて講義を進める。かつ、授業中に適宜学生からの質問に対応して、講義中における履修者の理解を得ることを目標とする。																						
【指定教科書・参考資料等】	◇ 毎回レジュメを配付し、それに従って講義を行う。																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td></td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力		突破力		忍耐力	○	協働力		主張力		創造力			
自制力		思考力		突破力		忍耐力	○																
協働力		主張力		創造力																			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	授業への積極的な関与の度合い	30%	左記の評価項目を総合的に判断して履修者への評価とする。		
	予行試験の結果	30%			
	本試験の結果	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	◇毎回テーマの違うレジュメを受講者本人にのみ配付するので、毎回出席することが重要である。				
	週	テーマ	学習内容		
No1		オリエンテーション	会計の意義、特にその必要性について理解する。		
		予習内容(時間)	会計というものの存在意義をあらかじめ各自考えておく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	なぜ会計は人間社会において必要なのかその必然性について理解する。	1 2 0	分
No2		会計の役割・機能と基礎的前提	会計の役割・機能と、会計が成立する基礎的前提を理解する。		
		予習内容(時間)	会計の果たす役割・機能を各自があらかじめ考えておく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	会計の基本的な役割・機能と、会計が成立するための「あたりまえ:基礎的前提」について理解する。	1 2 0	分
No3		会計用語の概念整理と会社の活動	会計用語の基本的な用語の整理と会社の具体的な活動の分類について理解する。		
		予習内容(時間)	会計を学ぶ上で必要な用語について各自があらかじめ無作為に学んでおく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	会計特有の言い回しと会計の対象とする会社の具体的な活動を理解する。	1 2 0	分
No4		2つの会計情報	会計が会社の利害関係者にもたらす2つの情報(財政状態と経営成績)について理解する。		
		予習内容(時間)	利害関係者の知りたい2つの情報の意義をあらかじめ学んでおく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	会社の利害関係者が欲する、2つの会計情報の意味と関係について理解する。	1 2 0	分
No5		会計のルール(基準)	会計が機能するための一定のルール(一般に公正妥当と認められる企業会計の基準)について理解する。		
		予習内容(時間)	会計慣行上、収斂されてきた7つの一般原則の意義について、各自があらかじめ学んでおく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	会計のルールの基本となる7つの一般原則について理解する。	1 2 0	分
No6		経営成績の内容	会計のもたらす2つの情報のうち、「経営成績」の内容についての基本的な理解を得る。		
		予習内容(時間)	会計の基本となる会社の活動を示す経営成績の意義を各自が再考しておく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	会計情報としての「経営成績」を把握するための基本的な考え方を理解する。	1 2 0	分
		「収益」の具体的な内容	「経営成績」のうち、「収益」の具体的な事例について学ぶ。		

【授業計画】	No7	予習内容(時間)	会計理論上「収益」の基本的考え方を各自があらかじめ学んでおく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	会社の具体的な活動における「収益」のとらえ方(どのように会計情報として把握するか)を学ぶ。	1 2 0	分
	No8	財政状態の内容	会計のもたらす2つの情報のうち、「財政状態」の内容についての基本的な理解を得る。		
		予習内容(時間)	経営成績との関連において、財政状態の意義を各自が考えておく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	「財政状態」のうち、特に「資産」の内容について学ぶ。	1 2 0	分
	No9	資産の認識と測定	「資産」を構成する2つの資産(事業用資産と金融資産)の認識と測定について理解する。		
		予習内容(時間)	運用形態としての資産の意義を各自があらかじめ学んでおく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	事業用資産と金融資産で測定内容が異なる理由を理解し、特に事業用資産の費用に関する認識・測定について、具体的な事例にもとづいて理解する。	1 2 0	分
	No10	負債の認識と測定	「財政状態」の内容のうち、「負債」についての基本的な理解を得る。		
		予習内容(時間)	会社にとっての負債の意義を各自があらかじめ学んでおく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	典型的な「負債」である「買掛金」や「借入金」と会計特有の負債概念としての「引当金」について理解する。	1 2 0	分
	No11	資本の認識と測定	「財政状態」の内容のうち、「資本」についての基本的な理解を得る。		
		予習内容(時間)	会社にとっての資本の意義を各自があらかじめ学んでおく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	基本的な「資本」概念を理解するとともに、実際の制度において会社の利害関係者への対応上、「資本」がどのように扱われるかを学ぶ。	1 2 0	分
	No12	経過勘定項目	現金主義と発生主義の「橋渡しの機能」を有する4つの経過勘定項目の内容を理解する。		
		予習内容(時間)	会計理論の原則的考え方である発生主義と現金主義の意義を各自が再考しておく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	4つの経過勘定項目の「見越し」と「繰り延べ」の意味を理解する。	1 2 0	分
	No13	繰延資産と有価証券	会計特有の概念である「繰延資産」の内容を理解する。さらに、「有価証券」の意義と会計上の4分類について理解する。		
		予習内容(時間)	会計特有の概念である「繰延資産」と、実務上活用される「有価証券」の会計理論的意義、各自があらかじめ学んでおく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	擬制資産である繰延資産の意味と、有価証券の経済的意味、制度的意味との関係において会計上の4分類を理解する。	1 2 0	分
	No14	春学期のまとめ	春学期の会計のまとめとしてのチェックテストを実施し、履修者各自の会計への理解を深める。		
		予習内容(時間)	特になし。	0	分
		復習内容(時間)	チェックテストにおいて理解の足りなかった箇所の総復習を行う。	2 4 0	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	会計学 I BE-B
講義名(英字)	Accounting I
担当教員	土井 充
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	「会計学Ⅰ」および「会計学Ⅱ」を通じて、経営学科の諸科目を学修するための基礎となる、財務会計および管理会計などに関する入門的な領域を取り上げます。 株主など企業に経済的な利害関係を持っている外部の人たちに情報を提供するため、企業の経済活動を記録・計算・整理し、伝達するシステムを財務会計といいます。企業は、この記録・計算・整理・伝達を「会計基準」などの一定のルールに従って行っています。「会計学Ⅰ」では、この“ルール”とその背後にある基礎的な理論の理解を深めていきます。						
【到達目標】	複式簿記の基本ルールを正しく理解し、簿記一巡の手続きができること 財務会計に関する法制度や基準等を理解していること 損益計算・資産評価などが国の会計基準の特徴を理解していること						
【履修条件・受講推奨者】	本講義では、(1)宿題、(2)小テスト、(3)定期試験、および(4)出欠の確認を行います。予習・復習ができ、積極的に授業に参加する学生の履修を望みます。						
【教育方法】	本講義では、配布プリントを用いながら各テーマを説明し、必要に応じて、適宜ケースを用いながら理解を深めて行きます。						
【指定教科書・参考資料等】	・教科書: 使用せず。 ・参考書: 必要に応じて演習中に配付します。						
【実務IQ修得目	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力

【目標】	協働力		主張力		創造力		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法			
	複式簿記の基本ルールを正しく理解し、簿記一巡の手続きができること		30%	3分の2以上の出席を前提として試験60%、レポートないし小テスト40%で評価する。			
	財務会計に関する法制度や基準等を理解していること		30%				
	損益計算・資産評価などが国の会計基準の特徴を理解していること		40%				
	合計		100%				
【その他の注意事項】	特になし。						
【授業計画】	週	テーマ	学習内容				
	No1	1 ガイダンス	講義の概要、成績評価の説明、会計の意味				
		予習内容(時間)	シラバスを確認し、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。			120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。			120	分
	No2	会計の種類	財務会計の位置づけ				
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。			120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。			120	分
	No3	制度会計	財務会計への法規制、会計基準等、財務会計の機能				
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。			120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。			120	分
	No4	複式簿記の基本原理(1)	仕訳と転記のルール				
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。			120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。			120	分
	No5	複式簿記の基本原理(2)	貸借対照表と損益計算書の作成				
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。			120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。			120	分
	No6	貸借対照表の読み方	貸借対照表の様式				
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。			120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。			120	分
	No7	棚卸資産の会計	商品の取得原価、製品の製造原価				
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。			120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。			120	分
	No8	金融資産の会計	金融資産の種類、取得原価、期末評価				
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。			120	分

		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No9	有形固定資産の会計	有形固定資産の取得原価、減価償却		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No10	無形固定資産と繰延資産	無形固定資産の取得原価と償却、繰延資産の種類と資産性		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No11	損益計算書の読み方	損益計算書ならびに包括利益計算書の様式		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No12	期間損益計算の基本原則(1)	伝統的会計における損益計算の仕組み		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No13	期間損益計算の基本原則(2)	5ステップモデルによる収益認識方法		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No14	財務会計の目的とルール	投資意思決定に役立つ会計と利害調整に役立つ会計		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。これまでの講義のまとめを行う。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	会計学 I BE-C
講義名(英字)	Accounting I
担当教員	福山 倫基
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本講義では、会計学の基礎となる考え方やルールおよびその手法を学習します。前期では会計学の学問体系を、ゲームを活用したアクティブラーニングを主軸にして学んでもらいます。その中でも、財務会計領域の学習を進めていきます。本講義を通して、財務諸表を読めるようになったり、分析をすることができるようになることの基礎を学んでいただければ幸いです。前期・後期の講義を通して、会計学に対して興味関心を持って頂けるよう講義していこうと思います。							
【到達目標】	財務諸表を見てその会社の特徴を大まかに理解できるようになる 財務諸表を作成するために必要なルールを理解する 日本特有の利益計算や資産評価などに関するルールを理解する							
【履修条件・受 講推奨者】	講義の特性上、毎回の出席・講義時間中に行う演習をきちんと行える学生が望ましい。							
【教育方法】	毎回の講義で、講義を行った後に受講生に演習問題を解答してもらい解説を行う。また、反転講義も行う。初學者の場合は特に復習に重点を置いて講義を受けることを勧める。							
【指定教科書・ 参考資料等】	◇教科書：開講時に指示する。 ◇参考書：開講時に指示する。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】

評価項目と割合		評価方法
中間テスト	20	左記を合算して評価する。
期末試験	70	
会計教育に関するアンケート	10	
合計	100%	

【その他の注意事項】

他者に迷惑となる行為（私語等）は厳に禁止する。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。

週	テーマ	学習内容		
No1	ガイダンス	講義の進め方および成績評価方法についての説明、大学における経営科目の学習の意義や会計を学ぶ意義、並びに簿記の目的・意義なども併せて講義する。初回講義において、講義の概要や成績評価などに関して受講生との合意を図るため、受講を予定している学生は必ず出席すること。		
	予習内容(時間)	シラバスを読んでくること	120	分
	復習内容(時間)	今回の講義のノートをとめる	120	分
No2	経営シミュレーション1	担当教員が作成した経営シミュレーションゲーム上で生じた儲けの金額を自分のルールで記録する		
	予習内容(時間)	前回講義のノートを振り返る	120	分
	復習内容(時間)	ゲームで得た内容の振り返り	120	分
No3	経営シミュレーション2	担当教員が作成した経営シミュレーションゲーム上で生じた儲けの金額を複式簿記ないし会計のルールで記録する。このことを通して経営活動を数値から解釈するには会計の知識が必要なことを認識する。		
	予習内容(時間)	前回のゲームの振り返り	120	分
	復習内容(時間)	今回の講義で得た知見をノートにまとめる	120	分
No4	財務諸表の読み方基礎編	もっとも簡単な財務諸表の読み方を学ぶことで、おおまかな企業の特徴のとらえ方を学習していきます。今回の講義で学習することだけでも社会に出るときに役立つ知識を得ることができるので、演習はしっかり行うこと。		
	予習内容(時間)	前回までの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	講義時間中に覚えるべきと強調した部分と演習内容をまとめる	120	分
No5	財務諸表を作成するためのルール1	財務諸表を作成するための様々な原則を学習していく。この会では、財務会計のルールが法制度をベースに作られている制度会計の側面を学習していく。		
	予習内容(時間)	前回講義までに行った内容の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	この回からノートする部分が多いのでノートをとめる	120	分
No6	財務諸表を作成するためのルール2	貸借対照表を作成するうえでおおまかなルールを学習する。特に、貸借対照表では資金調達と資金投下の関係を記録することで企業の財政状態を明らかにするものであるため、そのことを記録するための手段と、貸借対照表の読み解き方を学習すること。		
	予習内容(時間)	前回講義までに行った内容の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	講義中に行ったノートをとめる	120	分
	財務諸表を作成するためのルール3	損益計算書を作成するうえでおおまかなルールを学習する。特に、損益計算書では営業活動における努力とその成果を記録することで企業の経営成績を明らかにするものであるため、そのことを記録するための手段と、損益計算書の読み解き方を学習すること。		

【授業計画】	No7	予習内容(時間)	今までの講義内容の復習	120	分
		復習内容(時間)	講義中行ったノートをまとめる	120	分
	No8	中間試験	これまで行った講義内容の試験を実施.		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	200	分
		復習内容(時間)	中間試験内容の振り返り	120	分
	No9	貸借対照表に関する特別なルール1	棚卸資産・金融資産・有形固定資産・無形固定資産と繰延資産に関して学習する. 特に棚卸資産部分における原価配分は, 今後会計を学習していくなかで複数回似た考えが出てくるため特に力を入れる.		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義ノートの作成	120	分
	No10	貸借対照表に関する特別なルール2	引き続き棚卸資産・金融資産・有形固定資産・無形固定資産と繰延資産に関して学習する. 今回は固定資産の中の減損会計における事例を中心に説明をしていく. このことを通して大学講義における事例研究の仕方も学習すること.		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義ノートの作成	120	分
	No11	損益計算書に関する特別なルール1	収益・費用認識について, 特に費用の認識基準といった, 経営活動の流れの中でどのタイミングで費用を計上すればいいかを学習する.		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義ノートの作成	120	分
	No12	損益計算書に関する特別なルール2	収益・費用認識について, 特に収益の認識基準について講義する. 収益の認識基準は費用の認識の例外事項が多いため, ケースに応じた認識基準を設定できるように学習を進めること.		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義ノートの作成	120	分
	No13	財務諸表を分析する	前期最後の内容として財務諸表分析について講義する. どのような観点で財務諸表は分析すべきか, また, 分析を行うためのツールにどのようなものがあるか, その使い方はどうすればよいか述べていく.		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義ノートの作成	120	分
	No14	前期総括	前期の総括と, 前期講義を受けた受けて会计学, 特に財務会計に興味を持った場合, 次年度以降にどのような学習の計画を立てればよいかも述べていく.		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	前期内容の復習	300	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	会計学 I BE-D
講義名(英字)	Accounting I
担当教員	光澤 美芽
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本講義は、会計学の全般的な知識を習得するため、財務会計、管理会計、財務分析、財務諸表監査等の各分野に関する基礎概念について取り扱う。春(前)期の「会計学Ⅰ」と秋(後)期の「会計学Ⅱ」は連続講義である。 具体的には、まず「会計学Ⅰ」では、会計学の基礎となる複式簿記の基本ルールを学習し、会計の意義や種類、機能、役割について学ぶ。そのうえで、財務諸表が提供している会計情報の意味を理解することを第一の目標とする。すなわち財務会計分野が中心となる。また、国際的に統一された会計基準であるIFRSの概要についても触れる。 さらに「会計学Ⅱ」では、提供された会計情報は、立場の異なる利用者によりどのように活用されるのかといった、財務諸表の読み方などについて学習する。連結会計や税務会計なども含め、発展的な内容を学習する。
【到達目標】	【簿記・会計に関する専門用語を正しく理解し、説明できる】 会計の意義、会計の種類、会計に関する基礎的な用語や概念を理解し、会計の役割や機能を説明できること。 【複式簿記の基本ルールを正しく理解し、簿記一巡の手続きと財務諸表の関係を理解する】 仕訳のルール、損益計算書や貸借対照表の意義および構造を理解し、説明ができること。 【財務3票の意義と役割を理解し、説明できる】 財務会計分野で作成・利用される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書の3つの財務諸表が提供している情報の意義と、その役割について理解し、説明できること。また、それらの作成に係る具体的な会計手続きや、その背景にある会計理論について理解していること。加えてIFRSの意義を理解し、説明できること。
【履修条件・受講推奨者】	本講義は「会計学Ⅰ」と「会計学Ⅱ」を連続して履修することを条件とする。
【教育方法】	以下に指定する教科書に従い、講義形式によりPP(パワーポイント)を用いて解説を行う。
【指定教科書・参考資料等】	中尾篤史著『会計の基本教科書』日本能率協会マネジメントセンター(¥2,200)

【実務IQ修得目標】	自制力			思考力	○	突破力		忍耐力	
	協働力			主張力		創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法	
	簿記・会計に関する専門用語を正しく理解し、説明できる	20%	授業内に行う確認テスト(小テスト)65%、本試験35%により総合的に判断。「出席点」は設定しない。ただし、全講義回数数の2/3以上の出席が、成績評価の対象となる条件となる。	
	複式簿記の基本ルールを正しく理解し、簿記一巡の手続きと財務諸表の関係を理解する	20%		
	財務3表の意義と役割について理解し、説明できる	60%		
	合計	100%		

【その他の注意事項】	他者に迷惑となる行為(私語等)は厳に禁止する。携帯電話の使用(メール・ウェブの閲覧も含む)も不可とする。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンスおよびイントロダクション	授業内容、講義の進め方、成績評価などについて。 企業会計の仕組みと役立ち、会計学の諸領域について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No2	会計の意義と役割(1)	企業会計の流れと財務諸表の関係、会計の基礎構造について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No3	会計の意義と役割(2)	企業会計に対する法規制とその目的、会計の概念、国際財務報告基準について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No4	財務諸表監査	監査とは、監査の種類と目的、監査報告書と監査意見について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No5	複式簿記の基礎原理(1)	複式簿記の原理、貸借平均の原理、損益計算の仕組み、簿記一巡の手続きについて。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No6	複式簿記の基礎原理(2)	仕訳帳と元帳、試算表と精算表、決算整理、費用・収益の見越し・繰延べについて。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No7	財務会計の損益計算書(1)	財務3表、損益計算書等式、発生主義と3つの原則、収入と収益、売り上げの認識時点について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No8	財務会計の損益計算書(2)	支出と費用、売上原価の認識と計上、原価配分、税効果会計の基本について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
		財務会計の貸借対照表(1)	貸借対照表の意義と構成要素、資産・負債の区分と基準、有価証券の分類と期末評価、棚卸資産の評		

	No9		価について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No10	財務会計の貸借対照表(2)	経過勘定、有形固定資産の意義、減価償却、減損、無形固定資産の意義、知的財産、のれん、ソフトウェア、繰延資産について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
		財務会計の貸借対照表(3)	負債の概念と意義、引当金、純資産の概念、利益剰余金の処理、自己株式の扱い、株主資本等変動計算について。		
	No11	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
		財務会計のキャッシュ・フロー計算書	キャッシュ・フローとは、キャッシュ・フロー計算書の意義、キャッシュ・フロー計算書の表示区分、フリー・キャッシュ・フローについて。		
	No12	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No13	国際財務報告基準(1)	IFRSとは、IFRSの意義、IFRSの特徴について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No14	国際財務報告基準(2)	IFRS導入の影響について。 および春(前)期の総復習。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	ミクロ経済学 B-A
講義名(英字)	Micro-economics
担当教員	清水 良樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	ミクロ経済学が(合理的行動の原理や数学モデルを使って)導き出す結論の多くは、常識の範囲内で納得できるものが多いです。では、なぜそんな回りくどい分析をするのか。それは、私たちの議論に、大きな見落としや、論理の穴がないかをチェックする有効な方法だからです。社会問題を常識的判断によって論ずると、往々にして議論が感情的になり、望ましくない結論に陥ることがあります。人々の利害に密接に関わる経済問題であれば、これは大きな損害になりえます。個々の経済主体にとって最適化を図る手段を提供すること。これがミクロ経済学の一つの大きな役割です。							
【到達目標】	ミクロ経済理論を習得。 最適化を図ることができる。 戦略を立てることができる。							
【履修条件・受 講推奨者】	経済学Ⅰ・Ⅱ(マクロ経済学)とセットで履修することが望ましい。							
【教育方法】	講義形式が中心。 教科書に沿って講義を進める。 グーグルクラスルームを利用。講義で使用するレジュメや確認テストなどはグーグルクラスルームにアップロードされる。 履修者の理解度を測るために、確認テスト(フォーマットはグーグルフォーム)を実施。							
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書:神取道宏(2014)『ミクロ経済学の力』日本評論社。* 電子版の購入をお勧めする。 参考書:講義の中で適宜指示する。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力			
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法	評価項目と割合		評価方法					
	定期試験	40%						
	確認テスト(および課題)の累	60%						

単位修得要件】	積点(100点満点換算)		定期試験と各回に予定されている確認テスト(課題)の累積得点により総合的に判断して成績を評価する。正当な理由のない欠席を5回以上した者は単位取得を認めない。				
	合計	100%					
【その他の注意事項】	経済の動向を勘案して授業計画を変更することがある。 課題の提出期限等のスケジュール管理を徹底すること。 他者に迷惑をかける行為(私語など)は慎むこと。						
【授業計画】	週	テーマ	学習内容				
	No1	ガイダンス	講義概要、評価方法についての説明。 シラバスの確認。 最小限必要な数学の解説。				
		予習内容(時間)	教科書に目を通す。			120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。			120	分
	No2	消費者行動の理論	合理的行動(選好と効用関数)。 無差別曲線の仕組みを理解する。 最適消費量はどのように決まるのか。				
		予習内容(時間)	教科書に目を通す。			120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。			120	分
	No3	限界分析	消費の微調整と効用の変化(限界効用)。 限界代替率を理解する。 最適消費の条件を理解する。 所得の変化と消費の変化。				
		予習内容(時間)	教科書に目を通す。			120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。			120	分
	No4	所得効果と代替効果	消費の二面性(双対性)。 価格変化と需要の変化(スルツキー分解)。 価格弾力性。				
		予習内容(時間)	教科書に目を通す。			120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。			120	分
	No5	企業行動の理論	生産要素が一つ(労働)の場合の企業行動。 生産関数。 完全競争状態を理解する。 利潤最大化点の求め方。				
		予習内容(時間)	現金以外の決済方法について調べる。			120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。			120	分
	No6	費用	費用と供給量の関係。 損益分岐価格を理解する。 操業停止価格を理解する。				
		予習内容(時間)	教科書に目を通す。			120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。			120	分
	No7	生産要素が二つ(労働と資本)の場合の企業行動	技術的限界代替率逓減の法則を理解する。 コスト最小点の求め方。 利潤最大化点を理解する。 長期の費用関数と供給曲線。				
		予習内容(時間)	教科書に目を通す。			120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。			120	分
	No8	市場均衡	部分均衡分析。 産業の長期均衡。 消費者余剰と生産者余剰。 間接税の非効率性を理解する。 一般均衡分析。 一般均衡モデルを理解する。				
		予習内容(時間)	教科書に目を通す。			120	分

		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No9	市場の失敗	ビグー税・補助金の問題点。 コースの定理を理解する。 公共財の最適供給。 リンダール均衡を理解する。		
		予習内容(時間)	教科書に目を通す。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No10	独占	独占企業の最適生産(利潤最大化)条件。 独占の弊害を理解する。 自然独占と価格規制。		
		予習内容(時間)	教科書に目を通す。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No11	ゲーム理論①	同時手番のゲームとナッシュ均衡。 ゲーム理論を使った寡占(かせん)市場の分析。 混合戦略均衡とナッシュ均衡の違い。		
		予習内容(時間)	教科書に目を通す。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No12	ゲーム理論②	時間を通じたゲーム。 部分ゲーム完全均衡。 シュタッケルベルク・モデルを理解する。 コミットメントがもつ効果。 長期的関係と協調。		
		予習内容(時間)	教科書に目を通す。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No13	効率的な危険分担の理論	パレート効率的な危険分担。 モラルハザードとその対策。 逆淘汰とシグナリング。		
		予習内容(時間)	教科書に目を通す。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分
	No14	保険	大数の法則。 保険の仕組みを理解する。		
		予習内容(時間)	教科書に目を通す。	120	分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	会社法 I BE-A
講義名(英字)	Corporate Law I
担当教員	隅田 浩司
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	皆さんが就職をするにせよ、起業をするにせよ、会社法の知識は不可欠です。この講義では、会社法に関するさまざまな事件を取り上げて、会社法とは何か、そして会社法を使いこなしてビジネスをするにはどうしたらよいのか、について学びます。 会社法をきちんと理解しておく、ビジネスのあらゆる場面で役に立ちます。株式会社の『株式』とは何か、株主になるとどんなメリットとリスクがあるのか、もし会社の取締役になるとどんな責任を問われるのかといった経営において大切な知識が身につきます。
【到達目標】	会社法の全体構造を把握した上で、株式会社の基本的な仕組み、組織体制と会社法の関係について理解することができる コーポレート・ガバナンス(企業統治)について、会社法の重要論点の内容を理解することができる 会社法のうち、コーポレート・ガバナンスについて、新しい論点に対して、どのように考え、課題を解決すべきかについて、会社法の解釈・方法論に基づく課題解決ができる
【履修条件・受 講推奨者】	特になし。会社法は、ビジネスの基本となる法律なので、全学生の履修を推奨する。
【教育方法】	講義形式、ただし、講義中に行うQ&Aスタイルのオンライン投票システム(クリッカー)を使用する。また、対面形式の講義開催の場合は、受講生同士のディスカッションを行う場合がある。
【指定教科書・ 参考資料等】	1 指定教科書(購入すること) 中東 正文(著)、白井 正和(著)、北川 徹(著)、福島 洋尚(著)『会社法[第2版](有斐閣ストウディア)』有斐閣; 第2版(2021/4/1) 978-4641150843 2 参考書 田中 亘『会社法 第2版』東京大学出版会 2021 978-4130323895 神作 裕之(編集)、藤田 友敬(編集)、加藤 貴仁(編集)『会社法判例百選[第4版](別冊ジュリスト)』有斐閣; 第4版(2021/9/15) 978-4641115545

【実務IQ修得目標】	自制力		思考力		○	突破力		忍耐力	
	協働力		○	主張力		○	創造力		○

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法			
	会社法の論点を正確に理解しているかどうか		60%	学期末に行われる試験において評価項目の達成度合いを測定する。ただし講義中における質疑、及び発言等について、高い評価に値する者についてはこれを数値化し、学期末の試験結果にプラスする。		
	会社法がビジネスにおいてどのような影響を及ぼしているかについて理解しているかどうか		20%			
	何らかの会社法に関連する問題を見つけたとき、それが会社法のどの領域の問題なのか、自ら発見することができるか		20%			
	合計		100%			

【その他の注意事項】	予習については、教科書の該当ページを示すので、講義前に読了し、何が論点となっているのかおよび、教科書に記載されている関係条文を調べて上で受講すること。				

	週	テーマ	学習内容		
	No1	会社法への招待	会社法とは何か、その全体構造を掴み、会社法がビジネスに果たしている役割について講義する。		
		予習内容(時間)	教科書1から6頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	120	分
	No2	会社法の存在意義	会社法は、なぜ必要なのか、その存在意義について、株式会社の誕生の経緯、会社におけるリスク分散、資金の集約と投資のメカニズムについて説明する。		
		予習内容(時間)	教科書8から14頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	120	分
	No3	株主の存在意義	株式とは、会社を所有しているのか、株主は株式会社の命運、全てを管理しているのか、株主有限責任とは何か、所有と経営の分離とはどのような意味があるのか、など株主に関する基礎理論を説明する。		
		予習内容(時間)	教科書15頁から20頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	180	分
	No4	株式会社の機関設計	株式会社のコーポレート・ガバナンス(企業統治)について、現在、会社法が設定する期間設計について、その基礎理論を学び、各機関がどのような役割を期待されているのか、そのメカニズムについて説明する。		
		予習内容(時間)	教科書21頁から26頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	180	分
	No5	株主総会：招集	株主総会の招集手続きについて、その基礎的な内容を学び、さらに、招集に際して実際に裁判などで問題となった事件、事例を取り上げ、その中で争点となった論点について解説する。		
		予習内容(時間)	教科書27から37頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	180	分
	No6	株主総会：議決権	株主総会の議決権行使について、その基礎的な内容を学び、さらに、議決権行使に際して実際に裁判などで問題となった事件、事例を取り上げ、その中で争点となった論点について解説する。		
		予習内容(時間)	教科書38から50頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	180	分

【授業計画】

	No7	株主総会:決議の瑕疵	株主総会における決議について、その基礎的な内容を学び、さらに、決議の瑕疵に際して実際に裁判などで問題となった事件、事例を取り上げ、その中で争点となった論点について解説する。		
		予習内容(時間)	教科書51から61頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	180	分
	No8	株主総会のまとめ	株主総会に関する総括的な講義を行う、さらに、最新の株主総会の実務の動向や論点について解説する。		
		予習内容(時間)	教科書1から61頁を再度、読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	180	分
	No9	取締役・取締役会の基礎	取締役、取締役会の意義と機能について解説する。取締役の日常の業務内容など、取締役と従業員の相違点について説明する。		
		予習内容(時間)	教科書62頁から77頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	180	分
	No10	代表取締役	代表取締役について説明する、その基本的な役割、業務執行に関する会社法の論点を整理する。		
		予習内容(時間)	教科書78頁から100頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	180	分
	No11	監査役・監査法人	監査役・監査法人についてその基礎的な内容を説明した上で、監査役・監査法人の意義、その機能について論点を整理する。なおくわえて、機関設計における相互のチェックアンドバランスそして、ガバナンスにおける監査、監督の意義について検討する。		
		予習内容(時間)	教科書101から110頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	180	分
	No12	役員の責任	役員の責任についてその基本的な内容そして、総論に関する法的論点、過去に問題になった事例などを解説する。		
		予習内容(時間)	教科書121から133頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	180	分
	No13	役員の第三者に対する責任など	取締役ら、役員が会社のみならず、第三者に損害を与える場合もある。このような役員に対する責任追及、そして責任追及とD&O保険の存在意義について解説する。		
		予習内容(時間)	教科書134から138頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	180	分
	No14	株式の基礎理論	株式会社において、不可欠となる株式について、その基礎的な内容について解説する。株式に関して、特にコーポレート・ガバナンス上、重要となる論点を取り上げる。		
		予習内容(時間)	教科書140から148頁を読み、論点を確認した上で、教科書に記載されている関係条文を調べておくこと	70	分
		復習内容(時間)	講義で取り上げた論点の学習、関連判例などの調査をおこなうこと	180	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	民法 I BE-A
講義名(英字)	Civil Law I
担当教員	長岐 郁也
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	民法典は、私人間の権利関係や身分関係について規定する法律である。また、私人間で生じたトラブルを解決するための規範でもある。この科目では、民法における財産法（総則・物権・債権）について具体的事例を挙げて説明し、権利の調整がどのように行われているかを理解することを意図している。							
【到達目標】	民法に定められる諸制度の基礎的理解を図る 法的思考を身に付けること 自らの考えを論理的に構成できる							
【履修条件・受 講推奨者】	法学Ⅰ及びⅡを受講していることが望ましい。							
【教育方法】	私法の一般法である民法は日常生活に関わる法律上のルールの多くを担っており、身近に感じることのできるルールもあれば、理解が難しいルールも存在する。こうしたルールについて、判例や学説などを用いて学習を進めていくこととなるが、民法の対象範囲は広範に及ぶため、まずはルールの概要を抑えることができるためにレジュメを作成し、教科書と併せて学習に利用することで理解の促進に役立てるものとする。							
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書：松久三四彦・遠山純宏弘・林誠司『オリエンテーション民法』〔第2版〕（有斐閣、2022年）							
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	定期試験	100%	定期試験の成績をもってすべて評価する。		
	合計	100%			
【その他の注意事項】	私語は厳禁とする。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	民法及び財産法について	民法全体と財産法の役割について学習します。		
		予習内容(時間)	第1部(p.1～32)、第1章(p.33～46)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No2	能力制度及び法人について	民法に定められる能力制度と人について学習する。		
		予習内容(時間)	第2章(p.47～84)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No3	契約の成立について	契約の成立と消費者の保護について学習する。		
		予習内容(時間)	第3章(p.85～122)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No4	契約の効力と債権の消滅について	契約の分類と債権の消滅について学習する。		
		予習内容(時間)	第4章(p.123～156)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No5	債務不履行について	債務不履行の類型とその救済について学習する。		
		予習内容(時間)	第5章(p.157～180)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No6	契約不適合について	契約不適合責任と債務不履行の関わる制度について学習する。		
		予習内容(時間)	第5章(p.181～196)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No7	債権回収について	責任財産保全のための債権者代位権と詐害行為取消権について学習する。		
		予習内容(時間)	第6章(p.197～205)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No8	担保制度について	人的担保について学習する。		
		予習内容(時間)	第6章(p.206～216)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No9	担保制度について	物的担保について学習する。		
		予習内容(時間)	第6章(p.217～234)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No10	物権総論について	物権の概括と物権的請求権について学習する。		
		予習内容(時間)	第7章(p.235～246)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分

	No11	物権変動について	物権変動と即時取得について学習する。		
		予習内容(時間)	第7章(p.247～269)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No12	時効制度について	取得時効と相隣関係について学習する。		
		予習内容(時間)	第7章(p.269～274)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No13	一般的不法行為について	一般的不法行為の成立要件と効果及び消滅時効について学習する。		
		予習内容(時間)	第8章(p.275～298)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No14	特殊的不法行為について	特殊的不法行為について学習する。		
		予習内容(時間)	第8章(p.299～314)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	財務会計論 I B-A
講義名(英字)	Financial Accounting I
担当教員	小森 秀人
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	財務会計は、企業外部に報告するための会計である。外部に報告する以上、企業によって異なる勝手な基準で作った数字を勝手な表示で報告されては、外部はこまる。故に財務会計には明確なルールがありそれによって作成・情報開示・報告するわけである。財務会計の報告数字は、企業の戦略と活動の結果である。故に、この数字を通して自社やG会社、顧客企業・潜在顧客企業、投資先企業等とその活動を把握し理解することも、分析することもできる。故に現代では、ビジネスマンの基礎インフラといわれる。学生の皆さんは、これを学ぶことによって、卒業後に、グローバル化し行く現代と未来において、必要な社会人としての基礎的力を身につけることになる。講義は、世界の代表的金融機関と日本の事業会社財務部門での双方(企業内外からの視点)の実務経験をふまえ、わかりやすく楽しく、事例を交えながら実践的に理解を深めるべく務めたい。 (必要な場合、参考として英語表記も紹介する)
【到達目標】	1. 経営と財務会計の関係、財務諸表の意味・体系とルール・法制度の理解 2. 企業活動と B/S の関係、B/S の構成と主たる科目、資産と負債、純資産の本質理解 企業活動と P/L の関係、段階利益の意味、段階費用の意味、以上の理解、収益費用の認識測定の基本の理解 B/SとP/Lの関係の基本理解 3. ビジネスの結論としての純資産と時価総額の意味、外貨換算・リースの基本、会計方針、注記、株主総会、定款の基本理解
【履修条件・受講推奨者】	◇「入門簿記Ⅰ」および「入門簿記Ⅱ」を履修した学生、または「入門簿記Ⅰ」と「会計学Ⅰ」、「会計学Ⅱ」(または「経営学」)を履修した学生を対象とする。 ◇ 本講義は、「財務会計論Ⅰ」と「財務会計論Ⅱ」を連続して履修することを条件。 将来社会人(就職、起業含め)として、グローバルな社会で生き延びる力の1つの基礎知識インフラを身につけたい学生、さらに将来資格(税理士、公認会計士、証券アナリスト、中小企業診断士等)をとることに興味や関心がある学生—従って出席を重視する。
【教育方法】	毎回作成したPPテキスト資料を配布し、それによって講義する。事例として実際の企業のB/S、P/L等も配布して活用する。(なお、今後学生の皆さんはグローバルな地球環境の舞台であるので、必要な場合、参考として英語の表記も紹介する) 又必要な場合、リーディングテキスト、ネットや本等からの情報収集・学習も指示する。 全体として、わかりやすく、楽しく、産業界の事例や実務体験も紹介し刺激も与えつつ、実践的な理解に努めたい。
【指定教科書・参考資料等】	◇ リーディングテキスト『会計学入門(第5版)』日経文庫、桜井久勝 クラスでは毎回PPテキスト資料を配布し、それを使用して講義する。必要に応じて他の参考資料も配布する。 更に関心を持ち深く学びたい受講生に、必要な場合、参考としての本の紹介や、ネット検索も指示する

【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法	
	上記到達目標1	20%	平常点10% 試験90% 単位評価は2/3以上の出席が前提 (病氣入院等の正式な欠席届け一医者の証明書付き、及び4年生の就職面接での正式な届け・報告があれば配慮する)	
	上記到達目標2	60%		
	上記到達目標3	20%		
	合計	100%		

【その他の注意事項】	◇ 授業中、私語、携帯電話の使用(メール、ウエブ閲覧含む)は厳禁。	
	注意しても聞かない悪質な場合は退場の処置をとることを留意されたい(退場が重なると大変残念ではあるが単位は付与されないことになるので注意されたい)	
	尚、下記授業計画は、受講生の状況によっては、取捨選択、基本知識導入、前後調整等あることも了解されたい	

	週	テーマ	学習内容			
	No1	授業の全体概要の紹介と確認 会計とは何か	シラバスの確認ー講義の概要、授業計画と内容、単位評価の方法等 会計とは何か			
		予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連個所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習		120	分
		復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)		120	分
	No2	企業会計とは何か 財務会計とは何か 財務諸表とは何か	企業会計とは一財務会計と管理会計、 財務会計とは何かー法制度含め。会計の発展史、 現代のビジネスマンを規制する法律とは一明治以降の資本主義の発展と欧米からの法律の導入と背景 一商法と証券取引法、 財務諸表とは何か、 3つの財務諸表と報告先及びそのルール(法制度)			
		予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連個所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習		120	分
		復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)		120	分
	No3	財務諸表の体系 制度会計とは 中国とベトナムの財務諸表の体系 バランスシート(「貸借対照表」とは何か	財務諸表の体系と法制度 制度会計とは、 日本の税務会計と米国との違い 日本の法人税算定の基本ー当期純利益と課税所得は違う 参考) 中国の財務諸表の体系 ベトナムの財務諸表の体系 バランスシート(貸借対照表)とは何かービジネスの流れとバランスシート 英語表記の紹介			
		予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連個所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習		120	分
		復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)		120	分
	No4	企業活動とバランスシート(B/S) B/Sの全体構成 資産1 流動資産とは	B/Sの全体構成 流動資産と固定資産を分ける基準は？ 流動資産とは？ その主たる科目とは、その他とは 本業とは何かー一定款 製品と商品はどう違う 半製品と仕掛品の違いとは 参考)建設業会計の表示科目			
		予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連個所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習		120	分

【授業計画】

		復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)	120	分
	No5	資産2 固定資産とは 貸倒引当金	補足) 割引手形と手形の不渡り 固定資産とは? 有形固定資産と無形固定資産を分ける基準は? 投資その他の資産の位置は? 有形固定資産の中身(主たる科目) 無形固定資産の中身(主たる科目) 暖簾(営業権)とは何か—M&A(企業買収)の事例で解説 投資その他の資産の中身(主たる科目) 企業保有の絵画、彫刻は、どこへ表示? 生物(樹木、家畜)はどこへ? 貸倒引当金とは何か? 債権区分と貸倒引当金の算定 補論)債務者区分と銀行の内部格付け(スコアリング)—貸出金利が決まる		
		予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連個所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習	120	分
		復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)	120	分
	No6	減価償却とは 有形固定資産 無形固定資産	補足) 金融資産—金銭債権の評価 減価償却とは何か 有形固定資産の減価償却の目的、 原価配分の基準—耐用年数と利用度 計算方法 その事例 補論) 減耗資産と生物 無形固定資産の償却。計算方法 事例—暖簾の償却—ソニーのコロムビアピクチャーの買収		
		予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連個所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習	120	分
		復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)	120	分
	No7	負債と何か 純資産とは何か	負債とは、流動負債と固定負債を分ける基準は? 流動負債の中身(主たる科目) 固定負債の中身(主たる科目) 補足) 3年間保有する在庫は流動資産? 固定資産? 純資産とは何か 純資産の構成 株主資本の中身—出資分と利益留保 自己株式 その他評価換算差額とは		
		予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連個所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習	120	分
		復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)	120	分
	No8	事例—企業のB/S P/L1 P/Lとは何か	補足) 新株予約権とは何か? 補論) 借地権とは何か? 事例—企業のB/Sをみてみよう P/Lとは何か? 企業活動とP/L 営業利益とは何か 経常利益の意味—欧米には経常利益という概念はない 1国の経済発展と金融の型 幕末から明治—欧州からの銀行制度の導入 英国と欧州(フランス、ドイツ)の資本主義、米国型		
		予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連個所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習	120	分
		復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)	120	分
		P/L2 段階利益と費用 売上・費用の認識計上	段階利益の意味 事例—三菱商事の事例、アサヒビール事例 小売業のマーチャンダイジング力とは、 事例 ダイエーとヨーカードー 各段階費用、(包括利益) 製造原価と売上原価の関係		

	No9	事例一企業のP/L	売上・収益の認識計上 費用の認識計上 事例一企業のP/Lをみてみよう		
		予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連箇所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習	120	分
		復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)	120	分
	No10	B/SとP/Lの関係 時価総額ランキング 会計方針 注記事項と注記表	継続する事業・企業活動と決算 継続企業の前提とは B/SとP/Lはどこでつながっているか？ 時価会計導入の流れー再度評価換算差額の意味 ビジネスの結論としての純資産一時価総額の意味 日本の企業時価総額ランキング 世界の企業時価総額ランキングの変遷 会計方針とは何か 注記事項と注記表		
		予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連箇所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習	120	分
		復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)	120	分
	No11	外貨での取引の会計1	外国為替市場とは何かーインターバンク市場と対顧客市場 世界の通貨売買高一通貨別ランキングと国別ランキング 通貨発行高国別ランキング 為替相場(レート)とは、何か 各種の為替レート 企業へ適用の為替レート、個人への現金売買の為替レート 参考)事業計画と為替レート 外貨での取引の円への3つの換算レート		
		予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連箇所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習	120	分
		復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)	120	分
	No12	外貨での取引の会計2	外貨建て取引とはなにか 3つの時点の為替レートと適用される対象 取引発生時、決済時、決算時の各為替レート 取引事例ー外貨での輸出契約、外貨での輸入契約と為替の差損・差益 企業や個人の実務上の為替レートとは？ 在外支店の決算時の円への換算レート 在外子会社の決算時の円への換算レート		
		予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連箇所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習	120	分
		復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)	120	分
	No13	補論)為替制度 日本、中国、ベトナム リース取引の会計	補論)1国の為替制度の種類と各国の選択状況 中国の為替管理制度 ベトナムの為替管理制度 リースの仕組み ファイナンスリース取引とオペレーティングリース取引 各リース取引の会計処理ー事例で解説 オンバランスとオフバランス ファイナンスリースの分類 リース料の内訳 リースのメリット、デメリット 補論)リースの発展と日本産業界への導入		
		予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連箇所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習	120	分
		復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)	120	分
		計算書類と株主総会 株式会社の機関設計	補足)製造業の会計ー製造原価報告書と事例、科目の中身詳細 計算書類と株主総会 株主の権利と株主総会の決議内容 決算から株主総会までの流れ、決算公告等		

	No14	大会社とは、株式会社の機関設計 監査役とは何か		
	予習内容(時間)	入門簿記、会計学、経営学の関連箇所やテーマ関連でリーディングテキスト、ネット検索や参考書籍等で学習	120	分
	復習内容(時間)	配布したPPテキスト資料と筆記の内容、リーディングテキスト(さらに興味持てばネット検索や参考書等で情報収集し深く学習)	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	管理会計論 I BE-A
講義名(英字)	Management Accounting I
担当教員	福山 倫基
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	管理会計とは、組織管理・経営企画等に不可欠な経営情報を提供する理論と技術であると言えます。したがって、管理会計の学習にあたっては、単に数値情報を算出するだけでなく、組織実践との関係で、経営管理とは何であるか、数値情報をどのように経営管理に用いるかについて理解する必要があります。その中で春学期は、企業がどのような数的根拠を用いて、利益最大化を常に達成し続けるための業績評価を行っているかといった、業績評価に関するテーマを学習します。 講義は、解説→演習の流れで行い、講義毎のテーマが講義中に理解できるよう進めていきます。							
【到達目標】	管理会計が企業の存続に貢献する目的である、「利益の最大化」に対してどのような貢献を果たすか理解すること 標準原価計算をベースにした原価管理について理解すること 直接原価計算を用いた経営計画の手法を理解すること							
【履修条件・受講推奨者】	第1回目ガイダンスの説明に記載の履修要件を必ず確認すること。ここには書ききれない							
【教育方法】	毎回の講義で、講義を行った後に受講生に演習問題を解答してもらい解説を行う。また、反転講義も行う。初学者の場合は特に復習に重点を置いて講義を受けることを勧める。							
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書：開講時に指示する。 ◇参考書：開講時に指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	中間試験	20%	左記を合算して評価する。		
	期末試験	70%			
	会計教育に関するアンケート	10%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	他者に迷惑となる行為(私語等)は厳に禁止する。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス	講義の進め方および成績評価方法についての説明、管理会計は、工業簿記で関連の経営情報を作成することを応用したものであるともいえる。そのため、同時に工業簿記を履修するか、工業簿記が履修済みの学生の履修を望む。該当しない場合は自分で工業簿記に関する学習をしておくこと。		
		予習内容(時間)	工業簿記を通して学習した内容の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	ガイダンス聴講後、特に管理会計と関連のある部分の見返し	120	分
	No2	管理会計概論	今まで学習してきた財務会計と管理会計の違いや、工業簿記で学習した原価情報などが管理会計でどのように使われることで利益の最大化につながるのかといった、管理会計に関する基礎知識を学ぶ		
		予習内容(時間)	前回までの振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義中にノートした内容をまとめる	120	分
	No3	管理会計の発達史	現行の管理会計はいきなり出てきたものではなく、経営活動の高度化に伴い形を変えてきたといえる。そこで、管理会計が歴史的にどのように発達してきたか講義していく。		
		予習内容(時間)	前回まで実施した演習の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義中にノートした内容をまとめる	120	分
	No4	組織と管理会計	経営を管理するうえで、企業がどのような組織形態を持っているのかなど、経営組織について学ぶ。この回の講義を受けて経営組織に対する興味を持った場合、経営組織論の受講もお勧めする。		
		予習内容(時間)	前回まで実施した演習の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	演習で行った内容を中心に復習する	120	分
	No5	組織と経営計画	一般に、企業の経営理念やビジョンは抽象的なものであるが、それが具体的なアクションプランである短期の経営計画にどのように落とし込まれていくのか、経営組織を利益最大化目的に沿って行動させるための経営計画について講義していく。		
		予習内容(時間)	前回まで実施した演習の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義中に行った演習を必ず復習すること	120	分
	No6	管理会計と経営戦略	SWAT分析などの、経営戦略立案のための、管理会計の中で用いられる経営戦略の手法などを事例を交えて学習する。		
		予習内容(時間)	前回まで実施した演習の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義中に行った演習を必ず復習すること	120	分
	No7	利益計画と直接原価計算	原価計算の手続きを用いてどのように具体的な利益計画が作られるか学ぶ。特に、ExcelとPythonを用いてコンピューティングを用いた経営計画におけるシミュレーションを講義していく。		
		予習内容(時間)	今までの講義内容の復習	120	分
		復習内			

		容(時間)	講義中に行った演習を必ず復習すること	120	分
	No8	プロダクトミックス	より複雑な利益計画を線形計画法を用いて学ぶ。この回でも、ExcelとPythonを用いてコンピューティングを用いた経営計画におけるシミュレーションを講義していく。		
		予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
	No9	中間テスト	これまでの講義をテストする		
		予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	180	分
		復習内容(時間)	テストの振り返り	120	分
	No10	責任会計と業績評価	標準原価計算の適用範囲を広げることにより行われる責任会計の概説と具体的な数値の作成、解釈の仕方を講義していく。		
		予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
	No11	業績評価と標準原価計算	工業簿記で学んだ範囲よりさらに踏み込んだ計画値と実際値を用いた業績評価の技法を学ぶ		
		予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
	No12	業績評価と活動基準原価計算	製造間接費の実態に沿った活用方法であるABCについて学習する。また、ABCを用いた事例を元に、ABCの経営管理における有用性を述べる。		
		予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
	No13	業績評価会計まとめ	中間試験以降学習した業績評価会計のまとめと、最新事例の紹介。		
		予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
	No14	総論	今まで講義してきた内容のまとめ、この講義を受講したのちにチャレンジしてほしいことなどを皆さんにお伝えします。		
		予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	200	分
		復習内容(時間)	当該回の演習の復習	300	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-石塚
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	石塚 一彌
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	会計は、社会人にとって必須の常識であるにもかかわらず、そのなじみにくさから(高校時代に勉強した一部の学生を除いて)一般の学生諸君には敬遠される科目でもある。しかし、ビジネスパーソンとなつてからは、必ず、会計のセンスを会得しているか否かが問われることになる。営業職、開発企画担当、広告担当、PR(パブリックリレーションズ)担当…その他もろもろの会社の活動の前提として、会計的ものの考え方(センス)は、不可欠の要素となる。なぜなら、会社のどのような活動も、資金の裏付けが必要であり、会社にとって有限な資金をどのように確保し、有効に活用するかに関する客観的な数値の情報を把握するための「用具＝手段」が、会計であるからである。春学期では、まず、会計の基本的スタンスを理解してもらおうと考えている。会計へのイメージづくりを眼目とし、インアドバンスとしての管理会計の考え方(理論)への準備期間とする。					
【到達目標】	管理会計の基礎的前提としての会計に関する知識の習得の有無の確認 財務会計に関する基礎的な知識の習得の確認 財務会計と管理会計の相違に関する理解の深度の確認					
【履修条件・受 講推奨者】	◇ とくになし。					
【教育方法】						
【指定教科書・ 参考資料等】	◇ 毎回レジュメを配付し、それに従って講義を行う。					
【実務IQ修得目 標】	自制力 協働力	思考力 主張力	突破力 創造力	忍耐力	○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法	
	会計に関する基本的エッセンスを修得する。会計を勉強する上で必須の会計に関する知識を修得していることを、小テストの実施により確認する。			30%	左記の項目を総合的に勘案して履修者の評価とする。
	財務会計と管理会計の相違を把握する。2つの会計の相違点に関する基礎的な理解の程度について、小テストの実施により確認する。			30%	
	管理会計に関する理解の深度を確認する。管理会計の意義、必要性、現状における問題点の程度把握とその解決のため素養を修得しているか否かの確認につき、小テストの実施により確認する。			40%	
	合計			100%	
【その他の注意事項】	◇毎回テーマの違うレジュメを受講者本人にのみ配付するので、毎回出席することが重要である。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	財務会計の意義の再確認	管理会計の前提としての財務会計の意義の再確認を行う。		
		予習内容(時間)	財務会計の意義を踏まえて、管理会計の意義と必要性をあらかじめ学んでおく。	120	分
		復習内容(時間)	既に履修済みの財務会計の再確認を各自行い、疑問点を洗い出す。	120	分
	No2	工業簿記と管理会計の相違	財務会計の範疇にある工業簿記と管理会計の違い(目的、手法)を理解する。		
		予習内容(時間)	工業簿記の基本的な計算問題を各自があらかじめ学んでおく。	120	分
		復習内容(時間)	2つの計算の相違を具体的な事例で理解する。	120	分
	No3	総合原価計算	工業簿記の対象となる2つの生産形態の理解と総合原価計算の意義について理解する。		
		予習内容(時間)	総合原価計算の簡単な問題を各自があらかじめ学んでおく。	120	分
		復習内容(時間)	具体的な計算事例を通して、総合原価計算の意味を理解する。特に完成品換算量の意味を理解する。	120	分
	No4	総合原価計算(続き)	期首と期末の未完成品(仕掛品)のある場合の、総合原価計算について、先入先出法と平均法の計算を修得する。		
		予習内容(時間)	総合原価計算特有の仮定計算の意義をあらかじめ学んでおく。	120	分
		復習内容(時間)	各自自ら「電卓をたたきながら」各計算手法を修得するための訓練を行う。	120	分
	No5	個別原価計算	もう一つの生産形態の計算手法である個別原価計算の意義を理解し、計算手法を修得する。		
		予習内容(時間)	個別原価計算の簡単な問題を各自があらかじめ学んでおく。	120	分
		復習内容(時間)	総合原価計算と同様に各自自ら「電卓をたたきながら」個別原価計算の手法を修得する。	120	分
	No6	工業簿記の計算の流れの振り返り	工業簿記の計算の流れの振り返りとして、費目別計算⇒部門別計算⇒製品別計算の流れを理解する。		
		予習内容(時間)	工業簿記の一巡をあらかじめ学んでおく。	120	分
		復習内容(時間)	工業簿記の計算の流れの必然性を理解する。	120	分
	No7	部門別計算その1	工業簿記の計算の流れの1ステップである部門別計算を理解する。		
		予習内容(時間)	部門別計算の簡単な問題を各自があらかじめ学んでおく。	120	分
		復習内容(時間)	部門別計算についての具体的な計算事例を実際に解いてその手法を理解する。	120	分

	No8	部門別計算その2	部門別計算における配賦計算を理解する。		
		予習内容(時間)	部門別計算の配賦計算について簡単な問題を各自があらかじめ学んでおく。	12 0	分
		復習内容(時間)	配賦の内容について「何をどのように配賦するのか」を実際の計算を通して理解する。	12 0	分
	No9	部門別計算その3	部門別計算における配賦計算を理解する(続き)。		
		予習内容(時間)	部門別計算の配賦計算について簡単な問題を各自があらかじめ学んでおく(続き)。	12 0	分
		復習内容(時間)	配賦計算の内容について引き続き実際の計算を通して理解を深める。	12 0	分
	No10	費目別計算	工業簿記の計算の流れの最初のステップである費目別計算を理解する。		
		予習内容(時間)	費目別計算について簡単な問題を各自があらかじめ学んでおく。	12 0	分
		復習内容(時間)	工業簿記の最初のステップである費目別計算の意義について、材料費、労務費及び経費のそれぞれについて実際の計算事例を通して理解し計算手法を修得する。	12 0	分
	No11	標準原価計算その1	実際原価計算との比較で標準原価計算の意味を理解する。		
		予習内容(時間)	標準原価算の簡単な問題を各自があらかじめ学んでおく。	120	分
		復習内容(時間)	標準原価計算のうち、材料費と労務費の計算手法を実際の計算を通して修得する。	120	分
	No12	標準原価計算その2	標準原価計算のうち製造間接費の計算について、材料費と労務費との計算の手法の相違とその計算の手法を修得する。		
		予習内容(時間)	製造間接費に関する標準原価算の簡単な問題を各自があらかじめ学んでおく。	12 0	分
		復習内容(時間)	標準原価計算のうち、製造間接費の計算手法を実際の計算を通して修得する。	12 0	分
	No13	工業簿記のまとめその1	半期の学習を通して工業簿記の計算の目的とその意味を再確認する。		
		予習内容(時間)	特になし。	0	分
		復習内容(時間)	工業簿記の各論点を各自総復習し、財務会計の一環として工業簿記の意義を再認識する。	24 0	分
	No14	工業簿記のまとめその2	財務会計の範疇にある工業簿記の意義と管理会計の相違について、秋学期の学習を進めるためのイメージづくりを行う。		
		予習内容(時間)	特になし。	0	分
		復習内容(時間)	第2回目に実施した工業簿記と管理会計の計算を再度復習し、秋学期に学修する管理会計のイメージをつかんでおく。	24 0	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-伊波
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	伊波 和恵
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	研究テーマ: 心理学、ストレスと心理社会的適応、コミュニケーション 本演習では、心理学、とくに心理社会的適応を基本テーマに知識習得を進めます。成人期～壮年期のビジネスパーソンが置かれている職場・家族を含む社会的対人的環境についての知識と理解を深め、ストレス・マネジメント、心理カウンセリングやコミュニケーションスキルについて学びます。 春学期はよりよい論文執筆ならびにチームプロジェクトのマネジメント方法について学びを深めます。秋学期は、グループワークやプレゼンテーションを通じて、各種調査法や企画立案を覚えるとともに、質疑応答やディスカッションのマナーと方法を身につけられるようにします。							
【到達目標】	グループワーク(ディスカッション、プレゼンテーション)のスキルを向上させる レポート作成のスキルを向上させる チームワーク、チームプロジェクトに十分に慣れ、主体的に役割をとれるようになる							
【履修条件・受 講推奨者】	・受講に際しては、グループメンバーでの協調性や社会性も重要です。その前提として、遅刻・無断欠席は厳禁です。							
【教育方法】	チームプロジェクトを主体とする。資料の収集、レジュメやプレゼンテーション資料の作成、ディスカッション、プレゼンテーションなどを頻繁に行う。							
【指定教科書・ 参考資料等】	とくになし。適宜指示する。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	グループワーク(ディスカッション、プレゼンテーション)	40%	レポート課題40%・グループワーク40%・授業(ゼミ運営)への積極性20%		
	レポート執筆のために必要な基礎的な作法の理解と実践	40%			
	チームワーク、ゼミの中で果たす役割	20%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	・ゼミは原則休まず出席してください。共同ゼミを行うことがあります。やむを得ず休む場合は事前に連絡すること。 ・課外で活動する際は若干の費用がかかることがあります。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション			
		予習内容(時間)	プロセミ論で取り組む、個人のゼミテーマにしたいことを考えておく。(ひとまず、心理・人・人間関係・社会に関することなら、何でもかまいません。)	120	分
		復習内容(時間)	指示したワークの準備を行う	120	分
	No2	ワーク			
		予習内容(時間)	指示したワークの準備を行う	120	分
		復習内容(時間)	指示した次回の準備を行う	120	分
	No3	グループワーク(1)	グループでの基礎的なワーク(全5回)		
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No4	グループワーク(1)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No5	グループワーク(1)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No6	グループワーク(1)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No7	グループワーク(1)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する	120	分
		レポート作	グループワークのまとめレポート作成(提出)		

	No8	成(1)			
		予習内容(時間)	グループワークの反省を行い、要点をまとめておく	120	分
		復習内容(時間)	レポートを提出する	120	分
	No9	グループワーク(2)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No10	グループワーク(2)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No11	グループワーク(2)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No12	グループワーク(2)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No13	グループワーク(2)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する	120	分
	No14	レポート作成(2)			
		予習内容(時間)	グループワークの反省を行い、要点をまとめておく	120	分
		復習内容(時間)	レポートを提出する	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-円城寺
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	円城寺 敬浩
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本セミナー(プロセミ)では企業はいかにして持続的な発展を遂げることができるのかを考えていきたいと思います。上記のテーマをゼミ生各自自身で考えられるようになるために、以下の点を中心に学ぶ予定です。 ①経営学の基礎的な理論と知識を学ぶ ～ゼミ員皆で議論しながら学べば、学習効果は高まると思います。管理論、組織論、戦略論、企業論など、経営学の中核となる基礎的な理論や知識を学んでいきます基礎的なテキスト(具体的な事例も含め)を選択し、輪読および発表という形式で進めていきます。 ②研究の方法を学ぶ ～大学4年生になると卒業論文やゼミ論文(2年や3年次とは異なる)を書く必要が出てきます。自ら研究テーマを見つけ、そのテーマに対して適切なアプローチをとって、何らかの研究成果を出していく必要があります。テーマの見つけ方や研究の方法、さらには書き方などの基本を学んでいきます。なお、本セミナーでは、事例研究の方法を中心に学ぶ予定です。 ③議論や発表の仕方を学ぶ ～社会人になれば、仕事を進めていく上で、上司や同僚と議論したり、自分がつくった企画をプレゼンして、内容を相手に分かりやすく伝えていく必要性が出てきます。本セミナーでは輪読や発表、そして議論をしながら進めていくことになりますので、自然と社会人に求められる能力を身に付けることができると考えています。
【到達目標】	戦略論、企業論、組織論、管理論などの基礎理論と知識を修得する 研究方法(主として事例研究)を修得する 議論や発表の方法を修得する
【履修条件・受講推奨者】	本プロセミは上記【授業概要】①②③を主として学んでいくことになりますが、これらの学びは、学生の主体的な学びの姿勢があつてはじめて可能になりますので、その点を十分に留意して履修してください。また、無断遅刻・欠席は厳禁(体調不良等で欠席せざるを得ない場合は事前連絡が必要)です。大人としての自覚を持ってプロセミに参加してください。
【教育方法】	専門書等の輪読／レジュメ作成／報告／議論という内容で、能動的に活動することで、到達目標で示した能力を養ってもらいます。
【指定教科書・参考資料等】	教科書：藤田誠著『経営学入門』中央経済社、2015年。

【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>								自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力	○											
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																										
協働力	○	主張力	○	創造力	○																												
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="3">評価項目と割合</td><td colspan="5">評価方法</td></tr><tr><td colspan="2">戦略論、企業論、組織論、管理論などの基礎理論と知識を修得できたか</td><td>20</td><td colspan="5" rowspan="4">プロセミへの貢献度(議論への参加や発表等)を中心に評価項目を基準にして総合的に評価します。</td></tr><tr><td colspan="2">研究方法(主として事例研究)を修得できたか</td><td>20</td></tr><tr><td colspan="2">議論や発表の方法を修得できたか</td><td>60</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>100%</td></tr></table>								評価項目と割合			評価方法					戦略論、企業論、組織論、管理論などの基礎理論と知識を修得できたか		20	プロセミへの貢献度(議論への参加や発表等)を中心に評価項目を基準にして総合的に評価します。					研究方法(主として事例研究)を修得できたか		20	議論や発表の方法を修得できたか		60	合計		100%
評価項目と割合			評価方法																														
戦略論、企業論、組織論、管理論などの基礎理論と知識を修得できたか		20	プロセミへの貢献度(議論への参加や発表等)を中心に評価項目を基準にして総合的に評価します。																														
研究方法(主として事例研究)を修得できたか		20																															
議論や発表の方法を修得できたか		60																															
合計		100%																															
【その他の注意事項】	各回の学習内容および予習・復習の内容と時間は本プロセミを展開する上での一つの参考です。プロセミの展開は適宜、学習効果を高められるように工夫していきます。また、個別面談も実施する予定です。なお、担当教員の指示に従わない場合や無断欠席(遅刻も含む)した場合は評価が著しく下がる可能性(場合により履修停止)があることに注意してください。																																
【授業計画】	週	テーマ	学習内容																														
	No1	ガイダンス	プロセミⅠの内容等を確認します。																														
		予習内容(時間)	シラバスの確認をする	120	分																												
		復習内容(時間)	話した内容を家訓する	120	分																												
	No2	研究方法等	研究方法や各自の研究テーマについて確認します。																														
		予習内容(時間)	研究テーマを考える	120	分																												
		復習内容(時間)	話した内容の確認をする	120	分																												
	No3	輪読と報告および議論	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																														
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分																												
		復習内容(時間)	議論の内容を確認する	120	分																												
	No4	輪読と報告および議論	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																														
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分																												
		復習内容(時間)	議論の内容を確認する	120	分																												
	No5	輪読と報告および議論	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																														
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分																												
		復習内容(時間)	議論の内容を確認する	120	分																												
	No6	輪読と報告および議論	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																														
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分																												
		復習内容(時間)	議論の内容を確認する	120	分																												
	No7	輪読と報告および議論	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																														
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分																												
		復習内容(時間)	議論の内容を確認する	120	分																												
	No8	輪読と報告および議論	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																														
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分																												
		復習内容(時間)	議論の内容を確認する	120	分																												
		輪読と報告および議論	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																														

	No9	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
		復習内容(時間)	議論の内容を確認する	120	分
	No10	輪読と報告および議論	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
		復習内容(時間)	議論の内容を確認する	120	分
	No11	輪読と報告および議論	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
		復習内容(時間)	議論の内容を確認する	120	分
	No12	輪読と報告および議論	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
		復習内容(時間)	議論の内容を確認する	120	分
	No13	輪読と報告および議論	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
		復習内容(時間)	議論の内容を確認する	120	分
	No14	輪読と報告および議論	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
		復習内容(時間)	議論の内容を確認する	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-小川
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	小川 達也
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	「プロフェッショナル・セミナーⅠ」では、AI(人工知能)とロボット技術を用いた“おもてなしとサービス戦略の未来”を考察します。事例分析やフィールドワーク(訪問調査)を行い、理解を深めることが目標です。その際、専門誌や経済新聞等から得られる情報を通して、刻一刻と変化するサービス産業の動向や経営環境の潮流を的確に把握するテクニックを身につけます。演習中にインタラクティブな議論を重ねることで、自分のことばで表現できるスキルを磨き、大学生や社会人に必要な思考力・洞察力を養います。単位を取ることが目的ではなく、大学生として充実した研究成果を残したい方にお勧めします。							
【到達目標】	演習で取り上げた理論と知識を理解し、説明できること プレゼンテーション(発表)やディスカッション(議論)のスキルを身につけること レジュメやレポート・論文を作成するスキルを身につけること							
【履修条件・受講推奨者】	レジュメやレポートはWordで作成し、プレゼンテーションはPowerPointのスキルが必要です。							
【教育方法】	専門演習の主体は、ゼミ生自身にあります。ゼミ生自ら疑問を見出し、調査分析し、その疑問をどのように解決するのか、モノの考え方を学び、発表し議論を行う場となります。							
【指定教科書・参考資料等】	議論や考察に必要な文献・資料を適宜紹介します。							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	演習で取り上げた理論と知識を理解して説明できるスキル	30%	演習への積極的な参加姿勢を前提とし、総合的な学習・研究成果に基づいて評価します。		
	プレゼンテーションやディスカッションのスキル	40%			
	レジュメやレポート・論文を作成できるスキル	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	演習の実施回数に対して出席回数が3分の2以上に限り評価します。 2回連続の欠席や、発表担当の際に欠席した場合には、単位取得が困難となるので注意してください。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス	自己紹介(アイスブレイク) プロフェッショナル・セミナーの概要と年間計画について 個人の研究テーマ・研究目標の設定について		
		予習内容(時間)	個人研究のテーマ設定と資料収集	120	分
		復習内容(時間)	個人研究の目標設定と資料収集	120	分
	No2	アカデミック・スキル①	プロフェッショナル・セミナーにおけるリーディング・スキルについて		
		予習内容(時間)	個人研究のテーマ設定と資料収集	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分
	No3	アカデミック・スキル②	プロフェッショナル・セミナーにおけるライティング・スキルについて		
		予習内容(時間)	個人研究に関する資料収集	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分
	No4	アカデミック・スキル③	プロフェッショナル・セミナーにおけるプレゼンテーション・スキルについて		
		予習内容(時間)	個人研究に関する資料収集	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分
	No5	サービス産業におけるAI技術とロボットの活用①	専門分野の知識習得		
		予習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分
	No6	サービス産業におけるAI技術とロボットの活用②	専門分野の知識習得		
		予習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分
	No7	サービス産業におけるAI技術とロボットの活用③	専門分野の知識習得		
		予習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分
	No8	サービス産業におけるAI技術とロボットの課題①	専門分野の知識習得		
		予習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分
	No9	サービス産業におけるAI技術とロボットの課題②	専門分野の知識習得		
		予習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分

	No10	サービス産業におけるAI技術とロボットの課題③	専門分野の知識習得		
		予習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分
	No11	個人研究発表会①	ゼミ内プレゼン大会(プレゼン、質疑応答、ペアレビュー)		
		予習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
		復習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	No12	個人研究発表会②	ゼミ内プレゼン大会(プレゼン、質疑応答、ペアレビュー)		
		予習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
		復習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	No13	個人研究発表会③	ゼミ内プレゼン大会(プレゼン、質疑応答、ペアレビュー)		
		予習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
		復習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	No14	個人研究発表会④	ゼミ内プレゼン大会(プレゼン、質疑応答、ペアレビュー)		
		予習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
		復習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-鬼木
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	鬼木 一直
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「情報システム学」 情報化社会と言われる昨今、企業において情報をどのように収集、解析、活用していくかが大変重要となってきています。本セミナーでは、情報システムを切り口として「会社では何をしているのか?」「何が求められているのか?」「どのように問題を解決していくのか?」などを議論し、企業社会についての理解を深めていきます。 また、Word、Excel、PowerPointなどを用い、コンピュータの基本操作も学びます。グループ学習などを通じて情報の収集力、発想力、プレゼンテーション能力などを身につけることを目標とします。																						
【到達目標】	情報システムの理解、Word、Excel、PowerPointの基本操作の修得 チームで考える力の育成、コミュニケーション能力の向上 問題解決に向けた発想力の向上																						
【履修条件・受 講推奨者】	積極的に議論に参加できる方を推奨いたします。																						
【教育方法】	アクティブラーニング形式の授業となりますので、主体的にかつ積極的な発言を求めます。																						
【指定教科書・ 参考資料等】	指定教科書はありません。必要に応じてICT関連のテキストを貸し出します。																						
【実務IQ修得目 標】	<table border="1"> <tr> <td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr> <tr> <td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table>	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力	○								
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																
協働力	○	主張力	○	創造力	○																		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	情報システムの理解、Word、Excel、PowerPointの基本操作の修得	30%	セミナーでの態度(発言、積極性など)、貢献度、レポートなど総合的に判断します。		
	チームで考える力の育成、コミュニケーション能力の向上	40%			
	問題解決に向けた発想力の向上	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	毎回、タイピング練習を行います。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス、自己紹介	授業の進め方の説明、全員の自己紹介を行う		
		予習内容(時間)	情報システムの基本確認	120	分
		復習内容(時間)	各自のテーマ内容調査	120	分
	No2	情報の検索、扱い方	情報の検索手法、取り扱い方を学ぶ		
		予習内容(時間)	タイピング練習、情報検索手法の確認	120	分
		復習内容(時間)	各自のテーマ内容調査	120	分
	No3	正しい情報の検索	情報の価値、信頼性を学ぶ		
		予習内容(時間)	タイピング練習、情報の信頼性確認	120	分
		復習内容(時間)	テーマ内容検討	120	分
	No4	テーマ選定	各自、関心のあるテーマを選定し、調査する		
		予習内容(時間)	タイピング練習、テーマの洗い出し	120	分
		復習内容(時間)	テーマ選定	120	分
	No5	テーマ検索	各自選んだテーマを検索し、詳細調査を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、テーマに関するデータ収集	120	分
		復習内容(時間)	テーマ詳細調査	120	分
	No6	発表準備	調査したデータをまとめ、発表の準備を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、データの整理	120	分
		復習内容(時間)	発表準備	120	分
	No7	発表練習	ゼミ内で調査結果を発表する		
		予習内容(時間)	タイピング練習、発表内容確認	120	分
		復習内容(時間)	発表練習	120	分
	No8	発表練習	ゼミ内で調査結果を発表する		
		予習内容(時間)	タイピング練習、発表内容確認	120	分
		復習内容(時間)	発表練習	120	分
	No9	ゼミ全体のテーマ選定	個人ではなく、ゼミ全体のテーマ選定を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、全体テーマ調査	120	分
		復習内容(時間)	テーマ選定	120	分
	No10	テーマの絞り込み	どのようなテーマが適切なのか、話し合う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、テーマの選別	120	分

		復習内容(時間)	テーマ選定	120	分
	No11	テーマの決定	ゼミテーマを選定する		
		予習内容(時間)	タイピング練習、テーマの詳細確認	120	分
		復習内容(時間)	テーマ選定	120	分
	No12	グループワーク	テーマの内容を細分化し、グループごとに検討する		
		予習内容(時間)	タイピング練習、テーマの詳細確認	120	分
		復習内容(時間)	内容調査	120	分
	No13	テーマの深堀り	テーマの内容の精査、深堀りを進める		
		予習内容(時間)	タイピング練習、データの信頼性確認	120	分
		復習内容(時間)	テーマ内容精査	120	分
	No14	グループごとのデータ整理	グループごとにデータを整理し、パワーポイントにまとめる		
		予習内容(時間)	タイピング練習、資料作成準備	120	分
		復習内容(時間)	資料作成	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-木村
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	木村 直樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この授業は①Microsoft Office 等を含む ICT スキル、②レポートの書き方、③プレゼンの 仕方、といった、初年次でカバーする学習内容の発展、および3年次以降の「専門演習」 で扱う、より専門的な実務思考トレーニング(経営/経済・法/会計/経営心理/マーケ ティング)の橋渡しとなる科目です。 春学期の「プロフェッショナル・セミナー I」では主に初年次「基礎演習」の延長・応 用となる内容をカバーしつつ、「第2言語習得理論」「異文化理解」をテーマとしてゼミを 進めます。						
【到達目標】	1. ICT スキルの養成とアカデミック・スキルの習得: パソコンやiPadの使用法やOfficeソフトなどの応用スキルを身につけ、よりアカデミックな内容 に応用するための土台固めを行う。 2. レポート執筆能力の養成: 主張を支える根拠(数値データや先行研究)を駆使して、より説得的な文章を書けるようになるための手法を身に付 ける。 3. プレゼン能力の養成: オーディエンスにわかりやすく伝えるための根本的な「考え方(姿勢)」と、実際にスライドをわかりやすく見せる「技術」の 基礎を習得する。						
【履修条件・受 講推奨者】	「基礎演習 I・II」を履修・修得済みであることが望ましい。						
【教育方法】	毎回設定されるテーマについて個人ないしグループで考え、レポートや発表の形でアウトプットする。						
【指定教科書・ 参考資料等】	参考図書については初回の授業で指示し、以降の読書課題については適宜指示する。						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法	
授業での積極性と参加姿勢	30%	ディスカッションでの発言や課題の内容、レポートなどで評価する。	
各授業での課題の質や完成度	30%		
最終レポート	40%		
合計	100%		

【その他の注意事項】

PCやタブレットを持参して受講することが望ましい。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	初回ガイダンス	コース概要や成績評価についての説明、資格試験問題に挑戦		
	予習内容(時間)	ニュースなどに目を配り、異文化に対する感受性を磨く	120	分
	復習内容(時間)	資格問題復習	120	分
No2	ICTツールの基礎	PCの基礎;メールの書き方のマナーについて復習		
	予習内容(時間)	PCやメール設定の確認	120	分
	復習内容(時間)	メールの書き方(基礎)の復習	120	分
No3	第2言語習得:文化と個人	設定されたテーマについてゼミ内で考えながら、Officeソフト(WORD / EXCEL / PowerPoint) の使い方についての復習、およびその応用方法を学ぶ		
	予習内容(時間)	文化的「同化」についてリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	Officeの使い方について復習	120	分
No4	第2言語習得:適応カーブ	設定されたテーマについてゼミ内で考えながら、Officeソフト(WORD / EXCEL / PowerPoint) の使い方についての復習、およびその応用方法を学ぶ		
	予習内容(時間)	Wカーブモデルについてリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	Officeの使い方について復習	120	分
No5	第2言語習得:他言語副作用	設定されたテーマについてゼミ内で考えながら、Officeソフト(WORD / EXCEL / PowerPoint) の使い方についての復習、およびその応用方法を学ぶ		
	予習内容(時間)	第2言語の認知的影響について復習	120	分
	復習内容(時間)	Officeの使い方について復習	120	分
No6	第2言語習得:言語転移	設定されたテーマについてゼミ内で考えながら、Officeソフト(WORD / EXCEL / PowerPoint) の使い方についての復習、およびその応用方法を学ぶ		
	予習内容(時間)	言語転移について復習	120	分
	復習内容(時間)	Officeの使い方について復習	120	分
No7	異文化理解:北米	設定されたテーマについてゼミ内で考えながら、レポートの書き方(レポートの形式や文体についての基礎 / 参考文献の探し方やその引用法 / 与えられたテーマで実際にレポートを書く) を学ぶ		
	予習内容(時間)	アメリカやカナダの慣習についてリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	レポートの書き方について復習	120	分
No8	異文化理解:アジア	設定されたテーマについてゼミ内で考えながら、レポートの書き方(レポートの形式や文体についての基礎 / 参考文献の探し方やその引用法 / 与えられたテーマで実際にレポートを書く) を学ぶ		
	予習内容(時間)	フィリピン、マレーシアの文化についてリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	レポートの書き方について復習	120	分
No9	異文化理解:ヨーロッパ	設定されたテーマについてゼミ内で考えながら、レポートの書き方(レポートの形式や文体についての基礎 / 参考文献の探し方やその引用法 / 与えられたテーマで実際にレポートを書く) を学ぶ		
	予習内容(時間)	イギリス、スウェーデン、オランダなどの文化圏についてリサーチ	120	分

		復習内容(時間)	レポートの書き方について復習	120	分
	No10	異文化理解:南半球	設定されたテーマについてゼミ内で考えながら、レポートの書き方(レポートの形式や文体についての基礎/参考文献の探し方やその引用法/与えられたテーマで実際にレポートを書く)を学ぶ		
		予習内容(時間)	オーストラリア、ニュージーランドの文化についてリサーチ	120	分
		復習内容(時間)	レポートの書き方について復習	120	分
	No11	異文化体験シミュレーション:実際に計画を立ててみる	設定されたテーマについてゼミ内で考えながら、プレゼンの方法(スライド作り/発表原稿/与えられたテーマでの実際の発表)を学ぶ		
		予習内容(時間)	第10回までの文化圏について渡航シミュレーション	120	分
		復習内容(時間)	パワーポイントの作成法について復習	120	分
	No12	異文化体験シミュレーション:実際に計画を立ててみる	設定されたテーマについてゼミ内で考えながら、プレゼンの方法(スライド作り/発表原稿/与えられたテーマでの実際の発表)を学ぶ		
		予習内容(時間)	第10回までの文化圏について渡航シミュレーション	120	分
		復習内容(時間)	パワーポイントの作成法について復習	120	分
	No13	異文化体験シミュレーション:実際に計画を立ててみる	設定されたテーマについてゼミ内で考えながら、プレゼンの方法(スライド作り/発表原稿/与えられたテーマでの実際の発表)を学ぶ		
		予習内容(時間)	第10回までの文化圏について渡航シミュレーション	120	分
		復習内容(時間)	パワーポイントの作成法について復習	120	分
	No14	異文化体験シミュレーション:実際に計画を立ててみる	設定されたテーマについてゼミ内で考えながら、プレゼンの方法(スライド作り/発表原稿/与えられたテーマでの実際の発表)を学ぶ		
		予習内容(時間)	第10回までの文化圏について渡航シミュレーション	120	分
		復習内容(時間)	パワーポイントの作成法について復習	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-清水(良)
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	清水 良樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	テーマ「貯蓄から投資へ～副収入の作り方～」 「老後資金2000万円必要」という文言が金融庁の報告書に載ったことは知っていますよね。これをきっかけに「年金だけではダメだ」、「ちゃんと自分でお金を管理しないと」という機運が高まりました。大学生の皆さんはどうしますか？ お金は使えば減りますが、使うことで増えるお金の使い方があります。それが投資です。投資の基本は長期運用です。したがって、早く投資を始めるほど良いということです。しかし、投資を始めるといってもどうしていいかわかりませんよね。投資に必要なスキルや知識の総称を『金融リテラシー』と言います。ゼミ活動を通じて、お金の増やし方を学びましょう。							
【到達目標】	投資を実践する。 プレゼン能力の向上。 専門書を読む力を身につける。							
【履修条件・受 講推奨者】	NISA口座を開設したい者。 既に投資を実践している者。 将来、本気で副収入を得たいと考えている者。							
【教育方法】	グループワーク形式。 プレゼンテーションを実施。 質疑応答。							
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書：指定しない。 参考書：講義のなかで適宜指示する。							
【実務IQ修得目	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○

【目標】	協働力	○	主張力	○	創造力	○
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法			
	プレゼンテーション	60%	各評価項目に基づく累積点を100点満点に換算します。各履修者の獲得点を本学が規定する成績評価基準に照らし合わせて評価します。			
	課題	30%				
	ゼミ活動への貢献(グループのリーダーを担う、質疑応答を行うなど)	10%				
	合計	100%				
【その他の注意事項】	グループワークを基本とします。 無断欠席等は他のメンバーに迷惑がかかるので絶対にしないでください。 課題の提出期限等のスケジュール管理を徹底すること。					
【授業計画】	週	テーマ	学習内容			
	No1	スケジュール確認	自己紹介、自己紹介シートの作成、グループ編成。			
		予習内容(時間)	NISAについて調べる。	120	分	
		復習内容(時間)	スケジュール管理と自己紹介シートの提出。	120	分	
	No2	プレゼン資料作り	スライド資料の作り方についてレクチャー。			
		予習内容(時間)	グーグルスライドを操作しておく。	120	分	
		復習内容(時間)	スライドを作成する。	120	分	
	No3	様々な投資対象	株式、債券、投資信託、REIT、FXについて各担当グループが調べる。グループワーク。			
		予習内容(時間)	報告準備。	120	分	
		復習内容(時間)	報告準備。	120	分	
	No4	同上	同上			
		予習内容(時間)	同上	120	分	
		復習内容(時間)	同上	120	分	
	No5	プレゼンテーション	投資対象について各担当グループが報告(プレゼンテーション)。			
		予習内容(時間)	報告準備。	120	分	
		復習内容(時間)	質問票の提出。	120	分	
	No6	質疑応答	出された質問に対する回答用スライドを作成。			
		予習内容(時間)	報告内容の振り返り。	120	分	
		復習内容(時間)	回答用スライドを作成。	120	分	
	No7	同上	質問に対する回答を各グループが報告。			
予習内容(時間)		報告準備。	120	分		
復習内容(時間)		指摘されたことを踏まえて修正。	120	分		
No8	株式投資	株式投資について講義。				
	予習内容(時間)	東証一部上場企業について調べる。	120	分		
	復習内容(時間)	ヴァーチャル株式投資。	120	分		
No9	同上	同上				
	予習内容(時間)	ヴァーチャル株式投資。	120	分		

		復習内容(時間)	ヴァーチャル株式投資。	120	分
	No10	ヴァーチャル株式投資	運用状況について報告。		
		予習内容(時間)	報告準備。	120	分
		復習内容(時間)	指摘されたことを踏まえてポートフォリオを修正。	120	分
	No11	米国株投資	“参入障壁”の高い米国企業をピックアップ。グループワーク。		
		予習内容(時間)	米国企業について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No12	同上	同上		
		予習内容(時間)	報告準備。	120	分
		復習内容(時間)	報告準備。	120	分
	No13	プレゼンテーション	“参入障壁”の高い米国企業を各グループが報告。		
		予習内容(時間)	報告準備。	120	分
		復習内容(時間)	質問票の提出。	120	分
	No14	質疑応答	出された質問に対する回答用スライドを作成して提出。		
		予習内容(時間)	回答用スライドを作成。	120	分
		復習内容(時間)	提出期限までにスライド提出。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-隅田
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	隅田 浩司
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本年度は、対話力、交渉力について学習するために必要となる心理学の基礎について学ぶことを目的とする。テキストを使用し、人間の限定合理性について、そしてヒューリスティクスとバイアスについて理解を深め、その上で、効果的な対話のために必要となる対話、ファシリテーション技法について学習する。																						
【到達目標】	1 説得に関する心理学的な基礎理論を理解することができる 2 ヒューリスティクスとバイアスについて、その基本的なメカニズムを理解する 3 対話に必要な方法論、ファシリテーション技法の基礎を学ぶ																						
【履修条件・受講推奨者】	履修許可者のみ履修可能																						
【教育方法】	テキストについて、事前に受講生が予習した上で、授業中は、ディスカッション、模擬交渉、そして模擬裁判といった演習を行い、その結果をフィードバックするスタイルで進行する。																						
【指定教科書・参考資料等】	1 教科書(購入すること) ノア・J・ゴールドスタイン(著)、スティーブ・マーティン(著)、ロバート・B・チャルディーニ(著)『影響力の武器 実践編[第二版]』「イエス!」を引き出す60の秘訣 誠信書房 第二版(2019/12/5) ISBN-13: 978-4414304251 2 参考書(多岐にわたるため、講義中に適宜、紹介する)																						
【実務IQ修得目標】	<table border="1"> <tr> <td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr> <tr> <td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table>	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力	○								
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																
協働力	○	主張力	○	創造力	○																		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	1 説得に関する心理学的基礎を理解しているかどうか	30%	講義中の演習における受講生の参加姿勢、レポートなどの結果を踏まえ、総合的に評価する。		
	2 ヒューリスティクスとバイアスについて理解しているかどうか	30%			
	3 講義中のディスカッションにおける参加意欲、参加態度	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	無断欠席、長期間に渡る理由のない欠席は、履修停止の対象となる。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	影響力の武器	指定教科書の意義について確認し、演習全般に渡るオリエンテーションを行う。また、受講生との自己紹介や、対話のディスカッションを通じて親睦を図る。		
		予習内容(時間)	教科書はじめにとまえがきのところを読み、社会的影響力の原理について各自で調査すること	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
	No2	説得力と社会的証明	説得力、バンドワゴン効果、社会的証明についてディスカッションし、解説を行う。		
		予習内容(時間)	教科書1頁から16頁	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
	No3	選択肢	選択肢が多いと人間は意思決定が難しくなるといった現象をはじめとする選択肢に関する問題について、ディスカッションし、解説を行う。		
		予習内容(時間)	教科書17から28頁	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
	No4	複数商品のディスプレイと選択への影響	複数の商品の陳列による意思決定への影響などについて、ディスカッションし、解説を行う。		
		予習内容(時間)	教科書29から40頁	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
	No5	感情と説得	恐怖心や、選択肢における選択の歯やすさなど、心理的なバイアスが意思決定に与える影響についてディスカッションし、解説を行う。		
		予習内容(時間)	教科書41から53頁	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
	No6	説得とレトリックの心理的関係	説得におけるレトリックの使用と、その心理学的な意味付けについてディスカッションし、解説を行う。		
		予習内容(時間)	教科書54から63頁	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
	No7	責任と説得	企業の社会的責任が説得において重要であることなどについて講義する		
		予習内容(時間)	教科書64頁から71頁	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
	No8	感謝	感謝の気持ちから、徐々に若いに至るプロセスについて解説する		
		予習内容(時間)	教科書72から79頁	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
	No9	ラベリング	ラベリング・テクニックについて解説する		
		予習内容(時間)	教科書80から87頁	120	分

		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
	No10	コミットメント	積極的コミットメントと説得について解説する		
		予習内容(時間)	教科書88から96頁	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
	No11	一貫性の原理	一貫性の原理の説得的効果について解説する		
		予習内容(時間)	教科書97から102頁	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
	No12	一貫性と接触	接触効果と一貫性の原理の関係について解説する		
		予習内容(時間)	教科書103から109頁	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
	No13	価格と説得	価格設定における説得効果について解説する		
		予習内容(時間)	教科書110から117頁	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
	No14	リーダーシップの落とし穴	リーダーシップに関連し、機長症候群などリーダーシップの落とし穴について解説する。		
		予習内容(時間)	教科書118から125頁	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-長岐
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	長岐 郁也
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	社会に出ると様々な課題を自ら解決することが求められます。でも、その選択した解決方法が本当にうまく解決できるのか、不安になることもあ るでしょう。 そのようなときは、他の人も交え、考えた解決方法が適切な方法なのかを検討してみることがとても役立つことがあります。 そこでこの講義では、ディベートとディスカッションという手法を用いて、こうした問題解決能力を育むことを目的としています。						
【到達目標】	情報の収集と管理能力の醸成 私見の構築と他者の意見の受容 論理的思考の醸成						
【履修条件・受 講推奨者】	「法学Ⅰ」および「法学Ⅱ」の履修を終えていることが望ましい。						
【教育方法】	ソクラテスメソッドで行う。						
【指定教科書・ 参考資料等】	ベンジャミン・クリッツァー『21世紀の道徳』(晶文社、2021年)						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力		
	評価項目と割合					評価方法	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	クラスコントリビューション	70	
	レポート	30	
	合計	100%	

【その他の注意事項】	無断欠席3回でゼミを除籍とします。残念ながら、ゼミへの欠席は他のゼミ生のやる気をそぐ傾向にあるので、この点は厳格に判断します。

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス	この授業での講義の進め方とテキストの概説を行う。また、ディベートの進め方についても説明を行う。		
		予習内容(時間)	事前にテキストの「まえがき」を読んでくる。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返る。	120	分
	No2	ディベート&ディスカッション	テキストのテーマに沿ってディスカッションを行う。		
		予習内容(時間)	テーマに該当するテキストの箇所を読む。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容をまとめる。	120	分
	No3	ディベート&ディスカッション	テキストのテーマに沿ってディスカッションを行う。		
		予習内容(時間)	テーマに該当するテキストの箇所を読む。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容をまとめる。	120	分
	No4	ディベート&ディスカッション	テキストのテーマに沿ってディスカッションを行う。		
		予習内容(時間)	テーマに該当するテキストの箇所を読む。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容をまとめる。	120	分
	No5	ディベート&ディスカッション	テキストのテーマに沿ってディスカッションを行う。		
		予習内容(時間)	テーマに該当するテキストの箇所を読む。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容をまとめる。	120	分
	No6	ディベート&ディスカッション	テキストのテーマに沿ってディスカッションを行う。		
		予習内容(時間)	テーマに該当するテキストの箇所を読む。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容をまとめる。	120	分
	No7	ディベート&ディスカッション	テキストのテーマに沿ってディスカッションを行う。		
		予習内容(時間)	テーマに該当するテキストの箇所を読む。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容をまとめる。	120	分
	No8	ディベート&ディスカッション	テキストのテーマに沿ってディスカッションを行う。		
		予習内容(時間)	テーマに該当するテキストの箇所を読む。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容をまとめる。	120	分
	No9	ディベート&ディスカッション	テキストのテーマに沿ってディベートを行う。		
		予習内容(時間)	テーマに該当するテキストの箇所を読む。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容をまとめる。	120	分
	No10	ディベート&ディスカッション	テキストのテーマに沿ってディベートを行う。		
		予習内容(時間)	テーマに該当するテキストの箇所を読む。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容をまとめる。	120	分
		ディベート&ディスカッション	テキストのテーマに沿ってディベートを行う。		

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-花尾
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	花尾 由香里
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	消費者行動やマーケティング理論を理解したうえで、効果的な企業戦略についてディスカッションを行う。ユニークなアイデアを出す練習、他者の前での発言方法、プレゼンテーション技術の向上なども目指す																						
【到達目標】	消費者行動とマーケティングの理論を応用し、企業のビジネス分析や戦略立案ができる 消費者行動やマーケティングに関する意見交換や議論に積極的に参加できる 研究発表のためのリサーチや資料作成、議論等に積極的に参加し貢献できる																						
【履修条件・受講推奨者】	ゼミ選考によって履修が許可された者のみ受講可能																						
【教育方法】	対面講義形式 個人発表、グループディスカッション等を行う																						
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しない 必要に応じて資料を配布する																						
【実務IQ修得目標】	<table border="1"> <tr> <td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr> <tr> <td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table>	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力	○								
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																
協働力	○	主張力	○	創造力	○																		
	評価項目と割合			評価方法																			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	消費者行動とマーケティングの理論を応用し、企業のビジネス分析や戦略立案ができる	20%	試験は行わない 授業での発言・発表、グループ活動での貢献度などを総合的に判断して評価する
	消費者行動やマーケティングに関する意見交換や議論に積極的に参加できる	40%	
	研究発表のためのリサーチや資料作成、議論等に積極的に参加し貢献できる	40%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】	

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	イントロダクション	授業の進め方と内容について		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分
	No2	マーケティング分析の実践	マーケティングの分析手法を用いて、実在する企業や商品のケーススタディを行う		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分
	No3	マーケティング分析の実践	マーケティングの分析手法を用いて、実在する企業や商品のケーススタディを行う		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分
	No4	マーケティング分析の実践	マーケティングの分析手法を用いて、実在する企業や商品のケーススタディを行う		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分
	No5	マーケティング分析の実践	マーケティングの分析手法を用いて、実在する企業や商品のケーススタディを行う		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分
	No6	マーケティング分析の実践	マーケティングの分析手法を用いて、実在する企業や商品のケーススタディを行う		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分
	No7	マーケティング分析の実践	マーケティングの分析手法を用いて、実在する企業や商品のケーススタディを行う		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分
	No8	消費者心理の分析と戦略立案	消費者の心理や行動を分析したうえで、企業のマーケティング戦略を立案する		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分
	No9	消費者心理の分析と戦略立案	消費者の心理や行動を分析したうえで、企業のマーケティング戦略を立案する		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分
	No10	消費者心理の分析と戦略立案	消費者の心理や行動を分析したうえで、企業のマーケティング戦略を立案する		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分

		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分
	No11	消費者心理の分析と戦略立案	消費者の心理や行動を分析したうえで、企業のマーケティング戦略を立案する		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分
	No12	消費者心理の分析と戦略立案	消費者の心理や行動を分析したうえで、企業のマーケティング戦略を立案する		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分
	No13	消費者心理の分析と戦略立案	消費者の心理や行動を分析したうえで、企業のマーケティング戦略を立案する		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分
	No14	消費者心理の分析と戦略立案	消費者の心理や行動を分析したうえで、企業のマーケティング戦略を立案する		
		予習内容(時間)	事前に資料を読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	他者の意見やアイデアをふまえて、自身の考察をより深めること	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-広瀬
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	広瀬 盛一
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	このプロフェッショナル・セミナーでは、さまざまなマーケティング活動のなかでもテレビやオンラインの広告、クーポンなどの販売促進、SNSやオンラインサイトにおける口コミといったマーケティング・コミュニケーション活動を中心にして、マーケティングについて学ぶと同時に、研究をするための基本的な技術の習得を目指す。							
【到達目標】	テーマに関する資料が読めるようになる。							
	テーマに必要な資料が探せるようになる							
	研究に必要な分析ができるようになる							
【履修条件・受講推奨者】								
【教育方法】								
【指定教科書・参考資料等】	特になし							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項】	評価項目と割合			評価方法				
	研究資料の内容理解		35%					

項(試験方法、単位修得要件))	研究手法の理解	30%	出席を前提として研究発表や共同作業の様子から判断する。		
	研究における共同作業	35%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】					
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス	授業の進め方と自己紹介		
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No2	アイスブレイク(1)	ゼミのメンバーの相互理解を深める		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No3	アイスブレイク(2)	ゼミのメンバーの相互理解を深める		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No4	資料検索の方法について(1)	図書館やオンラインでの資料検索について学ぶ		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No5	資料の検索について(2)	図書館やオンラインでの資料検索について学ぶ		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No6	研究テーマの検討(1)	研究テーマについて話し合う		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No7	研究テーマの検討(2)	研究テーマについて話し合う		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No8	研究テーマに関する資料の輪読(1)	研究テーマに関する資料を調べて発表し、議論する		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No9	研究テーマに関する資料の輪読(2)	研究テーマに関する資料を調べて発表し、議論する		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No10	研究テーマに関する資料の輪読(3)	研究テーマに関する資料を調べて発表し、議論する		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No11	研究テーマに関する資料の輪読(4)	研究テーマに関する資料を調べて発表し、議論する		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分

		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No12	研究テーマに関する資料の輪読(5)	研究テーマに関する資料を調べて発表し、議論する		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No13	研究テーマに関する資料の輪読(6)	研究テーマに関する資料を調べて発表し、議論する		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No14	まとめ	授業の振り返りをする		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-深澤
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	深澤 琢也
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	セミナーでは、最終的にグローバル・マーケティングに関する問題を解決・提案する能力を養成することを目的とします。グローバル・マーケティングとは、国境を越えて行われるマーケティング活動を意味します。それは、自国とは異なった制度環境でマーケティングを行うということです。本セミナー I では、先に述べた最終的な目標に向けて、まずはグローバル・マーケティングに関する基礎理論を学び、また研究調査に必要な統計学の知識も学び、研究を行うための基礎知識の習得を目指します。																						
【到達目標】	発表に必要な基本的スキルを身につけていること グローバルビジネスに関する文献レビューを行えること ディスカッションで自分の意見を発言できること																						
【履修条件・受講推奨者】	本プロフェッショナル・セミナーは、履修生の自発的な学習が重要になります。毎週履修者が分担して、課題報告をすることが求められますので、出席はもちろんのこと、そうした課題をこなす自信とやる気がある履修者でなければ単位修得は困難かと思われます。ただし、やる気のある学生、将来海外で働いてみたい、国内で就職しても海外に携わる仕事をしてみたいという学生はこのセミナーで得るものは大きいでしょう。通常の授業とは異なりますので、自ら学習の意思がある学生のための履修を求めます。																						
【教育方法】	履修者によるグループワークに対する研究指導																						
【指定教科書・参考資料等】	なし																						
【実務IQ修得目標】	<table border="1"> <tr> <td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr> <tr> <td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table>	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力	○								
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																
協働力	○	主張力	○	創造力	○																		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法
	発表に必要な基本的スキルを身につけていること	25%	各回のゼミナールへの積極的参加度を評価する。
	グローバルビジネスに関する文献レビューを行えること	25%	
	ディスカッションで自分の意見を発言できること	50%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】	履修条件・受講推奨者に記載されたことに同意した学生のみ履修を許可する。

週	テーマ	学習内容		
No1	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期中)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
No2	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期通して)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
No3	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期通して)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
No4	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期通して)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
No5	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期通して)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
No6	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期通して)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
No7	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期通して)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		

【授業計画】		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No8	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期通して)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No9	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期通して)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No10	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期通して)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No11	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期通して)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No12	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期通して)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No13	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期通して)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No14	国境を超えたマーケティングについて研究する(春学期通して)	・国際経営論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・マイクロソフトのオフィスソフト(Word, Excel PowerPoint)の活用方法の習得 ・統計学の基本知識の習得 ・各種データおよび文献検索方法の習得		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-藤森
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	藤森 大祐
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	主に以下のテーマについて研究し、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート作成を行う。①企業による環境問題の解決、環境ビジネス ②企業のSDGsへの取り組み ③ビジネスによる地域活性化 なお、場合によっては外部に演習に出かけることもある。						
【到達目標】	環境問題やSDGsに関する基礎的な知識の理解 ソーシャルビジネスに関する理解 ディスカッションとプレゼンテーション能力の向上						
【履修条件・受 講推奨者】	あらゆる活動に積極的に参加できる学生の履修を望む						
【教育方法】	グループまたは個人でプレゼンテーションを行う。ディスカッションを行う。						
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。講義内で適宜紹介する。						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力		
	評価項目と割合		評価方法				
	環境問題やSDGsに関する基礎的な知識を理解している		30%				

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	ソーシャルビジネスについて理解している		30%	問題設定、調査、ディスカッション、プレゼンテーション、および各種ゼミ活動への主体的な取り組みなどから総合的に評価する。	
	プレゼンテーションとディカッション能力を高めている		40%		
	合計		100%		
	【その他の注意事項】	特になし。			
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス	講義の進め方や評価方法についての周知。メンバー間のコミュニケーションを図る。		
		予習内容(時間)	事前に講義資料を把握し、わからないことを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、自身の研究テーマについて調べる。	120	分
	No2	研究テーマの検討	研究テーマについて教員から指導を受け、より詳細に検討する。		
		予習内容(時間)	自身の研究テーマについて調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、自身の研究テーマを決定する。	120	分
	No3	プレゼンテーションの準備①	自身の研究を進める。その都度教員よりアドバイスを受ける。		
		予習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
		復習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
	No4	プレゼンテーションの準備②	自身の研究を進める。その都度教員よりアドバイスを受ける。		
		予習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
		復習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
	No5	研究発表	全員が発表を行い、ディスカッションを行う。		
		予習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
		復習内容(時間)	自身の発表を振り返るとともに、他のメンバーの発表を講評する。	120	分
	No6	研究テーマの検討	研究テーマについて教員から指導を受け、より詳細に検討する。		
		予習内容(時間)	自身の研究テーマについて調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、自身の研究テーマを決定する。	120	分
	No7	プレゼンテーションの準備①	自身の研究を進める。その都度教員よりアドバイスを受ける。		
		予習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
		復習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
	No8	プレゼンテーションの準備②	自身の研究を進める。その都度教員よりアドバイスを受ける。		
		予習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
		復習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
	No9	研究発表	全員が発表を行い、ディスカッションを行う。		
		予習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
		復習内容(時間)	自身の発表を振り返るとともに、他のメンバーの発表を講評する。	120	分
	No10	研究テーマの検討	研究テーマについて教員から指導を受け、より詳細に検討する。		
		予習内容(時間)	自身の研究テーマについて調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、自身の研究テーマを決定する。	120	分

	No11	プレゼンテーションの準備①	自身の研究を進める。その都度教員よりアドバイスを受ける。		
		予習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
		復習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
	No12	プレゼンテーションの準備②	自身の研究を進める。その都度教員よりアドバイスを受ける。		
		予習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
		復習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
	No13	研究発表	全員が発表を行い、ディスカッションを行う。		
		予習内容(時間)	自身の研究テーマのプレゼンテーションを準備する。	120	分
		復習内容(時間)	自身の発表を振り返るとともに、他のメンバーの発表を講評する。	120	分
	No14	これまでの講義の振り返り	これまでの講義を振り返り全員が発表する。		
		予習内容(時間)	これまでの講義を振り返り、資料の整理をしておく。	120	分
		復習内容(時間)	これまでの講義を振り返り、レポートを作成し、提出する。	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-松田
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	松田 岳
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	日本の経済は、長期にわたる低成長や高齢化による労働力の減少、財政赤字、国際競争力低下などの問題を抱えています。これらの社会課題を解決するのは政府だけの責務ではありません。企業が生産する財やサービスこそが社会が発展する原動力であると同時に、その革新が社会問題の解決に貢献することもあります。わたしたち家計も、株式投資を通じてそうした企業の活動を応援することができます。松田ゼミでは「金もつけの手段」を超えたところにある株式投資の意義やリスクを学修します。仮想的に株式投資を体験することで、日本政府が求める「貯蓄から投資へ」を実践的に学びます。							
【到達目標】	金融と経済の関係について理解し、説明できるようになること。 ポートフォリオについて理解し、自らそれを組成できるようになること。 投資指標について理解し、論理的に投資銘柄が選択できるようになること。							
【履修条件・受 講推奨者】	能動的・主体的な学修態度、協調的な姿勢、絶対に欠席しない自己制御力を有する者							
【教育方法】	大学設置基準に定められている予習・復習を学生が行うことを前提として、授業を行う。授業は教員による講義、学生たちによる報告、質疑応答から構成されている。							
【指定教科書・ 参考資料等】	指定教科書はない。参考資料は適宜授業内で紹介する。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	報告タスクに対して主体的、能動的に取り組んだか否か	80%	毎週の報告内容、準備作業、授業当日の質疑応答から総合的に評価を行う。		
	他者からの質問に冷静かつ論理的に対応できたか否か	10%			
	他者の報告の傾聴、課題の発見、建設的な意見の提案	10%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	1)大学のメールアドレスとパスワードは授業参加に不可欠なので忘れないこと。2)コースパワーの情報を小まめに確認すること。3)5回以上欠席すると評価対象外になる。				
	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス:本学におけるPS1の位置付け、PS1の到達目標や教授方法、評価方法を確認する。	本学のカリキュラムにおける本科目の位置付け、基礎演習・プロフェッショナルセミナー・専門演習の関係、本科目の全体テーマ、皆さんが目指すべき到達目標について理解していただきます。また、本科目の評価対象と評価基準、本科目の出欠確認方法、評価対象外となる基準などについて説明します。グループ(3名から5名の範囲内で設定)で演習を行う際のグループ分けについて説明し、学生たちには自己紹介やアンケートへの回答をしていただきます。		
		予習内容(時間)	シラバスに目を通し、半年間の授業の流れを事前に把握しておくこと。	180	分
		復習内容(時間)	ガイダンスの内容を思い起こし、疑問点などが無いか振り返っておくこと。	60	分
	No2	個人面談1:ゼミ生の半数について、今年度の実務IQを養成するためのプランニングを支援する。	学生たち自身が自分の特性について考え、実務IQ(親和力・協働力・統率力、感情制御力・自信創出力・行動持続力、課題発見力・計画立案力・実践力)のうち伸ばしたい「力」を選定してもらいます。選定した実務IQごとに、それを伸ばす方法は異なります。担当教員から実務IQを伸ばすためにどのような努力をすべきか、いくつかのメニューを提示します。学生はそのメニューの中から自分にできそうな努力の方法を選び、今年度一年間の活動目標とします。		
		予習内容(時間)	実務IQの成長目標を設定すると同時に、自己PRや将来計画についても検討する。	180	分
		復習内容(時間)	個人面談の結果を踏まえ、1年間の具体的な学修計画、生活目標を設定する。	60	分
	No3	個人面談2:ゼミ生の半数について、今年度の実務IQを養成するためのプランニングを支援する。	学生たち自身が自分の特性について考え、実務IQ(親和力・協働力・統率力、感情制御力・自信創出力・行動持続力、課題発見力・計画立案力・実践力)のうち伸ばしたい「力」を選定してもらいます。選定した実務IQごとに、それを伸ばす方法は異なります。担当教員から実務IQを伸ばすためにどのような努力をすべきか、いくつかのメニューを提示します。学生はそのメニューの中から自分にできそうな努力の方法を選び、今年度一年間の活動目標とします。		
		予習内容(時間)	実務IQの成長目標を設定すると同時に、自己PRや将来計画についても検討する。	180	分
		復習内容(時間)	個人面談の結果を踏まえ、1年間の具体的な学修計画、生活目標を設定する。	60	分
	No4	株式投資の基礎学習1:資産運用とリスク管理	社会保険料や税金の増加、インフレを背景に将来、生活にかかる費用が今より増加していくとよそうされていること、今後の人生で発生するライフイベントにはまとまった資金が必要であること、ライフイベントの必要資金の一部では国の支援が受けられること、生活に必要な資金は預貯金型金融商品で運用し、投資は余裕資金で行うことが原則であること、投資は経済成長に貢献する側面もあることなどを学修します。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No5	株式投資の基礎学習2:株式投資の仕組みとリスク	株式投資の仕組み、株式投資のリスク(価格変動リスク、信用リスク)とリスクへの対応(時間分散、銘柄分散、長期運用)、株価を動かす要因(需給、金利、外国為替、景気、海外市場など)、株価の見方、代表的な株式指標(日経平均、TOPIX、出来高、時価総額など)、財務諸表分析、株価・配当に関する投資指標(PER、PBR、配当性向、配当利回りなど)、収益性に関する指標(ROA、ROE)、株価チャートや移動平均線の見方などを学修します。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No6	業種分析1:担当業種のおすすめ度合い、投資すべき・注目すべき銘柄をプレゼンする。	チームごとに割り当てられた業種の成長性などについて調べ、投資を推奨すべきかどうかについて議論します。業種に属する銘柄を精査し、投資指標・経営指標などの観点から「投資推奨銘柄」をチームとして3つ選び、プレゼンしていただきます。あわせて、それぞれのゼミ生が投資指標・経営指標以外の観点から「推し銘柄」を1つ選び、プレゼンしていただきます。今週の担当業種は「食品」「エネルギー資源」「建設・資材」。		
		予習内容(時間)	チームの投資推奨銘柄と個人の推し銘柄を選び、プレゼンの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
		業種分析2:担当業種のおすすめ度合い、投資すべき・注目すべき銘柄をプレゼンする。	チームごとに割り当てられた業種の成長性などについて調べ、投資を推奨すべきかどうかについて議論します。業種に属する銘柄を精査し、投資指標・経営指標などの観点から「投資推奨銘柄」をチームとして3つ選び、プレゼンしていただきます。あわせて、それぞれのゼミ生が投資指標・経営指標以外の観点から「推し銘柄」を1つ選		

【授業計画】	No7	き銘柄をプレゼンする。	び、プレゼンしていただきます。今週の担当業種は「素材・化学」「医薬品」「自動車・輸送機」。		
		予習内容(時間)	チームの投資推奨銘柄と個人の推し銘柄を選び、プレゼンの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No8	実務IQの育成1: 学生一人当たり1万円の利益を出すための模擬店の事業計画書を作成する。	個人面談の際に設定した「伸ばしたい実務IQ」を実際に成長させる機会として、松田ゼミとして文化祭に模擬店を出店します。2日間の経営で学生一人あたり1万円の利益獲得を目標に設定し、それを実現するための事業計画書を各ゼミ生が作成します。なお、事業計画書には事業概要(取扱商品・サービス)、セールスポイント、営業戦略、社会的背景、生産・販売体制、開業資金の調達、売上計画を含めなければなりません。		
		予習内容(時間)	経営目標を達成させるための商品設計や営業戦略の構想を事前に練っておく。	180	分
		復習内容(時間)	学修した事業計画書の内容を踏まえ、自らの事業計画の具体化をすすめる。	60	分
	No9	実務IQの育成2: 各学生が模擬店の事業計画書をプレゼンし、最も優れた事業計画書を選び出す。	事業概要(取扱商品・サービス)、セールスポイント、営業戦略、社会的背景、生産・販売体制、開業資金の調達、売上計画を含む事業計画書を、各ゼミ生が皆の前でプレゼンし、最も優れた事業計画を一つ選択します。選択された事業計画に基づいて、文化祭当日までの具体的な事業準備のスケジュールリングも併せて行っていただきます。文化祭はあくまでも実務IQを伸ばす手段にすぎないので、実務IQを伸ばすことを心がけながら文化祭の準備作業に臨むことが大切です。		
		予習内容(時間)	事業計画書として必要な項目をすべて満たした事業計画のプレゼンを作成する。	180	分
		復習内容(時間)	プレゼンの結果選ばれた事業計画書に目を通し、不足点・改善点について検討する。	60	分
	No10	業種分析3: 担当業種のおすすめ度合い、投資すべき・注目すべき銘柄をプレゼンする。	チームごとに割り当てられた業種の成長性などについて調べ、投資を推奨すべきかどうかについて議論します。業種に属する銘柄を精査し、投資指標・経営指標などの観点から「投資推奨銘柄」をチームとして3つ選び、プレゼンしていただきます。あわせて、それぞれのゼミ生が投資指標・経営指標以外の観点から「推し銘柄」を1つ選び、プレゼンしていただきます。今週の担当業種は「鉄鋼・非鉄」「機械」「電機・精密」。		
		予習内容(時間)	チームの投資推奨銘柄と個人の推し銘柄を選び、プレゼンの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No11	業種分析4: 担当業種のおすすめ度合い、投資すべき・注目すべき銘柄をプレゼンする。	チームごとに割り当てられた業種の成長性などについて調べ、投資を推奨すべきかどうかについて議論します。業種に属する銘柄を精査し、投資指標・経営指標などの観点から「投資推奨銘柄」をチームとして3つ選び、プレゼンしていただきます。あわせて、それぞれのゼミ生が投資指標・経営指標以外の観点から「推し銘柄」を1つ選び、プレゼンしていただきます。今週の担当業種は「情報通信・サービスその他」「電気・ガス」「運輸・物流」。		
		予習内容(時間)	チームの投資推奨銘柄と個人の推し銘柄を選び、プレゼンの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No12	業種分析5: 担当業種のおすすめ度合い、投資すべき・注目すべき銘柄をプレゼンする。	チームごとに割り当てられた業種の成長性などについて調べ、投資を推奨すべきかどうかについて議論します。業種に属する銘柄を精査し、投資指標・経営指標などの観点から「投資推奨銘柄」をチームとして3つ選び、プレゼンしていただきます。あわせて、それぞれのゼミ生が投資指標・経営指標以外の観点から「推し銘柄」を1つ選び、プレゼンしていただきます。今週の担当業種は「商社・卸売」「小売」「銀行」。		
		予習内容(時間)	チームの投資推奨銘柄と個人の推し銘柄を選び、プレゼンの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No13	業種分析6: 担当業種のおすすめ度合い、投資すべき・注目すべき銘柄をプレゼンする。	チームごとに割り当てられた業種の成長性などについて調べ、投資を推奨すべきかどうかについて議論します。業種に属する銘柄を精査し、投資指標・経営指標などの観点から「投資推奨銘柄」をチームとして3つ選び、プレゼンしていただきます。あわせて、それぞれのゼミ生が投資指標・経営指標以外の観点から「推し銘柄」を1つ選び、プレゼンしていただきます。今週の担当業種は「金融(除く銀行)」「不動産」「名証単独銘柄」。		
		予習内容(時間)	チームの投資推奨銘柄と個人の推し銘柄を選び、プレゼンの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No14	実務IQの育成3: 証券取引所を訪問し、証券取引所の歴史、役割、機能などについて解説を受ける。	日本取引所グループが開催する東京証券取引所の「案内付き見学ツアー(あろーずくんコース)」に参加します。10分間の説明動画を視聴した後に、東証Arrowsスタッフによる講義を50分間聴講します。その後、約30分間の時間を使って、仮定の証券市場で配信されるニュースや会社情報を判断材料にして、株式の投資体験を行います。事前学習として日本取引所グループ「知っていますか？取引所の役割」に目を通し、所定のレポートを作成してから見学に臨みます。		
		予習内容(時間)	事前に指定された課題図書に目を通し、その内容を要約し、レポートにまとめる。	180	分
		復習内容(時間)	見学で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-光澤
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	光澤 美芽
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	このゼミでは、財務会計をテーマに、3年次および4年次の専門演習の基礎固めとして、初歩的専門性の獲得および専門研究の手法の基礎を習得することを目的としている。 プロフェッショナル・セミナーⅠ（春期）では、専門書の輪読を通じて財務会計の初歩的専門性を獲得してもらう。具体的にはテキストを分担して、毎回担当者が内容を要約しレジュメを作成したうえで発表し、ディスカッションを行う。プロフェッショナル・セミナーⅡ（秋学期）へ向けた予備段階として、専門書を読み解く力を養い、専門性を深めることを目的としている。なお、発表にはパワーポイントを使用する						
【到達目標】	【財務会計に関する基礎的な知識の修得】 ゼミで取り上げるテーマについて専門用語および基礎概念を理解している。 【資料の収集・整理・分析能力およびプレゼンテーション能力の向上】 ①図書館やインターネットを利用して、必要な資料を収集し、それを整理・分析することが出来る。 ②自らが調査・分析した結果を、分かりやすくまとめて他者に伝えることが出来る。 【専門書の読解力の向上】 ①専門性の高い文献を読み解き、内容を理解することが出来る。 ②専門書に出てくる、よりレベルの高い専門用語を理解し、説明できる。						
【履修条件・受講推奨者】	演習に積極的に参加する学生の履修を望む。 なお、「入門簿記Ⅰ・Ⅱ」および「会計学Ⅰ・Ⅱ」を履修済みであることが条件である。また、併せて「商業簿記Ⅰ・Ⅱ」、「財務会計Ⅰ・Ⅱ」等、関連する専門科目を履修することが望ましい。						
【教育方法】	指定された専門書の輪読およびディスカッション。						
【指定教科書・参考資料等】	開講時に指示する。						
	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力

【実務IQ修得目標】	<table><tr><td colspan="2">協働力</td><td>○</td><td colspan="2">主張力</td><td>○</td><td colspan="2">創造力</td><td>○</td><td></td></tr></table>										協働力		○	主張力		○	創造力		○																																																																																																																																																																																																																			
協働力		○	主張力		○	創造力		○																																																																																																																																																																																																																														
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="6">評価方法</td></tr><tr><td colspan="4">財務会計に関する基礎的な知識の修得</td><td colspan="2">40%</td><td colspan="6" rowspan="4">ゼミ活動への積極的な参加（出席状況および発表・ディスカッションにおける態度）および研究成果により評価。</td></tr><tr><td colspan="4">資料の収集・整理・分析能力およびプレゼンテーション能力の向上</td><td colspan="2">30%</td></tr><tr><td colspan="4">専門書の読解力の向上</td><td colspan="2">30%</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td colspan="2">100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法						財務会計に関する基礎的な知識の修得				40%		ゼミ活動への積極的な参加（出席状況および発表・ディスカッションにおける態度）および研究成果により評価。						資料の収集・整理・分析能力およびプレゼンテーション能力の向上				30%		専門書の読解力の向上				30%		合計				100%																																																																																																																																																																																					
	評価項目と割合				評価方法																																																																																																																																																																																																																																	
	財務会計に関する基礎的な知識の修得				40%		ゼミ活動への積極的な参加（出席状況および発表・ディスカッションにおける態度）および研究成果により評価。																																																																																																																																																																																																																															
	資料の収集・整理・分析能力およびプレゼンテーション能力の向上				30%																																																																																																																																																																																																																																	
	専門書の読解力の向上				30%																																																																																																																																																																																																																																	
合計				100%																																																																																																																																																																																																																																		
【その他の注意事項】	無断での欠席・遅刻は厳禁。大人の自覚をもってゼミに臨むこと。 発言・質問等、積極的・自発的に参加すること。 私語や他者への迷惑となる行為は厳禁。特に携帯電話（スマートフォン）の使用・メール等SNSの閲覧は授業の妨害とみなし、退席してもらう。																																																																																																																																																																																																																																					
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="8">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td colspan="8">自己紹介、ゼミの進め方、発表分担の割り当てなど。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="7">自己紹介の内容を考えておく。</td><td>60</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="7">①指定された書籍を入手し、全体に目を通したうえで自分の担当個所を確認する。 ②次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>180</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>輪読①</td><td colspan="8">担当者による報告と全員でのディスカッション。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="7">次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="7">報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>輪読②</td><td colspan="8">担当者による報告と全員でのディスカッション。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="7">次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="7">報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>輪読③</td><td colspan="8">担当者による報告と全員でのディスカッション。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="7">次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="7">報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>輪読④</td><td colspan="8">担当者による報告と全員でのディスカッション。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="7">次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="7">報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No6</td><td>輪読⑤</td><td colspan="8">担当者による報告と全員でのディスカッション。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="7">次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="7">報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No7</td><td>輪読⑥</td><td colspan="8">担当者による報告と全員でのディスカッション。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="7">次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="7"></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容								No1	ガイダンス	自己紹介、ゼミの進め方、発表分担の割り当てなど。								予習内容(時間)	自己紹介の内容を考えておく。							60	分	復習内容(時間)	①指定された書籍を入手し、全体に目を通したうえで自分の担当個所を確認する。 ②次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							180	分	No2	輪読①	担当者による報告と全員でのディスカッション。								予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							120	分	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。							120	分	No3	輪読②	担当者による報告と全員でのディスカッション。								予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							120	分	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。							120	分	No4	輪読③	担当者による報告と全員でのディスカッション。								予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							120	分	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。							120	分	No5	輪読④	担当者による報告と全員でのディスカッション。								予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							120	分	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。							120	分	No6	輪読⑤	担当者による報告と全員でのディスカッション。								予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							120	分	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。							120	分	No7	輪読⑥	担当者による報告と全員でのディスカッション。								予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							120	分	復習内容(時間)									
	週	テーマ	学習内容																																																																																																																																																																																																																																			
	No1	ガイダンス	自己紹介、ゼミの進め方、発表分担の割り当てなど。																																																																																																																																																																																																																																			
		予習内容(時間)	自己紹介の内容を考えておく。							60	分																																																																																																																																																																																																																											
		復習内容(時間)	①指定された書籍を入手し、全体に目を通したうえで自分の担当個所を確認する。 ②次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							180	分																																																																																																																																																																																																																											
	No2	輪読①	担当者による報告と全員でのディスカッション。																																																																																																																																																																																																																																			
		予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							120	分																																																																																																																																																																																																																											
		復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。							120	分																																																																																																																																																																																																																											
	No3	輪読②	担当者による報告と全員でのディスカッション。																																																																																																																																																																																																																																			
		予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							120	分																																																																																																																																																																																																																											
		復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。							120	分																																																																																																																																																																																																																											
	No4	輪読③	担当者による報告と全員でのディスカッション。																																																																																																																																																																																																																																			
		予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							120	分																																																																																																																																																																																																																											
		復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。							120	分																																																																																																																																																																																																																											
	No5	輪読④	担当者による報告と全員でのディスカッション。																																																																																																																																																																																																																																			
		予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							120	分																																																																																																																																																																																																																											
		復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。							120	分																																																																																																																																																																																																																											
	No6	輪読⑤	担当者による報告と全員でのディスカッション。																																																																																																																																																																																																																																			
		予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							120	分																																																																																																																																																																																																																											
		復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。							120	分																																																																																																																																																																																																																											
	No7	輪読⑥	担当者による報告と全員でのディスカッション。																																																																																																																																																																																																																																			
予習内容(時間)		次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。							120	分																																																																																																																																																																																																																												
復習内容(時間)																																																																																																																																																																																																																																						

【授業計画】		容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
	No8	輪読⑦	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
		予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめディスカッションの準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
	No9	輪読⑧	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
		予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめディスカッションの準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
	No10	輪読⑨	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
		予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめディスカッションの準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
	No11	輪読⑩	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
		予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめディスカッションの準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
	No12	輪読⑪	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
		予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめディスカッションの準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
	No13	輪読⑫	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
		予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめディスカッションの準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
	No14	まとめ	振り返り。レポート課題の説明。		
		予習内容(時間)	最後に挨拶をしてもらうので一言考えておく。	30	分
		復習内容(時間)	レポートを提出する。	210	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナー I B-山川
講義名(英字)	Professional Seminar I
担当教員	山川 悟
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	研究テーマ:実践的マーケティングプランニング マーケティングには「商品開発」「販売促進」「広告宣伝」「ブランディング」などさまざまな領域があり、その裾野は非常に広いものです。 本講座は単に知識としてのマーケティングではなく、「自分たちで企画して実践してみる」ことを通じて、マーケティングの仕事の楽しさを体感して もらえる場にしたいと考えています。 また、実際の企業から具体的なテーマをもらって企画に取り組むプロジェクト学習も想定しています。 以下に昨年度展開に基づいたシラバスを示しますが、研究テーマや運営方法については受講生の志向を確認しながら進めていきたいと思いま す。						
【到達目標】	①他者の声に耳を傾け、組織内での協調や調整を図ることができる ②能動的に意見を発信し、建設的な議論を進めることができる ③実務的な課題に対し、創造的な解決策を示すことができる						
【履修条件・受 講推奨者】	企画・創造的な仕事に携わりたい人。世の中を楽しくするアイデアを生み出したい人。						
【教育方法】	・学生同士のディスカッションを中心としたアクティブラーニングを基本とします。 ・ブレンストーミングやプレゼンテーション、質疑応答を重視しながら進めます。						
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書は使用せず、講義資料はその都度配布、または各自ダウンロードして受講する。						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力	○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	他者の声に耳を傾け、協調や調整を図ることができる	30	およそ70%以上の出席を条件に、グループ討議(観察・ピア評価)、口頭試問等で評価		
	能動的に意見を発信し、建設的な議論を進めることができる	30			
	実務的な課題に対し、創造的な解決策を示すことができる	40			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	ゼミは学生主体で運営するものであるため、能動的な姿勢で受講してください。				
	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	春学期講義のオリエンテーション(受講方法、授業計画、資料、利用ツール、留意点など)を行います。教員及び受講生による自己紹介、及び受講者同士の相互理解を深めるためのアイスブレイクを実施します。アイデアを抽出するための手法として「ブレインストーミング」の基本を学び、実践します。		
		予習内容(時間)	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分
		復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分
	No2	アイデア多産の技術	短時間で100案出し尽くすための方法として、「チェックリスト法」を実践してみます。本講義では、講師が考案した「百案リスト」を使い、アイデアを多数出していきます。これはカテゴリー(区分)を10に分け、それぞれ12のキーワードが書かれた合計120のキーワードがあり、これをヒントに最低100案を抽出していく方法です。アイデアの評価方法についても学び、発表と講評も行います。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分
	No3	人事部長になって会社説明①	本学のキャリア支援部にストックされた各企業の会社案内を見ながら、そこにどのような情報が網羅されているのか、それぞれの企業の魅力とは何かを分析し、グループ内で発表します。また、会社案内の構成要素は何か、学生に訴求すべきポイントとは何かについても考察し、議論します。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業について、さらに調べてみる	120	分
	No4	人事部長になって会社説明②	社名に「フジ」がつく会社(主としてBtoB企業)が列挙されます。受講生はそこから1社を選び、その企業の人事・採用担当者となって、自社への入社希望の学生を増やすために魅力的な会社案内を作成するとともに、会社説明会での説明担当者となるミッションを与えられます。まず、担当企業のWebサイトを確認し、事業内容・規模・顧客・営業スタイル・会社の特徴などをピックアップします。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	担当した企業について、詳しく調べてみる	120	分
	No5	人事部長になって会社説明③	先々週実施した会社案内の構成要素を参考に、Webサイトなどから情報をとり、パワーポイントで10ページ程度の会社案内を作成します。動画などを作成しても構いません。また、担当企業の魅力を3つに絞り、それらをどう学生にアピールするのかを考え、会社説明会(プレゼンテーション)で話す内容を組み立てます。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	担当した企業の会社案内を完成させてくる	120	分
	No6	人事部長になって会社説明④	自らが作成した会社案内のパワーポイントスライドをもとに、それぞれ5分程度の企業PRプレゼンテーションをします。聞く側は「合同企業説明会に来た学生」の立場で、採用担当者の話を聞き、各企業の3つの魅力を分析します。また、一番魅力的だと思った企業に投票します。学生から一番支持を得た会社が優勝となります。最後に講師から全体の講評とまとめコメントを行い、振り返りシートに所感を記入します。		
		予習内容(時間)	プレゼンテーションの練習をしてくる	120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	他の学生のプレゼンを聞き、自分の発表内容について改善すべき点を整理する	120	分
	No7	動物に例えて自己紹介①	「あなたを動物にたとえて紹介してください」という入社試験問題に対して、どのようなステップでこれに回答すればよいかをグループで議論します。 相手の知っている何かに例えてわかりやすく説明するためには、「事実(evidence)」→「特徴(feature)」→「比喩(analogy)」というEFA分析のステップを踏む必要があることを学びます。 また、このプロセスにおいて必要とされる演繹的な知と、帰納的な知についても確認します。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分
	No8	動物に例えて自己紹介②	EFA分析に基づいて、各自が自らを動物にたとえた紹介文を作成し、発表します。 発表後は質問しあい、相互理解も深めていきます。 「自分自身を漢字1字で示してください」「Z世代を野菜で例えて60代の社長にわかるように説明してください」などの応用問題などにもチャレンジしてみます。 最後に講師から全体の講評とまとめコメントを行い、振り返りシートに所感を記入します。		
		予習内容(時間)	自己紹介文を書き、その発表の練習をしてくる	240	分
		復習内容(時間)	他の学生のプレゼンを聞き、自分の発表内容について改善すべき点を整理する	120	分
	No9	さかえ通りのキャラクターをつくらう①	キャラクターマーケティングをテーマとする講義を受講し、「くまもん」のビジネスモデル、キャラクター設定のポイント、リクルート「スーも」「あさみみちゃん」「びちよんくん」「ますえもん」「東京海ジョー」などの事例を検討します。 グループ内で、さかえ通りのキャラクターを開発するとすれば、どんな設定となるかを議論します。開発目的は、さかえ通りを広く認知してもらうことと商店街の活性化です。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた事例や他の事例についても調べてみる	120	分
	No10	さかえ通りのキャラクターをつくらう②	前週に引き続き、さかえ通りのキャラクターについてのアイデア開発をしていきます。 グループ討議により、キャラクターの「種別」「使命」「趣味」「不思議な能力」「ライバル」「口癖」「自慢」「悩み」「好きな言葉」「さかえ通りに住む理由」「性格」「顔のイメージ=イラスト」などの詳細な設定を描いていきます。		
		予習内容(時間)	課題内容について、予め自分なりの考え方をまとめておく	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた内容について、自分なりに調べてみる	120	分
	No11	さかえ通りのキャラクターをつくらう③	各グループで考案したキャラクターについて発表し、質疑応答を行います。 次に、このキャラクターの持つ不思議な能力で、さかえ通りに行き交う中小企業経営者たちの悩みを解決していく物語を考案します。 本講義では、民俗学者プロップによる魔法昔話の分析、グレマスによる物語の構造分析、キャンベルによる神話の形態分析などを通じ、物語の構造や登場人物類型などを学びます。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた内容について、自分なりに調べてみる	120	分
	No12	さかえ通りのキャラクターをつくらう④	グループで設定したキャラクターが登場し、主人公の悩みを解決する物語を「ストーリーづくりのフォーマット」に基づいて創作します。 主人公はビジネス上の悩みや危機を抱えており、それをキャラクターの支援と、登場人物の努力や知恵で解決します。 これまで専門科目で勉強してきたマーケティングや経営学等の知見を活かした物語とします。 ただし、完全オリジナルの作品ではなく、現実の成功例を参考に、ストーリーを組み立ててもよいとします。		
		予習内容(時間)	課題内容について、予め自分なりの考え方をまとめておく	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた内容について、自分なりに調べてみる	120	分
	No13	さかえ通りのキャラクターをつくらう⑤	引き続き、グループディスカッションにより、ストーリーづくりを継続します。 主人公がなぜキャラクターの援助を得られるのか、主人公はこの不思議な体験から何を得られるのか、などについて議論を深めます。		
		予習内容(時間)	課題内容について、予め自分なりの考え方をまとめておく	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた内容について、自分なりに調べてみる	120	分
		さかえ通りのキャラクターをつくらう⑥	各グループで考案したストーリーについて発表し、質疑応答を行います。 他のグループから高い「共感度」を獲得したチームが優勝です。 また、ストーリーについてはWebサイトなどで公開することも検討します。		

	No14		最後に講師から全体の講評とまとめコメントを行い、振り返りシートに所感を記入します。		
		予習内容(時間)	ストーリーを完成させるとともに発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	他の学生のプレゼンを聞き、自分の発表内容について改善すべき点を整理する	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅢ BE-A
講義名(英字)	Professional Seminar III
担当教員	石渡 正人
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	講義テーマ: 地域ブランドの立案 Web2.0により販売マーケットは広がり、都市と地方の格差は薄れました。コロナも終息し、再び海外からの訪問者は増加し、インバウンド需要も回復します。 地域を核にした市場は今後確実に成長し、地域にある産業・伝統・文化などの資産を活用して地域ブランドを創造することは、地域経済を潤し、地域活性に繋がります。 企業にとっても地域ブランド商品やサービスの開発、観光やイベントなど沢山のビジネスチャンスに溢れています。 本講義では、地域ビジネスの様々な事例を学び、地域ブランドの手法を学び、現在のビジネスマーケットと照らし合わせ、受講者個々が地域ブランドを企画・構築します。						
【到達目標】	地域の問題点や、地域ブランドについて理解する。 地域ブランドを構築するための手法を理解する。 地域ブランドを自分なりに考え、企画書としてまとめる。						
【履修条件・受 講推奨者】	好奇心旺盛で企画立案に興味があること。ブランドやマーケティングを学びたい人。						
【教育方法】	実務IQの観点から、前半は様々なビジネス事例を検証し、手法について学びます。 後半は前半で学んだことを活かし、地域ブランドの企画書を作成しプレゼンします。						
【指定教科書・ 参考資料等】	使用せず、PPT資料を配布。						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力		主張力		創造力	○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	講義内容の理解と、講義中の質疑や討論へ積極的な参加。	20%	受講態度20%、中間テスト40%、本試験(指定フォーマット企画書)40%		
	地域ブランドの開発手法の理解について中間テストで評価。	40%			
	地域を対象にした自分なりのビジネスプランを本試験で評価。	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	講義中にインターネットで調べる時間があります。 受講時にPCまたはタブレットかスマホの持ち込みをお願いします。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション及び地方を取り巻く状況について解説	自己紹介と講義の進め方について説明。 基礎知識として、人口減少社会、高齢化、産業空洞化、地域コミュニティの分断など現状の問題点を解説。 また、インバウンド需要やweb3などこれからのビジネスチャンスも紹介。		
		予習内容(時間)	webで地方を取り巻く状況について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		復習内容(時間)	webでインバウンドまたはweb3について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
	No2	地域活性化について社会的アプローチ	地域コミュニティとソーシャルキャピタルについて学び、地域の人と人の繋がりについて考える。また、地域SNSや地域の個性、差別化などについても学ぶ。		
		予習内容(時間)	webで地域コミュニティについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		復習内容(時間)	講義で使用した配布資料を読み直し、自分なりに地域コミュニティのあり方について考える。	120	分
	No3	地域活性化について経済学的アプローチ	地域経済活性化にとって有効的な地域ブランドについて、その考え方や手法などを学ぶ。 また、身近な事例として地域商業(商店街)活性化などを考える。		
		予習内容(時間)	webで地域ブランドについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		復習内容(時間)	講義で使用した配布資料を読み直し、自分なりに地域ブランドのあり方について考える。	120	分
	No4	地域ブランド開発①	地域ブランドの一つの分類として、地域ブランド商品、食文化、伝統工芸など具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。		
		予習内容(時間)	webで伝統工芸や地域食文化について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		復習内容(時間)	講義で使用した配布資料を読み直し、自分の身の回りにある地域ブランド商品について考える。	120	分
	No5	地域ブランド開発②	地域ブランドの一つの分類として、文化・環境を活用したブランドとして、テーマ型集客施設、道の駅など具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。		
		予習内容(時間)	webで地域における文化、集客施設について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		復習内容(時間)	講義で使用した配布資料を読み直し、自分の身の回りにある文化・環境ブランドについて考える。	120	分
	No6	地域ブランド開発③	地域ブランドの一つの分類として、観光ブランドを取り上げ、コンテンツツーリズム、インバウンドなど具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。		
		予習内容(時間)	webで観光ブランドやツーリズムについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		復習内容(時間)	講義で使用した配布資料を読み直し、高田馬場の観光名所について考える。	120	分
	No7	地域ブランド開発④	地域のコミュニケーションやPRに有効的な、キャラクター住民、ゆるきゃら、ご当地ヒーローなど具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。		
		予習内容(時間)	webでキャラクター文化について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		復習内容(時間)	講義で使用した配布資料を読み直し、キャラクターを使用して地域活性する方法について考える。	120	分
	No8	中間試験	1～7回までの学習達成度確認のための試験		
		予習内容(時間)	中間試験のための学習	120	分
		復習内容(時間)	中間試験の振り返り	120	分
		中間試験の結果及び解説。後半の授業の進め方説明。	中間テスト内容について解説することで、1～7回の講義内容を振り返り、地域ブランドの開発方法とその効果を再度把握する。 後半の授業の進め方、学びのポイントについて説明。		

	No9	予習内容(時間)	試験の問題について資料と照らし合わせて確認。	120	分
		復習内容(時間)	戻された中間試験の解答から、自分ができていない内容について振り返り学習。	120	分
	No10	高田馬場の地域ブランドを考える①	前半の講義で学んだことを基に、後半の講義では受講者一人一人に、高田馬場の地域ブランドを考えてもらう。まず初めに地域の問題点の洗い出しと、強みになる点についてwebでの調査を行い、各自から発表。		
		予習内容(時間)	高田馬場の地域の強み、弱みの特性についてwebで調べる。	120	分
		復習内容(時間)	他の生徒の発表を受けて、自分で気が付かなかった点についてweb検索して学習する。	120	分
	No11	高田馬場の地域ブランドを考える②事例紹介	高田馬場の地域ブランドを企画するにあたり、そのヒントとして高田馬場発祥、日本で一番発行額の多い地域通貨「アトム通貨」について学ぶ。地域の人と人との繋がりがや街を活性化するためのイベント、外部へのPR方法も学ぶ。		
		予習内容(時間)	webでアトム通貨について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		復習内容(時間)	講義で使用した配布資料を読み直し、アトム通貨を使用して地域活性する方法について考える。	120	分
	No12	高田馬場の地域ブランドを考える③事例紹介	高田馬場の地域ブランドを企画するにあたり、現存する地域ブランドである、江戸伝統野菜「内藤とうがらし」再興プロジェクトと、まちパルイベント「パル辛フェスタ」に見る地域ネットワークについて、「内藤とうがらし」プロジェクトの主催者である成田氏をゲストに招き、その内容について学ぶ。		
		予習内容(時間)	webで内藤とうがらしについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		復習内容(時間)	講義で使用した配布資料を読み直し、内藤とうがらしを使用して地域活性する方法について考える。	120	分
	No13	高田馬場の地域ブランドを考える④	メタバースによるバーチャル秋葉原構想を推進する、アキバ観光協議会の事務局長加賀氏をゲストに招き、web3の活用方法や、世界から観光客を呼び寄せる手法、今後の展望などから、webを活用した地域ブランドづくりについて学ぶ。		
		予習内容(時間)	webでバーチャル秋葉原について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		復習内容(時間)	講義で使用した配布資料を読み直し、web3を使用して地域活性する方法について考える。	120	分
	No14	高田馬場の地域ブランドを考える⑤	これまでの講義内容を反映させ、高田馬場の地域ブランドについての企画書を指定フォーマットにより作成。各自の考えている概要を発表し、他の受講者から意見を聞く。		
		予習内容(時間)	高田馬場の地域ブランドについて企画書にまとめる。	120	分
		復習内容(時間)	他の受講者の意見を参考に、作成した企画書をブラッシュアップする。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅢ BE-B
講義名(英字)	Professional Seminar III
担当教員	原 晶子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	コミュニケーション囲碁 囲碁を用いてコミュニケーションを活性化していきます。囲碁は世界共通のルールで楽しんでいるゲームです。多様な人々がフラットに関わるツールとしても有効です。囲碁のスキルを学びながら、受講生、ゲストと関わり、自己実現を目指していきます。						
【到達目標】	授業に出席、体験する。 受講生同士、ゲストと積極的に関わり、気づき、思ったことをアウトプットする。 自己実現について考え、アウトプットする。						
【履修条件・受講推奨者】	全学年						
【教育方法】	体験型授業。囲碁スキルは、プロ棋士の王 銘琬(おう めいえん、ワン ミンワン)九段と日本視覚障害者囲碁協会代表理事 柿島光晴さんにご指導いただく。様々な立場のゲストに講演、参加いただき、視野を広げコミュニケーションを活性化していく。						
【指定教科書・参考資料等】	テキスト1500円(囲碁セット、書籍「囲碁とふれあい囲碁」万葉社)						
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力	○	
【成績評価・評価項目と割合】	評価項目と割合			評価方法			
	出席			80%			

価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

レポート提出 発表	20%	出席、受講態度、レポート提出、発表
合計	100%	

【その他の注意事項】

ゲストの都合により、日程のの入れ替えがあるかもしれません。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	囲碁をプロから学ぶ①	ゲスト講師：王 銘琬(おう めいえん、ワン ミンワン)九段 囲碁のシンプルで簡単なルールを学び、受講生同士で対局する。		
	予習内容(時間)		0	分
	復習内容(時間)		0	分
No2	コミュニケーション 囲碁の意図	コミュニケーション囲碁のルーツについて、映像を使い解説。30秒のルール説明で保育園でも囲碁大会をする。たくさんの人とつながる囲碁を受講生同士で体験。		
	予習内容(時間)		0	分
	復習内容(時間)	囲碁の基本ルールを復習する。	120	分
No3	コミュニケーション 囲碁	ペア碁から2チームに分かれての連碁まで、囲碁を楽しむ		
	予習内容(時間)	王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。	120	分
	復習内容(時間)	王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。	120	分
No4	囲碁をプロから学ぶ②	ゲスト講師：王 銘琬(おう めいえん、ワン ミンワン)九段 囲碁のシンプルで簡単なルールを学び、受講生同士で対局する。		
	予習内容(時間)	王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。	120	分
	復習内容(時間)	囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。	120	分
No5	違いを認める	ゲスト講師：野村忠司氏「超コミュニケーション」講演 株式会社TNP 代表取締役社長 自分を知る。人との違いを認める。受講生参加型で理解を深める、		
	予習内容(時間)	王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。	120	分
	復習内容(時間)	王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。	120	分
No6	ブラインド碁	ゲスト講師：柿島光晴氏 一般社団法人視覚障害者囲碁協会 代表理事 自分史、現在の活動を語っていただく。視覚障害者用碁盤を使いグループを組んでの囲碁大会を開催。		
	予習内容(時間)	王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。	120	分
	復習内容(時間)	王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。	120	分
No7	CACOMO(カコモ)	囲碁が初めての人もプロ棋士に勝てるかもしれない！？ 夢のある囲碁ゲーム。プロ棋士 新海洋子(しんかいひろこ)先生開発の囲碁ゲーム CACOMO(カコモ)で大会開催。		
	予習内容(時間)	囲碁の基本ルールを予習する。	120	分
	復習内容(時間)	2分の自己紹介について考える。	120	分
No8	夢大会	それぞれの夢を語る。		
	予習内容(時間)	自分の夢について考える。	120	分
	復習内容(時間)	授業で共有後、あらためて自分の夢について考える。	120	分
No9	囲碁をプロから学ぶ③	ゲスト講師：王 銘琬(おう めいえん、ワン ミンワン)九段 囲碁の楽しさを深める。		
	予習内容(時間)	王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。	120	分
	復習内容(時間)	王 銘琬先生の「純碁サイト」で対局をする。	120	分
	コミュニケーション 囲碁	グループワーク		

	No10	予習内容(時間)	囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。	120	分
		復習内容(時間)	囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。	120	分
	No11	ふるさと自慢	自分のふるさと ルーツを語る ゲスト:地域活性化センター		
		予習内容(時間)	ふるさについて考える。	120	分
		復習内容(時間)	自分の発表 友達の発表について考える。	120	分
	No12	コミュニケーション 囲碁	グループワーク		
		予習内容(時間)	囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。	180	分
		復習内容(時間)	囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。	180	分
	No13	発表	課題の発表		
		予習内容(時間)	授業を通して気づきの発表を作成。	240	分
		復習内容(時間)	囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。	240	分
	No14	まとめ	授業を通してのまとめ		
		予習内容(時間)	囲碁をコミュニケーションツールとしてのアイデアをレポートにする。	240	分
		復習内容(時間)		0	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅢ BE-C
講義名(英字)	Professional Seminar III
担当教員	三好 陽介
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	ビジネスを進める際には、さまざまな場面で適切な意思決定が求められます。この授業は、企業経営の現場において適切な意思決定を行うための基礎知識の習得と理解を目的としています。 具体的には、意思決定の根幹である「判断」について、論理の側面から1)情報の収集と選別 2)リスクと現在価値 3)推定を、また心理の側面から1)合理的決定と感情 2)期待とバイアス 3)信頼、等のテーマを取り上げます。講義のほか実際のビジネスシーンをもとにしたゲーム形式の簡単な演習を行い、意思決定の実践方法を学ぶことができます。																						
【到達目標】	合理的判断のための情報処理と、メリットとデメリットの比較についての方法論を理解する 判断に対する感情(ヒューリスティクス)の影響について理解する 具体的なケースについて、適切な方法により意思決定を行い、その過程を他者に伝えられるようになる																						
【履修条件・受 講推奨者】	履修条件: とくに基礎知識はなくてもよい 受講推奨者: 意思決定について興味のある人、将来的にビジネス上の意思決定に直接あるいは間接的に関わることを志向する人																						
【教育方法】	講義ののち、当日の講義内容に即した演習を行う 「リスクマネジメントを踏まえた意思決定」のトレーニングとして、仮想ケースを用いた模擬交渉(ロールシミュレーション)を実施する																						
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書は特に使用せず 参考資料等については授業内で適宜紹介する																						
【実務IQ修得目 標】	<table border="1"> <tr> <td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr> <tr> <td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table>	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○								
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																	
協働力	○	主張力	○	創造力	○																		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	合理的判断のための情報処理と、メリットとデメリットの比較についての方法論の理解	50%	・授業への出席：3分の2(10回)以上出席すること。 ・上記を満たしたうえ本試験にて60%以上得点すること 積極的な発言など授業への貢献による加点あり		
	判断に対する感情(ヒューリスティクス)の影響についての理解	20%			
	具体的なケースにおける意思決定の実践(演習)	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	遅刻は授業開始30分まで、やむを得ない理由のある場合に認める 授業内で実施する演習レポートの提出により出席とする 授業中の私語やスマホゲーム等について退出を命ずる場合があります(欠席扱いまたは履修停止) 学事休業日との調整により一部スケジュールが変更(演習と講義の入れ替え等)となる場合があります				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	講座の概要説明と意思決定を学ぶことの意義について学びます。		
		予習内容(時間)	「意思決定」について自身がこれまでどのように捉えていたか、またこの講座に対して自身が期待することについて整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No2	情報の収集と選択(1)	思い込みで判断するのではなく事実・情報をもとに合理的な意思決定を行うためには、まず適切な情報収集と取捨選択が必要であることと、その具体的な方法論を学びます。		
		予習内容(時間)	なにかを決めるときにどのような情報を集めるかについて、自分なりに整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No3	情報の収集と選択(2)	すべての情報が得られない中で判断する必要のある時に、どのようにして推定をはたかせるのか、またその判断を「仮説」として徐々に検証し、精度を高めていくためにはどのようにすればよいのかについて学びます。		
		予習内容(時間)	「仮説と検証」について、自分なりに整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No4	演習(1) 模擬交渉準備	フリーマーケットでの買い物についての仮想ケースを題材に、売り手・買い手いずれかの立場から「どんな情報を予め調べておくか」「相手からどんな情報を聴きだすか」「自分のどんな情報を相手に伝えるか」について考察します。		
		予習内容(時間)	「交渉」について、自分なりに整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No5	演習(2) 模擬交渉	前回の準備をもとに実際に模擬交渉を行い、相手から必要な情報を得られたか、自分の情報を伝えられたかを考察します。		
		予習内容(時間)	前回の準備について振り返っておく	120	分
		復習内容(時間)	演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No6	メリットとデメリットの比較	合理的意思決定の基本である「メリットとデメリットの比較」について学びます。		
		予習内容(時間)	身の周りで「メリット」と「デメリット」を比較した経験がないか、自分なりに整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No7	リスクとその対策	リスクとは何か、どう対策すればよいかについて学びます。		
		予習内容(時間)	リスク対策について自分なりに調べ、整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No8	メリットの最大化とデメリットの最小化	前回学んだメリットとデメリットの比較について、メリットをより大きくするための施策やデメリット(リスク)を小さくするための対策を行うことでより良い判断ができることを学びます。		
		予習内容(時間)	前回学んだリスクについて、自分なりに整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分

	No9	演習(3)合理的 意思決定のまとめ	これまで学んだ内容をもとに、仮想ケースについて実際に情報収集、取捨選択、メリットとデメリットの比較検討を行い、報告します。		
		予習内容(時間)	これまで学んだ内容について自分なりに整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No10	合理的意思決定 と感情	意思決定に対する感情や認知バイアスの影響について学びます。		
		予習内容(時間)	「認知バイアス」について、自分なりに調べ、整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No11	アンカリングとフ レーミング	代表的な認知バイアスであるアンカリングとフレーミングについて、その性質と対処法を学びます。		
		予習内容(時間)	前回学んだ「認知バイアス」のうち、とくにアンカリングとフレーミングについて自分なりに調べ、整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No12	演習(3) 模擬交 渉準備	フリーマーケットでの買い物についての仮想ケースを題材に、演習(1)と同様の内容に加え、どのようにして、またいくらで売る/買うのかを考えます。		
		予習内容(時間)	演習(1)で自分がどのように考えたかを読み返し、またその後学んだことをもとにバージョンアップしておく	120	分
		復習内容(時間)	演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No13	演習(4) 模擬交 渉	前回の準備をもとに実際に模擬交渉を行い、相手から必要な情報を得られたか、自分の情報を伝えられたか、またそれらのコミュニケーションをもとに、適切な意思決定ができたか等を考察します。		
		予習内容(時間)	これまでの学習内容について自分なりに整理し、交渉にどのようにそれらを活かすかを考えておく	120	分
		復習内容(時間)	演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No14	講座のまとめ	これまでの授業内容を振り返り、重要な概念について再度解説します。		
		予習内容(時間)	これまでの授業内容を、自分なりに振り返り整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅢ BE-D
講義名(英字)	Professional Seminar III
担当教員	佐藤 友紀子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	派手なイメージを抱かれがちな「イベント」の中で、「展示会」と聞くと、『地味そう』と感じるかもしれません。しかし、この「展示会」も数多く行われており、システムがかなり確立されているおもしろいイベントです。この講義では、そのシステムや展示会場の仕組み、出展要綱や展示会独特のルールを知ることで展示会というイベントを理解します。さらに、その出展目的と出展位置に合わせた効果的なブース作りを提案し、最適な運営を行なえる知識とスキルを身につけていきます。 また、外に向けたものとしての会議やセミナー、企業が内に向けて行う表彰イベントなどの特徴についても学んでいきます。							
【到達目標】	【展示会・会議イベントに関する基礎知識を理解する】 技術や手法を基礎を知り、理解し説明することが出来る。 【展示会・会議イベントの構成要素を知り理解する】 出展要項を読むことができ、理解し、クライアントに対し必要な条件を説明し、提出書類を選ぶことができる。 【自らの展示会・会議イベントを組み立てる力を身につける】 オリジナル企画のイベントをデザインし表現して相手に提案し、実現することができる。							
【履修条件・受講推奨者】	◇幅広くイベントに興味を持ち、特にイベントの「展示会・会議イベント」の仕組みを知りたいと考えていること。 ◇講義内で行うワークやディスカッションに積極的に参加できること。							
【教育方法】	講義ではスライドを使用し、展示会・会議イベントの基本を学びます。 またワークも取り入れ、実践に近いかたちで展示会イベントのポイントを押さえていきます。							
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書は使用せず。必要に応じて資料配布する。							
	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	○

【実務IQ修得目標】

協力	○	主張力	○	創造力	○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合	評価方法
【展示会・会議イベントに関する基礎知識を理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。	30%
【展示会・会議イベントの構成要素を知り理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。	35%
【自ら展示会・会議イベントを組み立てる力を身につける】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。	35%
合計	100%
70%以上の出席を前提として、 授業態度30%、提出物10%、期末試験60% 講義への積極的な参加姿勢・ワークへの取り組みなど含め、総合的な学習成果に基づいて評価します。	

【その他の注意事項】

◇講義中、他者に迷惑となる行為(私語等)厳に禁止する。講義に関係のない携帯電話の使用(メール・ウェブの閲覧も含む)もご遠慮ください。
◇ 授業に使用する一部スライドの撮影はできません。また、スライドの配布はいたしません。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	イントロダクション	本講義についてのガイダンス		
	予習内容(時間)	自身が想像する展示会について考察する	120	分
	復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
No2	展示会・会議系イベントの基礎	展示会とは／会議系イベントとは		
	予習内容(時間)	展示会主催者にはどのような人がいるか考察	120	分
	復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
No3	展示会場の仕組み	展示会主催側の動き		
	予習内容(時間)	想像する展示会のルールについて考察	120	分
	復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
No4	出展要綱について-1	展示会ならではのルール		
	予習内容(時間)	展示会制作時に必要となりそうな提出書類について考察	120	分
	復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
No5	出展要綱について-2	提出書類の意味／レンタル品		
	予習内容(時間)	出展要綱とは何かについて考察	120	分
	復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
No6	出展要綱について-3	出展要綱読み解き～実践		
	予習内容(時間)	さまざまな展示会のブースの特徴について考察	120	分
	復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
No7	展示会のブース作り	展示会における施工の特徴		
	予習内容(時間)	展示会に限らず見たことのある商品展示について考察	120	分
	復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
	展示方法について	業界別に見る展示手法		

	No8	予習内容(時間)	展示会の運営とはどういうものかについて考察	120	分
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
	No9	展示会の運営	展示会における運営計画(導線・ポストとシフトなど)		
		予習内容(時間)	印象に残っているブースについて、その理由を考察	120	分
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
	No10	効果的なブース作り	施工、導線、サイン、展示方法		
		予習内容(時間)	想像する「会議イベント」について考察	120	分
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
	No11	外部向け会議イベント	カンファレンス／コンベンション／カンファレンスなどの作り方		
		予習内容(時間)	会議イベントで重要と思われる運営について考察	120	分
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
	No12	会議イベントの運営	会議イベントの運営ポイント		
		予習内容(時間)	さまざまな授業で学んだ運営について考察	120	分
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
	No13	会議イベントを考える	運営計画実践		
		予習内容(時間)	自身が体験、もしくは見聞きした表彰式について考察	120	分
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
	No14	番外編:表彰式	表彰式の作り方		
		予習内容(時間)	学んだことをを頭に入れながら開催されている展示会に足を運ぶ	120	分
		復習内容(時間)	当該講義内容と、これまでの講義について	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅢ BE-E
講義名(英字)	Professional Seminar III
担当教員	賽音吉雅
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	プロフェッショナル・セミナーとは何か。 首都圏に集まる若年層(大学・短大・専門学校生、社会人)がどのような考えで、どのようなプロへの志向性を持っているかについて解析する。そして、若者にとって魅力ある学習環境や共感を呼ぶフィールドスタディーのあり方を提案する。フィールドスタディーで実践の根底にあるパラダイム(概念的枠組)や、関連する学習環境の課題についても多角的に考察する。							
【到達目標】	キャリアデザインを楽しむ自由かつ闊達な思考を醸成する 文芸(概論)と実習を連携するイベントを企画・実施する 芸術性(アーティスティック)を課題としたイベントを企画し、実施する能力に目標する。							
【履修条件・受講推奨者】	◇ 芸術・音楽・演奏を楽しみ、好きな課題を見つけられる人。							
【教育方法】	担当教員は、来日以来20年間のプロ演奏活動とフィールドスタディーのデータをもとに講義を行う。現場を経験したからこそ、学生にとっての学びに有益な情報を選択して、豊富な指導経験や具体的事例に基づき、授業づくりの面白さや課題を丁寧に解説する。							
【指定教科書・参考資料等】	◇教材は文献資料、DVD、写真、パワーポイントなどを利用する。参考文献等は、その都度、授業中に紹介する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合				評価方法			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	芸術、エンタメ、ミュージックなど企画・実施(キャリアデザイン)し、その内容を評価する。		30	授業への参加率・レポートの出来映えなどから授業への積極性を評価する	
	プロとは何か、について基本的な知見と方法を学び、さらに個性(オリジナリティー)を評価する。		30		
	芸術性(アーティスティック)を課題としたイベントを企画し、実施する能力を評価する。		40		
	合計		100%		
【その他の注意事項】	◇この授業(スタディー)をプロフェッショナルへの入口にするという意欲を高めること。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	授業概要	オリエンテーション(自己紹介を含む)		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義のメモにて復習	120	分
	No2	デザイン論	美術・芸術とキャリアデザインとは何か		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義のメモにて復習	120	分
	No3	文化交流論①	東西文化交流の方法		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義のメモにて復習	120	分
	No4	文化交流論②	アジア文化交流の特色		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義のメモにて復習	120	分
	No5	文化交流論③	日本モンゴル文化交流の意義		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義のメモにて復習	120	分
	No6	エンタメについて分析	エンタメイベントプロデュースの課題		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義のメモにて復習	120	分
	No7	エンタメ論①	映画企画、制作の課題		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義のメモにて復習	120	分
	No8	エンタメ論②	テレビ・ラジオ制作の課題		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義のメモにて復習		分
	No9	エンタメ論③	インターネット動画制作の方法		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義のメモにて復習	120	分
	No10	音楽のジャンルについて	クラシック～民族音楽の楽しみ方		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分

		復習内容(時間)	講義のメモにて復習		分
	No11	伝統音楽①	馬頭琴の多文化性A(和楽器との共演)		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義のメモにて復習	120	分
	No12	伝統音楽②	馬頭琴の多文化性B(日本の歌との共演)		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義のメモにて復習	120	分
	No13	伝統音楽③	馬頭琴の多文化性C(朗読との共演)		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義のメモにて復習	120	分
	No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	全体の復習	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅣ BE-A
講義名(英字)	AI・Data Science
担当教員	福田 宏幸
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	近年、AIやデータサイエンスは、あらゆる業種・分野で活用されており、生活やビジネスにおいて必要不可欠なものになっています。その為、これらの基礎知識や概念を習得する事は、AIエンジニアやデータサイエンティストを志す学生だけでなく、すべての学生にとって大変重要です。この講義では、AI・データサイエンスの理解に必要な知識を、初学者向けに、具体的事例を通じて分かりやすく伝えます。(特に、数学やプログラミングの知識は必要としません。)また、演習を通して、実際にどういう仕組みで動いているのかを体験します。実務で得られた経験やエピソードもお伝えします。						
【到達目標】	AI・データサイエンスが社会にもたらすメリットを理解し、その必要性を説明できる。 AI・データサイエンスとはどういうものを、具体的な事例を示しながら説明できる。 AI・データサイエンスの可能性と限界を理解する。						
【履修条件・受 講推奨者】	数学やプログラミングの知識は不要ですが、AI・データサイエンスへの興味がある事。						
【教育方法】	講義および、演習・グループディスカッションを中心とします。						
【指定教科書・ 参考資料等】	オリジナルスライドを使用する為、教科書は使用しません。						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力		主張力		創造力	○	
	評価項目と割合						評価方法

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	AI・データサイエンスが社会にもたらすメリットを理解し、その必要性を説明できる。		40%	最終試験70% ミニレポート30% 出席(3分の2以上)		
	AI・データサイエンスとはどういうものかを、具体的な事例を示しながら説明できる。		40%			
	AI・データサイエンスの可能性と限界を理解する。		20%			
	合計		100%			
【その他の注意事項】	とくになし					
【授業計画】	週	テーマ	学習内容			
	No1	なぜ、AI・データサイエンスが必要か？	Society 5.0等の社会的背景を踏まえながら、AI・データサイエンスの必要性について理解します。また、自分が何の為にAI・データサイエンスを学ぶのかを考え、講義全体の目標を立てます。			
		予習内容(時間)	シラバスの精読	120	分	
		復習内容(時間)	レポート:本講義に期待すること	120	分	
	No2	データの重要性と種類	AIもデータサイエンスも、データが無ければ成立しません。“Data is the new oil.”と言われる様な、データの重要性について述べます。そして、構造化・非構造化等、様々なデータの種類についても説明します。			
		予習内容(時間)	世の中で使われているデータを調べる	120	分	
		復習内容(時間)	レポート:データの重要性について	120	分	
	No3	データサイエンスとは？	具体的な事例を通じて、データサイエンスとは何かを示します。クラスタリングや回帰分析等、実務で良く使われる様々なデータサイエンスの手法についても説明します。			
		予習内容(時間)	データサイエンスの活用事例を調べる	120	分	
		復習内容(時間)	レポート:データサイエンスの手法について	120	分	
	No4	統計の基礎	平均や分散、相関、仮説検定等、データ分析に必要な統計の基礎知識について説明します。			
		予習内容(時間)	統計について調べる	120	分	
		復習内容(時間)	レポート:身近なデータの統計量を求める	120	分	
	No5	マーケティングデータ	データサイエンスの活用事例として、マーケティングにおける顧客データ分析等の事例を紹介します。			
		予習内容(時間)	マーケティングにおけるデータサイエンス事例を調べる	120	分	
		復習内容(時間)	レポート:マーケティングデータ分析について	120	分	
	No6	データサイエンス演習	実際に自分で手を動かしながら、Excelでデータ分析を行い、データサイエンスについて理解を深めます。			
		予習内容(時間)	Excelの使い方について調べる	120	分	
		復習内容(時間)	レポート:データサイエンス演習について	120	分	
	No7	AI・データサイエンスの現場	実際にAI・データサイエンスの現場で活躍するゲストを招き、最新のリアルな事例を紹介します。			
		予習内容(時間)	データサイエンスの実務について調べる	120	分	
		復習内容(時間)	レポート:これまでの講義に対する感想	120	分	
	No8	AIとは？	具体的な事例を通じて、AIとは何かを示します。画像、テキスト、音声等、様々なAIの種類についても説明します。			
		予習内容(時間)	AIの活用事例を調べる	120	分	
		復習内容(時間)	レポート:AIの手法について	120	分	
	No9	画像AI	最もポピュラーなAIである画像認識の仕組みと活用事例を説明します。StableDiffusion等の最近の画像生成AIについても紹介します。			
		予習内容(時間)	画像AIの事例を調べる	120	分	
		復習内容(時間)	レポート:画像AIについて	120	分	
		テキストAI	自然言語処理等、テキストに関するAIの仕組みと活用事例を説明します。ChatGPT等の最近のテキスト生成AIに			

	No10		についても紹介します。		
		予習内容(時間)	テキストAIの事例を調べる	120	分
		復習内容(時間)	レポート:テキストAIについて	120	分
	No11	Pythonプログラミング	実体としては、AIは、プログラム的一种にすぎません。その事を理解する為に、AIの開発で一般的に使われているプログラミング言語「Python」について解説します。		
		予習内容(時間)	Pythonについて調べる	120	分
		復習内容(時間)	レポート:Pythonプログラミングについて	120	分
	No12	AI演習	実際にAIの画像認識プログラムを動かしてみる事で、AIに対する理解を深めます。		
		予習内容(時間)	ディープラーニングについて調べる	120	分
		復習内容(時間)	レポート:AI演習について	120	分
	No13	法律・倫理・プライバシー	新しく浮上した課題として、法律・倫理・プライバシーの問題について考えます。		
		予習内容(時間)	AIの著作権について調べる	120	分
		復習内容(時間)	レポート:AI・データサイエンスが持つ課題について	120	分
	No14	AI・データサイエンスと未来	AI・データサイエンスによって生活やビジネスがどう変革するか。過去の事例を見ながら、未来について議論します。		
		予習内容(時間)	AI・データサイエンスのイノベーション事例について調べる	120	分
		復習内容(時間)	レポート:AI・データサイエンスの未来について	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅣ BE-B
講義名(英字)	Professional Seminar IV
担当教員	難波 俊樹
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	イベントはもちろんのこと、社会に出て行われる「仕事」は「プロジェクト」と呼ばれる活動の連続です。この講義では、イベントの立案、実行力を身につけるだけでなく、社会人として必要な、様々な問題解決力、分析力、発想力を身につけるよう行います。特に難しい概念的な事項については、コンサートや映画、ゲームなど身近な事例を通じて実践的知識を獲得できるように配慮しています。 また、時間中は講義だけでなく、実際にイベントの実施を行うためのグループワークを実施します。(イベントの実施時期によって、各項目の実施時期がシラバスと異なることがあります)							
【到達目標】	基本的な問題解決の枠組みの習得 ・実践的に活用できる様々な問題解決力、分析力、発想力が身についたか。 ・〈記憶〉〈理解〉〈活用〉のレベルでの評価 プロジェクトをマネジメントする能力の習得 ・プロジェクトをマネジメントするための様々な技法や考え方が身に付いたか。 ・〈記憶〉〈理解〉〈活用〉のレベルでの評価 プランの発想・立案力の習得 ・プランを発想し、それを他人に分かりやすく説明する能力は身についたか。 ・〈記憶〉〈理解〉〈活用〉のレベルでの評価							
【履修条件・受講推奨者】	また、将来イベントの仕事に就きたい方に特に勧めます。 イベント以外にもさまざまな業種の仕事に直接役立つ内容ですので、さまざまな業種の志望者にも役立ちます。							
【教育方法】	講義とワークショップを組み合わせで行います。							
【指定教科書・参考資料等】	特になし							
	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	

【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td></tr></table>					協働力	○	主張力		創造力
協働力	○	主張力		創造力						
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法							
	定期試験	50%	定期試験、グループワークへの取り組み状況の総合評価となります。							
	課題への取り組み状況	30%								
	グループワークへの参加状況	20%								
	合計	100%								
【その他の注意事項】	イベントの立案・調査で学外に実地調査に出る場合があります。									
【授業計画】	週	テーマ	学習内容							
	No1	講義のガイダンス	本講義の目的と概要の説明 プロジェクトとは何か 社会の中のプロジェクト							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分					
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分					
	No2	基本的な思考スキル①	問題解決思考の基本 目的と目標 アウトプットとアウトカム 問題解決思考の流れ							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分					
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分					
	No3	基本的な思考スキル②	問題解決思考の基本 問題解決のためには。まず課題の把握と、分析が必要となる。そのための基本として次のテーマでワークを行う。 具体と抽象／一般と特殊 分析・問題解決の様々なフレームワーク							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分					
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分					
	No4	基本的な思考スキル③	問題解決思考の基本 様々な分析ツールの使い方を学び、それを用いて、課題分析についてのワークショップを行う。							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分					
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分					
	No5	プロジェクトの基本①	プロジェクトの実施に必要な様々な概念やツールについて学ぶ。 スコープ スケジューリング リソース(人的資源、物的資源、金銭的資源、時間的資源)							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分					
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分					
	No6	プロジェクトの基本②	プロジェクトの実施に必要な様々な概念やツールについて学ぶ。 プロジェクトの「ヒト」 リーダーシップ、責任と権限、ステークホルダー							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分					
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分					
	No7	プロジェクトの基本③	プロジェクトの実施に必要な様々な概念やツールについて学ぶ。 PDCAサイクルとは何か？ スケジュールと進捗管理 クリティカルパス							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分					
復習内容(時間)		本時講義の復習、関連事項の確認	120	分						

	No8	プロジェクトの実践①	前時までに学んだプロジェクトの基本的な考え方やツールを用いて、プロジェクトの立案・遂行の実践的な知識を学ぶ。 プロジェクトとリスクはつきもの。事前にリスクの分析と対策の知識を学び、リスク対策のワークを行う。		
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No9	プロジェクトに関するケーススタディ	様々なプロジェクトのケーススタディ コンサート、ゲーム開発、イベント、メディア制作などから実例をあげて行う。		
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No10	プロジェクトの実践②	これまでに学んだプロジェクトの基本的な考え方やツールを用いて、プロジェクトの立案・遂行の実践的な知識を学ぶ。 プロジェクトのコミュニケーションについて コミュニケーション計画、会議、SNS 議論の方法など		
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No11	プロジェクトの実践③	これまでに学んだプロジェクトの基本的な考え方やツールを用いて、プロジェクトの立案・遂行の実践的な知識を学ぶ。 複数の要素から判断すべき課題について意思決定するためのツールとして、「戦略的意思決定」を学び、実際の意思決定を行う。		
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No12	イベント企画立案ワークショップ	これまで学んできた、プロジェクトマネジメントの知識を生かし、実際にイベントを立案するワークショップを行う。		
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No13	失敗の科学①	失敗を恐れていては、成長も成功もありえない。失敗を自分のエネルギーに変えるための様々な考え方について学ぶ。また、失敗の原因分析の方法論についても学ぶ。		
		予習内容(時間)	配布資料を用いての予習	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No14	失敗の科学②	・発生した失敗のリカバリー法を様々なケースについて学び、失敗への対応力を向上させる。 ・メンタル面での、失敗からの立ち直り方について学び、レジリエンスを向上させる。		
		予習内容(時間)	配布資料を用いての予習	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	3年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅤ BE-A
講義名(英字)	Professional Seminar Ⅴ
担当教員	緒方 義人
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	テーマ:戦略営業論 大卒(文系)の7割以上が営業職に就くと言われていいます。本講座を通じ企業活動にとって最も重要で本質的な営業の仕事とはどういったものなのか、どのようなスキルが求められているかを理解し、その上で「企業の現状」を把握する上で有効なフレームワークやクライアントが抱える「問題解決」のプロセス・方法を学びます。また、営業に求められる重要なコミュニケーションスキルのひとつに交渉力が挙げられます。「交渉術」といった場当たり的なものではなく体系的に「交渉学」の理論を学び、演習(模擬交渉)を通じそのスキル学びます。受講生はペアワーク・グループワークに積極的に参加することで、傾聴することの大切さ、自分の意見をわかりやすく伝えながらメンバーを巻き込み協働するプロセスを学びます。 2019年度に開講した本講座では、東京信用金庫様と連携で授業を行ってまいりました。授業後半では、「信金の営業の立場から顧客の経営課題を解決する」というテーマで、受講生たちは信金の方からご指導を受けながら議論や調査を重ね、同金庫のお客様の抱える課題解決に取り組みます。プレゼンテーションではお客様にも同席いただき、本番さながらの環境で実践的能力を磨きます。
【到達目標】	基礎知識を習得する 他者と協力しながら、主体的に取り組む 問題解決のプロセスを理解し、実践する
【履修条件・受 講推奨者】	必須とする条件はありませんが、以下のいずれかに関心のある学生を歓迎いたします。 ◇営業の仕事に興味・関心があるが、実態がよくわからないので、授業を通じ「営業」について学びたい学生。 ◇グループワーク、ペアワーク、プレゼンテーションなどを通じコミュニケーション能力を磨き、就職活動に備えたいと考えている学生。 ◇新たな「気づき」や「学び」を得ようと、授業に積極的に参加できる学生。◇金融業界に関心がある学生
【教育方法】	講義はアクティブラーニングの手法を取り入れながら、講義と演習の双方で構成されます。 受講生は教員の話に傾聴するだけでなく、グループワーク・ペアワークに積極的に参加し、自らの頭で考え、その考えを発表したり、他の受講生の考えを聞き、意見を交わしながら学びを深めます。 授業終了後には、必ずその回の授業の振り返り(リフレクション)を行い、学びを定着させます。
【指定教科書・	◇教科書:使用せず。

【参考資料等】	◇講義資料は、授業で毎回配布します。										
【実務IQ修得目標】	自制力			思考力		○	突破力			忍耐力	
	協働力		○	主張力		○	創造力				
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合			評価方法							
	営業に関する基本的な概念や用語、企業研究を行うためのフレーム、交渉学の理論を理解しているか		30%	この授業は演習が主となるので、知識の習得のみならずセミナーへの積極的な参加を求めます。そして他の受講生と協力しグループで課題に取り組む姿勢を重視します。評価の配分はテスト20%、授業中の取り組み姿勢40%、アウトプット物（ワークシート、企画書、振り返りシート、アンケート）40%です							
	グループでの役割を意識し目標達成に向け主体的に取り組んでいるか、交渉学の理論・知識を活用して演習を実践しているか		40%								
	問題解決のプロセスを理解し、その知識を活用してロールプレイや演習を通じ実践しているか		30%								
	合計		100%								
【その他の注意事項】	◇特になし。										
【授業計画】	週	テーマ		学習内容							
	No1	オリエンテーション		概要（授業内容、評価方法）説明、アンケート							
		予習内容(時間)		シラバスを読み、受講に当たっての抱負・目標をまとめる						120	分
		復習内容(時間)		振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる						120	分
	No2	営業の仕事を知る①		映像を元に、営業の仕事を理解する							
		予習内容(時間)		映像を視聴する						120	分
		復習内容(時間)		振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる						120	分
	No3	営業の仕事を知る②		記事を元に、営業の仕事を理解する							
		予習内容(時間)		インタビュー記事を読む						120	分
		復習内容(時間)		振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる						120	分
	No4	問題解決について学ぶ		問題解決のプロセスを学び、演習を通じ理解する							
		予習内容(時間)		授業で取り扱う題材（ケース）を読み、「問題」と「解決策」を考え、ワークシートにまとめる						120	分
		復習内容(時間)		振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる						120	分
	No5	営業視点で企業を研究する①		企業の現状を把握する上で有効な3つのフレームワークを学び、演習を通じて理解する(3C分析・PEST分析)							
		予習内容(時間)		ワークシートを使い企業分析に挑戦する						120	分
		復習内容(時間)		授業で学んだフレームを活用し、実在する企業で企業分析を行う						120	分
	No6	営業視点で企業を研究する②		企業の現状を把握する上で有効な3つのフレームワークを学び、演習を通じて理解する(SWOT分析)							
		予習内容(時間)		ワークシートを使い、企業分析に挑戦する						120	分
		復習内容(時間)		授業で学んだフレームを活用し、実在する企業で企業分析を行う						120	分
No7	営業に必要なコミュニケーションスキルを学ぶ①		交渉学における理論を学ぶ								
	予習内容(時間)		日常生活の中の身近な「交渉」についてまとめる						120	分	
	復習内容(時間)		振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる						120	分	

	No8	営業に必要なコミュニケーションスキルを学ぶ②	交渉について演習を通じて理解する		
		予習内容(時間)	演習の事前準備を行う	120	分
		復習内容(時間)	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
	No9	信用金庫の仕事とは何かを学ぶ	東京信用金庫様をお招きし。信用金庫の仕事について学ぶ		
		予習内容(時間)	映像を通じ、信用金庫の仕事について学ぶ	120	分
		復習内容(時間)	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
	No10	営業の仕事を体験する①	オリエンテーション(東京信用金庫様のクライアントを招き、現状抱える課題について説明を受ける)		
		予習内容(時間)	授業で学んだ3つのフレームを活用し、東京信用金庫様の企業分析を行う	120	分
		復習内容(時間)	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
	No11	営業の仕事を体験する②	メンバーと自分の考え(クライアントの現状と課題)を共有し、チームで解決策を考える		
		予習内容(時間)	クライアントの現状と課題についてワークシートにまとめる	120	分
		復習内容(時間)	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
	No12	営業の仕事を体験する③	グループで解決策をまとめ、プレゼンテーション資料を作成する		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション資料の作成準備	120	分
		復習内容(時間)	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
	No13	営業の仕事を体験する④	グループで考えた解決策を、クライアントに発表する		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション資料の完成・プレゼンテーションの準備	120	分
		復習内容(時間)	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
	No14	振り返り	今までの授業についての総括/振り返りとアンケート		
		予習内容(時間)	授業で配布した資料をもとに、学びを総点検する。	120	分
		復習内容(時間)	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	3年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅤ BE-B
講義名(英字)	Professional Seminar Ⅴ
担当教員	濱松 敏廣
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	ボランティアの経験を就職面接で学生に問う企業が増えています。なぜでしょうか？ 大きな責任を伴う企業では、責任感がなく根性がない人の採用は、よほどのコネでもない限りしません。 そこで彼らには対価性が低いボランティア活動のなかで、与えられた仕事を継続し責任の伴う役割を果たすことができたのか、書類や面接で引き 出そうとするのです。 当論では社会貢献団体におけるイベント運営や歴史、企画書の書き方、スポンサー獲得への営業体験などを提供し、社会の即戦力として期待さ れる学生を育成します。																						
【到達目標】	社会課題の種類を知り、なぜその問題に興味を持つのか、自分の気持ちを確認すること。 企画書の作成を通じて、他者からの評価および他者への評価づけを体験すること。 既存イベントを通じて自分のやりたいイベントとは何かを見定め、形にすること。																						
【履修条件・受 講推奨者】	◇ 履修条件:とくになし。 ◇ 就活などに追われ、自分の価値について再考したい方には特にお勧めします。																						
【教育方法】	系統学習に加えて、一部課題解決型学習を取り入れます。																						
【指定教科書・ 参考資料等】	指定図書は使用しません。各テーマごと、必要に応じて用意します。																						
【実務IQ修得目 標】	<table> <tr> <td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td></td></tr> <tr> <td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table>	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○								
自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力																	
協働力	○	主張力	○	創造力	○																		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	既存イベントを通じて自分のやりたいイベントとは何かを見定め、形にすること。	30%	評価項目と割合に準拠しつつ、授業態度および体験イベントへの参加を加味した上で、試験にて評価を行う。		
	6W2HおよびSWOT分析についての理解を深めることができたか。	40%			
	課題提出の提出。	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	◇他校の学生や社会人と連絡をとることがあるため、対外的に使えるメールアドレスをご用意ください。 ◇予習や復讐はあくまでも学問としての理解を深めるための目安であり、当授業にとって必ずしも必要ではありません。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション&イントロダクション	非営利イベントの意義とブランディングについて。物事の「価値」を考えよう。		
		予習内容(時間)	自分が興味を持つ、または問題意識を感じている社会課題について、調べておこう。	120	分
		復習内容(時間)	自分を取り巻く社会課題について考えることで、大学での学びをより充実させてみよう。	120	分
	No2	非営利イベントを行う目的と企画立案の仕方	企画の立案・分析・予算・広報(内部/外部)・スタッフ・スケジュールについて学びます。非営利団体と営利企業の運営における違いとは？		
		予習内容(時間)	営利企業におけるイベントについて、知っている人は思考を整理しておこう。	120	分
		復習内容(時間)	非営利団体と営利企業の運営の違いをについて、思考整理しておこう。	120	分
	No3	スポンサー獲得方法と協賛の種類	NPO法人維新隊ユネスコクラブでの事例紹介。自立のできる非営利組織と自立のできない組織における「違い」とはなにか、考えよう。		
		予習内容(時間)	社会貢献団体における自立の方法について、考えてみよう。	120	分
		復習内容(時間)	身近な活動事例を知り、補助金に頼る団体と頼らない団体の違いは何か、考えをまとめよう。	120	分
	No4	要素分析とデザイン	スポンサー獲得のできる企画書と、できない企画書の違いとは何でしょうか。デザインの重要性和、6W2Hについて学びます。		
		予習内容(時間)	「スポンサーの獲得できる企画書」について自分なりの考察を予習することにより、学習深度を深めることが可能となります。	120	分
		復習内容(時間)	予習で得た自分の考察とサンプル事例を比較することにより、企画書の重要性を学びます。	120	分
	No5	思考の整理術	6W2Hの復習とPDCAの重要性について、理解度を深めます。		
		予習内容(時間)	PDCAの使い方および事例について、調べてみよう。	120	分
		復習内容(時間)	思考の整理術にはどのような方法があるか、復讐しよう。	120	分
	No6	企画書を書く前に ～SWOT分析①～	マーケティング手法「SWOT」の具体的な分析方法を学ぼう。Ex) 自分SWOT		
		予習内容(時間)	マーケティング分析について、自主的に調べてみよう。	120	分
		復習内容(時間)	SWOT分析における外的要因と内的要因とは何か？理解しよう。	120	分
	No7	企画書を書く前に ～SWOT分析②	自分SWOTを使って自分を商品に見立てた上で、相互プレゼンテーションを体験してみよう。		
		予習内容(時間)	SWOT分析とはなにか？さまざまな文献を調べ、理解を深めよう。	120	分
		復習内容(時間)	相互プレゼンテーションで「評価をする者」と「評価をされる者」の両方を経験し、その時感じた自分の気持ちを再確認しよう。	120	分
	No8	企業CSRの実例紹介	企業CSR担当者をお招きし、企業におけるCSRの意義やイベント等の実情を聞き、営利企業にとっての社会貢献とはなにか、理解を深める。		
		予習内容(時間)	ゲスト企業について、調べておこう。	120	分
		復習内容(時間)	ゲスト企業にスポンサーをお願いできる社会貢献テーマは何か、読み解こう。	120	分
		テーマ別チーム結成・簡易企	テーマ別にチーム分けを行い、スポンサー企業を意識した企画書作りを実施。		

	No9	画書の作成		
		予習内容(時間)	チームビルディングの方法について、調べてみよう。	120 分
		復習内容(時間)	企画書の作り方に必要なポイントは何か？再確認しよう。	120 分
	No10	企画書の相互チェック・俯瞰	プレゼンテーションへの準備。足りないポイントは何か？チームメンバーと共に考える。	
		予習内容(時間)	優れたプレゼンに必要な要素とはなにか、調べておこう。	120 分
		復習内容(時間)	企画書の内容について、人の心を打つことができる内容か、再確認しておこう。	120 分
	No11	チーム対抗プレゼンテーション	チーム対抗プレゼンテーションの実施。優秀チームの選定および評価を相互に行おう。	
		予習内容(時間)	発表者を決め、発表の予行練習をしておこう。	120 分
		復習内容(時間)	優勝チームと自分たちのチーム発表について、違いを考えてみよう。	120 分
	No12	企画書のブラッシュアップ	優秀チームの企画書を、より良くするための意見交換をしよう。	
		予習内容(時間)	優勝チームの企画書について、良い点と悪い点を認識しておこう。	120 分
		復習内容(時間)	意見交換をもとに、デザインに独自性を持たせてみよう。	120 分
	No13	企業CSRの実例紹介資料の見直し	春期授業で使われた資料の再確認を行い、自身が企画書を書けるようになってから資料を見るとどのような変化を感じたか意見交換を行おう。	
		予習内容(時間)	企業CSR担当者が提供してくれた資料を見ながら、6W2HIに当てはまるキーワードを抜き出そう。	120 分
		復習内容(時間)	授業時に聞くことのできた他者の意見と自身の感じ方の違いについて、思い返してみよう。	120 分
	No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括および学習達成度の確認しよう。テスト範囲について、要点整理を行います。	
		予習内容(時間)	No1～13までの資料を再度読み直してください。	120 分
		復習内容(時間)	要点整理をしますので、重要ポイントを復讐してください。	120 分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	3年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅦ BE-A
講義名(英字)	Professional Seminar VII
担当教員	野沢 牧子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	長期化する厳選採用と働き方の多様化に伴い、就職に当たっては早い段階での主体的行動が求められるようになってきました。本講義では、自立を目的として「話す・聴く・書く」というコミュニケーション力と対人関係構築力を、グループワークやディスカッションを通じ体感的に学びます。自信を持って就職活動に臨めるよう、進路決定にあたってしておくべき自己分析や業界理解、企業理解を進めていきます。						
【到達目標】	日本企業における雇用慣行、就職活動の仕組み、基本的なワークルールについて理解する 「働くこと」への理解を深め、社会人としてのふるまい、言動、マナーを身につける 自己理解・自己分析を深めるとともに、数多くある選択肢の中から、自らの職業適性を知る						
【履修条件・受講推奨者】	3年生で民間企業等への就職を考えている学生						
【教育方法】	講義及び個人、グループワーク						
【指定教科書・参考資料等】	講義資料およびワークシートは随時配布する						
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力		
	評価項目と割合		評価方法				
	受講態度	70					

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	課題提出物による授業理解度	30	職業意識の形成と卒業後の社会人基礎力の向上を目的とすることから、出席評価(取り組み姿勢・参加態度含む)70%、レポートおよび提出物評価30%。		
	合計	100%			

【その他の注意事項】	本講義は連続性があるため、一度の欠席が大きなハンデとなることもあります。 また社会人となるための準備講座のため、講義のルール及びマナーを守って受講するようお願いいたします。 講義内容は変更の可能性があります。その際は随時講義内でお知らせします。				

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	・就職活動の現状理解、全体スケジュールと準備事項 ・大学3年生の過ごし方 ～納得いくキャリア形成のために今すべきこと		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No2	社会人基礎力の理解	・社会人基礎力の紹介 ・適性テスト受験		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No3	社会人基礎力の理解	社会人基礎力の紹介 ～社会で求められるコンピテンシーを理解する		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No4	自己理解～入門編	社会人基礎力から強みを考える		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No5	自己理解～入門編	自己PRの書き方理解		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No6	自己理解～入門編	自己PRの作成		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	ワークシート作成	120	分
	No7	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No8	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No9	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分

	No10	適性テスト受験結果解説会	適性テスト受験結果解説会		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	振り返り	120	分
	No11	インターンシップ参加準備	インターンシップ参加企業の研究		
		予習内容(時間)	参加企業事前調査	120	分
		復習内容(時間)	ワークシート作成	120	分
	No12	インターンシップ参加準備	インターンシップ参加企業の志望動機作成		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	ワークシート作成	120	分
	No13	キャリア情報交流会	OBOGの話から仕事のやりがいや職業を知る		
		予習内容(時間)	キャリア情報交流会事前準備	120	分
		復習内容(時間)	振り返り	120	分
	No14	インターンシップ参加準備	セルフプレゼンテーション		
		予習内容(時間)	課題事前準備	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	3年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅦ BE-C
講義名(英字)	Professional Seminar VII
担当教員	宮地 由夏
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	長期化する厳選採用と働き方の多様化に伴い、就職に当たっては早い段階での主体的行動が求められるようになってきました。本講義では、自立を目的として「話す・聴く・書く」というコミュニケーション力と対人関係構築力を、グループワークやディスカッションを通じ体感的に学びます。自信を持って就職活動に臨めるよう、進路決定にあたってしておくべき自己分析や業界理解、企業理解を進めていきます。						
【到達目標】	日本企業における雇用慣行、就職活動の仕組み、基本的なワークルールについて理解する 「働くこと」への理解を深め、社会人としてのふるまい、言動、マナーを身につける 自己理解・自己分析を深めるとともに、数多くある選択肢の中から、自らの職業適性を知る						
【履修条件・受講推奨者】	3年生で民間企業等への就職を考えている学生						
【教育方法】	講義及び個人、グループワーク						
【指定教科書・参考資料等】	講義資料およびワークシートは随時配布する						
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力		
	評価項目と割合		評価方法				
	受講態度	70					

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	課題提出物による授業理解度	30	職業意識の形成と卒業後の社会人基礎力の向上を目的とすることから、出席評価(取り組み姿勢・参加態度含む)70%、レポートおよび提出物評価30%。		
	合計	100%			

【その他の注意事項】	本講義は連続性があるため、一度の欠席が大きなハンデとなることもあります。 また社会人となるための準備講座のため、講義のルール及びマナーを守って受講するようお願いします。 講義内容は変更の可能性があります。その際は随時講義内でお知らせします。				

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	・就職活動の現状理解、全体スケジュールと準備事項 ・大学3年生の過ごし方 ～納得いくキャリア形成のために今すべきこと		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No2	社会人基礎力の理解	・社会人基礎力の紹介 ・適性テスト受験		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No3	社会人基礎力の理解	社会人基礎力の紹介 ～社会で求められるコンピテンシーを理解する		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No4	自己理解～入門編	社会人基礎力から強みを考える		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No5	自己理解～入門編	自己PRの書き方理解		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No6	自己理解～入門編	自己PRの作成		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	ワークシート作成	120	分
	No7	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No8	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No9	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分

	No10	適性テスト受験結果解説会	適性テスト受験結果解説会		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	振り返り	120	分
	No11	インターンシップ参加準備	インターンシップ参加企業の研究		
		予習内容(時間)	参加企業事前調査	120	分
		復習内容(時間)	ワークシート作成	120	分
	No12	インターンシップ参加準備	インターンシップ参加企業の志望動機作成		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	ワークシート作成	120	分
	No13	キャリア情報交流会	OBOGの話から仕事のやりがいや職業を知る		
		予習内容(時間)	キャリア情報交流会事前準備	120	分
		復習内容(時間)	振り返り	120	分
	No14	インターンシップ参加準備	セルフプレゼンテーション		
		予習内容(時間)	課題事前準備	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	3年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅦ BE-E
講義名(英字)	Professional Seminar VII
担当教員	塩谷 由美子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	日本では外国人就労者の活躍が期待されるようになり、同時に、大学卒業後に日本で働きたい外国人留学生も増えています。企業が外国人材に求めるのは、高い日本語力ですから、就活までに日本語力を高めておくことは重要です。また、就職活動は、業界企業を研究した上で、留学生が自分自身について自己分析し、日本語で効果的に自己アピールできるということも重要です。この授業は、このような日本の就職活動に必要な日本語能力を高めることを目的とした授業です。						
【到達目標】	日本語で仕事をするのに必要な文章力を身につける 日本語で仕事をするのに必要な口頭表現力を身につける 就職活動に必要な情報を自分で入手する力をつける						
【履修条件・受 講推奨者】	日本の企業に就職したい外国人留学生対象の授業です。						
【教育方法】	授業で解説した内容に沿って、各自が自分のキャリアパスを考えながら、必要な準備を進める。						
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書は指定しない。参考書は必要に応じて授業内で紹介する。						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力		突破力	○	忍耐力
	協働力		主張力	○	創造力		
	評価項目と割合			評価方法			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	仕事に必要な日本語文章力がある		40%	3分の2以上の出席を条件に、課題70%、最終到達度試験30%で評価。	
	仕事に必要な日本語の口頭表現力がある		40%		
	就職活動に必要な情報の入手の仕方がわかる		20%		
	合計		100%		
【その他の注意事項】	授業予定は、学内のキャリア支援関連行事の影響などで変更することがある。 秋学期の就職特講(留学生)をともに履修することが望ましい。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	日本語で仕事をする準備とは	就職準備状況調査アンケートに回答しながら、日本での就職活動の過程で、どのような準備が必要かを学ぶ。		
		予習内容(時間)	シラバス熟読。就職準備状況調査アンケートに回答する。	120	分
		復習内容(時間)	就職活動に必要な準備事項をリストアップする。	120	分
	No2	自己分析の方法	PROGテスト受検		
		予習内容(時間)	過去に受検したPROG結果を振り返る。	120	分
		復習内容(時間)	PROGテストの活用の仕方を学ぶ。	120	分
	No3	自己PR1	人の特性を語る表現を学習する。自分史を作成し、自分の特性を表現できるように練習する。		
		予習内容(時間)	自分史シートを作成する。	120	分
		復習内容(時間)	自分史シートを完成する。	120	分
	No4	自己PR2	日本に対して抱いているイメージや、過去の日本との出会いを振り返ることで、日本で(あるいは母国の日本関連企業で)働く意味を考える。		
		予習内容(時間)	自己振り返りシートを作成する。	120	分
		復習内容(時間)	自己振り返りシートを完成する。	120	分
	No5	自己PR3	自分が今できること、これからやりたいこと、将来どうありたいかを明確にすることで自己分析をする。		
		予習内容(時間)	できること・やりたいことシートを作成する。	120	分
		復習内容(時間)	できること・やりたいことシートを修正して完成する。	120	分
	No6	自己分析2	PROGテスト結果について解説を聞き、自己分析の方法を学ぶ。		
		予習内容(時間)	PROGテストについて調べる。	120	分
		復習内容(時間)	PROGテストの結果詳細を読む。	120	分
	No7	自己PR	自己分析をもとに、自己PRの文章を作成する。口頭で表現する練習をする。		
		予習内容(時間)	これまでの自己分析をまとめる。	120	分
		復習内容(時間)	自己PR文章を作成する。口頭練習をする。	120	分
	No8	ガクチカ1	学生時代に力を入れたことを文章で作成する。口頭表現を練習する。今後の学生生活で達成すべき活動を計画する。		
		予習内容(時間)	ガクチカの作成要領を調べる。	120	分
		復習内容(時間)	ガクチカ文章を作成する。	120	分
	No9	ガクチカ2	学生時代に力を入れたことについて文章をクラスでシェアし、推敲する。口頭表現を面接形式で練習する。		
		予習内容(時間)	ガクチカに使う内容をリストアップする。	120	分
		復習内容(時間)	ガクチカ文章を完成する。	120	分
	No10	就職試験について	日本の就職活動における就職試験の実態について学び、対策を考える。SPIのeラーニングプログラムの使い方を学ぶ。		
		予習内容(時間)	就職試験について調べる。	120	分

		復習内容(時間)	eラーニングで就職試験の学習をする。	120	分
	No11	面接1	面接のスタイルと準備事項を調べる。		
		予習内容(時間)	面接の種類とよくある質問を調べる。	120	分
		復習内容(時間)	面接の質問に対する回答を作成する。eラーニング。	120	分
	No12	面接2	面接の流れを調べる。質問を予測して回答を作成し、口頭練習をする。面接官側の視点に立った評価についても学ぶ。		
		予習内容(時間)	面接官の視点から、評価軸を作成する。	120	分
		復習内容(時間)	面接を振り返り修正できるポイントを考える。eラーニング。	120	分
	No13	面接3	実際の面接の流れに沿ってロールプレイをして面接の練習をする。		
		予習内容(時間)	面接ロールプレイができるよう回答を練習する。	120	分
		復習内容(時間)	面接を振り返り修正ポイントを考える。eラーニング。	120	分
	No14	経験者から学ぶ	OBOGから卒業後の仕事の様子を聞き、今後進むキャリアパスについて、考える。		
		予習内容(時間)	OBOGの就職先企業を調べる。	120	分
		復習内容(時間)	OBOGの話の振り返りをまとめる。eラーニング。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	中小企業論 I BE-A
講義名(英字)	Theory of Small Business I
担当教員	前田 勝則
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	普段の生活のなかで、何気なく利用している飲食店や美容院の多くは中小企業である。 本講座では、わが国経済において多様な役割を果たしている中小企業について、産業や社会における位置づけや地域経済における役割など、多様な側面から学んでいく。また、中小企業の特性や課題を理解したうえで、中小企業政策の考え方や特徴など、中小企業支援の視点からも理解を深めていく。							
【到達目標】	わが国における中小企業の社会・経済的な役割や課題を理解する 中小企業の特性や課題を理解する 中小企業政策の考え方や特徴を理解する							
【履修条件・受 講推奨者】	特になし							
【教育方法】	中小企業の支援現場で働く実務経験を活かし、中小企業の持つ多様性や多面性をできるだけ具体的にイメージできるよう、企業の事例などを紹介して講義を進めていく。							
【指定教科書・ 参考資料等】	参考書： ・青山和正著『精解中小企業論』同友館 ・中小企業白書、その他							
【実務IQ修得目	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	

【目標】	協働力	○	主張力		創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法			
	試験(定期試験) ※授業回数の2／3の出席を満たすことが前提			100%	試験(定期試験) ※授業回数の2／3の出席を満たすことが前提			
	合計			100%				
【その他の注意事項】	・特になし							
【授業計画】	週	テーマ		学習内容				
	No1	ガイダンス		・本講座のねらい、授業の進め方 ・中小企業とは何か				
		予習内容(時間)		中小企業の定義と範囲等		120	分	
		復習内容(時間)		授業で使用する講義資料の内容		120	分	
	No2	中小企業の歴史的変遷		・日本における中小企業の歴史的変遷				
		予習内容(時間)		戦後の中小企業発展の軌跡と中小企業問題等		120	分	
		復習内容(時間)		授業で使用する講義資料の内容		120	分	
	No3	中小企業の産業構造における役割①		・産業構造・組織に見る中小企業の存立条件 ・中小企業の開廃業が産業や社会構造に与える影響				
		予習内容(時間)		中小企業の存立条件と役割、存立条件の理論		120	分	
		復習内容(時間)		授業で使用する講義資料の内容		120	分	
	No4	中小企業の産業構造における役割②		・産業構造・組織に見る中小企業の存立条件 ・中小企業の開廃業が産業や社会構造に与える影響				
		予習内容(時間)		開廃業の動向と課題		120	分	
		復習内容(時間)		授業で使用する講義資料の内容		120	分	
	No5	中小企業の存立形態①		・存立形態の定義と区分・種類 ・下請制の定義・動向 ・中小企業の様々な形態の動向と課題				
		予習内容(時間)		中小企業の存立形態、下請制		120	分	
		復習内容(時間)		授業で使用する講義資料の内容		120	分	
	No6	中小企業の存立形態②		・存立形態の定義と区分・種類 ・下請制の定義・動向 ・中小企業の様々な形態の動向と課題				
		予習内容(時間)		ベンチャー企業、ソーシャルビジネスの動向		120	分	
		復習内容(時間)		授業で使用する講義資料の内容		120	分	
	No7	中小企業の人材育成		・経営資源としてのヒトの重要性 ・最近の人材育成の動向				
		予習内容(時間)		中小企業の人材育成の動向		120	分	
		復習内容(時間)		授業で使用する講義資料の内容		120	分	
	No8	中小企業の資金調達		・政策金融の累型と対応機関 ・最近の資金調達の動向				
		予習内容(時間)		中小企業の資金調達		120	分	
		復習内容(時間)		授業で使用する講義資料の内容		120	分	
			地域と中小企業①		・産業集積における中小企業			

	No9		・産業集積の動向と課題		
		予習内容(時間)	産業集積の役割、動向	120	分
		復習内容(時間)	授業で使用する講義資料の内容	120	分
	No10	地域と中小企業②	・商業集積における中小企業 ・商業集積の動向と課題		
		予習内容(時間)	商店街やショッピングセンターの動向	120	分
		復習内容(時間)	授業で使用する講義資料の内容	120	分
	No11	中小企業のグローバル化	・中小企業のグローバル化の動向と課題 ・中小企業の海外展開		
		予習内容(時間)	中小企業の海外展開の動向	120	分
		復習内容(時間)	授業で使用する講義資料の内容	120	分
	No12	中小企業のIT化	・中小企業のIT化の動向と課題 ・IT化による生産性向上等		
		予習内容(時間)	中小企業のIT化、DX化の動向	120	分
		復習内容(時間)	授業で使用する講義資料の内容	120	分
	No13	中小企業のライフサイクル	・ライフサイクルから見た中小企業(起業、成長、承継、再生、廃業) ・事業承継の動向と課題		
		予習内容(時間)	中小企業の事業承継	120	分
		復習内容(時間)	授業で使用する講義資料の内容	120	分
	No14	中小企業政策・中小企業白書	・中小企業政策の考え方と体系 ・中小企業政策の変遷		
		予習内容(時間)	中小企業政策、中小企業施策	120	分
		復習内容(時間)	授業で使用する講義資料の内容	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	中小企業論 I BE-B
講義名(英字)	Theory of Small Business I
担当教員	山川 悟
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	中小企業における大きな課題のひとつである「ブランド」の問題を考察します。 ブランドとはネーミング・ロゴマーク等の表示体系に限らず、企業理念やビジョン、事業定義、社内コミュニケーションとも深く関わるため、経営者自らが主導して構築すべきものです。 前半はブランド戦略のフレームワークと諸要素(ブランドマネジメント)について、後半は具体的な事例からブランド構築(ブランディング)の方法論について検討していきます。					
【到達目標】	①「ブランド」を経営戦略の視点から説明できるようになる ②ブランド管理とブランディングの手法を説明できるようになる ③企業のブランド課題を抽出し、改善提案を示すことができるようになる					
【履修条件・受講推奨者】	マーケティングⅠⅡを受講している、あるいはそれと同等の知識ベースを持っていること					
【教育方法】	講義中の個人ワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。 講義回によっては、遠隔(ライブ・オンデマンド・反転)授業を採り入れる可能性もあります。					
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用せず、パワーポイント資料を各自ダウンロードして受講する					
【実務IQ修得目標】	自制力	思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	主張力		創造力	○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法
「ブランド」を経営戦略の視点から説明できる	30%	およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価
ブランド管理とブランディングの手法を説明できる	30%	
企業のブランド課題を抽出し、改善提案を示すことができる	40%	
合計	100%	

【その他の注意事項】

講義資料の内容だけでなく、自分なりに事例を調べるなど、能動的な受講態度が望まれる。

週	テーマ	学習内容		
No1	ブランドの定義と機能	「ブランド」とは、顧客が価値を感じる記号のことであり、商品・企業名、技術名、素材名、人名…など幅広い対象を指します。まず、中世に「製品の出所」であったブランドが、今日では多様な意味合いを持ってきたことを歴史的変遷から理解します。また、ブランドの①安定・プレミアム価格を実現する機能、②固有の無形財産をつくる機能、③消費者の商品選択を助成する機能について学んでいきます。最後に、中小企業の経営課題解決に向けてのブランド戦略を考察します。		
	予習内容(時間)	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No2	ブランド戦略の考え方	ブランド戦略の基本であるブランド強化、リポジショニング、ブランド変更、ブランド開発について、アサヒビールの事例から学びます。次に、ブランド管理の13の手法として①ブランドの階層化②企業ブランドと商品ブランド③ファミリーブランド④マスターブランド⑤ダブルブランド⑥マルチブランド⑦コアブランド⑧エンドーサーブランド⑨技術ブランド⑩アウト・オブブランド⑪提携ブランド⑫ナショナルブランドとプライベートブランド⑬地域ブランドについて理解します。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No3	ブランディングについて	ブランドは作成すれば終わりではなく、価値を高めていくブランディング施策が不可欠です。本講義では、ブランディングの手法として、①名称やロゴマークの変更、②ブランド表現要素の見直し、③ブランドエピソードの発掘、④ブランドシンボルの開発、⑤トップ広報、⑥ブランド広告、⑦ブランド体験施設、⑧顧客参加について理解します。シンボリックなマネジメントの重要性と、今日の状況においては顧客とともにブランドを創造・発展させていく姿勢の重要性を学びます。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No4	ネーミングと商標	ブランド名称の開発と管理、その浸透策について考察します。まず、さまざまな企業名の由来を3つの観点から考えます。次にブランド管理の視点から、名称体系、ネーミング機会、名称開発のプロセス、決定のチェックポイントなどを、さらにブランディングの視点から、音の響き型、機能性優先型、クロスカルチャー・メジャーメント(異文化測定)、ネーミングライツ、ブランド名の動詞化などの事例を学びます。最後に商標登録と商標管理についてのポイントを理解します。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No5	ロゴタイプとシンボルマーク	ロゴマークは無形固定資産の一種であり、視覚的な視覚的な統合戦略と管理(ビジュアル・アイデンティティ=VI)が不可欠です。一方、ロゴマークのデザインには企業の思いやビジョン、哲学が込められており、メッセージ性が求められます。講義の後半では、経営戦略とロゴマークについて、花王、キリン、ユニリーバ、ZARAなどの事例から考えていきます。また最近のロゴマークの傾向として、6つのトレンドを見ていきます。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分

【授業計画】

	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No6	企業理念とブランドステートメント	企業理念と、それを顧客向けに示すブランドステートメント(スローガン)の重要性について学びます。まず、双日グループ、カゴメ、小林製薬などの事例研究を通じ、企業理念の体系は一般的に「存在意義」「事業領域」「行動規範」で定義されることを理解します。次に、他社とは大きく異なるユニークな理念を標榜する6つの企業(主として海外)事例について考えます。さらに、独特の理念表明の方法として、赤城乳業、日本生命、資生堂などの事例を見ていきます。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No7	ブランドとデザイン	ブランドの書体やマーク、カラー、形状など、視覚的な表現要素を統一化することで、望ましいイメージづくりを図る方法について学びます。加えて、プロダクト、パッケージ、オフィス空間、広告・販促物、車両・ユニフォーム、UX(顧客体験)などのデザインに比重を置く具体的な事例を見ていながら、ブランドデザイン戦略について総合的に考えていきます。最後に、デザイン管理の手法として「異文化対応」「商標登録」「デザインのリニューアル」を見ていきます。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No8	前半総括と講義に関するQ&A	前半授業についての総括、および学修達成度確認のための試験(レポート提出)を行います。レポート課題は、単に知識を問うのではなく、受講者ならではの「見解・解釈」や「アイデア」を求めるものとします。また優良レポートは他の受講者にフィードバックさせていただき、それをもとに見直しや復習を行うことを奨励します。		
	予習内容(時間)	1～7回までの講義資料を見直す	240	分
	復習内容(時間)	課題フィードバックを参照し、戦略や事例研究を行う	120	分
No9	インターナル(内部)ブランディング	ブランディングというと顧客や社会に向けてのアピールを考えがちですが、実は企業理念やビジョンを社員が実感し、体質化するための仕組みづくりが最優先課題なのです。インターナル(内部)ブランディングの方法論として、本講義では、①経営者によるリーダーシップ、②シンボル商品・店舗づくり、③シンボル社員の紹介、④シンボリックな執務空間づくり、⑤シンボリックな社内制度の導入、⑥共通体験による一体感形成、⑦ブランディング研修などの手法を学びます。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No10	地域ブランディングと中小企業	地域ブランド化とは、名産品づくりだけでなく、地域イメージのブランド化によって地域外の資金・人材を呼び込み、持続的な地域経済の活性化を図ることを指します。地域ブランド化には、後継者や移住者の増加などを含め、9つの大きな効果が想定されています。本講義では、地域ブランドの事例研究や「地方発動画」「地域イベント」「ご当地〇〇」など10の手法を学び、地域社会や経済の活性化に向けて中小企業の果たす役割についても考えていきます。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No11	物語(ナラティブ)ブランディング	顧客の想像力を刺激する仕掛けとして「物語」はブランディングにおいても重要なキーワードです。本講義では、現代のビジネスと物語との関わりを「社内活性化」「物語調の企画書」「物語広告・広報」「地域活性化」「商品開発」「物語分析法」などの視点から見ていきます。また、物語の持つ①文脈理解、②潜在欲求の具現化、③能動性の喚起、④語り直しという4つの効果を意識し、情報過多とSNS全盛時代における企業コミュニケーションのあり方を考えていきます。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

		間)			
	No12	技術ブランディング	技術のブランド化とは、例えばシャープの「プラズマクラスター」など、自社で開発した技術に独自の名前をつけ、それをブランド(標識化・マーク化)としてクローズアップする戦略が代表的です。加えて本講義では、「技術の聖地化」「技術者のブランド化」「技術シンボルの設定」「新概念の提唱」「ライセンス先とのコラボレーション」などを展開している事例を研究し、単なる「ものづくり」ではなく、語り継がれ、世の中に愛されるものづくりの在り方を検討していきます。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No13	五感ブランディング	視覚刺激に限らず、ASMR(自律感覚絶頂反応)など消費者の五感体験の中に「ブランドらしさ」を組み込ませる戦略は有効です。日本でも音も商標登録の対象となりましたが、海外では香りや手触りが登録できる国もあります。本講義では、香り、触覚、味覚、総合体験によるブランディングの事例を検討し、「触覚」×「聴覚」、「視覚」×「味覚」、「聴覚」×「味覚」、「触覚」×「味覚」、「視覚」×「触覚」など、感覚様相の組合せによる新ビジネスを考えていきます。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No14	プライベートブランド	プライベートブランド(PB)とは、流通業が独自に開発・販売する商品群を指します。日本型PBの特徴として、中小スーパーの協業、NBのエンドーサ化などが挙げられます。ここでは総合スーパー、CVS、ドラッグストア、ホームセンター・バラエティショップ・雑貨、100円ショップ、ディスカウントストア、百貨店、アパレル、家電量販店などの動向を眺めるとともに、1980年代に登場して衝撃を与えた「無印良品」のケースを検討し、今後のPBIについて考えます。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	税務会計論 I B-A
講義名(英字)	Theory of Tax Accounting I
担当教員	石塚 一彌
必修/選択	なし
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	税務会計は、租税法、会計学および財政学にまたがる、きわめて広範囲な領域を占める学問である。また、税務会計は、税を徴収する政府の視点ではなく、納税者である国民・企業の視点に立脚した「あるべき租税体系」を会計的アプローチに沿って探求する学問である。講義では、当該会計的アプローチに従いながら「租税のあるべき姿」を探求する上で、問題となる論点を発見し、当該論点を解決していく素養を会得することを目標とする。							
【到達目標】	基礎的前提に関する知識の修得の有無							
	税務会計に関する基礎的な知識の修得の確認							
	税務会計に関する理解の深度の確認							
【履修条件・受講推奨者】	◇1年次に「会計学Ⅰ」、「会計学Ⅱ」を履修していることが望ましい。また、会計全般に対する基本的な知識をひと通り会得していることが望まれる。【予習をすべき事前学習の内容】							
【教育方法】	担当教員が独自に作成した資料を毎回配付する。また、各講義内でそれぞれの単元を履修者が理解できるようにその都度、教員から履修者へ質問を促す。							
【指定教科書・参考資料等】	◇ レジュメを配付し、それによって講義を行う。【履修条件等】							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力		突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法				
	授業への積極的な関与の度合い		30%	先の各項目を総合的に判断して、履修者の評価とする。				
	予行試験の結果		30%					
	本試験の結果		40%					

【その他の注意事項】

合計		100%		
◇毎回テーマの違うレジュメを受講者本人にのみ配付するので、毎回出席することが重要である。				
週	テーマ	学習内容		
No1	オリエンテーション	税務会計の意義について理解する。		
	予習内容(時間)	憲法に規定されている「納税の義務」についてその意義を考えておくこと。	120	分
	復習内容(時間)	なぜ「税務」が必要であるのか。「税務」と「会計」の関係について理解する。	120	分
No2	「財務会計」と「税務会計」	「税務会計」の前提となる「財務会計」との関係において、「税務会計の計算プロセス」を理解する。		
	予習内容(時間)	「財務会計」と「税務会計」のそれぞれの意義を考えておくこと。	120	分
	復習内容(時間)	「財務会計の計算」の「修正プロセス」としての「税務会計」を理解する。	120	分
No3	「税務会計」と「財務会計」の関係その1	「財務会計の計算」の「修正プロセス」としての「税務会計」について、具体的な計算事例を学ぶ。		
	予習内容(時間)	「財務会計」の計算を前提とした「税金の計算」についてそのフレームワーク(構図)を理解する。	120	分
	復習内容(時間)	「税務会計」特有の計算の意味を理解する。	120	分
No4	「税務会計」と「財務会計」の関係その2	「財務会計の計算」の「修正プロセス」としての「税務会計」について、具体的な計算事例を学ぶ。(続き2)		
	予習内容(時間)	「財務会計」の計算を前提とした「税金の計算」についてそのフレームワーク(構図)を理解する(続き)。	120	分
	復習内容(時間)	「財務会計の計算」の「修正プロセス」としての「税務会計」について、具体的な計算事例を理解する。(続き)	120	分
No5	「税務会計」と「財務会計」の関係その3	「財務会計の計算」の「修正プロセス」としての「税務会計」について、具体的な計算事例を学ぶ。(続き3)		
	予習内容(時間)	「財務会計」の計算を前提とした「税金の計算」についてそのフレームワーク(構図)を理解する(続き)。	120	分
	復習内容(時間)	「財務会計の計算」の「修正プロセス」としての「税務会計」について、具体的な計算事例を理解する。(続き)	120	分
No6	「税務会計」と「財務会計」の関係その4	「財務会計の計算」の「修正プロセス」としての「税務会計」について、具体的な計算事例を学ぶ。(続き4)		
	予習内容(時間)	「財務会計」の計算を前提とした「税金の計算」についてそのフレームワーク(構図)を理解する(続き)。	120	分
	復習内容(時間)	「財務会計の計算」の「修正プロセス」としての「税務会計」について、具体的な計算事例を理解する。(続き)	120	分
No7	「税務会計」と「財務会計」の関係その5	「財務会計の計算」の「修正プロセス」としての「税務会計」について、具体的な計算事例を学ぶ。(続き5)		
	予習内容(時間)	「財務会計」の計算を前提とした「税金の計算」についてそのフレームワーク(構図)を理解する(続き)。	120	分
	復習内容(時間)	「財務会計の計算」の「修正プロセス」としての「税務会計」について、具体的な計算事例を理解する。(続き)	120	分
No8	税効果会計	「税務会計」と「財務会計」の橋渡しの機能を有する「税効果会計」について学ぶ。		
	予習内容(時間)	「税効果会計」という「財務会計」上の領域において、その意義を理解する。	120	分
	復習内容(時間)	「税効果会計」の持つ基本的な意味を理解する。	120	分
No9	繰延資産	「財務会計」上の繰延資産との対比において、「税務会計」上の繰延資産の取り扱いを学ぶ。		
	予習内容(時間)	繰延資産という財務会計の概念を「税務会計」の観点から再考する。	120	分
	復習内容(時間)	税務会計特有の繰延資産の内容を理解する。	120	分
	収益認識	財務会計における収益認識の基本的な考え方を再度学ぶ。		

	No10	予習内容(時間)	財務会計の収益認識がなぜ問題となっているかその背景を理解する。	120	分
		復習内容(時間)	財務会計の収益認識を再度理解する。	120	分
	No11	収益認識その2	財務会計における収益認識を受けての税務会計上の収益認識を学ぶ。		
		予習内容(時間)	財務会計の収益認識がなぜ問題となっているかその背景を理解する(続き)。	120	分
		復習内容(時間)	税務会計特有の収益認識について理解する。	120	分
		春学期の税務会計の復習その1	春学期に学んだ税務会計の具体的な計算事例を総復習する。		
	No12	予習内容(時間)	計算問題の課題についてあらかじめ解いてみる。	120	分
		復習内容(時間)	税務会計特有の計算の仕方をマスターする。	120	分
	No13	春学期の税務会計の復習その2	春学期に学んだ税務会計の具体的な計算事例を総復習する。(続き)		
		予習内容(時間)	計算問題の課題についてあらかじめ解いてみる(続き)。	120	分
		復習内容(時間)	税務会計特有の計算の仕方をマスターする(続き)。	120	分
	No14	春学期の税務会計の総まとめ	春学期に学んだ税務会計のチェックテストを実施し、履修者の理解の足りない箇所を洗い出す。		
		予習内容(時間)	各自の疑問点を把握する。	120	分
		復習内容(時間)	履修者各自が学んだ税務会計の論点につき、理解の足りない箇所を再度洗い出して理解を深める。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	企業論 BE-A
講義名(英字)	Modern Corporation
担当教員	清水 太陽
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この授業では、複雑かつ多面的な現代企業の全体像と課題を理解し、それに関する関心と問題意識を醸成できるようになることを目標とする。 具体的には、現代企業の諸形態や役割について、とくに株式会社に注目し、主に大企業の構造について学ぶ。また、いわゆる「日本的経営」や 現代企業の役割に関しても、考えてみたい。必要に応じて、映像資料等も活用し、それぞれの時代の息吹を感じて欲しい。					
【到達目標】	重要な用語を理解すること 理論の内容を理解すること 制度の内容や時代背景を理解すること					
【履修条件・受 講推奨者】	◇ 経営学をすでに受講済みまたは同時に履修することが望ましい。また、経営史を受講すると、理解の助けになるであろう。その他、現代企業 のあり方に関心がある人に幅広く受講してもらいたい。					
【教育方法】	講義での知識を修得し、レポートを作成することで、現代企業について関心を深め、現代企業が直面する課題について自分自身で考える力を涵 養する。					
【指定教科書・ 参考資料等】	◇ 教科書：三戸浩・池内秀己・勝部伸夫(著)『企業論(第4版)』有斐閣アルマ、2018年 ◇ 参考文献：授業で随時紹介する					
【実務IQ修得目 標】	自制力 協働力	思考力 主張力	○ ○	突破力 創造力	○	忍耐力

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	用語の理解、時代背景の理解	30%	期末テスト60% 数回のレポート30% 受講態度10%		
	理論の内容理解、制度の内容理解	30%			
	知識の応用	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	◇ とくになし				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス	企業論を学ぶ意義と内容に関する説明など		
		予習内容(時間)	シラバス、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
	No2	現代企業を見る視点－6つの企業観－	6つの企業観－概要－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分
	No3	「財・サービスの提供機関」としての企業－豊かな社会と企業の成長－	経済発展と生活の変化－豊かな社会の出現－、大企業の実態－大規模化の優位性－、企業の長期戦略－企業の多角化と製品戦略－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
	No4	「財・サービスの提供機関」としての企業－豊かな社会と企業の成長－	企業の広告活動－企業と消費者を結ぶもの－、企業の国際化－市場は国家を超えて－、むすび－欲望と消費生活－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分
	No5	「株式会社」としての企業－株式会社制度の理論と現実－	株式会社の機能と構造－資本集中機構としての株式会社制度－、株式会社の現実－株式会社に於ける制度と実態の乖離－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分
	No6	「大企業」としての企業－企業の変容と新しい企業観の登場	大企業とは何か－現代社会を動かす企業の経済力－、大企業の支配構造－大企業を支配するのは誰か－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
	No7	「大企業」としての企業－企業の変容と新しい企業観の登場	日本の大企業の経営者－経営者支配の実態－、大企業のコーポレート・ガバナンス－企業は誰がどのように統治すべきか－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分
	No8	「組織」としての企業－組織と管理－	企業と官僚制－現代企業組織の基本的構造－、企業組織の諸形態－環境変化への適応としての組織形態の変革－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
		「組織」としての企業－組織と管理－	企業の組織と管理論の展開－アメリカ管理論の展開を中心に－、管理の革命－随伴的結果論－		

	No9	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分
	No10	「家」としての日本企業－日本的経営の原理と構造－	日本企業と従業員－運命共同体としての企業と日本型人事システム－、日本型株式会社制度の構造と実態－日本の会社の性格と目標－、日本型企业結合様式の独自性－企業集団と企業系列－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
		「家」としての日本企業－日本的経営の原理と構造－	日本企業をみる視点－「家」としての日本企業、揺らぐ日本的経営－家の論理のゆくえ		
	No11	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分
	No12	「社会的器官」としての企業－21世紀の企業像を求めて－	企業の社会的責任論－企業と社会の緊張－、企業市民－企業と地域社会－、日本企業の社会的貢献活動－社会の一員としての企業－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
		「社会的器官」としての企業－21世紀の企業像を求めて－	近年のCSR活動とCSR指標・CSRランキング－CSRの定着とその評価・計測－、企業統治・企業倫理－企業は誰のために？望ましいあり方を求めて－		
	No13	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
	No14	「社会的器官」としての企業－21世紀の企業像を求めて－	社会のための企業－その目的と役割－、個人・社会・自然と調和した企業－21世紀の企業像－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分

 前画面へ戻る

事項】	が履修する場合は、事前に財務諸表に関する基礎知識を習得しておいて下さい。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	各種分析の特徴	財務分析、戦略分析、企業価値分析の概要、その意義、有用性などについて理解します。		
		予習内容(時間)	シラバスを熟読し、履修条件、授業内容、到達目標等を良く確認しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容を確認する。	120	分
	No2	財務諸表とは	企業が作成する財務諸表の種類、内容、構成について理解します。		
		予習内容(時間)	企業はどのような財務諸表を作成公表しているかを知っておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容を確認する。	120	分
	No3	収益性分析	企業の財務諸表を用いて、経営の収益性のレベルを判断するための分析方法について理解し、自分で計算し、判断できるようにします。		
		予習内容(時間)	収益性分析について調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容を確認する。	120	分
	No4	効率性分析	企業の財務諸表を用いて、経営の効率性のレベルを判断するための分析方法について理解し、自分で計算し、判断できるようにします。		
		予習内容(時間)	効率性分析について調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容を確認する。	120	分
	No5	安全性分析	企業の財務諸表を用いて、経営の安全性のレベルを判断するための分析方法について理解し、自分で計算し、判断できるようにします。		
		予習内容(時間)	安全性分析について調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容を確認する。	120	分
	No6	成長性分析	企業の財務諸表やその他の資料を用いて、経営の成長性のレベルを判断するための分析方法について理解し、自分で計算し、判断できるようにします。		
		予習内容(時間)	成長性分析について調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容を確認する。	120	分
	No7	中間テスト	ここまでの授業内容について、中間テストを実施します。資料等の持ち込みはできません。		
		予習内容(時間)	1～6回までの授業内容について、再復習しておく。	120	分
		復習内容(時間)	中間テストでできなかった点について、復習しておく。	120	分
	No8	経営戦略とは	企業における経営戦略の位置付け、意味について理解する。		
		予習内容(時間)	経営戦略とは何かについて調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容を確認する。	120	分
	No9	SWOT分析	SWOT分析とは何か、その内容、分析方法と解釈の仕方について理解します。		
		予習内容(時間)	SWOT分析について調べておく。	120	分

		復習内容(時間)	授業の内容を確認する。	120	分
	No10	5フォース分析	5フォース分析とは何か、その内容、分析方法と解釈の仕方について理解します。		
		予習内容(時間)	5フォース分析について調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業内容について確認する。	120	分
	No11	VRIO分析	VRIO分析とは何か、その内容、分析方法と解釈の仕方について理解します。		
		予習内容(時間)	VRIO分析について、調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業内容について確認する。	120	分
	No12	PPM分析	PPM(Product Portfolio Management)分析とは何か、分析方法と解釈の仕方について理解します。		
		予習内容(時間)	PPM分析について調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を確認する。	120	分
	No13	企業価値とは	企業価値とは何か、どのように把握するのか、その意味について理解します。		
		予習内容(時間)	企業価値について調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容を確認する。	120	分
	No14	株価分析	市場で決まる企業の株価は何を表しているのか、その水準、変動から何がわかるのか、株価の変動は予測できるのかなどについて理解します。		
		予習内容(時間)	株価とは何かについて調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容を確認する。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

 [前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	マーケティング論 I BE-A
講義名(英字)	Marketing Theory I
担当教員	上條 典夫
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	マーケティングとは、人間や社会のニーズを見極めてそれらに応えることであり、その本質は「顧客を知ること(リサーチ)」と「顧客に知らせること(コミュニケーション)」ということができます。本講義では、20世紀から21世紀へのマーケティングの変遷をたどりながら、各時代におけるマーケティングのフレームワークを学び、次に、マーケティング効果を高めるコミュニケーション戦略について解説します。広告会社電通で40年間培った経験で実例を紹介、楽しい授業にします。																													
【到達目標】	マーケティングの本質・その目的と戦略等に関する理解する。 マーケティングのエッセンスと全体像を把握するとともに、時代や社会とのかかわりについて、事例等を踏まえ理解すること。 マーケティング戦略における各種フレームワークの理解 4Pモデル、STPモデル、3iモデル、SIPSモデル、5i理論等について、その目的、特徴、考え方を理解すること。 マーケティングコミュニケーションの展開事例を学ぶ マーケティングマインドを醸成するためには、消費者視点から問題意識を持つことが必要。それを事例などから学び理解すること ソーシャル・マーケティングの内容とその重要性を理解するとともに、SDGs視点のマーケティングに関する最新事例と概要を把握する SDGsの概念とソーシャ・マーケティングの本質を理解し、社会課題解決と利益確保の方法論を探究すること。																													
【履修条件・受講推奨者】	特にありません。																													
【教育方法】	社会に出て役立つ実践的な学び																													
【指定教科書・参考資料等】	特になし																													
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○									
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																								
協働力		主張力	○	創造力	○																									
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="3">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td>授業態度</td><td colspan="2">30%</td><td colspan="4" rowspan="4">学校の基本方針にのっとり評価</td></tr><tr><td>レポート・試験</td><td colspan="2">70%</td></tr><tr><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>合計</td><td colspan="2">100%</td></tr></table>							評価項目と割合			評価方法				授業態度	30%		学校の基本方針にのっとり評価				レポート・試験	70%					合計	100%	
評価項目と割合			評価方法																											
授業態度	30%		学校の基本方針にのっとり評価																											
レポート・試験	70%																													
合計	100%																													
【その他の注意事項】	講義の内容や順番は変更する場合があります																													

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	イントロダクション	マーケティングとは？その変遷とマーケティング・コミュニケーションについてと私自身の経験紹介		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No2	マーケティングの変遷①	マーケティング1.0(1900～1960 製品・価格中心、4Pモデル など)		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No3	マーケティングの変遷②	マーケティング2.0(1970～1980 顧客志向、STPモデル など)		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No4	マーケティングの変遷③	マーケティング3.0(1990～2000 社会的責任、ブランドの3iモデル など)		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No5	マーケティングの変遷④	マーケティング4.0(2010～ SIPSモデル、AISASモデル など)		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No6	マーケティング・コミュニケーション①	マーケティング・コミュニケーションとはなにか？		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No7	マーケティング・コミュニケーション②	消費者行動とマーケティング～消費者の行動を理解する①		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No8	マーケティング・コミュニケーション③	消費者行動とマーケティング～消費者の行動を理解する②		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No9	マーケティング・コミュニケーション④	広告展開におけるマーケティング事例①		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No10	マーケティング・コミュニケーション⑤	広告展開におけるマーケティング事例②		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No11	マーケティング・コミュニケーション⑥	コミュニケーションミックスと広報・PR		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
No12	マーケティング・コミュニケーション⑦	スポーツイベント・音楽イベントにおけるマーケティング		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
	マーケティング・コミュニケーション⑧	競争優位のブランド・マネジメント		

	No13	予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分
	No14	ポストコロナ時代のマーケティング	ソーシャル・マーケティングとは～SDGsを軸にしたマーケティングの潮流		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義メモチェック	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	マーケティング論 I BE-B
講義名(英字)	Marketing Theory I
担当教員	花尾 由香里
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この授業では、マーケティングの基本的な理論と戦略について学習する。企業の経営活動の中で、マーケティングがどのような役割を担っているのかを学んだ後、戦略を立案する際に必要な分析方法や理論を中心に解説を行う。実在の企業や商品の例を取り上げ、マーケティングを現実的なものとして活用できるようになることも目的としている。																																						
【到達目標】	マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるようになること マーケティングに関する基本的な分析手法について、正確に理解できるようになること マーケティング分析にもとづいた戦略を考察できるようになること																																						
【履修条件・受 講推奨者】	「マーケティング論Ⅱ」も引き続き受講することが望ましい																																						
【教育方法】	対面授業 授業中に、リアクションペーパーの提出を求めることがある																																						
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書は使用しない コースパワーに毎回資料を配布する																																						
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>								自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力		主張力		創造力	○																	
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○																																
協働力		主張力		創造力	○																																		
【成績評価・評 価上の留意事 項（試験方法、 単位修得要 件）】	<table><tr><th colspan="5">評価項目と割合</th><th colspan="3">評価方法</th></tr><tr><td colspan="4">マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるか</td><td>30%</td><td colspan="3" rowspan="4">学期末試験を行う 選択マークシート方式による解答 持ち込みは不可</td></tr><tr><td colspan="4">マーケティングの基本的な分析手法について、正確に理解できているか</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="4">マーケティング分析にもとづいた戦略を考察できるか</td><td>30%</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>								評価項目と割合					評価方法			マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるか				30%	学期末試験を行う 選択マークシート方式による解答 持ち込みは不可			マーケティングの基本的な分析手法について、正確に理解できているか				40%	マーケティング分析にもとづいた戦略を考察できるか				30%	合計				100%
評価項目と割合					評価方法																																		
マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるか				30%	学期末試験を行う 選択マークシート方式による解答 持ち込みは不可																																		
マーケティングの基本的な分析手法について、正確に理解できているか				40%																																			
マーケティング分析にもとづいた戦略を考察できるか				30%																																			
合計				100%																																			
【その他の注意 事項】	私語を慎み周囲に迷惑をかけないこと																																						
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="6">学習内容</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="6"></td></tr></table>								週	テーマ	学習内容																												
週	テーマ	学習内容																																					

【授業計画】

No1	マーケティングとは	授業の内容と進め方について説明した後、基本的なマーケティングの考え方について学ぶ		
	予習内容(時間)	シラバスと資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
No2	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	マーケティング・コンセプト	マーケティングの考え方が時代とともにどのように変化して来たかを学んだあと、将来的な課題やマーケティングの役割について学ぶ		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
No3	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	マーケティングの範囲	マーケティングを実行する範囲や企業が取り扱う商品の範囲について解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
No4	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	マーケティングにおける4P戦略	マーケティングにおける4Pの概念を学んだあと、マーケティングを実行するプロセスについて解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
No5	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	環境分析	企業を取り囲む環境とは何かを学んだあと、環境分析の手法について解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
No6	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	市場細分化	市場細分化の理論について学んだあと、消費者をタイプ分けする手法やターゲット選定について解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
No7	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	ポジショニング分析	製品差別化について解説した後、商品や企業のポジショニング分析の手法を学ぶ		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
No8	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	製品ライフサイクル論	製品の寿命とライフサイクルについて解説し、ライフサイクルに応じた戦略を学ぶ		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
No9	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	ポートフォリオ分析	企業が抱える複数の商品を分類する手法や、投資の優先順位について解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
No10	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	企業の成長戦略	アンゾフの製品・市場マトリクスについて解説した後、企業の成長戦略について学ぶ		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
No11	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	競争分析	競争相手を分析する手法や、企業の地位別戦略について学ぶ		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
No12	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	製品戦略1	製品とは何かを詳しく解説した後、成功している実在の製品を取り上げたケーススタディを行う		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	製品戦略2	新製品を成功させる困難さについて解説した後、新製品開発プロセスについて学ぶ		

	No13	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No14	まとめと復習	講義内容の総括を行い、より深く理解を高める		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分

 [前画面へ戻る](#)

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	マーケティングの基礎知識から、マーケティングにおけるマネジメントの考え方、マー ケティングの実際までを理解する。マーケティングは、商品やサービスの販売を促進する 手段として捉えられがちであるが、企業の戦略や非営利組織の活動とも深く関わっている。 製品を開発する企業、製品を消費者に届ける流通業、製品を購入し利用する消費者など、 様々な視点からマーケティングを学習する。テキストだけでなく、事例なども用いて理解 を深める。																													
【到達目標】	マーケティングの 設問に対する回答によって評価。マーケティング 基本的な用語につ の定義、コンセプトの変遷、マーケティング・ミ 25% いて理解し、説明 ックス、マーケティングの範囲について答えられること。 市場環境の分析について理解し、説明できること 消費者行動とマー 設問に対する回答によって評価。消費者を購入にケティング戦略に 導く、動機づけやそのフレームワーク、個人的な要因つ いて理解し、説 要因について答えられること。																													
【履修条件・受 講推奨者】																														
【教育方法】	教科書の内容理解を中心として、実例などを用いながら、様々な課題をこなしていく。																													
【指定教科書・ 参考資料等】	『現代マーケティング論』第2版 実教出版																													
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○									
自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力																								
協働力		主張力	○	創造力	○																									
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><td colspan="3">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td>期末試験</td><td>75</td><td></td><td colspan="4" rowspan="4">期末試験、レポート、授業中の課題などによって評価する。</td></tr><tr><td>授業内容についてのレポート</td><td>15</td><td></td></tr><tr><td>授業への参加確認</td><td>10</td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td><td></td></tr></table>							評価項目と割合			評価方法				期末試験	75		期末試験、レポート、授業中の課題などによって評価する。				授業内容についてのレポート	15		授業への参加確認	10		合計	100%	
評価項目と割合			評価方法																											
期末試験	75		期末試験、レポート、授業中の課題などによって評価する。																											
授業内容についてのレポート	15																													
授業への参加確認	10																													
合計	100%																													
【その他の注意 事項】																														

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	ガイダンス	授業の進め方、マーケティングとは何かについて説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No2	マーケティングのコンセプトと基本用語	マーケティング・コンセプトの変遷について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No3	マーケティング・ミックス	4Pの概念について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No4	マーケティングの範囲	マーケティングの対象について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No5	事例研究(1)	ブランドの事例を説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No6	市場環境の分析(1)	企業のミクロ環境、SWOT分析について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No7	市場環境の分析(2)	企業のマクロ環境、人口動態環境などについて説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No8	消費者行動(1)	消費者の意思決定プロセスについて説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No9	消費者行動(2)	消費者の意思決定に影響する要因について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No10	マーケティング戦略の基礎	市場細分化、ターゲティング、ポジショニングについて説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No11	製品戦略(1)	製品の捉え方について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No12	製品戦略(2)	サービスや組織のマーケティングについて説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	事例研究(2)	製品戦略の事例について説明する。		

	No13	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No14	製品開発	製品開発と製品ライフサイクルについて説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	マーケティング論 I BE-D
講義名(英字)	Marketing Theory I
担当教員	深澤 琢也
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科 科目で取り扱う テーマ】	マーケティングとは、顧客に商品やサービスの価値を届ける(顧客に買ってもらう)ための仕組みを作ることです。本講義では、マーケティングとはそもそも何なのか、いつから登場した概念なのか、上手にマーケティングをするために企業はどのような分析を行う必要があるのかといったことを中心に学びます。本講義では、多くの企業事例を例示し、マーケティング理論とマーケティングの実際を行き来できる講義展開が期待できると思います。																																				
【到達目標】	マーケティングに関する基本用語を正しく説明できること。 企業のマーケティング戦略について正しく説明できること。 企業の成長戦略と競争戦略について正しく説明できること。																																				
【履修条件・受 講推奨者】	1年生は特にありませんが、2年生以上はマーケティング関連の科目(流通論、広告論、消費者行動論)のいずれかを並行して履修していると理解が深まります。																																				
【教育方法】	講義形式で教授する。																																				
【指定教科書・ 参考資料等】	<参考書> 小川孔輔『マーケティング入門』、日本経済新聞社、2009年																																				
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>							自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力		主張力	○	創造力	○																
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																														
協働力		主張力	○	創造力	○																																
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="3">評価方法</td></tr><tr><td colspan="4">マーケティングに関する基本用語を正しく理解している。</td><td>25%</td><td colspan="3" rowspan="4">設問に対する回答によって評価。</td></tr><tr><td colspan="4">企業のマーケティング戦略について正しく理解している。</td><td>50%</td></tr><tr><td colspan="4">企業の成長戦略と競争戦略について正しく理解している。</td><td>25%</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合				評価方法			マーケティングに関する基本用語を正しく理解している。				25%	設問に対する回答によって評価。			企業のマーケティング戦略について正しく理解している。				50%	企業の成長戦略と競争戦略について正しく理解している。				25%	合計				100%
評価項目と割合				評価方法																																	
マーケティングに関する基本用語を正しく理解している。				25%	設問に対する回答によって評価。																																
企業のマーケティング戦略について正しく理解している。				50%																																	
企業の成長戦略と競争戦略について正しく理解している。				25%																																	
合計				100%																																	
【その他の注意 事項】	遅刻および講義中における授業内容とは関係のない私語は厳禁。																																				
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="5">学習内容</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="5"></td></tr></table>							週	テーマ	学習内容																											
週	テーマ	学習内容																																			

【授業計画】

	イントロダクション	マーケティングへの招待、講義内容説明、成績評価説明		
No1	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No2	マーケティングの仕組み(1)	マーケティングの基礎概念と基本課題を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No3	マーケティングの仕組み(2)	マーケティングの基礎概念と基本課題を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No4	マーケティングの発展史	マーケティングの誕生と発展史を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No5	マーケティング計画の策定	企業のマーケティング計画を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No6	マクロ環境分析(1)	マーケティング実行に影響する要因を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No7	マクロ環境分析(2)	マーケティング実行に影響する要因を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No8	顧客の分析方法(1)	多様な顧客の分類方法について学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No9	顧客の分析方法(2)	多様な顧客の分類方法について学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No10	市場戦略(1)	企業の成長戦略を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No11	市場戦略(2)	企業の競争対応を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No12	マーケティング・リサーチ(1)	市場のリサーチ(調査)方法を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No13	マーケティング・リサーチ(2)	市場のリサーチ(調査)方法を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分

		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No14	総括	春学期の学習ポイントについての理解を深める		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	マーケティング論 I BE-E
講義名(英字)	Marketing Theory I
担当教員	山川 悟
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科 目で取り扱う テーマ】	マーケティングとは、企業と顧客との関係を良好なものとし、商品やサービスが売れ続けていくための基盤をつくる活動です。戦略策定やコンセプト開発、商品企画、販売促進、広告、広報、消費者調査、顧客行動分析など、幅広い範囲がここに含まれます。本講義では、マーケティング理論や最新の事例を知るだけでなく、自ら企画立案する体験などを通じ、思考力と創造力の両側面を鍛える場にしていきたいと思います。																																										
【到達目標】	①商品・店舗・広告・消費行動を、企業側の視点から見られるようになる ②マーケティングの実務内容に触れたうえで、自身の進路について語れるようになる ③フレームワークに基づき、簡単な商品・プロモーション企画を立案できるようになる																																										
【履修条件・受 講推奨者】	特になし。商品企画・販売促進・広告宣伝・広報・イベント等の仕事に携わりたい人。																																										
【教育方法】	・講義中の個人・グループワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。 ・講義回によっては、遠隔(ライブ/反転)授業を採り入れる可能性もあります。																																										
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書は使用せず、パワーポイント資料を各自ダウンロードして受講します。																																										
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>						自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力		創造力	○																							
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																					
協働力		主張力		創造力	○																																						
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><th colspan="3">評価項目と割合</th><th colspan="4">評価方法</th></tr><tr><td>企業視点から商品・店舗・広告・消費行動を語ることができる</td><td>30%</td><td></td><td rowspan="4">およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>自らの進路と関連させてマーケティングの仕事を説明できる</td><td>30%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>創造フレームワークに基づき、独自性のある企画立案ができる</td><td>40%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							評価項目と割合			評価方法				企業視点から商品・店舗・広告・消費行動を語ることができる	30%		およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価					自らの進路と関連させてマーケティングの仕事を説明できる	30%						創造フレームワークに基づき、独自性のある企画立案ができる	40%						合計	100%					
評価項目と割合			評価方法																																								
企業視点から商品・店舗・広告・消費行動を語ることができる	30%		およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価																																								
自らの進路と関連させてマーケティングの仕事を説明できる	30%																																										
創造フレームワークに基づき、独自性のある企画立案ができる	40%																																										
合計	100%																																										
【その他の注意 事項】	特になし																																										

週	テーマ	学習内容		
No1	マーケティングの考え方	まず具体的な商品を想定し、「商品企画」「販売前」「販売後」の3段階において必要なマーケティング施策を考えてみる。次に、マーケティングという言葉が生まれた20世紀前半の米国における考え方と、消費者主導となった近年における考え方がどう異なるかを理解する。さらに今日の経営環境に必要な視点、マーケッターに要請される基礎能力についても学ぶ。		
	予習内容(時間)	シラバスを熟読し、エントリースートを記入する	150	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No2	今日のマーケティング課題①	今日の企業は厳しい競争環境に晒されている。本講義では、差競合との差別化、潜在ニーズ発掘、顧客理解、チャネル開発など、今日の企業が直面する5つのマーケティング課題を概括し、それらの課題に対応した戦略概念を学んでいく。ビジネスフレームワークを使い、課題解決につながるアイデア開発を行う。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No3	今日のマーケティング課題②	前回到引き続き、決済方法の改革、話題になる売り方、顧客経験価値、社会全体の利益、ブランド価値向上、デジタル対応など、今日の企業が直面する5つのマーケティング課題を概括し、それらの課題に対応した戦略概念を学んでいく。ビジネスフレームワークを使い、課題解決につながるアイデア開発を行う。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No4	マーケティングの仕事研究	マーケティングは特殊な仕事ではなく、どの業種・企業においても不可欠な機能である。ここでは営業・販売との目線の違いや、6種のマーケッター(商品開発、販売促進、広告宣伝、ブランディング、営業企画、広報PR)の実務内容について具体的な事例から学ぶ。マーケティングに関連する資格や資質についても言及する。最後に、現在のビジネス課題から、マーケッターとしてどんな対応をすべきか考案し、議論を行う。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No5	商品コンセプト事例研究	商品の魅力や特長を端的な言葉で表し、それを伝えていく「コンセプト」の重要性を学ぶ。20の商品事例から、個々のコンセプトがどのような観点から規定されているのかを考える。ここでは、5つのコンセプト策定法があることを理解する。また、採り上げた事例の中でヒットしそうだと思う商品とその理由について考察する。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No6	コンセプトワーク実習	今日は意味を消費する社会であり、あらゆるフィールドでコンセプトが明快な商品だけが生き残っている点を理解する。また、コンセプトの伝え方についての事例研究を行う。講義の最後に、創造性開発フレームワークに基づき、消費者ニーズと企業シーズの結節点から、飲料の新商品の企画立案を試みる。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	消費者心理の事例研究	商品がヒットした背景には微妙な消費者心理、インサイトが込められている。本講義では、利便性や価格といった表面的な理由からでは説明できないヒット要因を、13の事例から考え、議論していく。また、ありがちな消費者心理をヒントに、新たな商品・サービスの考案を試みる。		

【授業計画】	No7	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No8	前半総括と講義に関するQ&A	前半授業についての総括、および学修達成度確認のためのレポート提出を行う。レポート課題は「見解・解釈」や「アイデア」を求めるものとする。また優良レポートは他の受講者にフィードバックし、それをもとに見直しと復習を行う。		
		予習内容(時間)	1～7回までの講義資料を見直す	240	分
		復習内容(時間)	課題フィードバックを参照し、戦略や事例研究を行う	120	分
	No9	リサーチとインサイト発見法	目的・状況に応じた適切なマーケティング調査の手法を理解し、アンケートが万能でないことを認識する。また、ライオンやサントリーなどの事例から、消費者心理の深層「インサイト」を発見し、それを商品企画などに反映させていく8つの手法についても学んでいく。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No10	販売促進の手法と事例研究	マーケティング4Pの中で、購買への直接的な動機付けとなるセールスプロモーションの位置づけと、サンプリング、景品、値引き、消費者教育、コンテスト、制度型プロモーションからWeb活用販促に至るまでの消費者向け販促の9つの手法を、具体的な事例とともに学ぶ。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No11	今日の販売促進	今日の販売促進は、他の手法と結びつくことで複合的な効果を生み出している。ここではブランディングやCSR、PR等とも密接に関わる今日的な販促手法を学ぶ。また、フレームワークに基いた販促企画プランの立案を試みる。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No12	広告の歴史と機能	近代的なマスメディアが存在しなかった江戸期の広告手法と、それらの今日的な共通点を考えることで広告の本質について理解する。また、「大量消費を促す」「メディアの経営を健全化する」「新たな欲求を作り出す」など、現代の広告の10の機能を理解する。さらには意外に知られていない広告と広報の違いについても考える。最後に、広告会社が提案した広告企画案を批判的に分析するディスカッションを行う。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No13	広告媒体とクリエイティブ	広告効果とメディアミックス、媒体(新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、交通・屋外、インターネット)の種類と特性について学ぶ。また、新たな媒体開発の考え方、広告表現のパターン、広告制作の実際など、広告ビジネスの実態についても触れる。最後に、二つのターゲットを想定したメディアミックス案を自ら考えるワークに取り組む。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

		流通業のマーケティング	立地戦略、商品陳列、店頭販促、品揃え、価格戦略、商品開発(プライベートブランド)、物流戦略、ネット活用、業態開発など、流通業特有のマーケティング手法について、具体的な事例から学んでいく。身近な流通業だが、その背景にある課題や考え方を知ること、店舗や商品への見方が変わってくる。最近行った店で、本講義で示した工夫が施されていた事例について議論する。		
	No14	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	産業・組織心理学 I B-A
講義名(英字)	Industrial Organizational psychology I
担当教員	堀尾 志保
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	産業・組織心理学(経営心理学)は、組織における人の心理と行動のメカニズムを科学的に考察する分野である。春学期開講の「産業・組織心理学Ⅰ(2年次以上名称:経営心理学Ⅰ)」では、産業・組織心理学の研究分野のなかでも、人の能力、性格、興味等、人事測定に関する理論と手続きを学ぶ。また、組織で導入されている人事評価制度の概要を学ぶことで、人事測定が実際に組織においてどのように活用されているかを理解する。後半では、職場のストレスに関する先行研究からの知見を学習することにより、将来、職場において自身や他者のストレス対策に役立てられるようになることを目指す。																												
【到達目標】	◇人事測定: 代表的な職業適性検査、性格検査について、背景となる考え方とあわせて把握している。人の能力の捉え方に関する主要な理論について説明できる。心理検査の標準化に必要な信頼性、妥当性の考え方を理解し、説明できる。面接、行動評価の際に必要な手順について説明できる。 ◇人事評価制度: 企業組織で導入されている主な人事評価制度を列挙し、各制度の概要、強み、課題を説明できる。 ◇職場のストレス: ストレスの意味合いを理解し、職場のストレスに関するモデル、職場のストレス要因、ストレス反応の過程について説明できる。ストレス反応に影響を及ぼす要因への理解を深め、組織が取りうるストレス対策を説明できる。																												
【履修条件・受 講推奨者】	◇春学期と秋学期で扱うテーマは独立しているため、 春学期の開講科目「産業・組織心理学Ⅰ(2年次以上名称:経営心理学Ⅰ)」だけでの 履修が可能です。 ◇秋学期の開講科目「産業・組織心理学Ⅱ(2年次以上名称:経営心理学Ⅱ)」と 合わせて受講することで、産業・組織心理学のテーマを広汎に学習することができます。																												
【教育方法】	理論を知識として学習するだけでなく、自身や周囲の現象にあてはめて考えます。各理論に対する自分の考えをまとめ、他の人とも意見交換をすることで、理論を今後の活動に活かせるようになることを目指します。																												
【指定教科書・ 参考資料等】	◇教科書:外島裕(監修)『産業・組織心理学エッセンシャルズ[第4版]』ナカニシヤ出版																												
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力		創造力									
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																							
協働力	○	主張力		創造力																									
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="6">評価方法</th></tr><tr><td>人事測定</td><td>60%</td><td colspan="6" rowspan="4">◇参加姿勢およびコメントシートでの理解度(45%) ◇学習達成度の確認テスト(55%)</td></tr><tr><td>人事評価制度</td><td>10%</td></tr><tr><td>職場のストレス</td><td>30%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法						人事測定	60%	◇参加姿勢およびコメントシートでの理解度(45%) ◇学習達成度の確認テスト(55%)						人事評価制度	10%	職場のストレス	30%	合計	100%
評価項目と割合		評価方法																											
人事測定	60%	◇参加姿勢およびコメントシートでの理解度(45%) ◇学習達成度の確認テスト(55%)																											
人事評価制度	10%																												
職場のストレス	30%																												
合計	100%																												

【その他の注意
事項】

- ◇授業進行により授業計画は一部変更の可能性があります
- ◇授業には教科書を必ず持参してください
- ◇毎回の授業では、コメントシートを必ず提出してください
- ◇授業中のスマートフォンの使用、私語等は禁止とします

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	イントロダクション	授業で扱うテーマの概要と位置づけ、授業の進め方等		
	予習内容(時間)	シラバスの確認	120	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
No2	人事測定	職業適性とは、職業適性検査、ホランドのRIASECモデル		
	予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
No3	人事測定	人の能力に関する理論、知能検査		
	予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
No4	人事測定	性格に関する理論、性格検査		
	予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
No5	人事測定	心理検査の標準化		
	予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
No6	人事測定	面接評価		
	予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
No7	人事測定	人事評価制度の概要		
	予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
No8	人事測定	職務行動の把握(コンピテンシー、360度評価)		
	予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
No9	人事測定	アセスメントセンター		
	予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
No10	職場のストレス	ストレス、職場のストレスを説明するモデル		
	予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
No11	職場のストレス	職場のストレス要因		
	予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	職場のストレス	ストレス反応		

	No12	予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No13	職場のストレス	ストレス反応に影響を与える要因(個人要因、他者要因)		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分
	No14	職場のストレス	組織的な対応		
		予習内容(時間)	前回授業で指定する教科書の範囲の精読	120	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容	120	分

 [前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	産業・組織心理学 I B-C
講義名(英字)	Industvial Organizational psychology I
担当教員	佐藤 恵美
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	産業・組織心理学は、産業場面における人間の心理や行動を科学的視点から研究する学問である。産業社会に従事する人々、そして組織全体に関する心理学の分野であり、生活者と企業の健全な関係を維持するための環境整備を目的としている。 産業心理学における行動が成立するためには、価値観、欲求、動機などの心理的条件と、社会、文化、経済的条件などの社会的条件が密接に関連しあって行動が生じる。これは、具体的には組織行動、人的資源管理、安全行動、消費者行動の4領域に集約される。産業・組織心理学Ⅰでは、職業適性と採用、労働を考えるワークモチベーション、集団と組織、組織でのコミュニケーション、仕事の能率と安全の観点からから詳しく解説し、経営や産業場面における人間行動を科学的に理解することを目的とする。							
【到達目標】	職業適性:「自分はどのような職業に向いているのか」という職業適性の概念を理解し、自分の能力・パーソナリティ、動機、指向性について考えることができるようにする。さらに、青年期以降の人間の発達過程と職業生活との関連性を理解し、職業的な自我の発達を目指すための職業的発達課題について、キャリア発達心理学の観点からキャリア・サイクルを考えることができるようにする。 ワークモチベーション:働くための動機づけに関する歴史的経緯から、科学的管理法、ホーソン研究、職務満足、プロセス理論を理解し、経営者の人間観と働く人のワークモチベーションを理解する。 組織行動:個人が集団を形成し、組織に参加してする要因を理解する。形成された集団や組織がその内部に作り出す人間関係とコミュニケーション、集団意思決定、リーダーシップ理論から、組織におけるパフォーマンスについて理解する。さらに、産業場面における時間研究と動作研究から、心理的な時間感覚を理解し、人間の疲労や認知的エラーによって引き起こされるヒューマンエラーをなくし、作業現場での事故防止を考える。							
【履修条件・受 講推奨者】	産業・組織心理学Ⅱも合わせて履修するのが望ましい。							
【教育方法】	対面による講義授業							
【指定教科書・ 参考資料等】	経営とワークライフに生かそう！産業・組織心理学 改訂版 山口裕幸・高橋潔・芳賀繁・竹内和久(著)有斐閣アルマ2020 ISBN9784641221543							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	
	協働力		主張力	○	創造力			
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	評価項目と割合				評価方法			
	定期試験			70	定期試験とレポート			
	レポート			20				
	ホームワーク(毎週の課題)			10				
	合計			100%				
【その他の注意	必ず教科書は持参すること。授業中の私語は慎むこと。							

事項】					
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	産業心理学とは	産業心理学の歴史とその概観		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No2	職業適性	人間の能力とは、知能と職業との関係		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No3	仕事とパーソナリティ	パーソナリティの考え方と職場への適応		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No4	総合評定	面接方法と面接評価の誤り		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No5	ワークモチベーションの内容理論	仕事への外発的動機づけと科学的管理法		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No6	内容理論と職務満足	仕事への内発的動機づけと職務満足		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No7	ワークモチベーションの過程理論	仕事への達成動機理論、期待理論、公正理論		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No8	仕事の安全と能率	仕事における時間・動作研究とヒューマンエラー		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No9	仕事の安全	不安全行動と安全文化		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No10	職場の疲労とストレス	ストレス理論とレジリエンス		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
		職場の快適性	職場のストレス要因とメンタルヘルスへの対処		

	No11	予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
	No12	組織と行動	組織と集団、組織における分業とキャリア・コース		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
		職場のコミュニケーション	職場の人間関係とコミュニケーション		
	No13	予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分
		組織の集団決定	組織におけるコンフリクトと意思決定		
	No14	予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	毎回授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時までに提出すること	120	分

 [前画面へ戻る](#)